YAO TOKUSHUKAI GENERAL HOSPITAL

病院年報

2021年



医療法人徳洲会

八尾徳洲会総合病院

Yao Tokushukai General Hospital

目次 Contents

理念・基本方針・患者様の権利	1
ご挨拶	2
概要・沿革	3
教育認定施設の指定状況・機関特定・高度医療機器設備	4
許可施設基準	5
八尾徳洲会総合病院 組織図	6
八尾徳洲会総合病院 委員会組織図	7
患 者 統 計	8
1.外　来	
1）外来患者統計	10
2）科別・月別外来患者数	10
3）1日平均外来患者数	11
4）1日平均外来新患者数	11
2.入　院	
1）入院患者統計	12
2）科別・月別1日平均入院患者数	12
3）病棟別・月別1日平均入院患者数	12
3.救　急	
1）月別救急搬送件数	13
2）救急搬送人数 年齢別・性別分布	14
3）救急搬送件数分布	15
病 歴 統 計	16
1）科別退院患者数	18
2）死亡退院患者統計	19
3）疾病分類＜大分類＞科別	20
4）疾病分類＜中分類＞	21
診 療 部	24
内　　科	26
循環器内科（カテーテル部門）	33
消化器内科	34
呼吸器内科	35
腫 瘍 内 科	36
血管透析科	38
腎 臓 内 科	42
糖尿病・代謝内科	43
脳神経内科	45
内分泌内科	46
膠原病リウマチ内科	48
小　児　科	50
放 射 線 科（診療部）	52
救　急　科	53
外　　科	55
整 形 外 科	57
脳神経外科	60
心臓血管外科・心臓血管センター	62
形成外科・美容外科	65
呼吸器外科	67
小 児 外 科	68
歯科・歯科口腔外科	71
泌 尿 器 科	73
眼　　科	75
麻　酔　科	77
肝臓センター	79
皮　膚　科	83
婦　人　科	84
耳鼻咽喉科	86
病理診断科	88
副 診 療 部	90
薬　剤　部	92
放 射 線 科	95
臨床検査科	97
リハビリテーション科	100
（理学療法・作業療法・言語聴覚療法・心臓リハビリテーション）	
臨床心理科	106
臨床工学科	108
栄　養　科	117
治験センター	120
医療福祉相談室（MSW 医療ソーシャルワーカー）	122
病診連携室	126
健診センター	136
情報システム管理室	138
保　育　室	140
がん相談支援センター	143
医療安全管理部	146
臨床腫瘍センター	150
看 護 部	152
4階東　5階西	154
5階東　6階西	155
6階東　7階西　7階東	156
8階西　8階東　ＩＣＵ	157
ＨＣＵ　外来・ＥＲ	158
手術室　透析室	159
退院調整チーム　入退院支援	160
保健指導	161
委 員 会	168
呼吸ケアチーム（RST）	170
院内感染対策委員会（ICT）	171
褥瘡対策委員会	175
研修管理委員会	176
栄養サポートチーム（NST）	179
緩和ケアチーム	181
がん緩和支援委員会	182
関 連 施 設	184
八尾徳洲会介護センター	186
よろこび訪問看護介護センター	190
よろこび訪問看護ステーション	191
介護老人保健施設 八尾徳洲苑	194
八尾徳洲苑介護センター	202
特別養護老人ホーム久宝寺愛の郷	204
学 術 業 績	208
学会発表	210
学術論文	214

Yao
Tokushukai
General Hospital

理　　念

1. 生命を安心して預けられる病院
2. 健康と生活を守る病院

基本方針

1.『年中無休・24 時間オープン』で救急医療を提供します。
2. 患者様からの贈り物は一切受け取りません。
3. 医療技術・診療態度の向上に絶えず努力します。

患者様の権利

当院は次の項目について患者様の権利を尊重した医療を提供しています。

1. いつでも安全で良質な医療を受ける事が出来ます。
2. 医療についての説明を受け、医療行為を選択する権利があります。
3. 継続して一貫した医療を受ける事が出来ます。
4. プライバシーが守られ、個人の尊厳が保たれています。
5. 医療の情報について常に提供を受け健康教育や講演を受ける事が出来ます。
6. 生活の質と環境に配慮した医療の提供を受ける事が出来ます。

ご　挨　拶

八尾徳洲会総合病院　院長　原田　博雅

いつも当院の診療に御支援いただき感謝申し上げます。

この度、2021 年八尾徳洲会総合病院年報を発刊することができました。

2021 年も昨年に続き、パンデミックの一年でした。当院も新型コロナウイルス感染症が最優先事項として病院を運営せざるを得ない状態でした。多くの患者様の診断治療を行いました。軽症中等症のみならず、人工呼吸を行う必要のある重症者も積極的に対応しました。人工呼吸のみならず ECMO も積極的に導入しました。残念ながら救命できなかった方も多数います。職員にも感染者が出ました。感染された患者様の数が圧倒的に多く、特に夏以後、当院の入院可能な患者様よりはるかに多くの患者様が八尾や八尾周辺の地域で発生し、入院をお断りせざるを得ない状態が続きました。そのため、一般の救急の患者様も断らざるを得ない状況が発生し、多大な影響を地域医療に対して与えることとなりました。

新型コロナワクチンの接種も病院の事業として、最初から積極的に対応して来ました。コロナ感染が存在する限り、ワクチン接種が必要とされる限り、当院としてはワクチン接種を行う方針です。

私達はこのパンデミックに対して、病院を挙げて出来る限りの努力を行ってきました。この感染症が収束に向かうことを願いつつ、地域の状況を見ながら、今後も柔軟に対応していきたいと思います。

2021 年手術数が増加したこともあり、またパンデミック対応のためもあり、陰圧の手術室を作りました。現在手術室 8 室を運用しています。同時にハイブリッド手術室も稼働させることができ、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科で利用しています。より安全でより正確な手術を行う環境を整えることができました。結果としてパンデミックの中でも各科手術数は順調に増加しています。

今後医師の働き方改革の期限が迫る中、その対応にも力を注がなければなりません。本誌を閲覧いただきました皆様方のさらなるご協力をお願い申し上げます。

概要

創　　立	1978 年 7 月 1 日
病 院 長	原田　博雅
職 員 数	931 名（2019.12.31 現在）
診療科目	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、肝臓内科、糖尿病・代謝内科、緩和ケア内科、腫瘍内科、内分泌内科、脳神経内科、心療内科、精神科、リウマチ科、血管透析内科、腎臓内科、皮膚科、小児科、救急科、放射線科、外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、肝臓外科、乳腺外科、小児外科、形成外科、美容外科、泌尿器科、眼科、麻酔科、歯科・歯科口腔外科、耳鼻咽喉科、婦人科、リハビリテーション科、病理診断科
関連施設	介護老人保健施設　八尾徳洲苑 八尾徳洲苑介護センター よろこび訪問看護ステーション よろこび訪問看護介護センター 八尾徳洲会介護センター（居宅介護支援事業所） 特別養護老人ホーム　久宝寺愛の郷 八尾市地域包括支援センター　久宝寺愛の郷
1 日平均外来患者数	782.8名（2020年）
1 日平均入院患者数	373.0名（2020年）

沿革

1978年 7 月	開院　　許可病床数　250床
1979年 7 月	三基準取得　看護・給食・寝具
1980年 10 月	西館増築　許可病床数　350床
1986年 4 月	東館・西館改修　許可病床数　335床
1989年 9 月	新館増築　許可病床数　415床
1992年 9 月	基準看護　特Ⅰ類取得
1994年 7 月	基準看護　特Ⅱ類取得
9 月	総合病院認可　心臓血管外科開設
1995年 7 月	新看護2.5：1（A）　10：1看護補助の承認
9 月	デイケア開設
1996年 5 月	病院管理棟増築
11 月	よろこび訪問看護ステーション開設
1998年 2 月	日帰り手術センター開設
3 月	歯科・歯科口腔外科開設
4 月	ER（救急総合診療部）開設　　臨床研修指定病院指定
12 月	老人保健施設　八尾徳洲苑（100床）開設
2000年 4 月	よろこび訪問看護介護センター開設
	八尾徳洲会介護センター開設
2001年 4 月	病児保育（八尾市委託）
12 月	ICU施設取得（6床）
2002年 4 月	心臓疾患リハビリテーション施設開設
2003年 1 月	日本医療機能評価機構取得
3 月	睡眠障害センター開設
10 月	2：1看護取得
	電子カルテ導入
2004年 3 月	駐車場増設
4 月	医療安全管理部設置
6 月	亜急性病床開設（12床）
2005年 3 月	新病院用土地の取得
2006年 6 月	DPC導入
10 月	健診センター開設
11 月	治験センター開設
2007年 6 月	プライバシーマーク制度（JISQ.15001.1999）取得
	新病院建設開始
12 月	日本医療機能評価機構Ver.5受審
2008年 1 月	日本医療機能評価機構Ver.5取得
2009年 1 月	高規格救急車導入
8 月	新病院移転
11 月	エンゼル保育室新病院内移転
2010年 3 月	HCU施設基準取得（4：1）
4 月	大阪府がん診療拠点病院認可
2011年 4 月	大動脈センター・美容外科開設
2011年 8 月	肝臓センター開設
9 月	一般7：1入院基本料取得
10 月	小児外科開設
2012年 11 月	放射線治療開始
	日本医療機能評価機構Ver.6受審
2013年 1 月	日本医療機能評価機構Ver.6取得
9 月	卒後臨床研修評価機構認定
2014年 9 月	特別養護老人ホーム久宝寺愛の郷開設
2015年 5 月	創傷ケアセンター開設
2017年 4 月	八尾市地域包括支援センター　久宝寺愛の郷開設
2018年 2 月	日本医療機能評価機構3rdG.Ver1.1受審
2020年 11 月	JCI認証取得

教育認定施設の指定状況

厚生労働省基幹型臨床研修病院
日本内科学会認定医制度教育病院
日本呼吸器学会認定施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本心血管インターベンション治療学会研修施設
日本消化器病学会認定医制度研修施設
日本消化器内視鏡学会指導施設
日本神経内科学会認定准教育施設
日本糖尿病学会認定教育施設
日本プライマリ・ケア連合学会認定家庭医療後期研修プログラム研修施設
日本病院総合診療医学会認定施設
日本透析医学会専門医制度教育関連施設
日本肝臓学会認定関連施設
日本臨床腫瘍学会認定研修施設
日本外科学会専門医制度修練施設
日本消化器外科学会専門医制度専門医修練施設
日本小児外科学会教育関連施設
日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
日本乳癌学会関連施設認定
日本乳癌オンコプラススティックサージャリー学会インプラント実施施設認定
日本がん治療認定医機構認定研修施設
三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
日本成人心臓血管外科手術データベース機構認定施設
日本ステントグラフト実施基準管理員会 腹部・胸部ステントグラフト実施施設
浅大腿動脈ステントグラフト実施基準管理委員会　浅大腿動脈ステントグラフト実施施設
日本救急医学会救急科専門医指定施設
日本集中治療医学会専門医研修施設
日本整形外科学会認定医制度研修施設
日本手外科学会研修施設
日本脳神経外科学会専門医認定制度研修プログラム研修施設
日本脳卒中学会認定研修教育病院
日本形成外科学会認定施設
日本眼科学会専門医制度認定研修施設
日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関（画像診断・IVR・核医学）
日本インターベンショナルラジオロギー学会専門医修練認定施設
日本麻酔科学会麻酔科認定病院
日本心臓血管麻酔学会心臓血管麻酔専門医認定施設
日本病理学会研修認定施設
日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設
日本臨床栄養代謝学会認定教育施設
日本高血圧学会研修施設Ⅰ
日本臨床細胞学会教育研修施設
日本栄養療法推進協議会認定NST稼働施設
日本静脈経腸栄養学会NST専門療法士実地修練認定教育施設
日本医療薬学会教育研修施設
日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設

機関特定

保険医療機関
救急告示病院
結核指定医療機関
被爆者一般疾病医療機関
母体保護法指定医療機関
生活保護法指定医療機関
労災保険指定医療機関
公害医療機関
指定自立支援医療機関
（更正医療、育保医療、精神通院医療）
身体障害者福祉法指定医（肢体不自由、視覚障害、じん臓機能障害、肝臓機能障害、心臓機能障害、呼吸器機能障害、膀胱・直腸機能障害、小腸機能障害）
音声・言語機能障害、そしゃく機能障害
大阪府肝炎専門医療機関
大阪府がん診療拠点病院

高度医療機器設備

MRI（磁気共鳴画像装置）
64列CT
320列CT
DSA（デジタルサブトラクション血管撮影装置）
CAG（心血管撮影装置）
RI（核医学診断装置）
ESWL（体外衝撃波結石破砕装置）
各種内視鏡機器装置
マイクロサージャリー（顕微鏡下手術）
放射線治療装置（リニアック）
医療用ナビゲーションシステム
光干渉式眼軸長測定装置
光干渉断層計（OCT）
ハイブリッド手術室対応多軸透視・撮影装置
ダヴィンチ（手術支援ロボット）

許可施設基準

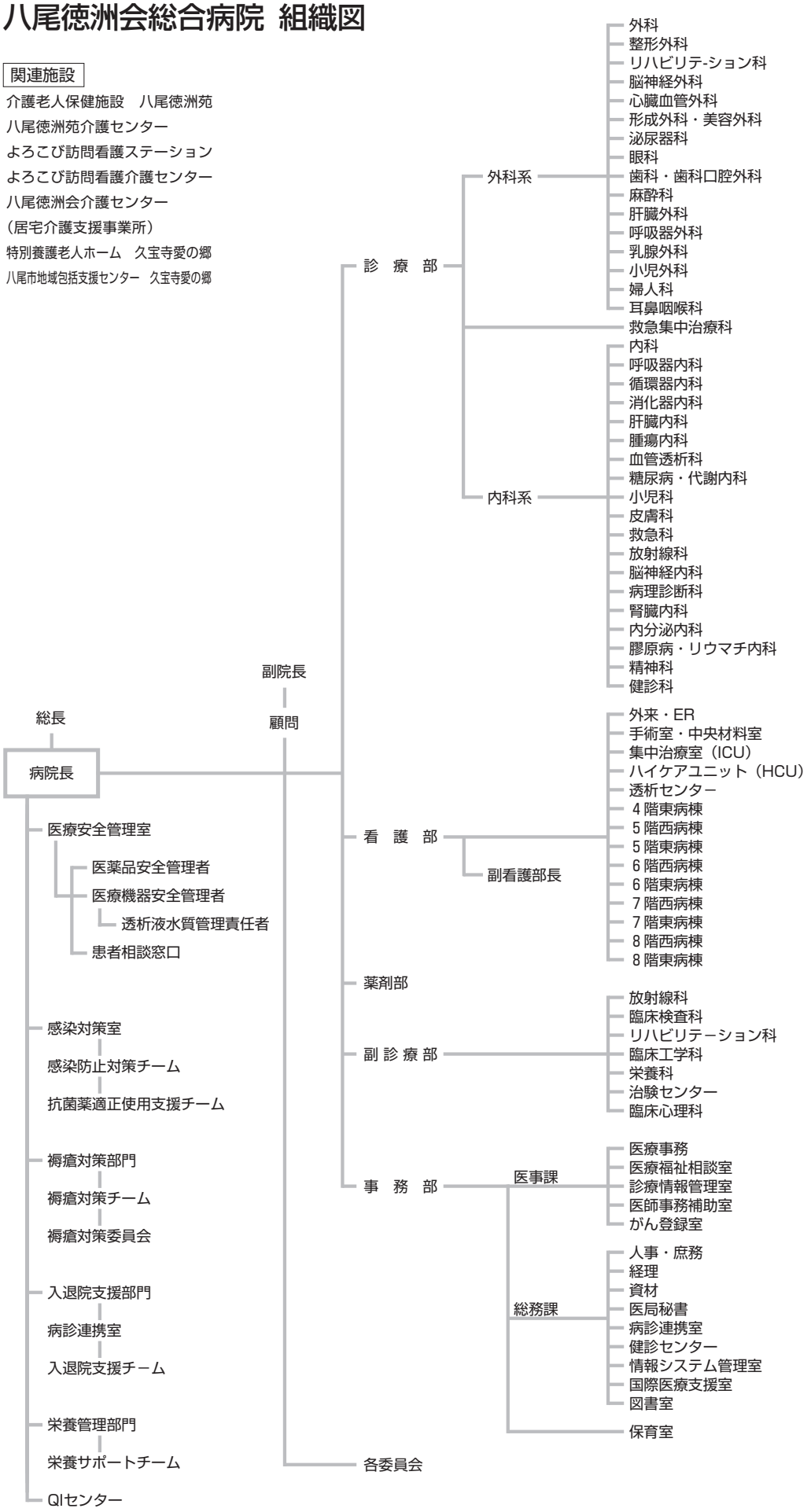
入院時食事療養/生活療養(I)
地域歯科診療支援病院歯科初診料
歯科外来診療環境体制加算
歯科診療特別対応連携加算
一般病棟入院基本料(7対1)
臨床研修病院入院診療加算
救急医療管理加算
超急性期脳卒中加算
診療録管理体制加算1
医師事務作業補助体制加算(15対1)
急性期看護補助体制加算
療養環境加算
重傷者等療養環境特別加算
栄養サポートチーム加算
医療安全対策加算1
感染防止対策加算1
感染防止対策地域連携加算
入退院支援加算
救急搬送患者地域連携紹介加算
救急搬送患者地域連携受入加算
呼吸ケアチーム加算
病棟薬剤業務実施加算
データ提出加算2
特定集中治療室管理料1
ハイケアユニット入院医療管理料1
糖尿病合併症管理料
がん性疼痛緩和指導管理料
がん患者指導管理料イ・ロ・ハ
糖尿病透析予防指導管理料
院内トリアージ実施料
夜間休日救急搬送医学管理料
救急搬送看護体制加算1
ニコチン依存症管理料
開放型病院共同指導料
地域連携診療計画管理料
がん治療連携計画策定料
肝炎インターフェロン治療計画料
薬剤管理指導料
医療機器安全管理料1
歯科治療総合医療管理料
在宅患者訪問看護・指導料3
同一建物居住者訪問看護・指導料3
検体検査管理加算(Ⅳ)
植込型心電図検査
時間内歩行試験
ヘッドアップティルト試験
神経学的検査
コンタクトレンズ検査料1
小児食物アレルギー負荷検査
センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る)
画像診断管理加算1
CT撮影及びMRI撮影
冠動脈CT撮影加算
心臓MRI撮影加算
抗悪性腫瘍剤処方管理加算
悪性腫瘍病理組織標本加算
外来化学療法加算1
無菌製剤処理料
心大血管疾患リハビリテーション料(I)
脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
運動器リハビリテーション料(I)
呼吸器リハビリテーション料(I)
がん患者リハビリテーション料
認知療法・認知行動療法
歯科口腔リハビリテーション料2
処置の休日加算1、時間外加算1及び深夜加算1
透析液水質確保加算2
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む)及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
乳がんセンチネルリンパ節加算1、乳がんセンチネルリンパ節加算2
経皮的冠動脈形成術
経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
経皮的冠動脈ステント留置術
心臓ペースメーカー指導管理科及び遠隔モニタリング加算
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
経皮的大動脈遮断術
経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
ダメージコントロール手術
腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術及び腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術
腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
腹腔鏡下肝切除術
腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む)に掲げる手術
手術の休日加算1及び深夜加算1
輸血管理料I
輸血適正使用加算
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
麻酔管理料(I)
放射線治療専任加算
高エネルギー放射線治療
1回線量増加加算
クラウン・ブリッジ維持管理料
後発医薬品使用体制加算1
精神疾患診療体制加算
認知症ケア加算2
地域医療体制確保加算
せん妄ハイリスク患者ケア加算
病理診断管理加算2/口腔病理診断管理加算2
HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
在宅療養後方支援病院
在宅経肛門的自己洗腸指導管理科
後縦靱帯骨化症手術 (前方進入によるもの)
人工腎臓/導入期加算1
在宅腫瘍治療電場療法指導管理科
連携充実加算
外来放射線照射診療科
総合機能評価加算
歯根端切除術の注3
胸腔鏡下弁形成術/胸腔鏡下弁置換術

2022年1月1日 現在

八尾徳洲会総合病院 組織図

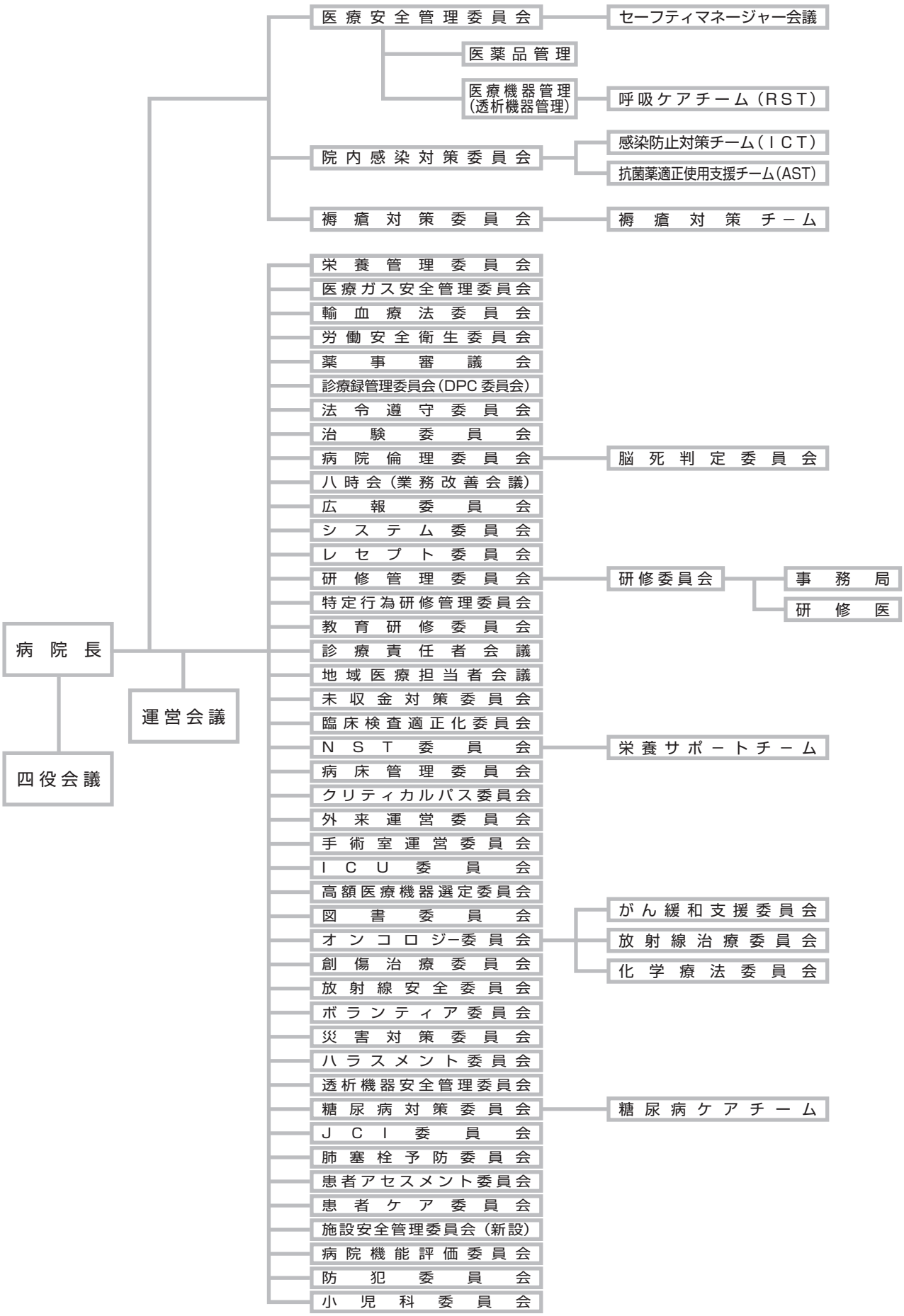
関連施設

介護老人保健施設　八尾徳洲苑
八尾徳洲苑介護センター
よろこび訪問看護ステーション
よろこび訪問看護介護センター
八尾徳洲会介護センター
（居宅介護支援事業所）
特別養護老人ホーム　久宝寺愛の郷
八尾市地域包括支援センター　久宝寺愛の郷



八尾徳洲会総合病院 委員会組織図

2022年1月1日 現在



患　者　統　計

―― 2021年 ――

1．外　来

1）外来患者統計　10
2）科別・月別外来患者数　10
3）1 日平均外来患者数　11
4）1 日平均外来新患者数　11

2．入　院

1）入院患者統計　12
2）科別・月別 1 日平均入院患者数　12
3）病棟別・月別 1 日平均入院患者数　12

3．救　急

1）月別救急搬送件数　13
2）救急搬送人数　年齢別・性別分布　14
3）救急搬送件数分布　15

1.外 来

1）外来患者統計

①1日平均患者数　②1ヶ月総患者数　③1日平均新患者数

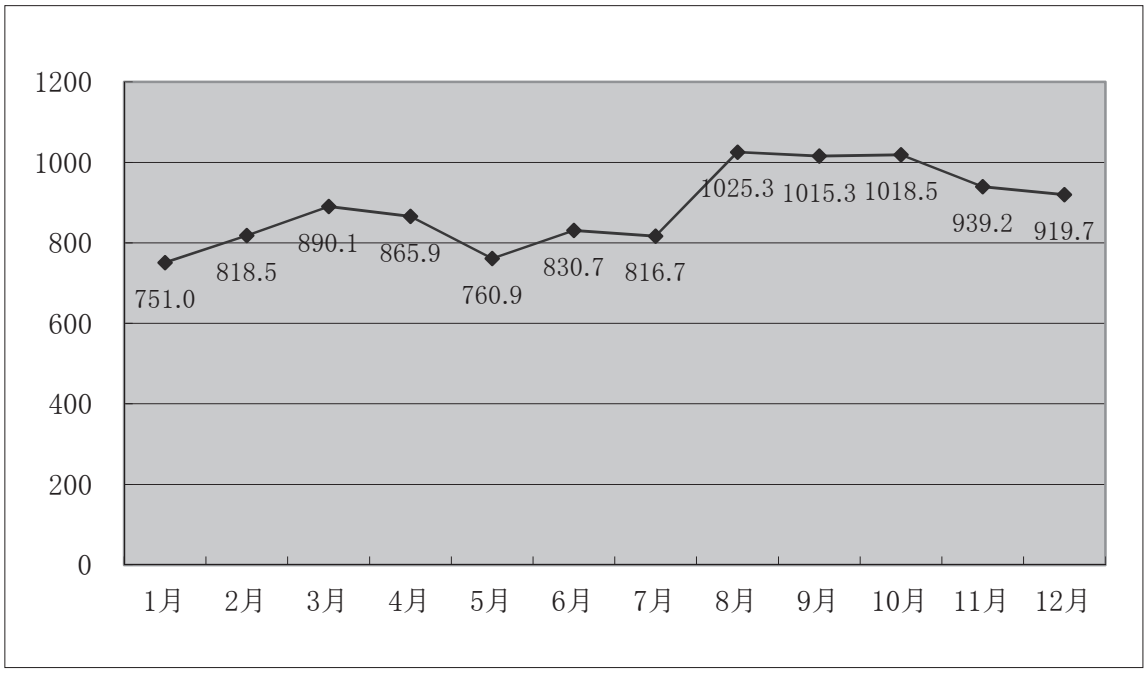
外来	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
①	751.0	818.5	890.1	865.9	760.9	830.7	816.7	1,025.3	1,015.3	1,018.5	939.2	919.7	10,651.8	887.7
②	23,389	22,988	27,673	27,795	25,534	30,332	29,316	31,840	30,516	31,633	28,232	28,571	337,819	28,152
③	35.2	28.3	35.6	52.5	34.4	33.5	32.6	49.6	37.3	30.3	30.7	32.5	432.5	36.0

2）科別・月別外来患者数

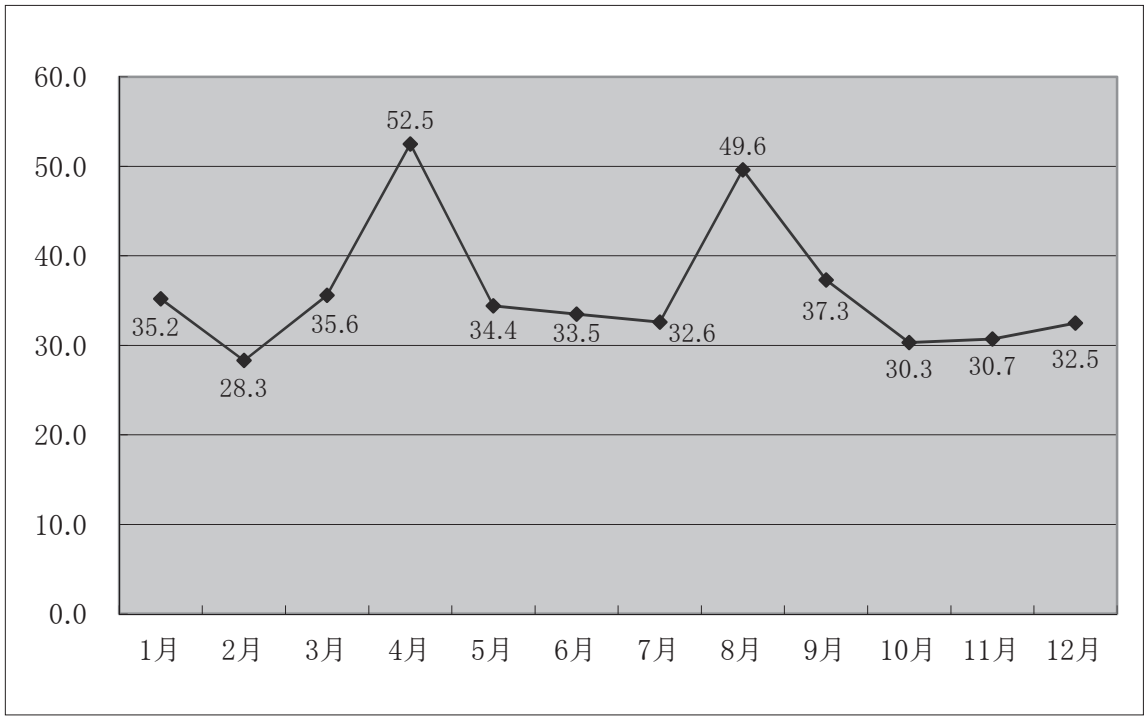
	内科	循環器科	外科	呼吸器外科	乳腺外科	小児外科	肝臓外科	肝臓内科	整形外科	心臓外科	眼科	脳神経外科	泌尿器科	形成外科	美容外科	放射線治療部	リハビリ外来
1月	7,727	1,286	1,242	170	70	113	502	224	2,466	331	1,092	929	1,128	516	0	253	103
2月	6,671	1,297	1,084	162	77	78	563	276	2,451	292	1,047	969	1,069	541	1	256	108
3月	8,474	1,670	1,346	165	78	131	656	329	2,896	344	1,301	1,254	1,311	654	0	267	105
4月	9,212	1,550	1,375	176	77	100	689	47	2,631	328	1,053	1,081	1,254	531	0	258	90
5月	7,626	1,394	1,181	173	69	77	662	46	2,458	275	932	1,031	1,087	414	0	222	86
6月	7,813	1,471	1,291	184	76	80	700	26	2,595	363	976	1,232	1,252	537	0	220	88
7月	7,892	1,468	1,253	182	97	114	661	23	2,690	363	932	1,147	1,281	559	0	278	90
8月	9,209	1,694	1,272	180	85	117	672	7	2,787	346	932	1,113	1,274	587	0	275	87
9月	8,576	1,744	1,352	173	105	96	698	12	2,671	367	1,002	1,224	1,311	498	0	382	89
10月	7,719	1,651	1,489	174	126	100	717	7	2,837	384	1,149	1,155	1,333	535	0	310	99
11月	7,746	1,658	1,422	181	109	82	704	7	2,870	390	1,075	1,099	1,331	570	0	262	102
12月	8,034	1,804	1,454	215	119	103	697	3	2,989	361	1,078	1,159	1,502	578	0	265	86
合計	96,699	18,687	15,761	2,135	1,088	1,191	7,921	1,007	32,341	4,144	12,569	13,393	15,133	6,520	1	3,248	1,133
平均	8,058.3	1,557.3	1,313.4	177.9	90.7	99.3	660.1	83.9	2,695.1	345.3	1,047.4	1,116.1	1,261.1	543.3	0.1	270.7	94.4

	人工透析	歯科口腔外科	皮膚科	小児科	婦人科	耳鼻咽喉科	リウマチ科	検診	人間ドック	膠原病	訪問看護	創傷治療センター	ストーマ外来	腫瘍内科	心療内科	精神科	ｺﾛﾅﾜｸﾁﾝ患者数	合計
1月	958	885	362	461	287	333	0	753	557	191	110	94	11	235	0	0	0	23,389
2月	883	940	373	515	329	331	0	1,430	550	214	70	144	14	253	0	0	0	22,988
3月	1,005	1,173	516	810	371	404	0	1,037	577	241	81	159	7	311	0	0	0	27,673
4月	910	971	417	667	270	386	0	629	506	288	67	155	7	319	0	0	1,751	27,795
5月	858	929	385	646	283	319	0	1,295	518	241	60	132	9	248	1	0	1,877	25,534
6月	905	1,139	487	738	368	365	0	652	643	303	65	141	6	267	0	2	5,347	30,332
7月	890	1,151	445	707	356	346	0	428	1,271	300	55	140	5	248	0	0	3,944	29,316
8月	921	1,160	407	634	388	388	0	1,460	562	299	59	149	5	270	0	4	4,497	31,840
9月	924	1,124	448	619	397	336	0	864	630	337	58	122	4	289	0	0	4,064	30,516
10月	943	1,180	499	798	379	408	0	578	848	339	60	140	6	275	0	0	5,395	31,633
11月	944	1,183	453	1,009	372	347	1	480	1,845	294	59	166	5	277	0	0	1,189	28,232
12月	1,000	1,155	448	802	396	390	0	498	1,085	360	61	191	2	339	0	0	1,397	28,571
合計	11,141	12,990	5,240	8,406	4,196	4,353	1	10,104	9,592	3,407	805	1,733	81	3,331	1	6	29,461	336,686
平均	928.4	1,082.5	436.7	700.5	349.7	362.8	0.1	842.0	799.3	283.9	67.1	144.4	6.8	277.6	0.1	0.5	2,455.1	28,151.6

3）1日平均外来患者数



4）1日平均外来新患者数



2. 入　院

1）入院患者統計

①1日平均患者数　②1カ月総患者数　③平均在院日数　④病床稼動率

入院	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	月平均
①	371.2	375.4	374.1	366.1	362.0	365.1	374.5	376.1	375.8	375.7	368.7	362.2	4446.7	370.6
②	11,506	10,511	11,598	10,982	11,222	10,952	11,609	11,660	11,273	11,647	11,060	11,227	135,247	11,271
③	12.88	13.76	12.40	11.85	14.62	12.98	12.93	12.75	12.50	11.79	12.14	11.26	151.86	12.66
④	96.1	97.0	97.3	95.7	93.2	94.8	97.3	97.6	94.6	98.4	96.1	95.4	1153.4	96.1

2）科別・月別1日平均入院患者数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	月平均
内科	152.10	161.43	150.26	147.17	146.06	130.50	133.00	141.87	135.57	131.03	122.57	122.55	1674.11	139.51
循環器内科	18.42	15.14	20.71	21.33	21.19	39.37	38.23	39.42	36.20	35.03	38.73	36.71	360.48	30.04
外科	41.29	41.89	46.16	35.73	39.52	48.30	44.68	38.06	46.80	50.26	48.27	35.39	516.35	43.03
肝臓センター	18.74	17.71	17.52	17.37	19.32	17.03	20.26	18.29	18.00	19.26	20.37	17.90	221.77	18.48
整形外科	47.71	46.86	40.48	36.63	40.90	32.50	40.81	43.06	42.47	37.90	41.80	45.23	496.35	41.36
脳神経外科	45.45	39.93	36.87	41.60	39.48	42.37	38.94	39.42	35.93	34.32	34.47	36.87	465.65	38.80
泌尿器科	5.32	6.29	6.00	6.03	5.00	6.13	8.35	5.97	6.53	7.94	9.80	10.35	83.71	6.98
婦人科	1.52	1.25	0.94	1.97	1.29	2.17	1.48	1.55	2.43	2.06	2.17	1.61	20.44	1.70
小児科	0.16	0.32	0.65	0.70	0.39	1.50	0.61	0.29	0.23	0.61	0.57	0.42	6.45	0.54
眼科	1.90	1.32	2.90	2.30	1.84	1.47	1.81	1.55	1.93	2.35	2.60	2.65	24.62	2.05
形成外科	13.65	16.32	22.58	25.37	20.55	16.30	12.03	14.00	15.70	14.94	14.37	16.26	202.07	16.84
心臓外科	16.39	17.57	17.23	19.70	15.19	17.23	20.10	15.55	21.97	21.84	16.97	22.71	222.45	18.54
耳鼻咽喉科	0.39	0.18	0.52	0.27	0.65	0.77	0.00	1.16	0.40	0.16	0.07	0.39	4.96	0.41
皮膚科	0.00	0.11	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.65	0.86	0.07
口腔外科	3.32	3.61	3.52	4.13	4.55	3.67	5.10	4.35	5.00	6.68	5.27	4.03	53.23	4.44
腎臓内科	4.81	5.46	7.71	5.77	6.06	5.77	9.10	11.58	6.60	11.32	10.67	8.45	93.30	7.78
合計	371.2	375.4	374.1	366.1	362.0	365.1	374.5	376.1	375.8	375.7	368.7	362.2	4446.8	370.6

3）病棟別・月別1日平均入院患者数

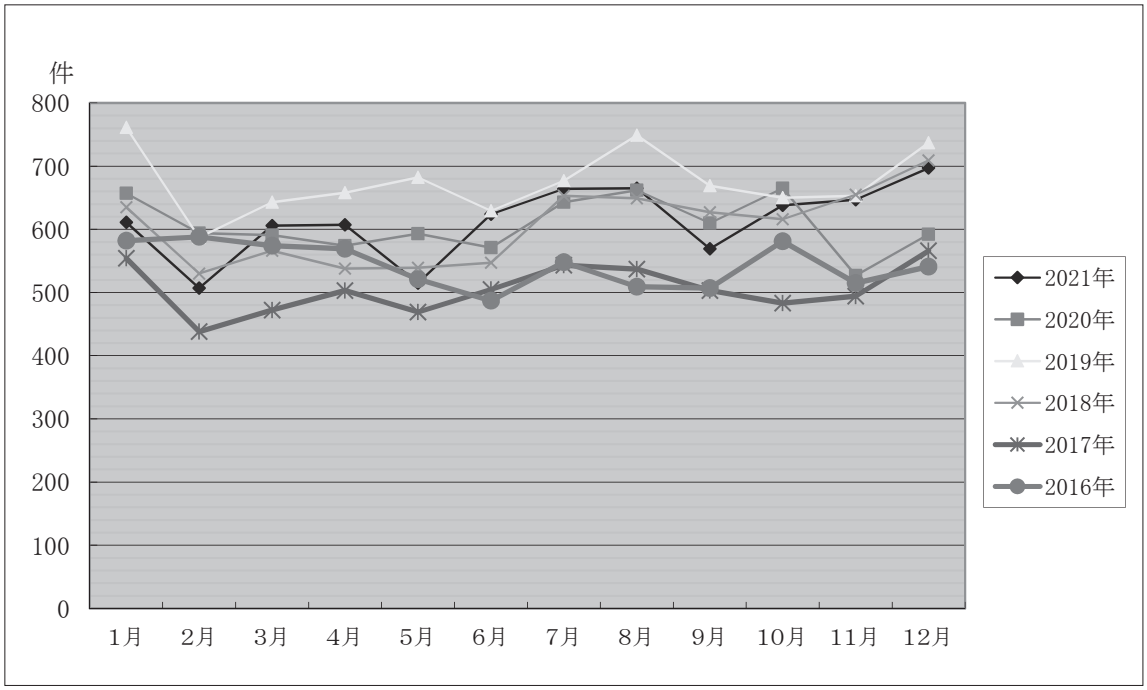
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	月平均
ICU	7.26	7.18	6.03	6.50	7.23	6.73	5.97	6.81	6.87	5.19	5.17	5.00	75.94	6.33
HCU	16.87	16.96	16.00	15.13	13.97	13.17	13.55	13.42	14.73	13.29	12.33	12.52	171.94	14.33
4東	44.03	43.11	43.94	42.67	42.23	42.77	43.06	43.23	43.07	42.35	40.03	39.10	509.59	42.47
5東	41.90	43.14	43.19	42.83	41.45	41.40	43.06	42.45	41.90	42.32	41.33	41.10	506.07	42.17
5西	38.45	38.61	38.65	38.10	37.35	38.23	38.52	38.58	38.77	39.13	38.30	35.81	458.50	38.21
6東	38.61	41.50	41.74	40.77	39.74	40.80	40.42	41.29	41.53	41.39	38.67	39.32	485.78	40.48
6西	43.10	43.93	42.81	41.37	41.16	40.10	43.13	44.00	43.13	43.48	41.73	43.26	511.20	42.60
7東	40.03	42.57	42.87	39.97	42.10	42.00	42.35	43.68	43.90	43.74	42.90	39.16	505.27	42.11
7西	43.58	43.46	43.68	41.93	43.19	43.73	43.16	44.52	44.17	44.35	43.43	42.71	521.91	43.49
8東	38.23	38.43	38.10	37.70	32.58	38.33	38.35	38.52	38.47	38.16	38.17	36.74	451.78	37.65
8西	19.10	16.50	17.13	19.10	21.00	17.80	22.90	19.65	19.23	22.29	26.60	27.45	248.75	20.73
総計	371.2	375.4	374.1	366.1	362.0	365.1	374.5	376.1	375.8	375.7	368.7	362.2	4446.8	370.6

3. 救　急

1）月別救急搬送件数

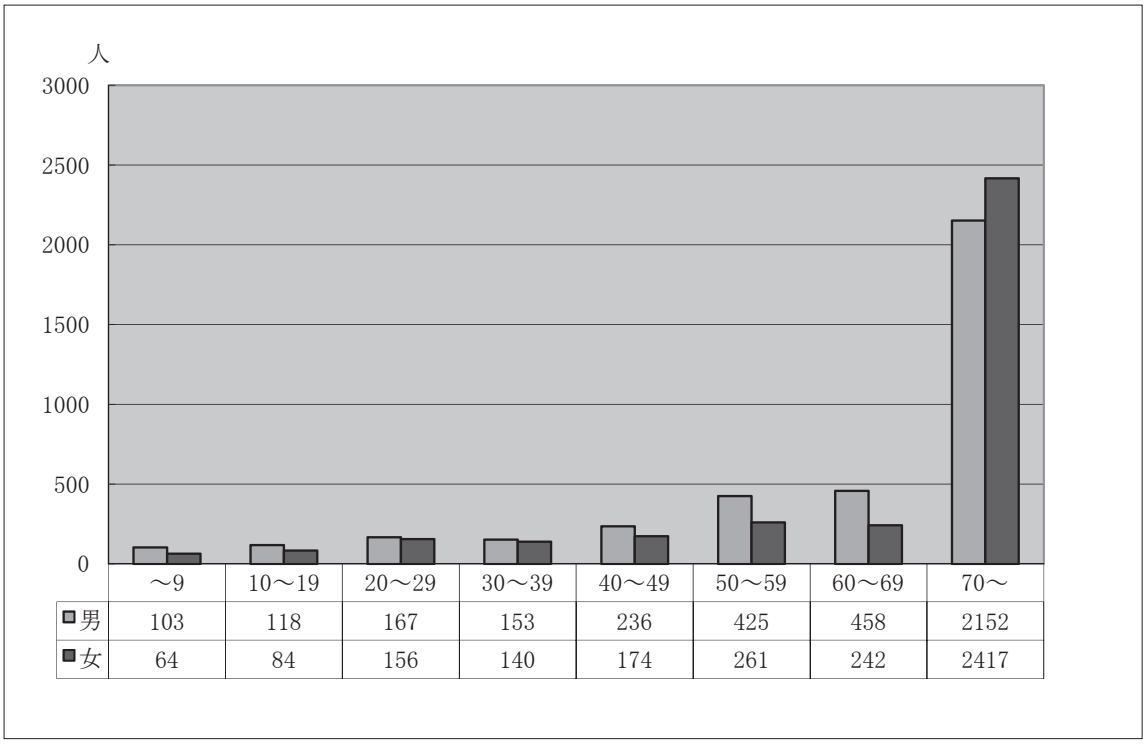
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
2021年	611	507	606	607	515	624	664	665	569	638	647	697	7,350	612.5
2020年	657	594	591	574	593	571	643	662	610	665	527	592	7,279	606.6
2019年	761	587	643	658	682	629	677	749	669	650	653	737	8,095	674.6
2018年	635	530	566	538	539	547	653	649	627	616	655	709	7,264	605.3
2017年	554	438	472	503	469	505	543	537	503	483	494	566	6,067	505.6
2016年	582	588	574	569	521	487	548	509	507	581	515	541	6,522	543.5

《救急搬送件数》



2）救急搬送人数　年齢別・性別分布

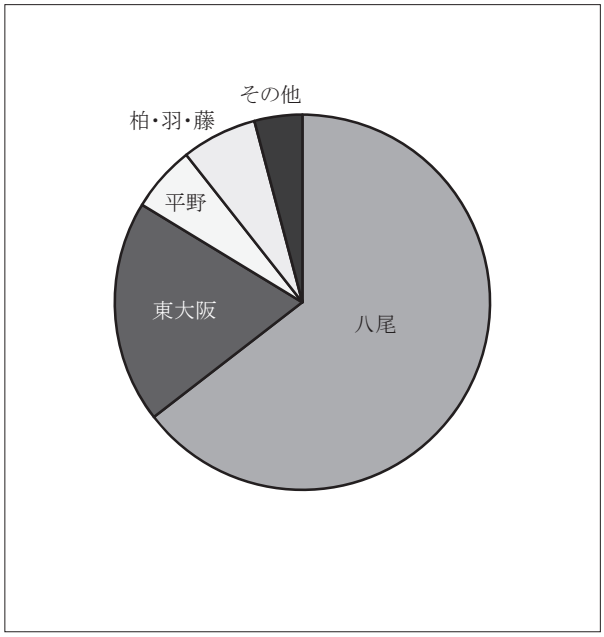
年齢	性別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	総合計
0～9歳	男	6	4	8	9	13	9	8	14	8	9	9	6	103	167
	女	4	5	0	4	6	5	4	6	6	13	7	4	64	
10～19歳	男	6	5	7	9	11	17	18	5	8	10	12	10	118	202
	女	6	6	6	6	7	12	9	11	7	5	6	3	84	
20～29歳	男	18	11	16	13	18	11	14	18	18	13	6	11	167	323
	女	13	8	15	11	10	13	18	15	13	13	14	13	156	
30～39歳	男	9	11	13	14	8	18	16	19	19	7	13	6	153	293
	女	12	10	7	13	10	15	13	14	8	10	21	7	140	
40～49歳	男	20	15	22	14	17	20	17	26	16	19	19	31	236	410
	女	7	12	15	18	13	15	23	20	12	10	17	12	174	
50～59歳	男	27	23	37	42	33	42	47	50	30	33	20	41	425	686
	女	26	14	22	25	14	26	17	26	23	24	27	17	261	
60～69歳	男	33	28	41	45	44	29	44	32	34	44	43	41	458	700
	女	15	17	15	22	13	22	22	24	22	24	23	23	242	
70歳以上	男	193	186	178	170	139	176	175	166	154	189	202	224	2,152	4,569
	女	216	152	204	192	159	194	219	219	191	215	208	248	2,417	
合計	男	312	283	322	316	283	322	339	330	287	324	324	370	3,812	7,350
	女	299	224	284	291	232	302	325	335	282	314	323	327	3,538	



	～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～
男	103	118	167	153	236	425	458	2152
女	64	84	156	140	174	261	242	2417

3）救急搬送件数分布

	八尾市	東大阪市	平野	柏原･羽曳野･藤井寺	その他	合計
1月	357	122	49	50	33	611
2月	333	87	34	38	15	507
3月	400	118	31	37	20	606
4月	399	120	34	29	25	607
5月	332	106	25	33	19	515
6月	406	120	38	39	21	624
7月	447	115	32	45	25	664
8月	429	127	39	30	40	665
9月	367	125	21	22	34	569
10月	410	123	34	43	28	638
11月	416	119	39	56	17	647
12月	447	127	41	56	26	697
合計	4,743	1,409	417	478	303	7,350



	件数	%
八尾	4,743	64.5%
東大阪	1,409	19.2%
大阪市（平野）	417	5.7%
柏原･羽曳野･藤井寺	478	6.5%
その他	303	4.1%
合計	7,350	100.0%

単位：件

病　歴　統　計

―― 2021年 ――

1．科別退院患者数　18

2．死亡退院患者統計　19

3．疾病分類＜大分類＞科別　20

4．疾病分類＜中分類＞　21

1. 科別退院患者数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
内　科	193	178	208	168	164	177	182	175	173	202	177	241	2,238	186.5
男	110	96	116	86	77	92	103	89	92	114	89	119	1,183	98.6
女	83	82	92	82	87	85	79	86	81	88	88	122	1,055	87.9
循環器内科	119	91	134	124	118	112	136	134	145	153	116	135	1,517	126.4
男	86	69	98	96	82	78	93	100	111	121	84	91	1,109	92.4
女	33	22	36	28	36	34	43	34	34	32	32	44	408	34.0
外　科	96	84	80	104	69	104	96	87	96	126	113	106	1,161	96.8
男	60	48	45	61	42	58	62	49	61	70	61	66	683	56.9
女	36	36	35	43	27	46	34	38	35	56	52	40	478	39.8
心臓血管外科	18	28	25	36	18	23	32	25	27	34	26	27	319	26.6
男	13	20	16	27	14	15	20	14	17	21	23	12	212	17.7
女	5	8	9	9	4	8	12	11	10	13	3	15	107	8.9
脳神経外科	79	63	63	82	63	80	67	81	81	68	62	84	873	72.8
男	42	30	35	52	36	51	40	51	47	42	32	50	508	42.3
女	37	33	28	30	27	29	27	30	34	26	30	34	365	30.4
整形外科	79	71	83	72	74	70	72	76	86	81	93	90	947	78.9
男	31	29	38	35	23	26	25	29	34	25	46	41	382	31.8
女	48	42	45	37	51	44	47	47	52	56	47	49	565	47.1
泌尿器科	27	40	38	42	30	21	40	36	26	47	46	64	457	38.1
男	19	34	25	34	26	13	31	24	17	37	37	48	345	28.8
女	8	6	13	8	4	8	9	12	9	10	9	16	112	9.3
形成外科	15	14	19	28	19	21	19	24	22	25	17	29	252	21.0
男	6	7	10	17	12	15	15	12	11	12	6	23	146	12.2
女	9	7	9	11	7	6	4	12	11	13	11	6	106	8.8
小児科	1	1	2	6	1	8	5	3	1	5	4	4	41	3.4
男	0	0	0	2	1	4	4	1	1	1	2	2	18	1.5
女	1	1	2	4	0	4	1	2	0	4	2	2	23	1.9
眼　科	39	27	42	44	23	24	28	24	25	38	40	41	395	32.9
男	15	11	17	14	10	13	17	8	13	14	16	17	165	13.8
女	24	16	25	30	13	11	11	16	12	24	24	24	230	19.2
耳鼻咽喉科	5	1	5	4	2	6	0	6	3	3	1	1	37	3.1
男	2	1	3	2	0	2	0	4	1	1	0	0	16	1.3
女	3	0	2	2	2	4	0	2	2	2	1	1	21	1.8
皮膚科	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0.2
男	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.1
女	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
腎臓内科	13	8	16	12	10	14	12	23	9	9	21	7	154	12.8
男	6	7	11	9	10	11	10	16	6	7	15	3	111	9.3
女	7	1	5	3	0	3	2	7	3	2	6	4	43	3.6
口腔外科	30	28	36	38	41	31	47	47	45	57	49	44	493	41.1
男	16	14	21	17	18	15	19	14	24	32	19	23	232	19.3
女	14	14	15	21	23	16	28	33	21	25	30	21	261	21.8
肝臓外科	48	31	60	66	57	59	61	44	40	51	42	65	624	52.0
男	31	17	35	28	31	38	35	22	26	35	29	34	361	30.1
女	17	14	25	38	26	21	26	22	14	16	13	31	263	21.9
肝臓内科	6	12	1	0	0	0	0	0	4	4	0	1	28	2.3
男	4	7	1	0	0	0	0	0	2	3	0	1	18	1.5
女	2	5	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	10	0.8
小児外科	10	7	12	10	10	4	10	14	12	9	9	9	116	9.7
男	7	5	8	6	5	0	5	10	8	5	8	4	71	5.9
女	3	2	4	4	5	4	5	4	4	4	1	5	45	3.8
呼吸器外科	16	17	18	22	13	22	24	14	19	19	19	20	223	18.6
男	12	14	16	18	9	15	18	11	15	13	16	15	172	14.3
女	4	3	2	4	4	7	6	3	4	6	3	5	51	4.3
呼吸器内科	27	19	24	29	19	14	17	33	18	13	17	14	244	20.3
男	16	13	18	18	12	9	15	18	11	7	11	9	157	13.1
女	11	6	6	11	7	5	2	15	7	6	6	5	87	7.3
腫瘍内科	11	24	25	26	14	21	21	25	27	27	16	28	265	22.1
男	6	18	22	20	10	12	16	17	18	22	13	17	191	15.9
女	5	6	3	6	4	9	5	8	9	5	3	11	74	6.2
救急総合診療科	16	11	23	13	13	21	22	18	23	22	16	16	214	17.8
男	15	9	14	10	10	18	16	14	16	14	10	9	155	12.9
女	1	2	9	3	3	3	6	4	7	8	6	7	59	4.9
婦人科	14	9	9	12	9	13	11	11	15	14	14	14	145	12.1
合　計	862	764	924	938	767	845	903	900	897	1,007	898	1,040	10,745	895.4
男	497	449	549	552	428	485	545	503	531	596	517	584	6,236	519.7
女	365	315	375	386	339	360	358	397	366	411	381	456	4,509	375.8

2. 死亡退院患者統計

《科別》

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
内　科	32	40	32	29	31	29	19	33	29	25	35	37	371	30.9
男	19	23	20	14	21	16	13	21	19	19	24	22	231	19.3
女	13	17	12	15	10	13	6	12	10	6	11	15	140	11.7
救急総合診療科	4	2	5	4	3	10	6	4	4	7	4	0	53	4.4
男	4	1	4	3	3	8	3	3	4	7	3	0	43	3.6
女	0	1	1	1	0	2	3	1	0	0	1	0	10	0.8
外　科	7	5	4	5	3	4	8	3	5	6	12	5	67	5.6
男	6	2	2	3	2	3	7	2	3	3	9	5	47	3.9
女	1	3	2	2	1	1	1	1	2	3	3	0	20	1.7
心臓血管外科	0	1	1	0	0	4	2	0	3	4	1	2	18	1.5
男	0	0	1	0	0	2	1	0	3	2	1	1	11	0.9
女	0	1	0	0	0	2	1	0	0	2	0	1	7	0.6
脳神経外科	5	2	1	4	2	2	1	2	2	3	1	2	27	2.3
男	3	0	0	2	1	1	0	2	2	2	0	1	14	1.2
女	2	2	1	2	1	1	1	0	0	1	1	1	13	1.1
整形外科	2	1	1	2	0	1	1	0	1	1	1	3	14	1.2
男	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	2	7	0.6
女	1	1	0	1	0	1	1	0	0	1	0	1	7	0.6
泌尿器科	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	1	0	5	0.4
男	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1	0	4	0.3
女	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
形成外科	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	1	5	0.4
男	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	3	0.3
女	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	0.2
肝臓外科	2	0	2	2	3	2	4	4	1	1	4	6	31	2.6
男	2	0	1	2	1	1	3	1	1	1	4	4	21	1.8
女	0	0	1	0	2	1	1	3	0	0	0	2	10	0.8
肝臓内科	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2
男	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0.1
合　計	52	53	46	50	43	52	43	47	45	48	59	56	594	49.5
男	35	28	29	28	29	31	28	29	33	34	43	36	383	31.9
女	17	25	17	22	14	21	15	18	12	14	16	20	211	17.6

《疾病別》

悪性腫瘍	肺	32	転移癌	6	卵巣	3		
	胃	15	悪性リンパ腫	4	膀胱	3		
	大腸	14	直腸	4	急性骨髄性白血病	2		
	膵臓	10	食道	3	胆のう	2		
	肝臓	9	前立腺	3	その他	12	合　計	122
呼吸器系	誤嚥性肺炎	58	呼吸不全	24	石綿肺	1		
	急性肺炎	44	細菌性肺炎	5	肺気腫	1		
	間質性肺炎	31	気管支肺炎	2	その他	1		
	COVID-19	30	気管支拡張症	1			合　計	198
循環器系	心不全	53	くも膜下出血	4	心房細動	2		
	脳出血	10	胸部大動脈瘤破裂	3	不整脈	2		
	脳梗塞	9	心停止	3	解離性大動脈瘤	1		
	急性心筋梗塞	8	肺高血圧症	3	その他	10	合　計	108
消化器系	肝硬変	8	腸穿孔	4	絞扼性イレウス	2		
	肝不全	8	急性膵炎	3	肝腎症候群	1		
	腸壊死	4	穿孔性腹膜炎	3	その他	9	合　計	42
その他の疾患	敗血症	47	老衰	4	出血性ショック	3		
	慢性腎臓病	16	急性硬膜下血腫	3	筋萎縮性側索硬化症	1		
	低酸素血症	12	急性腎不全	3	播種性血管内凝固	1		
	急性循環不全	4	菌血症	3	窒息	1		
	尿路感染症	4	多臓器不全	3	その他	19	合　計	124

3. 疾病分類＜大分類＞科別

疾病分類＼科別	内科	循環器内科	外科	心臓血管外科	脳神経外科	整形外科	泌尿器科	形成外科	小児科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	腎臓内科	口腔外科	肝臓外科	肝臓内科	小児外科	呼吸器外科	呼吸器内科	腫瘍内科	婦人科	合計
感染症及び寄生虫症（A00～B99）	150	0	25	0	0	3	0	7	5	0	0	0	1	0	15	4	1	0	3	4	0	218
新生物<腫瘍>（C00～D48）	226	0	347	1	32	5	273	32	0	0	0	0	0	86	229	5	1	90	0	166	111	1,604
血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害（D50～D89）	52	1	8	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	4	1	0	0	0	11	0	81
内分泌・栄養及び代謝疾患（E00～E90）	155	0	18	0	3	1	0	9	6	0	0	0	4	0	4	0	0	2	0	4	0	206
精神及び行動の障害（F00～F99）	10	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	14
神経系の疾患（G00～G99）	60	2	4	0	81	5	0	5	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	161
眼及び付属器の疾患（H00～H59）	0	0	0	0	0	0	0	7	0	393	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	400
耳及び乳様突起の疾患（H60～H95）	8	0	0	0	1	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24
循環器系の疾患（I00～I99）	310	1,490	4	309	579	5	1	42	1	0	0	0	1	0	6	2	0	1	3	5	0	2,759
呼吸器系の疾患（J00～J99）	633	4	14	1	0	1	0	0	17	0	9	0	11	2	7	0	2	102	105	55	0	963
消化器系の疾患（K00～K93）	313	0	674	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	355	338	14	79	0	0	10	0	1,788
皮膚及び皮下組織の疾患（L00～L99）	34	0	4	0	2	4	0	59	0	0	1	2	1	10	0	0	0	0	1	0	0	118
筋骨格系及び結合組織の疾患（M00～M99）	52	0	2	0	56	234	0	39	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	3	0	390
腎尿路生殖器系の疾患（N00～N99）	248	2	9	5	1	1	176	10	3	0	0	0	126	0	3	0	18	0	0	3	33	638
妊娠、分娩及び産じょく<褥>（O00～O99）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
先天性奇形・変形及び染色体異常（Q00～Q99）	0	0	5	0	4	0	1	3	0	0	0	0	0	4	0	0	14	0	0	0	0	31
症状・徴候及び異常臨床所見・異常臨床所見で他に分類されないもの（R00～R99）	24	2	6	0	2	1	1	4	2	0	10	0	1	0	7	0	1	6	0	2	0	69
損傷・中毒及びその他の外因の影響（S00～T98）	57	16	41	3	108	687	2	34	1	2	0	0	4	36	9	1	0	22	0	2	0	1,025
特殊目的用コード（U00～U99）	121	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	131	0	0	255
合　計	2,453	1,517	1,161	319	873	947	457	251	41	395	37	2	154	493	624	28	116	223	244	265	145	10,745

4. 疾病分類〈中分類〉

第1章 感染症および寄生虫症	218
A00-09 腸管感染症	78
A15-19 結核	10
A20-28 人蓄共通細菌性疾患	0
A30-49 その他の細菌性疾患	82
A50-64 主として性的伝播様式をとる感染症	1
A65-69 その他のスピロヘータ疾患	0
A70-74 クラミジアによるその他の疾患	0
A75-79 リッチケア症	0
A80-89 中枢神経系のウイルス感染症	3
A90-99 節足動物媒介ウイルス熱およびウイルス出血熱	0
B00-09 皮膚および粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	9
B15-19 ウイルス肝炎	15
B20-24 ヒト免疫不全ウイルス〔HIV〕病	1
B25-34 その他のウイルス疾患	9
B35-49 真菌症	2
B50-64 原虫疾患	6
B65-83 ぜん＜蠕＞虫症	2
B85-89 シラミ症、ダニ症およびその他の動物寄生症	0
B90-94 感染症および寄生虫症の続発・後遺症	0
B95-97 細菌、ウイルスおよびその他の病原体	0
B99 その他の感染症	0
第2章 新生物＜腫瘍＞	1,604
C00-14 口唇、口腔および咽頭	1
C15-26 消化器	603
C30-39 呼吸器および胸腔内臓器	208
C40-41 骨および関節軟骨	1
C43-44 皮膚	12
C45-49 中皮および軟部組織	10
C50 乳房	31
C51-58 女性生殖器	94
C60-63 男性生殖器	89
C64-68 尿路	173
C69-72 眼、脳および中枢神経系のその他の部位	6
C73-75 甲状腺およびその他の内分泌腺	6
C76-80 部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物	88
C81-96 原発と記載されたまたは推定されたリンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物	57
C97 独立した(原発性)多部位の悪性新生物	0
D00-09 上皮内新生物	8
D10-36 良性新生物	56
D37-48 性状不詳または不明の新生物	161
第3章 血液および造血器の疾患並びに免疫機構の障害	81
D50-53 栄養性貧血	17
D55-59 溶血性貧血	1
D60-64 無形成性貧血およびその他の貧血	37
D65-69 凝固障害、紫斑病およびその他の出血性病態	16
D70-77 血液および造血器のその他の疾患	8
D80-89 免疫機構の障害	2
第4章 内分泌、栄養および代謝疾患	206
E00-07 甲状腺障害	4
E10-14 糖尿病	66
E15-16 その他のグルコース調節および膵内分泌障害	22
E20-35 その他の内分泌腺障害	9
E40-46 栄養失調(症)	1
E50-64 その他の栄養欠乏症	9
E65-68 肥満(症)およびその他の過栄養＜過剰摂食＞	0
E70-90 代謝障害	95

第5章 精神および行動の障害	14
F00-09 症状性を含む器質性精神障害	5
F10-19 精神作用物質使用による精神および行動の障害	7
F20-29 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害	1
F30-39 気分〔感情〕障害	0
F40-48 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	1
F50-59 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	0
F60-69 成人の人格および行動の障害	0
F70-79 知的障害＜精神遅滞＞	0
F80-89 心理的発達の障害	0
F90-98 小児＜児童＞期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害	0
F99 詳細不明の精神障害	0
第6章 神経系の疾患	161
G00-09 中枢神経系の炎症性疾患	9
G10-13 主に中枢神経系を障害する系統萎縮症	4
G20-26 錐体外路障害および異常運動	13
G30-32 神経系のその他の変性疾患	10
G35-37 中枢神経系の脱髄疾患	1
G40-47 挿間性および発作性障害	59
G50-59 神経、神経根および神経そう＜叢＞の障害	7
G60-64 多発(性)ニューロパチ＜シ＞ーおよびその他の末梢神経系の障害	5
G70-73 神経筋接合部および筋の疾患	3
G80-83 脳性麻痺およびその他の麻痺性症候群	0
G90-99 神経系のその他の障害	50
第7章 眼および付属器の疾患	400
H00-06 眼瞼、涙器および眼窩の障害	9
H10-13 結膜の障害	1
H15-22 強膜、角膜、虹彩および毛様体の障害	0
H25-28 水晶体の障害	335
H30-36 脈絡膜および網膜の障害	37
H40-42 緑内障	18
H43-45 硝子体および眼球の障害	0
H46-48 視神経および視(覚)路の障害	0
H49-52 眼筋、眼球運動、調節および屈折の障害	0
H53-54 視機能障害および盲＜失明＞	0
H55-59 眼および付属器のその他の障害	0
第8章 耳および乳様突起の疾患	24
H60-62 外耳疾患	0
H65-75 中耳および乳様突起の疾患	0
H80-83 内耳疾患	19
H90-95 耳のその他の障害	5
第9章 循環器系の疾患	2,759
I00-02 急性リウマチ熱	0
I05-09 慢性リウマチ性心疾患	3
I10-15 高血圧性疾患	2
I20-25 虚血性心疾患	1099
I26-28 肺性心疾患および肺循環疾患	9
I30-52 その他の型の心疾患	537
I60-69 脳血管疾患	572
I70-79 動脈、細動脈および毛細血管の疾患	500
I80-89 静脈、リンパ管およびリンパ節の疾患、他に分類されないもの	34
I95-99 循環器系のその他および詳細不明の障害	3

4. 疾病分類〈中分類〉

第10章	呼吸器系の疾患	963	第15章 妊娠、分娩および産じょく＜褥＞	1
J00-06	急性上気道感染症	18	O00-08 流産に終わった妊娠	1
J10-18	インフルエンザおよび肺炎	276	O10-16 妊娠、分娩および産じょく＜褥＞における浮腫、たんぱく＜蛋白＞尿および高血圧性障害	0
J20-22	その他の急性下気道感染症	11		
J30-39	上気道のその他の疾患	5	O20-29 主として妊娠に関連するその他の母体障害	0
J40-47	慢性下気道疾患	53	O30-48 胎児および羊膜腔に関連する母体ケアならびに予想される分娩の諸問題	0
J60-70	外的因子による肺疾患	352		
J80-84	主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	94	O60-75 分娩の合併症	0
J85-86	下気道の化膿性およびえ＜壊＞死性病態	39	O80-84 分娩	0
J90-94	胸膜のその他の疾患	82	O85-92 主として産じょく＜褥＞に関連する合併症	0
J95-99	呼吸器系のその他の疾患	33	O95-99 その他の産科的病態、他に分類されないもの	0
第11章	消化器系の疾患	1,788	第16章 周産期に発生した病態	0
K00-14	口腔、唾液腺および顎の疾患	357	P00-04 母体側要因ならびに妊娠および分娩の合併症により影響を受けた胎児および新生児	0
K20-31	食道、胃および十二指腸の疾患	107		
K35-38	虫垂の疾患	121	P05-08 妊娠期間および胎児発育に関連する障害	0
K40-46	ヘルニア	205	P10-15 出産外傷	0
K50-52	非感染性腸炎および非感染性大腸炎	11	P20-29 周産期に特異的な呼吸障害および心血管障害	0
K55-64	腸のその他の疾患	359	P35-39 周産期に特異的な感染症	0
K65-67	腹膜の疾患	14	P50-61 胎児および新生児の出血性障害および血液障害	0
K70-77	肝疾患	99	P70-74 胎児および新生児に特異的な一過性の内分泌障害および代謝障害	0
K80-87	胆のう＜嚢＞、胆管および膵の障害	488		
K90-93	消化管系のその他の疾患	27	P75-78 胎児および新生児の消化器系障害	0
第12章	皮膚および皮下組織の疾患	118	P80-83 胎児および新生児の外皮および体温調節に関連する病態	0
L00-08	皮膚および皮下組織の感染症	63		
L10-14	水疱症	1	P90-96 周産期に発生したその他の障害	0
L20-30	皮膚炎および湿疹	5	第17章 先天奇形、変形および染色体異常	31
L40-45	丘疹落せつ＜屑＞＜りんせつ＜鱗屑＞＞性障害	0	Q00-07 神経系の先天性奇形	0
L50-54	じんま＜蕁麻＞疹および紅斑	1	Q10-18 眼、耳、顔面および頚部の先天性奇形	3
L55-59	皮膚および皮下組織の放射線(非電離および電離)に関する障害	0	Q20-28 循環器系の先天性奇形	4
			Q30-34 呼吸器系の先天性奇形	0
L60-75	皮膚付属器の障害	0	Q35-37 唇裂および口蓋裂	0
L80-99	皮膚および皮下組織のその他の障害	48	Q38-45 消化器系のその他の先天奇形	8
第13章	筋骨格系および結合組織の疾患	390	Q50-56 性器の先天奇形	11
M00-03	感染性関節障害	4	Q60-64 尿路系の先天奇形	3
M05-14	炎症性多発性関節障害	19	Q65-79 筋骨格系の先天奇形および変形	1
M15-19	関節症	65	Q80-89 その他の先天奇形	1
M20-25	その他の関節障害	4	Q90-99 染色体異常、他に分類されないもの	0
M30-36	全身性結合組織障害	25	第18章 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	69
M40-43	変形性脊柱障害	17		
M45-49	脊椎障害	106	R00-09 循環器系および呼吸器系に関する症状および徴候	17
M50-54	その他の脊柱障害	51	R10-19 消化器系および腹部に関する症状および徴候	6
M60-63	筋障害	13	R20-23 皮膚および皮下組織に関する症状および徴候	1
M65-68	滑膜および腱の障害	5	R25-29 神経系および筋骨格系に関する症状および徴候	0
M70-79	その他の軟部組織障害	25	R30-39 腎尿路系に関する症状および徴候	1
M80-85	骨の密度および構造の障害	14	R40-46 認識、知覚、情緒状態および行動に関する症状および徴候	17
M86-90	その他の骨障害	35		
M91-94	軟骨障害	1	R47-49 言語および音声に関する症状および徴候	0
M95-99	筋骨格系および結合組織のその他の障害	6	R50-69 全身症状および徴候	25
第14章	腎尿路生殖器系の疾患	638	R70-79 血液検査の異常所見、診断名の記載がないもの	1
N00-08	糸球体疾患	15	R80-82 尿検査の異常所見、診断名の記載がないもの	0
N10-16	腎尿細管間質性疾患	119	R83-89 その他の体液、検体＜材料＞および組織の検査の異常所見、診断名の記載がないもの	0
N17-19	腎不全	173		
N20-23	尿路結石症	111	R90-94 画像診断および機能検査における異常所見、診断名の記載がないもの	1
N25-29	腎および尿管のその他の障害	11		
N30-39	尿路系のその他の疾患	117	R95-99 診断名不明確および原因不明の死亡	0
N40-51	男性生殖器の疾患	52		
N60-64	乳房の障害	0		
N70-77	女性骨盤臓器の炎症性疾患	8		
N80-98	女性性器の非炎症性障害	32		
N99	腎尿路生殖器系のその他の障害	0		

4. 疾病分類〈中分類〉

第19章	損傷、中毒およびその他の外因の影響	1,025
S00-09	頭部損傷	151
S10-19	頚部損傷	28
S20-29	胸部＜郭＞損傷	65
S30-39	腹部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷	109
S40-49	肩および上腕の損傷	78
S50-59	肘および前腕の損傷	118
S60-69	手首および手の損傷	41
S70-79	股関節部および大腿の損傷	233
S80-89	膝および下腿の損傷	73
S90-99	足首および足の損傷	16
T00-07	多部位の損傷	4
T08-14	部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷	4
T15-19	自然開口部からの異物侵入の作用	7
T20-32	熱傷および腐食	9
T33-35	凍傷	0
T36-50	薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒	7
T51-65	薬用を主としない物質の毒作用	3
T66-78	外因のその他および詳細不明の作用	13
T79	外傷の早期合併症	2
T80-88	外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	62
T90-98	損傷、中毒およびその他の外因による影響の続発・後遺症	2
第20章	傷病および死亡の外因	0
V01-99	交通事故	0
W00-X59	不慮の損傷のその他の外因	0
X60-84	故意の自傷および自殺	0
X85-Y09	加害にもとづく傷害および死亡	0
Y10-34	不慮か故意か決定されない事件	0
Y35-36	法的介入および戦争行為	0
Y40-84	内科的および外科的ケアの合併症	0
Y85-89	傷病および死亡の外因の続発・後遺症	0
Y90-98	他に分類される傷病および死亡の原因に関係する補助的因子	0
第21章	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	0
Z00-13	検査および診査のための保健サービスの利用者	0
Z20-29	伝染病に関連する健康傷害をきたす恐れのある者	0
Z30-39	生殖に関連する環境下での保健サービスの利用者	0
Z40-54	特定の処置および保健ケアのための保健サービスの利用者	0
Z55-65	社会経済的環境および社会心理的環境に関連する健康障害をきたす恐れのある者	0
Z70-76	その他の環境下での保健サービスの利用者	0
Z80-99	家族歴、既往歴および健康状態に影響をおよぼす特定の状態に関連する健康障害をきたす恐れのある者	0
第22章	特殊目的用コード	255
U07	COVID-19	255

診　療　部

―― 2021年 ――

1）内　　科　26
2）循環器内科（カテーテル部門）　33
3）消化器内科　34
4）呼吸器内科　35
5）腫 瘍 内 科　36
6）血管透析科　38
7）腎 臓 内 科　42
8）糖尿病・代謝内科　43
9）脳神経内科　45
10）内分泌内科　46
11）膠原病リウマチ内科　48
12）小　児　科　50
13）放 射 線 科（診療部）　52
14）救　急　科　53
15）外　　科　55
16）整 形 外 科　57
17）脳神経外科　60
18）心臓血管外科・心臓血管センター　62
19）形成外科・美容外科　65
20）呼吸器外科　67
21）小 児 外 科　68
22）歯科・歯科口腔外科　71
23）泌 尿 器 科　73
24）眼　　科　75
25）麻　酔　科　77
26）肝臓センター　79
27）皮　膚　科　83
28）婦　人　科　84
29）耳鼻咽喉科　86
30）病理診断科　88

1）内　科

病院長　原田　博雅

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　42
糖尿病代謝内科　43
脳神経内　45
内分泌内　46
膠原リウ　48
小児科　50
放射診科　52
救急科　53
外　科　55
整形外科　57
脳神経外　60
心臓血管心臓血セ　62
形成外科美容外科　65
呼吸器外　67
小児外科　68
歯　科歯科口腔　71
泌尿器科　73
眼　科　75
麻酔科　77
肝臓セン　79
皮膚科　83
婦人科　84
耳鼻咽喉　86
病理診断　88

1. 概要

2021 年も新型コロナウイルス感染症が内科診療に大きな影響を与えた年でした。

少ない内科医師でやって行かざるを得ず、外来は多くの非常勤医師に診療を助けてもらいました。その中で、研修医教育のために、1 月より、ブランチ先生が湘南鎌倉総合病院より当院に転勤され、初期研修医を中心に教育を担当していただいています。八尾だけではなく、関西を中心に全国の徳洲会病院の初期研修医の教育も行っていただいています。

初期研修医の内科研修は 2 年目研修医、一瀬・白崎・富永・西森先生、1 年目研修医、植田・熊田・高山・田邊先生がそれぞれ研修を修了されました。

2. メンバー構成

循環器	福田貢（総長）、松尾浩志（部長）、綾田健士（非常勤）
呼吸器	原田博雅（院長）、石原英樹（副院長）、濱口眞成（医長）
消化器	浅野耕吉（部長）、杉田博二（医長）中島ひろみ（医長）
内分泌	山本智英（顧問）
糖尿病・代謝	石橋里江子（部長）、植田秀樹
腫瘍	瓜生恭章（部長）
脳神経内科	辰己新水（部長）
腎臓	森ちさこ（医長）
総合内科	髙原良典（医長）

3. 実績

《退院患者数》

◎内　科

1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
379	331	430	372	338	359	390	408	395	426	363	441	4,632

1.感染症および寄生虫症（A00-B99）

疾　　病	件	疾　　病	件
敗血症	38	ニューモシスティス症	6
（MRSA）	(1)	帯状疱疹	6
（グラム陰性菌）	(1)	ウイルス感染症	4
（グラム陽性菌）	(1)	レジオネラ肺炎	4
胃腸炎	33	伝染性単核症	4
（感染性）	(9)	ウイルス性髄膜炎	3
（ウイルス性）	(2)	ヘルペスウイルス感染症	3
細菌感染症	21	非結核性抗酸菌症	3
細菌性腸炎	14	急性肝炎	2
（偽膜性）	(3)	肺アスペルギルス症	2
（カンピロバクター）	(2)	HIVカリニ肺炎	1
肺結核	10	梅毒	1
（胸膜炎）	(2)	その他	3
（胸膜炎）	(2)	合　計	158

2.新生物（C00-C97）※術後・再発・化学療法を含む

疾　　病	件	疾　　病	件
肺	141	急性骨髄性白血病	3
悪性リンパ腫	39	前立腺	3
胃	36	胆のう	3
結腸	35	乳房	3
転移癌	18	膀胱	3
（骨）	(7)	肝臓	2
（胸膜）	(4)	原発不明	2
（肝臓）	(3)	子宮	2
（脳）	(2)	卵巣	2
膵臓	17	膣	2
食道	15	腎	2
直腸	12	骨肉腫	1
多発性骨髄腫	6	胆管	1
神経内分泌細胞癌	5	その他	5
悪性中皮腫	4	合　計	362

◎上皮内・良性・性状不詳または不明の新生物（D00-D48）

〈良性腫瘍〉　　〈性状不詳・不明〉

疾　　病	件	疾　　病	件
結腸腺腫	9	骨髄異形成症候群	3
胃腺腫	7	結腸腫瘍	3
直腸腺腫	1	キャッスルマン病	1
食道乳頭腫	1	小腸腫瘍	1
胆のう腺筋腫	1	肺腫瘍	1
		その他	2
合　計	19	合　計	11

3.血液および造血器の疾患、免疫障害（D50-D89）※輸血目的の再入院を含む

疾　　病	件	疾　　病	件
貧血症	47	血小板減少症	3
（再生不良性）	(16)	神経サルコイドーシス	2
（鉄欠乏性）	(14)	IgA血管炎	1
（急性失血性）	(13)	血液凝固異常	1
（自己免疫性溶血性）	(1)	血球貪食症候群	1
特発性血小板減少性紫斑病	6	好中球減少症	1
播種性血管内凝固	4	合　計	66

4.内分泌、栄養および代謝疾患（E00-E90）

疾　　病	件	疾　　病	件
Ⅰ型糖尿病	5	低ナトリウム血症	17
（ケトアシドーシス）	(4)	低カリウム血症	14
（眼合併症）	(1)	副腎皮質機能不全症	5
Ⅱ型糖尿病	50	アシドーシス	4
（多発合併症）	(11)	高アンモニア血症	4
（合併症なし）	(10)	低アルブミン血症	4
（ケトアシドーシス）	(5)	栄養障害	2
（高血糖高浸透圧症候群）	(5)	甲状腺機能亢進症	2
（神経学的合併症）	(5)	高カルシウム血症	2
（腎合併症）	(5)	水中毒	2
（眼合併症）	(3)	高カリウム血症	1
脱水症	28	低蛋白血症	1
低血糖	18	電解質異常	1
（発作）	(12)	その他	5
（昏睡）	(6)	合　計	165

5.精神および行動の障害（F00-F99）

疾　　病	件	疾　　病	件
アルコール依存症	3	転換性障害	1
認知症	3	妄想性障害	1
アルコール離脱せん妄	2		
急性アルコール中毒	1	合　計	11

6.神経系の疾患（G00-G99）

疾　　病	件	疾　　病	件
低酸素性脳症	13	一過性脳虚血発作	2
パーキンソン病	11	神経核内封入体病	2
てんかん	10	ハンチントン病	1
（重積状態）	(3)	ミトコンドリア脳筋症	1
筋萎縮性側索硬化症	3	顔面神経麻痺	1
髄膜炎	3	多発性硬化症	1
アルツハイマー型認知症	2	その他	10
ギラン・バレー症候群	2	合　計	62

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　42
糖尿病 代謝内科　43
脳神経内　45
内分泌内　46
膠原リウ　48
小児科　50
放射診科　52
救急科　53
外　科　55
整形外科　57
脳神経外　60
心臓血管 心臓血セ　62
形成外科 美容外科　65
呼吸器外　67
小児外科　68
歯　科 歯科口腔　71
泌尿器科　73
眼　科　75
麻酔科　77
肝臓セン　79
皮膚科　83
婦人科　84
耳鼻咽喉　86
病理診断　88

7.耳および乳様突起の疾患(H60-H95)

疾　　病	件	疾　　病	件
末梢性めまい症	5	前庭神経炎	1
メニエール病	2	合　計	8

8.循環器系の疾患(I00-I99)※検査入院を含む

◎心血管

疾　　病	件	疾　　病	件
狭心症	681	洞不全症候群	7
(不安定)	(132)	心房細動	6
(労作性)	(34)	肺塞栓症	6
(冠攣縮性)	(7)	大動脈弁狭窄症	5
心不全	367	陳旧性心筋梗塞	5
(うっ血性)	(353)	不整脈	3
(急性)	(7)	無症候性心筋虚血	3
(慢性)	(7)	急性心膜炎	2
冠状動脈硬化症	291	細菌性心内膜炎	2
急性心筋梗塞	84	発作性上室頻拍	2
(前壁)	(33)	高血圧性心疾患	2
(下壁)	(26)	アダムス・ストークス症候群	1
(側壁)	(14)	急性冠症候群	1
(後壁)	(2)	僧帽弁閉鎖不全症	1
房室ブロック	22	連合弁膜症	1
たこつぼ型心筋症	8	その他	9
蘇生に成功した心停止	8	合　計	1,517

◎脳血管

疾　　病	件	疾　　病	件
脳梗塞	16	脳虚血症	1
脳出血	2		
中大脳動脈閉塞症	1	合　計	20

◎その他の血管

疾　　病	件	疾　　病	件
下肢閉塞性動脈硬化症	237	腸骨動脈閉塞症	2
深部静脈血栓症	11	下大動脈血栓症	1
食道静脈瘤	8	胸部大動脈瘤	1
(破裂)	(2)	その他	9
毛細血管拡張症	3	合　計	272

9.呼吸器系の疾患（J00-J99）

疾　　病	件	疾　　病	件
誤嚥性肺炎	323	肺気腫	5
肺炎・病原体不詳	217	気胸	4
（気管支）	(50)	急性扁桃炎	4
（大葉性）	(8)	好酸球性肺炎	4
（閉塞性）	(3)	肺膿瘍	4
間質性肺炎	94	気道閉塞	3
（薬剤性）	(10)	急性気管支炎	3
細菌性肺炎	50	肺炎球菌肺炎	3
（MRSA）	(5)	過敏性肺炎	2
慢性閉塞性肺疾患	23	急性呼吸窮迫症候群	2
呼吸不全	22	膿胸	2
胸水貯留	14	扁桃周囲膿瘍	2
気管支喘息	14	急性副鼻腔炎	1
（発作）	(4)	その他	5
気管支拡張症	6	合　計	807

10.消化器系の疾患（K00-K93）

◎食道、胃、十二指腸

疾　　病	件	疾　　病	件
逆流性食道炎	4	胃潰瘍	22
食道狭窄	2	（出血性）	(17)
食道潰瘍	2	（急性）	(2)
マロリ・ワイス症候群	1	胃炎	7
食道アカラシア	1	胃前庭部毛細血管拡張症	7
十二指腸潰瘍	10	胃食道逆流症	2
（出血性）	(8)	胃出血性吻合部潰瘍	1
（穿孔）	(2)	その他	5
十二指腸狭窄症	2	合　計	66

◎その他の腸疾患

疾　　病	件	疾　　病	件
腸憩室疾患	34	下血	2
大腸ポリープ	23	機能性嘔吐	2
虚血性腸炎	21	直腸ポリープ	2
消化管出血	14	直腸出血	2
直腸潰瘍	8	便秘症	2
潰瘍性大腸炎	6	クローン病	1
イレウス	3	その他	6
急性腹膜炎	3	合　計	129

◎肝疾患

疾　　病	件	疾　　病	件
アルコール性肝疾患	27	肝機能障害	3
（肝硬変）	(22)	肝不全	2
（肝炎）	(3)		
肝硬変症	8	合　計	40

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　42
糖尿病 代謝内科　43
脳神経内　45
内分泌内　46
膠原リウ　48
小児科　50
放射診科　52
救急科　53
外　科　55
整形外科　57
脳神経外　60
心臓血管 心臓血セ　62
形成外科 美容外科　65
呼吸器外　67
小児外科　68
歯　科 歯科口腔　71
泌尿器科　73
眼　科　75
麻酔科　77
肝臓セン　79
皮膚科　83
婦人科　84
耳鼻咽喉　86
病理診断　88

◎胆嚢、胆管、膵

疾　　病	件	疾　　病	件
総胆管結石	22	急性膵炎	23
急性胆管炎	20	（アルコール性）	(6)
（胆管結石を伴う）	(1)	（結石を伴う）	(2)
急性胆のう炎	5	慢性膵炎	11
閉塞性黄疸	3	（アルコール性）	(3)
肝内結石	2	合　計	89

11.皮膚および皮下組織の疾患（L00-L99）

疾　　病	件	疾　　病	件
蜂窩織炎	26	結節性紅斑	1
中毒疹	3	全身性アレルギー性皮膚炎	1
皮膚潰瘍	3		
褥瘡感染	2	合　計	36

12.筋骨格系および結合祖組織の疾患（M00-M99）

疾　　病	件	疾　　病	件
横紋筋融解症	12	腰部脊柱管狭窄症	2
偽痛風	8	全身性エリテマトーデス	2
皮膚（多発性）筋炎	6	膠原病	2
関節リウマチ	3	ベーチェット病	1
ANCA関連血管炎	2	壊死性筋膜炎	1
リウマチ性多発筋痛	2	その他	13
顕微鏡的多発血管炎	2	合　計	56

13.腎尿路生殖器系の疾患（N00-N99）

疾　　病	件	疾　　病	件
尿路感染症	105	急性子宮留膿症	3
末期腎不全	89	急性細菌性前立腺炎	2
急性腎盂腎炎	82	急速進行性糸球体腎炎	2
慢性腎臓病	29	結石性腎盂腎炎	2
急性腎不全	23	腎硬化症	2
慢性腎不全	17	IgA腎症	1
ネフローゼ症候群	9	その他	6
急性腎障害	5	合　計	377

14.症状、徴候および以上臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの（R00-R99）

疾　　病	件	疾　　病	件
意識障害	6	血管迷走神経性失神	1
発熱	6	縦隔リンパ節腫脹	1
CO2ナルコーシス	4	熱性痙攣	1
喀血	3	その他	5
食欲不振	2	合　計	29

15.損傷、中毒およびその他の外因の影響（S00-T98）

疾　　病	件	疾　　病	件
ペースメーカー電池消耗	19	フグ中毒	2
急性薬物中毒	8	術後創部感染	2
アナフィラキシー	7	中心静脈カテーテル感染症	2
腰椎・骨盤骨折	7	熱中症	2
胸椎・肋骨骨折	5	急性硬膜下血腫	1
打撲傷	4	熱傷	1
透析シャント閉塞	4	その他	12
低体温	3	合　計	79

16.特殊目的用コード（U00-U99）

疾　　病	件
COVID-19	253
合　計	253

4. 今後の目標

今後も引き続き内科医の数と質の充実を図っていきたいと思います。

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　42
糖尿病 代謝内科　43
脳神経内　45
内分泌内　46
膠原リウ　48
小児科　50
放射診科　52
救急科　53
外　科　55
整形外科　57
脳神経外　60
心臓血管 心臓血セ　62
形成外科 美容外科　65
呼吸器外　67
小児外科　68
歯　科 歯科口腔　71
泌尿器科　73
眼　科　75
麻酔科　77
肝臓セン　79
皮膚科　83
婦人科　84
耳鼻咽喉　86
病理診断　88

2）循環器内科（カテーテル部門）

循環器内科部長　松尾　浩志

1. 概要

循環器内科は常に救急医療においても重要な役割を担っています。24 時間 365 日救急対応可能にするためオンコール体制を整えております。

当院の特徴としては、昨今若手のみで治療が増えてきていますが、当院は常に上級医による治療の体制となっており治療の質を高く維持しております。治療時間も短時間となっております。カテーテル件数は全国でも上位に位置づけられております。

また、昨今増加している下肢閉塞性動脈硬化症に対しても積極的に診療治療を施行しております。下肢壊疽や潰瘍といった重症虚血肢に対しては、当院には形成外科による創傷治療センターがあり協力しながら診療にあたっております。

当院は冠動脈に対する治療だけでなく、下肢動脈に対する治療に関しても全国有数の施設になっております。他府県からの治療困難病例の紹介も多数受けております。そして高度石灰化症例に対する特殊な治療器具（Rotablator や Diamondback）を用いた治療に関しては、全国でも 3 本の指に入っております。

部長の松尾に関しては海外での治療、指導の依頼も多数あり国際交流もある診療科です。

2. メンバー構成

福田貢（総長）・松尾浩志（循環器内科部長）・綾田健士（非常勤）

迫田慎一郎（非常勤）

3. 実績

	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年
総合カテ件数	943	1,199	1,728	1,626	1,594
PCI	313	458	662	704	713
末梢血管 EVT	164	192	307	279	277
ペースメーカー	32	117	187	289	231
ロータブレーター	23	88	171	119	119

4. 今後の目標

若手を集め、より地域医療に貢献出来るようにしていきたいと考えております。常に質の高い医療を提供できるように努めて参ります。全国有数の施設へと成長出来る様、努めて参ります。

3）消化器内科

消化器内科部長　浅野　耕吉

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　42
糖尿病 代謝内科　43
脳神経内　45
内分泌内　46
膠原リウ　48
小児科　50
放射診科　52
救急科　53
外　科　55
整形外科　57
脳神経外　60
心臓血管 心臓血セ　62
形成外科 美容外科　65
呼吸器外　67
小児外科　68
歯　科 歯科口腔　71
泌尿器科　73
眼　科　75
麻酔科　77
肝臓セン　79
皮膚科　83
婦人科　84
耳鼻咽喉　86
病理診断　88

1. 概要

当院内視鏡室では、消化管内視鏡検査・治療を施行しております。内視鏡適応症例に関しましては、内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）をはじめとして食道拡張術、食道・胃静脈瘤に対する硬化療法など様々な治療を積極的に行っています。

又、消化管出血などの緊急性を有する処置に関しても止血術、異物除去をはじめとして、様々な治療を行っております。

下部消化器内視鏡検査では、ポリペクトミーや内視鏡的粘膜切除術（EMR）を日帰りで行っています。一括切除できない病変もしくは、出血リスクがあるポリープに対しては、入院治療を行っています。

胆膵領域では、閉塞性黄疸や化膿性胆管炎、癌の胆管狭窄・閉塞に対し内視鏡的逆行性胆道膵管造影（ERCP）を行っております。

超音波内視鏡（EUS）、FNA 関連手技（EUS － FNA）を行っています。

日本消化器内視鏡学会の推奨する日本消化器内視鏡データベースプロジェクト（JED：他施設共同研究事業）にも参加しています。

その他内視鏡室では、安全な検査・治療を行うためにスコープ・処置具の洗浄消毒への取り組みに力を入れています。

2. メンバー構成

学会認定

部長　浅野　耕吉

医長　杉田　博二　　日本内科学会認定内科医、日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医

医長　中島　ひろみ　日本内科学会認定内科医、日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医、日本超音波医学会専門医
日本ヘリコバクター学会感染症認定医

3. 実績（検査・治療実績）

上部消化管内視鏡検査	5,579 件
下部消化管内視鏡検査	2,610 件
ESD（上・下部含む）	85 件
ポリペク・EMR	601 件
硬化療法（EVL/EIS）	24 件
ERCP	275 件
止血術	140 件
超音波内視鏡 /EUS-FNA	113 件 /13 件

4. 今後の目標

患者様に対しより苦痛の少ない検査、質の高い検査・治療を目指していきたいと考えております。

4）呼吸器内科

副院長　石原　英樹

1. 概要

当院にはこれまでも呼吸器内科常勤医は常に在籍状態にあったのですが、呼吸器内科として正式に標榜するようになったのは 2016 年 4 月からとなります。肺癌に関しては腫瘍内科が診療の中心になるので、当科では主に肺癌以外の呼吸器疾患（COPD、間質性肺炎など）を診療しています。それに加えて、呼吸リハビリテーションチームとして、院内の呼吸管理のコンサルト業務もおこなっています。2018 年 4 月からは濱口眞成医師が加わり，マンパワー的にも充実しつつあります。

また、呼吸器内科・人工呼吸領域での学会活動も積極的におこなっています。

2021 年も新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、当科と集中治療部を中心に中等症・重症患者の診療を担っています。特に ICU では、人工呼吸管理だけではなく ECMO 管理も含めた集学的治療を行っています。

2. メンバー構成

院長	原田院長	日本内科学会総合内科専門医、日本呼吸器専門医 日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器学会指導医・専門医
副院長	石原英樹	日本呼吸器学会呼吸器専門医・指導医
医員	濱口眞成	日本内科学会総合内科認定内科医

3. 実績

《外来診療患者数》

1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
458	395	524	443	438	484	491	472	563	451	488	523	5,730

4. 今後の目標

現在中河内地区で呼吸器内科を標榜している病院がほとんどないのが現状です。今後これらの地域を含めた呼吸器診療の一助になれるよう努力していく所存です。

5）腫瘍内科

腫瘍内科部長　瓜生　恭章

1. 概要

当院の現状として、血液腫瘍の診療が少ないため、腫瘍内科本来の臓器横断的な薬物療法ができていない現状が継続しております。現在、消化器・呼吸器外科、肝臓センター、泌尿器科の先生方に協力を得て固形癌に対する加療ができています。

当院には抗がん剤に精通したがん専門薬剤師が３名、及びがん薬物療法認定看護師１名が在籍しており、質の高いがん薬物療法を行っております。また看護部の協力もあり、化学療法がより安全確実に行えるようになってきました。

また、当院ではがん薬物療法看護師の育成にも力を入れております。臨床腫瘍センターでの看護業務の中で認定看護師として必要な知識の習得を目指していただき、積極的に認定看護師教育機関への入学支援を行っております。

呼吸器腫瘍に関しては、全国の徳洲会呼吸器部会で行っているカンファレンスを通じて、治療介入が難しい症例の治療方針についての相談を行っており、適正な標準治療が行えるように、常勤医師が少ない点を補っております。

2. メンバー構成

部長

瓜生　恭章　資格／日本臨床腫瘍学会　がん薬物療法専門医
日本内科学会総合内科専門医、日本呼吸器学会専門医
専門分野／各種固形がん（肺がん、乳がん、胃がん、膵臓がんなど）

非常勤医師

洪　鉉寿　資格／日本臨床腫瘍学会　がん薬物療法専門医
日本内科学会総合内科専門医、日本消化器病学会専門医
日本血液学会専門医
専門分野／各種固形がん（肺がん、大腸がん、胃がん、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫など）

副部長（薬剤部兼任、臨床腫瘍センター専任副部長）

南野　智志　資格／日本医療薬学会がん専門薬剤師
専門分野／臨床薬理学

副薬局長（薬剤部兼任）

草薙　みか　資格／日本医療薬学会がん専門薬剤師
専門分野／臨床薬理学

副主任（薬剤部兼任）

山本　倫数　資格／日本医療薬学会がん専門薬剤師
専門分野／臨床薬理学

副主任（看護部兼任）

苗代　啓子　資格／がん化学療法看護認定看護師
専門分野／がん看護

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　42
糖尿病 代謝内科　43
脳神経内　45
内分泌内　46
膠原リウ　48
小児科　50
放射診科　52
救急科　53
外　科　55
整形外科　57
脳神経外　60
心臓血管 心臓血セ　62
形成外科 美容外科　65
呼吸器外　67
小児外科　68
歯　科 歯科口腔　71
泌尿器科　73
眼　科　75
麻酔科　77
肝臓セン　79
皮膚科　83
婦人科　84
耳鼻咽喉　86
病理診断　88

上田　晴香　専門分野／がん看護

香川　真由　専門分野／がん看護

3. 実績

《がん化学療法施行件数（外来　2019-2021 年度）》

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
2019 年度	195	182	173	212	178	185	175	165	154	188	171	195	2,173
2020 年度	182	164	190	178	154	196	209	225	240	248	232	204	2,422
2021 年度	210	211	268	264	237	279	253	247	265	248	236	270	2,988

4. 今後の目標

市中病院でも標準治療を行えるように今後も努力していきます。

がん薬物療法を受ける患者様が安心して加療をできる環境を維持していきます。

6）血管透析科

透析センター長　申　勝

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　42
糖尿病代謝内科　43
脳神経内　45
内分泌内　46
膠原リウ　48
小児科　50
放射診科　52
救急科　53
外　科　55
整形外科　57
脳神経外　60
心臓血管心臓血セ　62
形成外科美容外科　65
呼吸器外　67
小児外科　68
歯　科歯科口腔　71
泌尿器科　73
眼　科　75
麻酔科　77
肝臓セン　79
皮膚科　83
婦人科　84
耳鼻咽喉　86
病理診断　88

1. 概要

2021 年は、常勤医師 2 名・非常勤医師 6 名の診療体制となっています。また、看護師（11 名）、薬剤師（兼任 3 名）、臨床工学技士（兼任 4 名）、管理栄養士（兼任 3 名）、医事課の透析スタッフが、入院と通院を合わせて約 110 名の透析患者様の対応をさせて頂いています。

センター関連の総入院患者数は継続して増加の方向にあり、昨年のべ 1,091 例の内訳は男：女＝ 2.53：1, 平均年齢：72.3 歳 , 糖尿病有病率：62.5％ , 年間救急搬送率：34.3％（374 件）でした。特に 75 歳以上の後期高齢者は、総入院患者数の 49.1％と約半数を占め、救急搬送率：41.1％と高値を示しました。内科系：外科系＝ 2.0：1 と、内科系入院が全体の 67％を占めています。2019 年末から世界的流行の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対しては、他施設や行政との緊密な連携の上で、地域の診療体制継続と感染拡大防護に多職種で徹底して取り組んでいます。

2012 年 4 月より当院においても CAPD 外来が開設され、2021 年 12 月末までに 57 名の方が腹膜透析を開始されました。12 月末時点で PD 終了者と他施設の通院患者を除く 8 名が、当院を通院し腹膜透析を継続されています。腎移植については、専門外来の開設準備として腎移植委員会を 2021 年 10 月に立ち上げました。経過については定期的に報告して参ります。

経年的集計より透析センター関連での入院患者数と緊急透析数の増加を認めており、重症度に適合した対応をしています。2016 年より風水害対策としての地域防災連携協議会を当院でも開き、臨床工学技士を中心に多職種チームとして活動しています。万一の災害時には、迅速に広域的に展開していく方針です。

2. メンバー構成：透析センター診療担当医師

循環器診療担当：福田貢（循環器内科）
糖尿病診療担当：植田秀樹（糖尿病内科）
血液透析主担当：申勝（血管・透析内科）
腹膜透析主担当：森ちさこ（腎臓・免疫内科）
集中治療室担当：石原英樹（呼吸器内科）
透析室支援担当：寺川知良（泌尿器科非常勤）
透析室支援担当：三浦秀信（泌尿器科非常勤）
移植外来主担当：松岡伸英（移植外科）

3. 実績

《透析センター月別患者数》（2021 年）

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計	平均
透析患者数（月平均）	92.6	96.8	98.5	94.6	101.5	94.9	99.3	102.4	96.1	99.0	99.4	99.1	1,174.2	97.9
新入院数	88	76	94	93	75	90	84	109	91	103	105	83	1,091	90.9
新規導入数	4	4	5	6	3	2	6	2	2	6	7	8	55	4.6
CAPD開始数	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2
シャント手術数	7	1	7	9	3	9	5	1	4	6	8	5	65	5.4
PDカテ留置数	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2
死亡者数	5	2	2	2	1	5	3	8	3	4	7	2	44	3.7

注 1：透析患者数には、当院への通院患者を含みます。新規導入数には、PD 患者も含みます。
注 2：新入院数は透析センターに紹介された患者の総数であり、腎不全患者なども含みます。
注 3：死亡者数は、腎代替療法を行い透析患者登録されたことのある患者の総死亡数です。

《診療科別入院透析患者数（のべ人数)》(2021 年)

内科系	総合	呼吸器	循環器	消化器	肝臓	腎臓(CAPD)	膠原病リウマチ	糖尿病代謝	血管(その他)	合計
科別人数	107	76	364	23	0	153	0	3	0	726

外科系	脳神経	呼吸器	心臓血管	消化器	肝臓	泌尿器	整形(リウマチ)	眼・耳・歯	形成(末梢)	合計
科別人数	41	8	58	57	28	22	37	28	86	365

注 4：複数科にまたがる場合は、入院時の主診療科にて登録しました。

《年齢別入院分類表》

令和3年度(2021年) 八尾徳洲会総合病院 透析センター	17歳～65歳未満の 入院患者様 (～16歳の入院なし) 257名(23.6%)	65歳～75歳未満の 入院患者様 (前期高齢者) 298名(27.3%)	75歳以上～の 入院患者様 (後期高齢者) 536名(49.1%)	透析センターに 紹介された全ての 入院患者様を対象 (外来 or 紹介) 1,091名(100.0%)
男女比(男:女)	3.3：1	2.9：1	2.2：1	2.5：1
平均年齢	54.2歳	70.4歳	81.9歳	72.3歳
救急搬送率	25.7%	29.5%	41.1%	34.3%
糖尿病の有病率	66.9%	70.5%	56.0%	62.5%
ICU の入室率	11.7%	13.8%	11.6%	12.2%
緊急透析の有無	4.3%	8.1%	3.9%	5.2%
入院中 手術あり	33.9%	30.2%	27.8%	29.9%
入院中 カテあり	35.8%	42.0%	29.5%	34.4%
死亡率 入院時から 一週間(168時間)	2.0%	3.4%	4.9%	3.8%

《年齢血液浄化表》

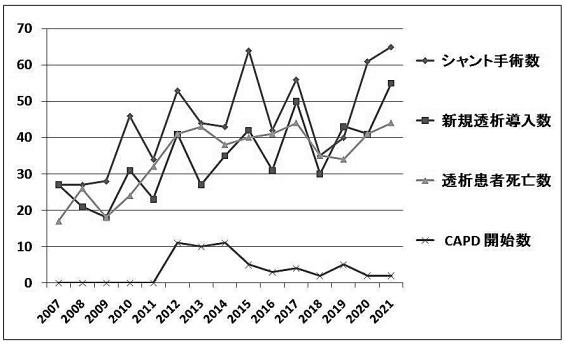
令和3年度(2021年) 八尾徳洲会総合病院 透析センター	17歳～65歳未満の 入院患者様 (～16歳の入院なし) 257名	65 歳～75 歳未満の 入院患者様 (前期高齢者) 298名	75 歳以上の 入院患者様 (後期高齢者) 536名	透析センターに 紹介された 入院患者様(全体)を 対象(外来 or 紹介) 合計1,091名
緊急HD(初回時)	7	10	13	計30件
緊急CHDF(初回時)	4	14	8	計26件
CHDFの年間全件数 (緊急/ICU/術後etc.)	21	33	40	計94件(のべ780回)
エンドトキシン吸着療法 (PMX-DHP)	0	4	1	計5件(のべ5回)
血漿交換(PE)	1	1	4	計6件(のべ17回)
ビリルビン吸着療法	0	1	0	計1件(のべ1回)
LDLアフェレーシス	1	0	1	計2件(のべ26回)
血球吸着療法 (LCAP、GCAP)	0	0	0	計0件(のべ0回)

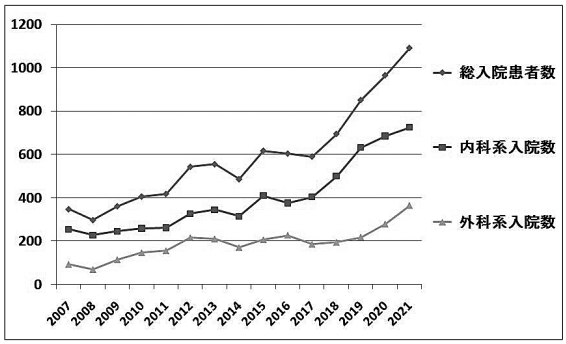
《病院全体での比較》

令和3年度(2021年) 八尾徳洲会総合病院 透析センター	病院全体での 年間入院患者様 (医事課の集計より) 10,735名(100%)	病院全体の年間 救急搬送後入院 (病院全体の29.8%) 3,197名(100%)	透析センター関連の 年間入院患者様 (病院全体の10.2%) 1,091名(100%)	透析センター関連の 年間救急搬送後入院 (病院全体の3.5%) 374名(100%)
男女比(男:女)	1.34:1	1.20:1	2.54:1	2.20:1
平均年齢(歳)	69.5歳	75.3歳	72.3歳	75.2歳
内科系入院数	6,151名(57.3%)	2,239名(70.0%)	726名(66.5%)	253名(67.6%)
外科系入院数	4,584名(42.7%)	958名(30.0%)	365名(33.5%)	121名(32.4%)

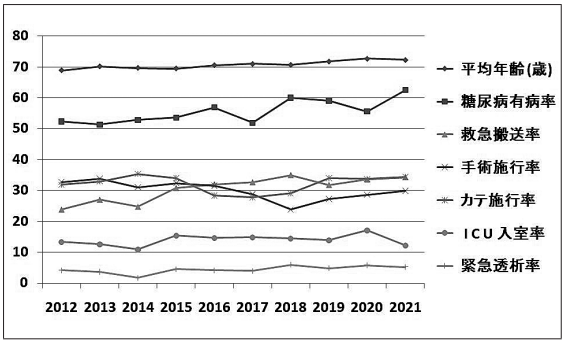
【病院救急搬送数】 年間 7,350 件(月平均 613 件)

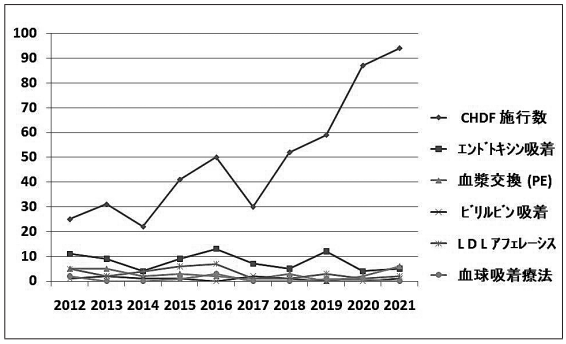
《透析年報グラフ》





《入院 - 浄化 - グラフ》





《週間当番表》

透析室 待機表	月	火	水	木	金	土
午前	申	森	申	寺川	申	寺川
午後	申	申	申	森	申	三浦
休日	申 (松岡)	申 (石原)	申 (福田)	寺川 (石原)	申 (福田)	申 (三浦)

内 科 26
循環器内 33
消化器内 34
呼吸器内 35
腫瘍内科 36
血管透析 38
腎臓内科 42
糖尿病 代謝内科 43
脳神経内 45
内分泌内 46
膠原リウ 48
小児科 50
放射診科 52
救急科 53
外 科 55
整形外科 57
脳神経外 60
心臓血管 心臓血セ 62
形成外科 美容外科 65
呼吸器外 67
小児外科 68
歯 科 歯科口腔 71
泌尿器科 73
眼 科 75
麻酔科 77
肝臓セン 79
皮膚科 83
婦人科 84
耳鼻咽喉 86
病理診断 88

4. 今後の目標

近隣の先生方の御指導のもと、他施設および他診療科と協力して、より高度な集学的治療および看護を提供できるように更に整備して参ります。また、地域の腎不全患者様の新規透析導入・入院加療・災害対策の総合施設としての役割を担えるよう、スタッフ一同協力し引き続き努力していく所存です。今後とも宜しくお願い申し上げます。（申　勝）

本邦では諸外国と比較し、腎代替療法のうち腎移植の割合が非常に低く、より多くの腎不全患者様への腎移植が望まれています。そのような状況下、我々は八尾徳洲会総合病院での腎移植実施に向け、西日本随一の実績を誇る日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院、および同グループの湘南鎌倉総合病院と連携し、2021 年 - 秋 - から準備を開始致しました。八尾市周辺の腎不全患者にとって、腎移植という選択肢が特別にならない日を早期に実現したいと考えております。どうかご支援の程宜しくお願い申し上げます。（松岡　伸英）

7）腎臓内科

腎臓内科医長　森 ちさこ

1. 概要

2017 年 4 月から常勤医として働いています。2017 年 11 月より、前任の今田聰雄先生の患者様も引き継ぎ診させていただいています。腎炎、糖尿病性腎症などの腎不全を診ています。最大の特色は腹膜透析の導入・施行をしていることです。透析に至らないことが目標ですが、残念ながら腎不全に至った場合でも当院では療法選択をすることができます。

2. メンバー構成

森ちさこ　日本内科学会認定医・日本透析学会専門医

外来診察日　火曜（午前）・木曜（午後）・金曜（午前）

3. 実績

《外来患者数》

1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
171	152	193	182	185	211	177	196	216	217	208	229	2,337

単位：人

4. 今後の目標

近年の傾向として、糖尿病性腎症を主とした腎不全、腎硬化症の患者様が増えています。腎不全に至った場合でも、腹膜透析・血液透析・移植と 3 つの治療法を提案していきたいと思います。

また多発性のう胞腎を積極的に診察しています。難病申請により医療費の軽減、進行抑制できるトルバプタンの認定医であり、入院での導入が可能です。開業医の先生方には、疑わしい症例がありましたら、また腎機能障害の方がいらっしゃれば御紹介頂けると幸いです。

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　42
糖尿病 代謝内科　43
脳神経内　45
内分泌内　46
膠原リウ　48
小児科　50
放射診科　52
救急科　53
外　科　55
整形外科　57
脳神経外　60
心臓血管 心臓血セ　62
形成外科 美容外科　65
呼吸器外　67
小児外科　68
歯　科 歯科口腔　71
泌尿器科　73
眼　科　75
麻酔科　77
肝臓セン　79
皮膚科　83
婦人科　84
耳鼻咽喉　86
病理診断　88

8）糖尿病・代謝内科

糖尿病・代謝内科部長　石橋　里江子

1. 概要

2021 年はインスリン発見から 100 周年の節目を迎えました。新規糖尿病薬の開発、デバイスの改良など糖尿病治療の目覚ましい進歩の一方で、患者様個々の生活に療養を組み込んでいくプロセスは一様ではありません。生活習慣への介入、進化したツールをいかに効果的かつ安全に手渡すのか、日々チームで試行錯誤しています。

インスリンを発見したひとりである Banting の誕生日に因み、11 月 14 日は世界糖尿病デーに指定されています。2017 年以降、この日に開催してきた院内イベント『世界糖尿病デー in YAOTOKU』は前年に中止を余儀なくされましたが、2021 年は密を避けるべく日程を分散し、各専門職が個別に対面相談を実施しました。

コロナ禍も 2 年目となり対面での活動を自粛する中、糖尿病教室はオンライン公開医療講座として毎月 2 講演ずつ実施しました。今後は感染対策を講じながら対面での講演再開を模索していきます。

2. 糖尿病ケアチーム構成メンバー　（＊＊日本糖尿病学会専門医・糖尿病療養指導士）

【常勤医師】　石橋里江子＊＊（部長）　髙原良典（総合内科医長）　植田秀樹＊＊
【保健師】　酒井菜穂子・藤井安希子・由留木千恵　大谷康仁　牧田美奈
【管理栄養士】　佐藤友亮　岸本真悠　八木楓子
【理学療法士】　服部玄徳・奥村葵・
【薬剤師】　坂野千賀・森田亜記・栗野大輔・中田将基　福村真須美　吉澤典成
【臨床検査技師】　高津美乃里・大前裕也　小林正弥　古賀奈実
【臨床心理士】　八島麻美子　宮坂なつ花
【看護師】　西田愛希
【医事課】　桧垣伊佐子

3. 実績

1）糖尿病外来延べ件数　11,980 件 / 年
2）糖尿病入院担当件数　294 件 / 年（教育入院　52 件含む）
3）『世界糖尿病デー　in YAOTOKU』 2021 年 11 月 8 日（月）～ 12 日（金）
　場所：八尾徳洲会総合病院 1 階　　エントランスホール
　・各専門職による相談コーナー
　（管理栄養士　理学療法士　薬剤師　保健師　糖尿病専門医）
　・糖尿病川柳　（臨床心理士）
　・教材・ポスター展示
4）糖尿病教室　（公開医療講座）
　場所：八尾徳洲会総合病院 3 階　第 1・2 会議室　オンライン開催

月	テーマ	担当	講師	参加人数
1	糖尿病と歯周病	歯科医師	占部一彦	20
	血糖値　測ってみよう、考えてみよう	薬剤師	坂野千賀	21
2	糖尿病と感染症	内科医師	髙原良典	28
	糖尿病と認知症	臨床心理士	八島麻美子	26
3	糖尿病と社会資源の活用法	医療ソーシャルワーカー	三谷勇一	20
	当院の糖尿病合併症検査について	臨床検査技師	東奈実	21
4	インスリン発見100周年	糖尿病内科医師	石橋里江子	23
	糖尿病の食事療法　～基礎編～	管理栄養士	八木楓子	21
5	糖尿病の薬について　～内服編～	薬剤師	栗野大輔	19
	糖尿病の運動療法導入編 ～有酸素運動とレジスタンス運動について～	理学療法士	服部玄徳	16
6	検査値について ～糖尿病連携手帳に沿って～	臨床検査技師	水本 俊	16
	季節ごとの足のお手入れ	保健師	由留木千恵	17
7	糖尿病の大血管障害	糖尿病内科医師	植田秀樹	19
	糖尿病とうつ	臨床心理士	宮坂なつ花	21
9	糖尿病の食事療法　～実践･応用編～	管理栄養士	岸本真悠	29
	糖尿病の運動療法実践編 ～有酸素運動について～	理学療法士	奥村葵	29
10	糖尿病の薬について　～注射編～	薬剤師	森田亜記	19
	糖尿病療養Q&A ～患者さんとの会話から～	保健師	酒井菜穂子	20
11	災害への備え	内科医師	髙原良典	21
	当院の糖尿病合併症検査について	臨床検査技師	東奈実	22
12	糖尿病と認知症	臨床心理士	八島麻美子	16
	糖尿病の運動療法実践編 ～レジスタンス運動について～	理学療法士	服部玄徳	16
			合計	460

4. 今後の目標

1）チーム連携を強化し、患者様が最適な治療を受けられるよう支援する

2）紹介、逆紹介、講演会を通じて病診連携を推進する

3）チーム医療に精通した後進を育成する

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　42
糖尿病 代謝内科　43
脳神経内　45
内分泌内　46
膠原リウ　48
小児科　50
放射診科　52
救急科　53
外　科　55
整形外科　57
脳神経外　60
心臓血管 心臓血セ　62
形成外科 美容外科　65
呼吸器外　67
小児外科　68
歯　科 歯科口腔　71
泌尿器科　73
眼　科　75
麻酔科　77
肝臓セン　79
皮膚科　83
婦人科　84
耳鼻咽喉　86
病理診断　88

9）脳神経内科

脳神経内科部長　辰己　新水

1. 概要

脳神経内科疾患全般を扱っております。

2. メンバー構成

常　勤：辰己　新水　日本内科学会総合内科専門医
　　日本神経学会神経内科専門医
非常勤：武田　景敏
　　渡辺　徹也

3. 実績

主要な疾患は、下記の通りです。（辰己医師、2021 年 1 月～ 2021 年 12 月の期間の新規登録患者）

疾患カテゴリー	症例数	疾患カテゴリー	症例数
神経変性疾患	73	筋疾患	10
感染性神経疾患	14	神経筋接合部疾患	4
代謝・中毒性神経障害	26	末梢神経障害（脳神経障害を含む）	27
てんかん・けいれん	39		

4. 今後の目標

常勤医一人の体制でご迷惑をおかけするかもしれません。今後ともどうかよろしくお願いいたします。

10）内分泌内科

内分泌内科　顧問　山本智英

1. 概要

一昨年、昨年に引き続き、新患として診断、治療を開始した例の多くが甲状腺疾患と副腎疾患でありその他種々の疾患でした。3年前から褐色細胞腫診断のため血漿メタネフリン、ノルメタネフリン濃度測定が健康保険適用になり当院では昨年より副腎偶発腫瘍ホルモン・スクリーニング・セットとしてコルチゾル、ＡＣＴＨ、アルドステロン、レニン活性、ＤＨＥＡ－Ｓ，メタネフリン、ノルメタネフリンの７項目を設定、ホルモン産生性腫瘍が少しづつ見いだされています。

2. メンバー構成

山本　智英　日本内分泌学会会員

3. 実績

a) 新患　114 例

疾患	例数
バセドウ病	18
橋本病､機能低下を合併	7
橋本病､機能異常なし	5
橋本病､出産後一過性機能亢進症を発症	1
甲状腺機能低下症。橋本病がない	7
結節性甲状腺腫､単発	3
結節性甲状腺腫､多発	3
結節性甲状腺腫､嚢胞	2
結節性甲状腺腫､乳頭癌	3
浅在性甲状腺機能低下症（TSH <10μU/ml）	4
亜急性甲状腺炎	3
沃素過剰投与､摂取による甲状腺機能低下	3
偶発性副腎腫瘍､内2例にアルドステロン症	7
不顕性副腎不全	5
甲状腺腫大疑い→生理的範囲	3
その他※1	40

※１副甲状腺機能亢進症、ビタミＤ欠乏症、反応性低血糖など

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　42
糖尿病 代謝内科　43
脳神経内　45
内分泌内　46
膠原リウ　48
小児科　50
放射診科　52
救急科　53
外　科　55
整形外科　57
脳神経外　60
心臓血管 心臓血セ　62
形成外科 美容外科　65
呼吸器外　67
小児外科　68
歯　科 歯科口腔　71
泌尿器科　73
眼　科　75
麻酔科　77
肝臓セン　79
皮膚科　83
婦人科　84
耳鼻咽喉　86
病理診断　88

b） 紹介元、院外（紹介状あり）58 件、院内 51 件、ドック健診後追精査 4 件

c） 内分泌負荷試験

低用量コートロシン試験	11 件
Schellong 試験（能動的起立試験）	8 件
宵越しデキサメサゾン抑制試験	4 件
CRH 試験	3 件
副腎偶発腫瘍ホルモン・スクリーニング	7 件

4. 今年の目標

2021 年も中河内地区の先生方より診断、治療に難渋する多数の症例を紹介していただき有難うございました。今後も引き続き内分泌、代謝異常疾患、更に全く捉えどころがなく、診断、治療に難渋されている疾患の診断にお役に立ちたいと思います。

11）膠原病リウマチ内科

膠原病リウマチ内科　吉崎　和幸

1. 概要

当診療科は2008年5月に発足した診療科で、14年が経過しました。内科疾患の中で、特に関節リウマチと全身性エリテマトーデスの様な膠原病･リウマチ疾患を中心に診療しています。その他、血管炎症症候群やベーチェット病、免疫不全症、キャッスルマン病、更に不明熱も診療しています。診断が困難な患者様もご紹介下さい。

2. メンバー構成

当診療科は医師のみならず、薬剤師や看護師、CRC、理学療法士、そして医師事務作業補助者のチーム連携によって緻密な治療を包括的に行っています。患者様に「安心して生命をまかせられる医療」を提供できるよう日々精進しています。このため患者様は当診療科を安心、信頼して頂いた上でご受診下さっていると考えております。

診療担当医と外来診療日

吉崎和幸（非常勤）　:水曜日（午前9：00 － 12：00）

八木田正人（非常勤）:水曜日、金曜日（午前9：00 － 12：00）

3. 実績

年月を経るごとに患者数が増加し、周辺医療機関にもその存在が定着しています（表1）。膠原病リウマチ内科は、生物学的製剤治療を含めた先端医療を行っております。その結果、より高度で有効な治療を推進し、著しい治療効果が認められています。患者様の満足度は高く、安全性にも十分配慮しているので、患者様のほぼ全員が安心して本院での治療を継続しています。

現在、膠原病・リウマチ診療においては、東大阪、八尾、柏原地域の中心的診療病院として活動しております。このため、大阪市内の病院あるいは大学病院に通院していた患者様が当院に受診するようになっております。

4. 今後の目標

「免疫介入治療センター（仮称）」は原田病院長の援助のもと八尾徳洲会総合病院をはじめ、吹田徳洲会病院にも分室を設立し、徳洲会病院組織の共通治療センターとして展開できるよう努めております。また、八尾・吹田徳洲会病院合同の勉強会を開き、共通医療が出来る体制の構築を予定しており､より患者様にとって安全安心の医療をご提供できるよう努めていきます。

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　42
糖尿病 代謝内科　43
脳神経内　45
内分泌内　46
膠原リウ　48
小児科　50
放射診科　52
救急科　53
外　科　55
整形外科　57
脳神経外　60
心臓血管 心臓血セ　62
形成外科 美容外科　65
呼吸器外　67
小児外科　68
歯　科 歯科口腔　71
泌尿器科　73
眼　科　75
麻酔科　77
肝臓セン　79
皮膚科　83
婦人科　84
耳鼻咽喉　86
病理診断　88

《表１　外来診療患者数》

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
2010年	133	124	137	163	120	153	188	151	182	164	171	156	1,842	153.5
2011年	176	161	209	170	173	194	182	186	194	171	183	179	2,178	181.5
2012年	194	194	182	196	198	181	203	213	161	193	195	169	2,279	189.9
2013年	213	228	250	248	263	256	291	216	266	252	271	252	3,006	250.5
2014年	192	167	200	186	204	175	191	209	173	240	186	210	2,333	194.4
2015年	204	200	186	196	202	208	238	204	237	214	203	175	2,467	205.6
2016年	210	212	240	227	221	223	230	206	217	192	206	235	2,619	218.3
2017年	205	210	229	235	228	225	215	229	263	244	249	281	2,813	234.4
2018年	275	245	287	244	279	264	258	272	268	285	278	252	3,207	267.3
2019年	259	243	257	250	258	241	295	284	260	318	252	286	3,203	266.9
2020年	252	253	243	263	220	198	245	199	242	197	192	206	2,710	225.8
2021年	191	214	241	288	241	303	300	299	337	339	294	360	3,407	283.9

12）小児科

小児科部長　石垣　早知子

1. 概要

今年も常勤医１人体制で継続診療中です。小児科としては多職種連携と情報交換の為に月１回院内小児科委員会を開催し、種々の問題に対応し、最新の小児科情報を共有しています。アレルギー学会準教育施設登録施設としてもアレルギーの勉強のできる対応を心がけております。

2. メンバー構成

一般外来の他、発達とアレルギー、心身症について石垣は月曜から土曜まで外来を行い併存疾患への対応も可能です。アレルギー学会専門医や子どもの心の相談医、ICD（感染対策）等の資格を取得し、多岐にわたる患者の診療を続け、入院患者も受けいれています。また大阪医科大学より診療の援助を頂いています。月曜は松村先生（一般小児と小児腎外来と午後予防接種も担当)、木曜は新田先生、金曜は清水先生（毎週午前一般小児と小児循環器を主に第1、3金曜午後)、土曜は小武内先生（女性医師)、小児神経も土曜は七里先生が担当しています。神原先生は火水の午後、木曜の夕診に心身症と発達心理等の予約診療を行い、東先生は月１回木曜の心身症の予約診療をしています。他に予防接種は月曜日午後と木曜夕診に行っています。金曜午後に乳児健診も行っています。小児関連では他科との交流も盛んで、特に虫垂炎疑いなどの小児外科疾患については互いに連携しています。石垣は成人アレルギー疾患についても舌下免疫療法やアレルギー相談を中心として診療を行っています。

3. 実績

コロナウイルス感染症対策が必要とされる現状に対しては、外来レイアウトの他、感染対策に留意し、通常外来運営を維持できるよう努力しています。

入院の受け入れは肺炎など一般疾患が中心ですが、時には心身症などの疾患も入院して加療を行っています。また引き続き医療だけでなく各種ケアも行っています。小児の言語発達遅滞など発達障害に対して言語聴覚士（ST）が評価および訓練を行っており、また小児心療内科として、臨床心理士３名（朴先生、八島先生、宮坂先生）がカウンセリングや心理治療を行っています。大阪府発達障がい支援施設の登録施設になったためもあり以前より成人の発達に対応しているリハビリ科とも連携しています。

小児科外来横には八尾市の委託事業でもあるもこもこ病児保育室があり、保育師とともに外来看護師が、看病できない保護者にかわって子どもたち（病児）のケアを行っています。今年度は、コロナウイルス対策に留意し感染対策と受け入れ体制に工夫をしながら、できるだけ安全安心の病児保育受け入れをできるよう努力されています。院内の看護師、医師、コメディカルの就業支援にも役立っていますが、広く開放し育児支援の役割も担っています。参加している全国病児保育協議会は広く病児のために啓蒙活動しています。

ほかに石垣は奈良リハビリテーション専門学校と小阪看護専門学校に小児科関連の講義に求めに応じて出張したりなど地域の小児科関連での活動援助を行っています。

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　42
糖尿病 代謝内科　43
脳神経内　45
内分泌内　46
膠原リウ　48
小児科　50
放射診科　52
救急科　53
外　科　55
整形外科　57
脳神経外　60
心臓血管 心臓血セ　62
形成外科 美容外科　65
呼吸器外　67
小児外科　68
歯　科 歯科口腔　71
泌尿器科　73
眼　科　75
麻酔科　77
肝臓セン　79
皮膚科　83
婦人科　84
耳鼻咽喉　86
病理診断　88

大阪健康安全基盤研究所（旧大阪公衆衛生研究所）と府、国の感染対策の連携も取り、感染症の定点報告機関としての役割を果たしています。中河内地区として、八尾市のみならず東大阪市や柏原市とも連携しています。環境感染学会など感染症関連学会にも所属し、ICD としても感染対策室から院内外の感染対策に寄与しています。他に院内外の講習会で講演を行っています。徳洲会病院としても小児科部会として全国で交流し症例報告や外部からの講演会も行われています。

《外来患者数》

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
461	515	810	667	646	738	707	634	619	798	1,009	802	8,406	700.5

4. 今後の目標

今後も小児の心身の健康と成長に必要な小児診療を発展させ、新しい情報を保護者様たちの為にも役立てたいと考えています。

13）放射線科（診療部）

放射線科部長　津島　寿一

1. 概要

放射線科ではＣＴ，ＭＲＩ，ＲＩ．消化管造影、マンモグラフィーと一部の単純Ｘ線写真の読影、一部の消化管造影の施行、腹部四肢の血管造影とＩＶＲ、放射線治療を主に担当しています。各診療科や近隣の病院、診療所と連携し、各種画像診断、ＩＶＲや放射線治療を迅速かつ適切・正確に実施することに努めています。

2. メンバー構成

画像診断・ＩＶＲ部門：常勤医３名（岩崎聖、津島寿一、兵藤公一）、非常勤医 16 名
放射線治療部門　　：常勤医１名（梶谷千香枝）、非常勤医２名
上記のうち、診断専門医 10 名、ＩＶＲ専門医２名、治療専門医３名、検診マンモグラフィー読影認定医４名（従事２名）

3. 実績

①ＣＴ，ＭＲ，ＲＩ，ＧＩの読影件数　約 39,600 件 / 年
②ＩＶＲ件数　94 件 / 年
③放射線治療（新患人数）133 人 / 年

4. 今後の目標

画像診断・ＩＶＲ部門では、現状の常勤医のみでは不足で、常勤医の増員が不可欠です。2021 年１月に 16 列ＣＴがキャノン 320 列に更新され、検査数がアップし、さらに今年度中に１台のＭＲＩが更新予定で、検査の増加が必然です。

放射線治療部門では、2014 年１月から常勤の放射線治療専門医１名体制で行っていますが、引き続き大学からの応援と遠隔システムを利用し、安全で有効な放射線治療を各診療科と協力して遂行していきます。

日本医学放射線学会専門医修練機関に認定されており、研修医の教育にも力を入れていきたいと考えています。

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　42
糖尿病 代謝内科　43
脳神経内　45
内分泌内　46
膠原リウ　48
小児科　50
放射診科　52
救急科　53
外　科　55
整形外科　57
脳神経外　60
心臓血管 心臓血セ　62
形成外科 美容外科　65
呼吸器外　67
小児外科　68
歯　科 歯科口腔　71
泌尿器科　73
眼　科　75
麻酔科　77
肝臓セン　79
皮膚科　83
婦人科　84
耳鼻咽喉　86
病理診断　88

14）救急科

救急総合診療部医長　阿部　祐子

1. 概要

当院は、415 床の急性期病院として、年間 7,000 ～ 8,000 件の主に中河内地区を中心とした救急搬送を受け入れており、年々件数は増加している。

当院方針である「断らない医療の実践」のため、24 時間を通して対応できる体制をとっている。

近隣施設より病診連携室経由で急性期疾患を紹介いただき救急搬送される場合は当科を窓口に受け入れ、積極的に初期対応を行っている。

また、新型コロナウィルス感染症による度重なる緊急事態宣言や発熱患者の増多に対し、発熱対応エリアを作成し通常疾患患者とエリア分けして初期対応にあたっている。

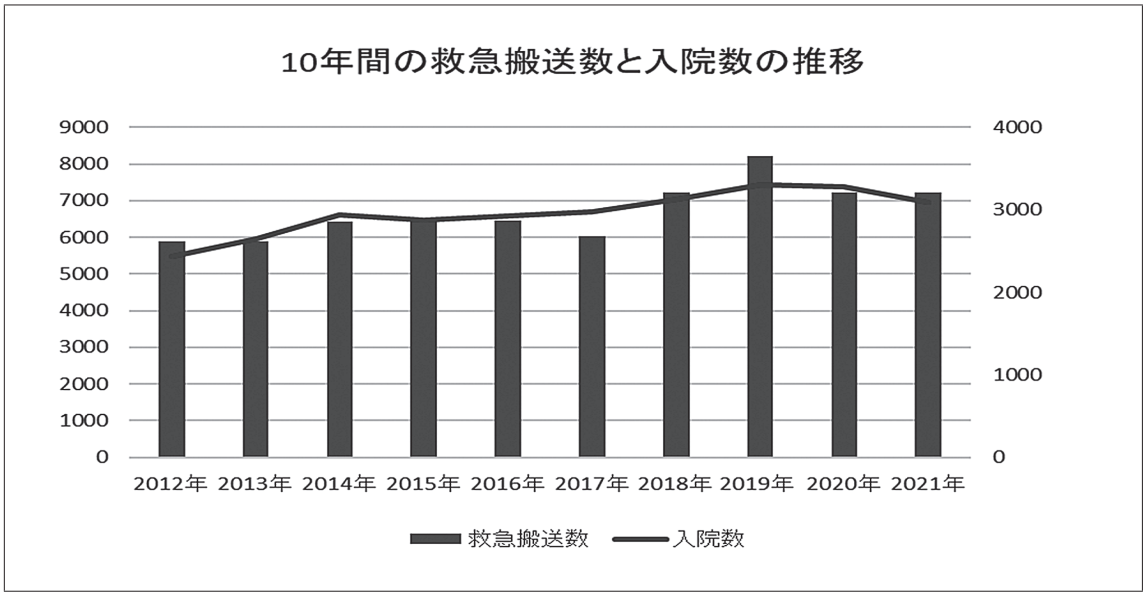
2. メンバー構成

阿部　祐子　救急総合診療部医長
ICLS インストラクター、ABLS インストラクター
日本 DMAT 登録隊員、日本医師会認定産業医

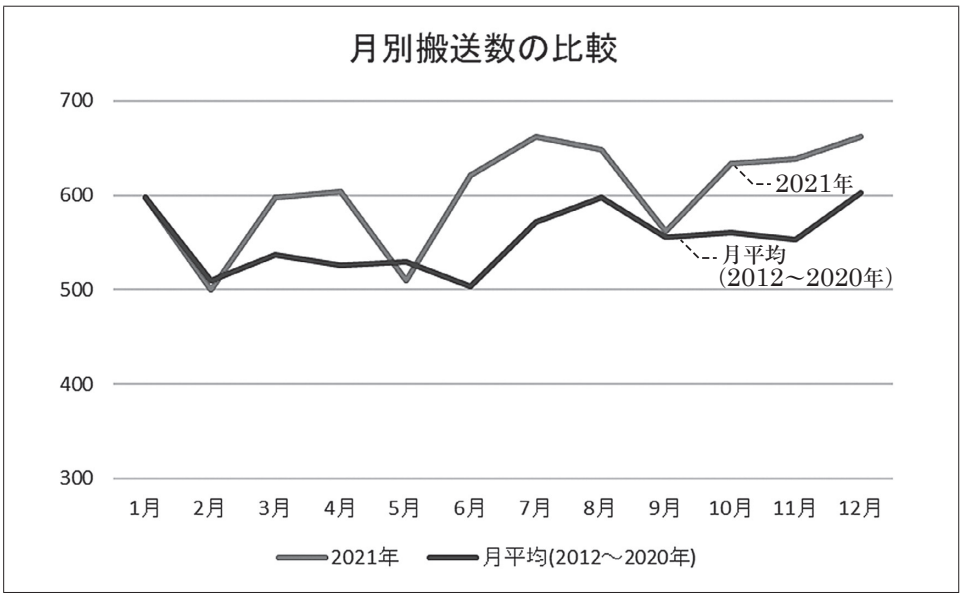
3. 実績

救急搬送数は今年も新型コロナ感染症の影響により、昨年とほぼ同数となった。入院制限などもあり入院率は昨年よりやや減少した。

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
救急搬送数	5,899	5,879	6,431	6,423	6,468	6,025	7,223	8,199	7,234	7,233
入院数	2,434	2,649	2,936	2,874	2,927	2,974	3,125	3,302	3,279	3,086
入院数％	41.3	45.1	45.7	44.7	45.3	19.4	43.3	40.3	45.3	42.7



また月別搬送数において、2012 年～ 2020 年の平均と比較しても増加傾向にあるが、度重なる緊急事態宣言により病棟ベッド数制限などおこなったことも影響していると考える。



なお、ここでいう救急搬送数は、当院 2 階救急外来で受け入れし診察した件数である。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
CPA(%)	29(4.9)	21(4.2)	11(1.8)	22(3.6)	19(3.7)	11(1.7)	13(1.9)	10(1.5)	5(0.9)	14(2.2)	11(1.7)	9(0.9)
外傷(%)	137(22.9)	125(25)	133(22.3)	170(28.1)	149(29)	152(24)	155(23)	148(16)	125(22)	193(30)	166(26)	191(29)
紹介搬送(%)	68(11.4)	60(12)	60(13)	52(8.6)	37(7.0)	58(9.0)	75(11)	68(10)	75(13)	65(10)	77(12)	86(13)

上記のように毎月約 10%以上、病診連携を通して他病院から各科への紹介救急搬送の初期対応を救急外来で行っている。

心肺停止症例は毎月約 10 例搬送されており、蘇生後低酸素脳症に対し、積極的に脳低温療法を取り入れるようにしている。

4. 今後の目標

本年も昨年同様、「断らない医療の実践」を目標に、医療ガイドラインに沿った安全、安心の医療を提供するとともに、臨床研修指定病院として研修医の育成に励みたい。

また年々救急搬送件数が増加傾向にあり、救急医募集中である。

内　科 26
循環器内 33
消化器内 34
呼吸器内 35
腫瘍内科 36
血管透析 38
腎臓内科 42
糖尿病 代謝内科 43
脳神経内 45
内分泌内 46
膠原リウ 48
小児科 50
放射診科 52
救急科 53
外　科 55
整形外科 57
脳神経外 60
心臓血管 心臓血セ 62
形成外科 美容外科 65
呼吸器外 67
小児外科 68
歯　科 歯科口腔 71
泌尿器科 73
眼　科 75
麻酔科 77
肝臓セン 79
皮膚科 83
婦人科 84
耳鼻咽喉 86
病理診断 88

15）外　科

外科部長　村上　修

1. 概要

コロナ禍の中で消化管を中心に乳腺甲状腺ヘルニア、緊急手術などが多く鏡視下手術を積極的に行ってきました。高齢化社会の中で基礎疾患のあるリスクの高い悪性腫瘍の患者が増加してきている印象でした。低侵襲治療として経肛門内視鏡手術の導入、手術合併症対策、緩和ケア、化学療法等含めた個別化医療をすすめてきました。地域中核病院として社会への貢献、手術件数はやや増加傾向となっております。女性医師が2人加わり、厚みのある外科診療ができるようになってきました。常勤医が不在であった徳之島徳洲会病院外科の応援を、2019年より当病院で継続しております。外科系他科とも連携して、教育にも力を入れ個人とチームの更なるレベルアップを進めていきたいと思います。

2. メンバー構成

村上　修　（部長）／日本外科学会専門医
遠藤　幸丈（部長）／日本外科学会専門医
豊田　亮　（医長）／日本外科学会専門医、日本内視鏡外科学会技術認定医
垣本　佳士（医長）／日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医・指導医、
日本がん治療認定医療機構認定医
大田　修平（医長）／日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医、
日本がん治療認定医療機構認定医、ACLS・BLSプロバイダー、
Diploma in Tropical Medicine
松岡　信子（医長）／日本外科学会専門医、日本救急医学会専門医、
JATECインストラクター、JPTECプロバイダー、ITLSプロバイダー、
MCLSプロバイダー
堤　綾乃　／日本外科学会専門医、日本がん治療認定医療機構認定医
服部　彬　／日本外科学会専門医
小池　廣人　／日本外科学会専門医
八田　康佑（専攻医）

3. 実績

《外科手術件数》

	2019年	2020年	2021年
食道	6	6	9
胃切除・胃全摘（腹腔鏡下）	31	20	65
胃切除・胃全摘（開腹）	20	20	9
腹腔鏡下胆摘（四孔式）	214	93	213
腹腔鏡下胆摘（単孔式）	1	0	0
膵頭十二指腸切除	12	0	12
膵体尾部切除	6	1	4
肝切除	34	0	37
虫垂切除（腹腔鏡下）	69	66	89
虫垂切除（開腹）	3	4	2
結腸切除（腹腔鏡下）	70	82	78
結腸切除（開腹）	27	24	9
直腸切除・切断（腹腔鏡下）	46	24	31
直腸切除・切断（開腹）	14	1	4
鼠径部ヘルニア修復（腹腔鏡下）	105	85	110
鼠径部ヘルニア修復（鼠径部切開）	17	34	15
肛門疾患（内痔核硬化療法等）	49	29	34
乳房腫瘤・乳癌	23	21	27
その他	408	249	406
呼吸器外科	100	0	124
手術件数	1,255	759	1,278

4. 今後の目標

患者の利益のため、QOL 向上のために正しい手術、周術期管理を丁寧に行っていきます。そして、救急疾患をはじめ癌の包括的な治療まで、地域医療の充実のために外科医としての責務を果たしていきます。

また、個々に成長することも目標とし、学会活動も積極的に行っていきます。

内　科 26
循環器内 33
消化器内 34
呼吸器内 35
腫瘍内科 36
血管透析 38
腎臓内科 42
糖尿病 代謝内科 43
脳神経内 45
内分泌内 46
膠原リウ 48
小児科 50
放射診科 52
救急科 53
外　科 55
整形外科 57
脳神経外 60
心臓血管 心臓血セ 62
形成外科 美容外科 65
呼吸器外 67
小児外科 68
歯　科 歯科口腔 71
泌尿器科 73
眼　科 75
麻酔科 77
肝臓セン 79
皮膚科 83
婦人科 84
耳鼻咽喉 86
病理診断 88

16）整形外科

整形外科部長　當麻　俊彦

1. 概要

スタッフ 4 名で日々の整形外科診療にあたっております。外来は午前診が毎日、夕診は週 2 日（火・木）の 2 診体制で行っております。整形外科当直を行い、救急診療科と連携して 365 日 24 時間体制で整形外科救急疾患の受け入れを、また、麻酔科の協力を得て緊急手術の受け入れ態勢を整えております。入院されました患者様は 44 床の整形外科病棟（6 階西）で治療にあたっております。

スタッフ人員減にともないパワーダウンは否めませんが、手術件数は 2021 年は年間 1056 件でした。骨折・外傷疾患の手術が多く、中でも高齢者の骨折手術が多くみられ、合併症を持つ患者様もできるだけ受傷前の状態に回復できるように院内他科、および近隣の回復期リハビリ病院様の協力も得て手術治療を行っております。また、人工関節手術は年間 62 例（股関節 26 例、膝関節 31 例、肘関節 5 例）、脊椎外科手術は 134 例の手術をこなし、手外科症例は 303 例と安定した成績をあげております。

また､患者様のニーズに応えるべく専門外来も開設しております。長谷川が骨粗鬆症外来（毎週木曜日 10:00 ～ 12:00）を、當麻は脊椎外来（毎週木曜日 10:00 ～ 12:00、予約制）を、土肥は手の外科・四肢外傷外来（毎週月曜日 14:00 ～ 16:00、予約制）を担当しております。

2. メンバー構成

顧問	長谷川　潔	専門：人工関節外科、骨粗鬆症
診療部長	當麻　俊彦	専門：脊椎外科、災害医療
医長	土肥　義浩	専門：手外科
医長	三木　秀賢	専門：人工関節外科

3. 実績

《手術件数》

分野	各手術	コメント	件数
脊椎 1	1 頚椎後方	形成術、除圧術、ヘルニア摘出術	13
		固定	1
	2 頚椎前方	除圧	5
		固定	5
	3 胸腰椎後方	形成術、除圧術、ヘルニア摘出術	54
		固定（椎体間固定、後側方固定）	48
	4 胸腰椎前方	除圧	0
		固定	0
	5 胸腰椎（前方+後方）	前方+後方同時手術	0
	6 脊椎腫瘍手術		2
	7 脊椎外傷手術		0
	8 抜鋼術		2
	9 その他の手術	BKP、感染など	4
合計			134

分野	各手術	コメント	件数
骨盤 2	1 骨盤骨折観血的整復固定術		1
	2 抜鋼術		0
	3 その他の手術		1
合計			2
股関節，大腿骨 3	1 大腿骨頸部骨折　観血的整復固定術	内側骨折・転子間骨折など	48
	2 大腿骨頸部骨折　人工骨頭置換術	人工骨頭	117
	3 大腿骨骨幹部骨折観血的整復固定術		77
	4 人工股関節置換術（初回 THA）	初回例です	26
	5 人工関節・骨接合材料の抜去病巣郭清術	病巣郭清	0
	6 人工股関節置換術（再置換術）	再置換例です	0
	7 臼蓋形成術（Shelf, Chiari, RAO など）		0
	8 小児股関節脱臼手術		0
	9 抜鋼術		4
	10 その他の手術		3
合計			275
膝関節，下腿骨 4	1 膝関節周辺骨折（膝蓋骨も含む）	膝蓋骨骨折	10
	2 下腿骨骨折観血的手術		9
	3 人工膝関節置換術（初回 TKA）	初回例です	30
	4 人工膝関節置換術（再置換術）	再置換例です	1
	5 人工関節・骨接合材料の抜去病巣郭清術	病巣郭清	0
	6 関節鏡（簡単なもの）	検査を主体とするもの	0
	7 関節鏡（複雑なもの）	半月板・滑膜切除など	0
	8 靭帯再建術（鏡下も含む）	陳旧例に対する再建術	1
	9 高位脛骨骨切り術		0
	10 抜鋼術		20
	11 その他の手術		5
合計			76
足関節，足部 5	1 足関節周辺骨折観血的整復固定術	踵骨骨折も含む	18
	2 足趾骨折観血的整復固定術		8
	3 人工足関節置換術		0
	4 足関節固定術		0
	5 足関節滑膜切除術		0
	6 アキレス腱縫合術		2
	7 足関節周辺靱帯縫合，再建術		0
	8 外反母趾手術		2
	9 足趾関節形成術	（外反母趾を除く）	0
	10 先天奇形手術		0
	11 内反足手術		0
	12 抜鋼術		17
	13 その他の手術		5
合計			52
鎖骨，肩関節 6 上腕	1 鎖骨・肩鎖関節周辺外傷に関する手術	骨折と靱帯損傷の修復手術	23
	2 上腕骨頚部骨折観血的整復固定術	骨接合術	11
	3 上腕骨骨折観血的整復固定術	頚部骨折以外の症例	25
	4 人工肩関節置換術		0
	5 肩板断裂手術		0
	6 反復性脱臼手術		0
	7 抜鋼術		14
	8 その他の手術		7
合計			80
肘関節，前腕 7	1 肘関節周辺骨折観血的整復固定術	Montegia 骨折を含む	27
	2 前腕骨骨折観血的整復固定術		9
	3 肘関節滑膜切除術，関節形成術		0

内　科 26
循環器内 33
消化器内 34
呼吸器内 35
腫瘍内科 36
血管透析 38
腎臓内科 42
糖尿病 代謝内科 43
脳神経内 45
内分泌内 46
膠原リウ 48
小児科 50
放射診科 52
救急科 53
外　科 55
整形外科 57
脳神経外 60
心臓血管 心臓血セ 62
形成外科 美容外科 65
呼吸器外 67
小児外科 68
歯　科 歯科口腔 71
泌尿器科 73
眼　科 75
麻酔科 77
肝臓セン 79
皮膚科 83
婦人科 84
耳鼻咽喉 86
病理診断 88

分野	各手術	コメント	件数
	4 人工肘関節置換術		5
	5 抜鋼術		6
	6 その他の手術		12
合計			59
手関節，手 8	1 手関節周辺の観血的整復固定術	コーレス骨折，手根骨骨折を含む	84
	2 手指の骨折・靱帯損傷手術	骨折・靱帯手術	57
	3 手関節滑膜切除術，関節受動・形成術	手根骨部分固定も含む	16
	4 指関節滑膜切除術，関節受動・形成術		8
	5 腱鞘切開術	バネ指，デケルバンなど	48
	6 腱縫合術・移植・移行・腱剥離術	腱の手術	19
	7 重度外傷手術	再接着含む	0
	8 抜鋼術		63
	9 その他の手術		8
合計			303
神経の手術 9	1 尺骨神経剥離術（前方移行，King 等）		3
	2 手根管解放術（正中神経剥離術）		37
	3 梨状筋症候群手術		0
	4 その他　剥離，縫合，移植（上肢）		5
	5 その他　剥離，縫合，移植（下肢）		0
合計			45
腫瘍の手術 10	1 骨腫瘍　良性　　四肢		1
	2 骨腫瘍　悪性　　四肢		0
	3 骨腫瘍　良性　　脊椎・骨盤・躯幹		0
	4 骨腫瘍　悪性　　脊椎・骨盤・躯幹		0
	5 骨腫瘍生検術		1
	6 軟部腫瘍　良性　　四肢		19
	7 軟部腫瘍　悪性　　四肢		0
	8 軟部腫瘍　良性　　脊髄		0
	9 軟部腫瘍　悪性　　脊髄		0
	10 軟部腫瘍生検術		0
合計			21
筋性斜頸 11	1 腱切り術		0
植皮，移植 12	1 複合組織移植，遊離皮弁		0
	2 有茎皮弁		9
	3 遊離植皮		0
合計			9
四肢切断術 13	1 上肢	手指を除く	0
	2 手指		0
	3 下肢	足趾を除く	0
	4 足趾		0
	5 その他の部位		0
その他の手術 14	1 上記に分類されない手術		0
total　手術件数			1,056

4. 今後の目標

地域の基幹病院として外傷のほかに変性疾患等への対応に力を入れるだけでなく、研修会開催等にて近隣整形外科病院・クリニックの先生方との交流を深める機会を設けて病診連携機能の強化を図っております。また、公開医療講座、健康祭等にて整形外科疾患の治療・予防に関する情報を地域の方々に発信してまいります。

17）脳神経外科

脳神経外科部長　吉村　政樹

1. 概要

われわれ脳神経外科は脳および脊髄を守ることを目的としています。突然の麻痺や呂律障害で発症する脳卒中の方の救急対応をはじめ、顔や手足の痛み・しびれ感や、ふらつきなどの症状がおありの方に対して、脳から脊椎脊髄疾患を想定した診断と治療を提供します。

脳卒中では、ホットライン対応により、急性期脳卒中の受け入れを 24 時間体勢で行っています。一次脳卒中センターとして、超急性期血行再開通療法（t-PA 静注療法および血栓回収療法）を積極的に行っています。脳動脈瘤や血管狭窄症に対しては、外科治療と血管内治療の適応を適切に判断し治療に当っています。

脊椎疾患においては､顕微鏡手術による神経への愛護的手技を行うと共に､筋組織へのダメージが少ない低侵襲手術により、神経機能回復と筋運動機能温存の両立を目指しています。2018 年からは最小侵襲手技である内視鏡下腰椎椎間板手術を開始し、痛みの少ない治療を提供しています。

高難度な頭蓋底腫瘍手術や下垂体腺腫など、当院としては希少な疾患の手術では、大阪市立大学脳神経外科と連携し、共同で対応できるよう体制を整えています。

2. メンバー構成

部　　長：吉村　政樹　日本脳神経外科学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医、
日本脳卒中の外科技術認定医、日本神経内視鏡学会技術認定医、
日本脊髄外科学会認定医

医　　員：中西　勇太　日本脳神経外科学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医、
日本脳神経血管内治療学会専門医

医　　員：宇田　裕史　日本脳神経外科学会専門医

医　　員：石野　　昇　日本脳神経外科学会専修医（2021 年 10 月～）

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　42
糖尿病 代謝内科　43
脳神経内　45
内分泌内　46
膠原リウ　48
小児科　50
放射診科　52
救急科　53
外　科　55
整形外科　57
脳神経外　60
心臓血管 心臓血セ　62
形成外科 美容外科　65
呼吸器外　67
小児外科　68
歯　科 歯科口腔　71
泌尿器科　73
眼　科　75
麻酔科　77
肝臓セン　79
皮膚科　83
婦人科　84
耳鼻咽喉　86
病理診断　88

3. 実績

《入院患者数》 870 例（2021 年）

《手術件数》 2021 年 1 月～ 12 月

術式	件数	術式	件数
頭部疾患関連外科手術	186	脊椎疾患手術（合計）	62
動脈瘤開頭手術	8	頸椎前方除圧術	13
開頭脳内血腫除去術	23	頸椎後方除圧術・固定術	18
頸動脈血栓内膜剥離術（CEA）	3	胸椎・腰椎後方除圧術	11
脳血管バイパス手術	5	全内視鏡下手術（FESS）	13
脳腫瘍摘出手術	13	経皮的椎体形成術	3
脳腫瘍生検術	2	脊椎・脊髄・末梢神経腫瘍摘出	4
頭部外傷　開頭術	7	血管内手術（合計）	88
慢性硬膜下血腫穿頭ドレナージ術	68	急性期再開通療法	29
水頭症手術	34	脳動脈瘤塞栓術	30
減圧開頭術	9	頸部血管形成術（CAS）	23
その他	14	動脈塞栓術	6
		合計	336

4. 今後の目標

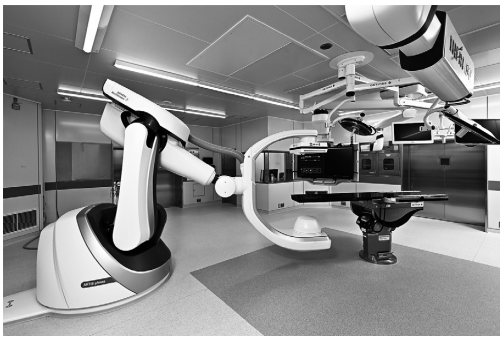
適切な診断と、適切な治療適応の判断を徹底し、それぞれの患者様に最も適したやさしい治療をモットーに診療します。当院の最大の特徴である急性期脳卒中治療に関しては、血管内治療環境やＣＴ装置の更新による診断能力向上などハード面の充実とともに、ＥＲや放射線科、ＭＥスタッフのご協力の下、安定した治療サービスの提供が行えるようになっております。今後は院内全スタッフへの啓蒙を行うことで、盲点になりがちな院内発症の脳卒中診療のスピードアップを図りたいと思います。脳卒中を疑えば、脳卒中ホットラインと共に院内脳外科ホットライン（PHS3151）を活用ください。

18）心臓血管外科・心臓血管センター

心臓血管外科　診療主任部長・心臓血管センター長　内田　直里

1. 概要

今の体制になり3年余りになりました。皆様のご尽力のお陰で念願であったハイブリッド手術室が完成し、2021年1月25日から稼働しました。メンバーは昨年の薦岡部長に続き、4月に岸和田徳洲会から小島医長を迎え、ドクターカーを再開しました。これを機に循環器内科との共同で心臓血管センターを開設し､情報システム／TISの協力のもとホームページ（https://yao-heartcenter.tokushukai.or.jp）を作成しました。救急・集中治療部、形成外科およびER／ICU・リハビリ・病棟などのコメディカルスタッフと一体となって、循環器系の地域医療に貢献したいという昨年の目標に向かうことができました。手術症例は確実に伸ばせ、特にステントグラフト手術は84例、開心術も113例、手術件数計390件と過去最高の実績となりました。



施設認定

・三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
・日本ステントグラフト実施基準管理委員会　腹部・胸部ステントグラフト実施施設
・日本脈管学会認定研修指定施設（2021年より新規）
・IMPELLA補助循環用ポンプカテーテル実施施設（2021年より新規）
・下肢静脈瘤血管内治療実施委員会認定実施施設

2. メンバー構成

主任部長：内田直里　1988年広島大学卒業
外科専門医・指導医、心臓血管外科学会専門医・修練指導医、
ステントグラフト指導医、下肢静脈瘤血管内焼灼術実施医
European Association Cardiothoracic Surgery; Assistant Editor

部　　長：薦岡成年　2003年防衛医科大学卒業
外科専門医、心臓血管外科専門医、循環器専門医、脈管専門医、
ステントグラフト指導医、TAVI指導医

医　　長：小島三郎　2012年広島大学卒業
外科専門医

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　42
糖尿病 代謝内科　43
脳神経内　45
内分泌内　46
膠原リウ　48
小児科　50
放射診科　52
救急科　53
外　科　55
整形外科　57
脳神経外　60
心臓血管 心臓血セ　62
形成外科 美容外科　65
呼吸器外　67
小児外科　68
歯　科 歯科口腔　71
泌尿器科　73
眼　科　75
麻酔科　77
肝臓セン　79
皮膚科　83
婦人科　84
耳鼻咽喉　86
病理診断　88

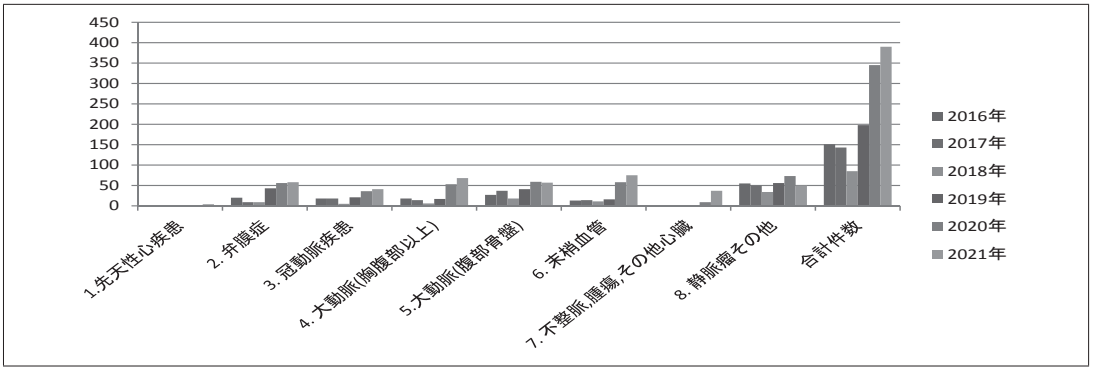
3. 実績

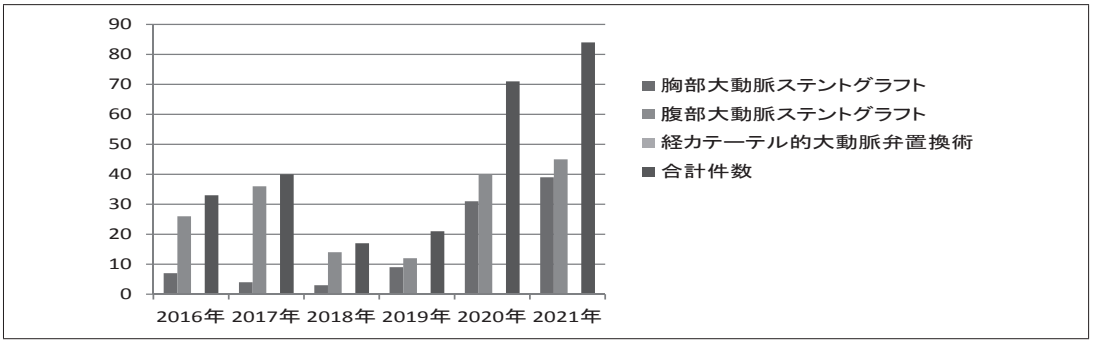
手術件数

年	腹部ステントグラフト	胸部ステントグラフト	計
2010	22	8	30
2011	43	31	74
2012	24	12	36
2013	40	7	47
2014	23	10	33
2015	31	5	36
2016	26	7	33
2017	36	4	40
2018	14	3	17
2019	12	9	21
2020	40	31	71
2021	45	39	84
合計	356	166	522

全心臓血管手術（重複例あり）	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年
1. 先天性心疾患				2	1	4
2. 弁膜症	20	9	9	43	56	58
3. 冠動脈疾患	18	18	5	21	36	41
4. 大動脈（胸腹部以上）	18	14	6	17	53	68
5. 大動脈（腹部骨盤）	27	37	18	41	59	57
6. 末梢血管	13	14	11	16	58	75
7. 不整脈 , 腫瘍 , その他心臓		1	2	2	9	37
8. 静脈瘤その他	55	50	34	56	73	50
合計件数	151	143	85	198	345	390
		2018 年 9 月から新体制				
主要心臓大動脈手術（重複例あり）	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年
1. 先天性心疾患				2	1	4
2. 弁膜症	20	9	9	43	56	58
3. 冠動脈疾患	18	18	5	21	37	41
4. 大動脈（胸腹部以上）	18	14	6	17	53	68
5. 不整脈、腫瘍、その他心臓			2	2	9	37
合計件数	56	41	22	85	156	208

ステントグラフト手術	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年
胸部大動脈ステントグラフト	7	4	3	9	31	39
腹部大動脈ステントグラフト	26	36	14	12	40	45
経カテーテル的大動脈弁置換術	0	0	0	0	0	0
合計件数	33	40	17	21	71	84





・弁膜症手術：弁膜症による心不全患者は全国的には増加の一途たどっています。昨年とほぼ同数の58件でした。弁温存手術や小切開手術も導入し、2022年はさらに実績を伸ばしたいと考えています。

・冠動脈バイパス術：重症虚血性心不全に対して僧帽弁逆流の積極的外科介入やImpella補助循環下心臓下冠動脈手術を行い、件数としては当院で初めて40例を超える実績を残せました。引き続き、循環器との共同で虚血性心疾患治療を発展したいと考えています。

・大動脈疾患：手術室・麻酔科支援のもと急性大動脈解離の緊急手術を15例（昨年8例から）に行うことができました。胸部大動脈手術は68件と上記3疾患の中で最多で、ドクターカーおよびハイブリッド手術室の稼働に伴い、大動脈外科治療は今後も成長するものと考えています。

・不整脈手術：心房細動手術として左心耳閉鎖術を積極的に導入し、33件に施行しました。今後は胸腔鏡下での左心耳閉鎖術も導入し、心原性脳塞栓予防に対する外科治療にも積極的に取り組む予定です。

・末梢動脈：形成外科および循環器科から多くの重症虚血肢に対する高度石灰化した大腿動脈の内膜剥離術症例を依頼されました。牛心膜ZenoSureが保険償還され手術方法の幅が広がりました。本術式は良好な動脈アクセスの作成の観点から重要な術式と考え、さらなる術式の発展を考えています。

4. 今後の目標

ハイブリッド手術をさらに活用すべく弁膜症に対するカテーテル治療の稼動を第一目標とします。心臓血管センター２年目にあたり、循環器科と心臓血管外科のスタッフの拡充に取り組み、また他科・コメディカルとの連携をさらに強化し、中河内地区の循環器系での地域医療に貢献したいと考えています。

内　科 26
循環器内 33
消化器内 34
呼吸器内 35
腫瘍内科 36
血管透析 38
腎臓内科 42
糖尿病 代謝内科 43
脳神経内 45
内分泌内 46
膠原リウ 48
小児科 50
放射診科 52
救急科 53
外　科 55
整形外科 57
脳神経外 60
心臓血管 心臓血セ 62
形成外科 美容外科 65
呼吸器外 67
小児外科 68
歯　科 歯科口腔 71
泌尿器科 73
眼　科 75
麻酔科 77
肝臓セン 79
皮膚科 83
婦人科 84
耳鼻咽喉 86
病理診断 88

19）形成外科・美容外科

形成外科・美容外科部長　綾部　忍

1. 概要

当科は、常勤 5 名で診療しています。2008 年より日本形成外科学会認定施設、現在は大阪市立大学形成外科の専門研修連携施設となっています。

当科の特徴としては「創傷治療」が挙げられます。

2009 年に米国足病医と連携し「創傷ケアセンター」を開設し、現在日本で最も治療件数の多い施設となりました。特に閉塞性動脈硬化症に伴う下肢創傷の治療に力を入れており、潰瘍・壊疽などの創傷治療だけでなく、distal bypass 術（足首付近までのバイパス術）を含めた血行再建も形成外科で積極的に行っています。血管内治療（カテーテル治療）は循環器内科で行っており、最近では足首より末梢まで血管を拡張できるようになりました。術後の潰瘍や創傷治療には積極的に陰圧閉鎖療法（NPWT）を取り入れることで、より早期の離床・退院を可能にしています。

当科では装具療法にも力を入れています。他院で数回にわたる手術を受けたにもかかわらず治癒しない潰瘍でも適切なフットウェアを装着することで治癒に至る場合もあります。糖尿病や透析をされている患者様では複数の施設で連携して治療を行うのが一般的ですが、当院では関連他科の協力の結果すべての治療を行うことができ、このような施設は全国的にもほとんど見られません。

2015 年から、日本であまり行われていない「糖尿病足変形（シャルコー足など）に対する Surgical Offloading」を開始しました。足の変形に対して装具療法を行いますが、それにもかかわらず潰瘍形成を繰り返してしまう患者様に変形を矯正する手術を行うことで良好な結果を得ています。

読売新聞社より発売された「病院の実力 2014」では、血流の回復と組み合わせて傷の治療を行った患者数が全国 3 位となっており、最近では大阪府外（滋賀・三重・奈良・兵庫・和歌山）からもご紹介いただけるようになりました。糖尿病・透析患者様も多数受診され、他院で足を切断するように言われた方も歩いて帰っていただけるようチーム一丸となり治療しています。

顔面の皮膚癌、特に基底細胞癌の治療では「modified dermis graft 法」で皮膚欠損部の再建を行っています。2014 年に当院が初めて報告した方法で、周囲に新たな瘢痕を残さないことが特徴で整容的に優れており、自身で論文を検索し関東からも来院されるようになりました。

眼窩底骨折の手術では皮膚に傷を残さない「経結膜切開法」を採用しています。

2011 年より「美容外科」も開設しました。しみ・しわ・たるみ・脱毛のレーザー治療を行っています（自費診療）。

手術件数は大学病院などと比較すると多くはありませんが、患者様一人一人に対し丁寧で質の高い治療を行うよう心掛けています。

また当院は、大阪市立大学附属病院の関連病院として運営しているため、大学病院及び大学関連病院と連携をはかり、患者様にとって最良の医療を提供することが可能となっています。

2. メンバー構成

綾部忍・渡辺瑛介・入潮実季・曽和幹・中桐由貴の５名で診療を行っています。

3. 実績

2021 年　形成外科　年間の疾患大分類別手術手技数

集計期間　2021 年 1 月 1 日～ 2021 年 12 月 31 日

形成外科　新患者数　　997 名

形成外科　入院患者数　238 名

疾患大分類手技数	入院			外来			計
	全身麻酔	腰麻・伝達麻酔	局所麻酔・その他	全身麻酔	腰麻・伝達麻酔	局所麻酔・その他	
外傷	33	3	13	0	17	118	184
先天異常	8	0	3	0	0	14	25
腫瘍	24	1	27	2	6	358	418
瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	0	0	0	0	0	12	12
難治性潰瘍	75	79	67	0	0	4	225
炎症・変性疾患	11	1	15	0	6	47	80
美容（手術）	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	64	0	0	48	113
Extra レーザー治療	0	0	0	0	0	0	0
計	152	84	189	2	29	601	1,057

4. 今後の目標

一般形成外科治療に加え、当科の特徴である創傷治療の分野でより高い専門性を目指し、地域貢献できればと考えています。引き続き学会発表や誌上発表も積極的に行っていきます。

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　42
糖尿病代謝内科　43
脳神経内　45
内分泌内　46
膠原リウ　48
小児科　50
放射診科　52
救急科　53
外　科　55
整形外科　57
脳神経外　60
心臓血管心臓血セ　62
形成外科美容外科　65
呼吸器外　67
小児外科　68
歯　科歯科口腔　71
泌尿器科　73
眼　科　75
麻酔科　77
肝臓セン　79
皮膚科　83
婦人科　84
耳鼻咽喉　86
病理診断　88

20）呼吸器外科

呼吸器外科部長　市橋　良夫

1. 概要

原発性肺癌、転移性肺癌、気胸、膿胸などの外科的治療を基本として治療を行っている。胸腔鏡を用いて安全で低侵襲な手術を行い、患者様に寄り添う治療を心がけている。

2. メンバー構成

市橋　良夫（常勤）　日本外科学会専門医
呼吸器外科専門医合同委員会　呼吸器外科専門医

花岡　伸治（非常勤）　大阪医科大学附属病院　特任教授　呼吸器外科科長
呼吸器外科専門医合同委員会　呼吸器外科専門医・指導医・代議員
日本肺癌学会評議員

佐藤　澄（非常勤）　大阪医科大学附属病院　講師
日本外科学会専門医・指導医
呼吸器外科専門医合同委員会　呼吸器外科専門医

武田　翔（非常勤）　大阪医科大学附属病院　レジデント

進藤　友喜（非常勤）　大阪医科大学附属病院　レジデント

3. 実績

2021 年の呼吸器外科全身麻酔手術症例は 122 例

《外来患者数》

1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
170	162	165	176	173	184	182	180	173	174	181	215	2,135

4. 今後の目標

外科的治療適応の拡大を目指し、新規医療技術にも積極的に携わっていく。

本年より手術支援ロボット（da-Vinci）の当科での導入開始、単孔式解剖学的肺葉切除術の件数拡大を目指す。

21）小児外科

小児外科部長　木村　拓也

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　42
糖尿病代謝内科　43
脳神経内　45
内分泌内　46
膠原リウ　48
小児科　50
放射診科　52
救急科　53
外　科　55
整形外科　57
脳神経外　60
心臓血管心臓血セ　62
形成外科美容外科　65
呼吸器外　67
小児外科　68
歯　科歯科口腔　71
泌尿器科　73
眼　科　75
麻酔科　77
肝臓セン　79
皮膚科　83
婦人科　84
耳鼻咽喉　86
病理診断　88

1. 概要

2021 年は当院で小児外科開設後､11 年目となりました。年間の手術数から考えると､約 1,000 名程度が当院で小児の全身麻酔、手術を施行したこととなります。この 11 年間を振り返りますと、様々な症例を経験し、また無事に治療ができて、大きな合併症なく過ごせたことに病院関係者、小児外科スタッフ、コメディカルに感謝し、また近隣の開業医からも信頼を失うことなく、患児を紹介していただけたことに深謝いたします。

当院は 5 年前より日本小児外科学会の教育関連施設（大阪大学小児成育外科学教室が母体）として認定され、若手の外科医が専門医取得を目指せる環境となりました。当院外科は新たな専門医制度のもと、基幹施設として認定されています。それに伴い、若い人材も増えて、指導体制を整えております。また当科では、2 年前より 3 人体制となり、小児外科領域の救急症例も引き続き積極的に受け入れていきたいと考えております。

新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、幸い年間の全身麻酔手術症例数はコロナ前に戻りつつあります。今後も新型コロナウイルス感染症と共存していく社会を見据え、地域の「こども」たちに傷が目立たない鏡視下手術を導入し、最新で低侵襲な治療を引き続き安全に提供できるよう頑張りたいと思います。

小児医療を担う次世代が育つように、またそれに伴い病棟には子供たちの笑顔があふれるように、安全に標準医療が提供できるように頑張っていきたいと思います。

2. メンバー構成

部長：木村拓也（平成 7 年）

資格：日本外科学会認定医、専門医、指導医、日本小児外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医、指導医、日本総合診療医学会認定医、日本臨床栄養代謝学会認定医、日本肝臓学会認定肝臓専門医、指導医、日本移植学会認定医、日本肝胆膵外科学会評議員、日本内視鏡外科学会評議員、日本病態栄養学会評議員、日本臨床栄養代謝学会評議員、近畿外科学会評議員、近畿小児外科学会評議員、ICT ドクター（ICD)、外科系プログラム責任者、NST 委員長、JCI 委員長、臨床研修指導者、臨床研修プログラム責任者

医長：山中宏晃（平成 14 年）

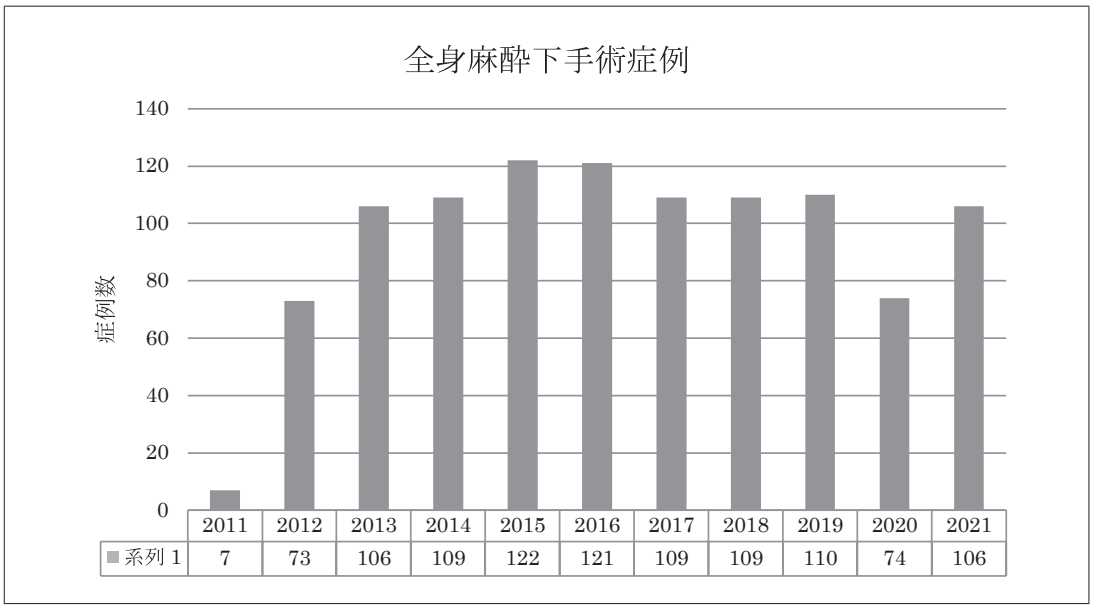
資格：外科専門医

医員：河島茉澄（平成 20 年）

資格：外科専門医、日本小児外科学会専門医

3. 実績

手術数の推移（2021 年度：106 例）



2021 年の手術に関する主な内容：合計 106 例

・体表疾患（2 例）

舌小帯：1 例

皮下腫瘤：1 例

・胸部疾患（4 例）

気胸のブラ切除：3 例

Nuss（漏斗胸）：1 例

・腹部疾患（83 例）

鼠径ヘルニア

高位結紮：28 例

単孔式腹腔鏡手術（LPEC）：23 例

急性虫垂炎：11 例（全例単孔式腹腔鏡手術）

臍ヘルニア：14 例

Nissen 噴門形成術：1 例

胆道拡張症：1 例

腸重積：1 例

膿瘍ドレナージ：1 例

肛門ポリープ：1 例（経肛門的摘出術）

腹腔内精巣：1 例

尿膜管遺残：1 例

・生殖器、泌尿器科疾患（17 例）

停留精巣：13 例

包皮形成術：2 例

卵巣嚢腫：2 例

4. 今年の目標

2022 年も 3 人体制を維持し、地域に根ざし、地域の子供たちを守るだけではなく、広域で子供たちの治療を安全に継続可能な体制を作ります。新型コロナウイルス感染症と共存していく社会で、新たな様式を模索しながら、小児外科特有の救急疾患に関しても可能な限り対応していきます。こどもの治療で悩んだら、何でも相談してください！

内　科 26
循環器内 33
消化器内 34
呼吸器内 35
腫瘍内科 36
血管透析 38
腎臓内科 42
糖尿病 代謝内科 43
脳神経内 45
内分泌内 46
膠原リウ 48
小児科 50
放射診科 52
救急科 53
外　科 55
整形外科 57
脳神経外 60
心臓血管 心臓血セ 62
形成外科 美容外科 65
呼吸器外 67
小児外科 68
歯　科 歯科口腔 71
泌尿器科 73
眼　科 75
麻酔科 77
肝臓セン 79
皮膚科 83
婦人科 84
耳鼻咽喉 86
病理診断 88

22）歯科・歯科口腔外科

歯科・歯科口腔外科部長　占部　一彦

1. 概要

歯科口腔外科は、部長:占部一彦（2006 年 4 月赴任)、医長:中川記世子（2019 年 7 月赴任)、三ツ井諒（2021 年 4 月赴任）の 3 名体制で診療にあたっています。八尾市・東大阪市・大阪市平野区・柏原市内の医院・歯科医院との病診連携をおこなっており、紹介率 40％以上を維持しています。

2008 年度より地域歯科支援病院の認定を受け、地域医療に貢献できますように体制づくりをすすめています。

診療内容としては、親知らずの抜歯・腫瘍・粘膜疾患・顎変形症・顎顔面外傷などの手術を中心に、顎関節症などの治療や近歯科医院より依頼をうけた全身疾患をもつ患者様の一般歯科治療などもおこなっています。

当院は、大阪大学歯学部第一口腔外科の関連病院として運営していますので、当科で加療が困難な疾患に関しては、大阪大学および他の大学関連病院と連携をはかり対応しています。また日本口腔外科学会の準関連研修施設認定も受けています。診療特徴としては、下記の内容が挙げられます。

1）抗凝固剤服用中の患者様への対応

抜歯などの小手術は、基本的にワーファリン等の抗凝固薬・抗血小板薬の服用は休薬なしでおこなっています。

抗凝固薬　：基本的に休薬なし（場合によって減量）で 1（～ 2）泊の入院下で処置・止血管理をおこないます。

抗血小板薬：基本的に休薬なしで外来処置室にて小手術をおこないます。

2）入院下での埋伏智歯抜歯

埋伏智歯抜歯術は、歯肉切開や骨削除をおこなって抜歯するのですがかなり腫脹をともなう処置になります。それが数本ある患者様の場合には､腫脹がその都度ともなうことになります。そこで入院管理下で全身麻酔下にて抜歯をおこなうことで 1 本抜歯に対する時間が短くすみ数本まとめて抜歯することができます。また術後点滴をおこなうことで疼痛コントロール・感染予防をおこなうことで 1 回の腫脹ですませることができます。当院では木曜午後入院、金曜手術し日曜日午前退院の予定でおこなっています。

3）新型コロナウイルス感染症の拡大がとまらない状況下ではありますが、感染予防策を講じて日々診療にあたっております。現時点で、クラスターの発生はありません。

2. メンバー構成

部長：占部一彦（歯学博士）　　日本口腔外科学会専門医

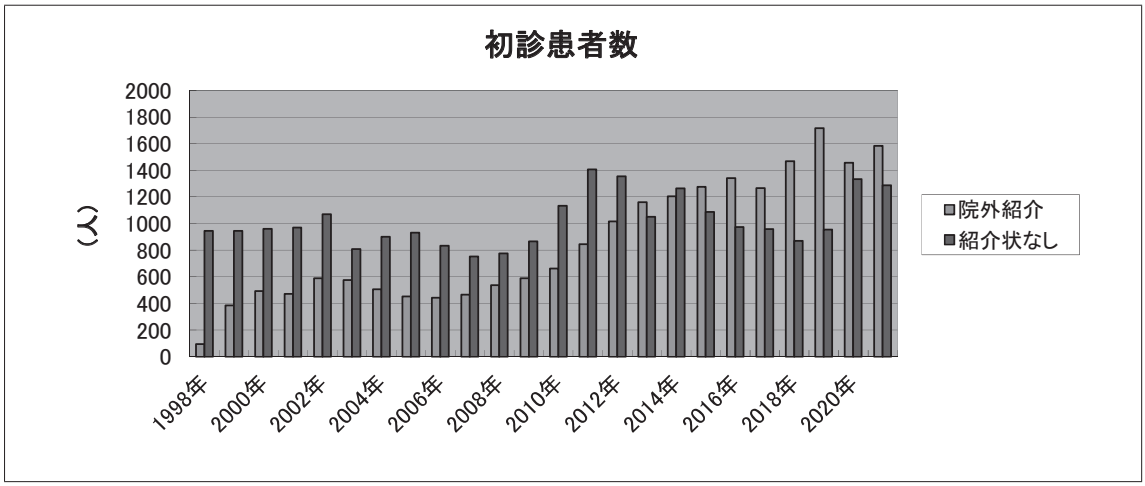
医長：中川記世子（歯学博士）　日本口腔外科学会専門医

医員：三ツ井諒（歯学博士）　　日本口腔外科学会認定医

3. 実績

《初診患者数推移》

	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
院外紹介	590	576	506	453	443	467	538	590	662	846	1,017	1,160	1,205	1,276	1,341	1,266	1,468	1,716	1,456	1,584
紹介状なし	1,070	809	900	932	834	752	775	866	1,134	1,406	1,355	1,051	1,264	1,088	973	959	871	955	1,333	1,287



《外来手術例》

手術名	件数
骨性埋伏智歯抜歯	522
難抜歯	293
単純抜歯	617
歯根端切除 / 歯根嚢胞摘出術	112
口腔内・外消炎処置	49
腐骨除去術	8
口腔内外創傷処置	39
舌腫瘍摘出術	10
顎関節脱臼非観血的整復術	14
歯肉腫瘍摘出術	15
粘液嚢胞摘出術	22
顎骨腫瘍摘出術	20
その他	79
合計	1,800

《入院手術例》

手術名	件数
埋伏歯抜歯	197
抜歯（止血異常）	55
歯根端切除 / 歯根嚢胞摘出術	57
顎骨腫瘍摘出術	80
口腔内・外消炎手術	12
上･下顎骨･頬骨骨折観血的整復術	16
腐骨除去術	19
抜釘術	12
舌腫瘍摘出	4
顎変形症手術	3
骨隆起形成術	7
その他	24
合計	486

4. 今後の目標

救急病院の特徴として、炎症性疾患や外傷性疾患（大阪府内医療機関のなかで外傷症例数は上位）の救急対応が多いため、より迅速に対応できるように体制を構築し、地域医療に貢献できるよう力をいれています。

また医科歯科連携にて周術期口腔機能管理をおこなっており、よりいっそう患者様の入院期間の短縮に貢献していきたいと思います。

内　科 26
循環器内 33
消化器内 34
呼吸器内 35
腫瘍内科 36
血管透析 38
腎臓内科 42
糖尿病 代謝内科 43
脳神経内 45
内分泌内 46
膠原リウ 48
小児科 50
放射診科 52
救急科 53
外　科 55
整形外科 57
脳神経外 60
心臓血管 心臓血セ 62
形成外科 美容外科 65
呼吸器外 67
小児外科 68
歯　科 歯科口腔 71
泌尿器科 73
眼　科 75
麻酔科 77
肝臓セン 79
皮膚科 83
婦人科 84
耳鼻咽喉 86
病理診断 88

23）泌尿器科

泌尿器科部長　金丸　知寛

1. 概要

2021 年はスタッフの異動はなく、昨年に引き続き私が泌尿器科部長を務めております。

2021 年も、昨年までと同様、泌尿器科領域の幅広い手術を行っておりました。

部長である私は腹腔鏡手術が専門で、腎臓、副腎、尿管、膀胱の悪性腫瘍手術は、ほぼ全て腹腔鏡手術で行っております。当科の特徴として、腎盂尿管癌における腹腔鏡下腎尿管全摘除術の下部尿管の処理・膀胱部分切除を、従来であれば下腹部切開で行うところを、積極的に完全腹腔鏡下で行うよう努めております。また、腹腔鏡下膀胱全摘除術における回腸導管造設術も、従来であれば開腹術で行うところ、積極的に完全腹腔鏡下の腔内回腸導管造設術を行っております。このような取り組みが、患者の術後の早期回復や早期退院、合併症の軽減に寄与していると思われます。

2. メンバー構成

副院長　飯盛宏記　日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本透析医学会専門医・指導医
部長　　金丸知寛　日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本泌尿器内視鏡学会・技術認定医
　　日本透析医学会専門医
医員　　香山侑弘　日本泌尿器科学会専門医・指導医

3. 実績

2021 年手術総数　402 件

主な手術件数（腹腔鏡、内視鏡手術を中心に）

《手術内容》

開腹手術 腹腔鏡手術	腹腔鏡下腎摘除術	5
	腹腔鏡下膀胱全摘出 腔内回腸導管造設術	7
	腹腔鏡下膀胱全摘出術（尿路変更なし）	2
	腹腔鏡下腎摘出術	8
	腹腔鏡下腎尿管全摘除術	19
	腹腔鏡下腎部分切除術	8
経尿道的手術	経尿道的膀胱腫瘍切除術（TUR-Bt）	93
	経尿道的前立腺切除術（TUR-P）	15
	経尿道的腎尿管砕石術（TUL）	73
	前立腺針生検	77

《2021 年：外来患者数》

1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
1,128	1,069	1,311	1,254	1,087	1,252	1,281	1,274	1,311	1,333	1,331	1,502	15,133

4. 今後の目標

2022 年 2 月より、ダヴィンチシステムによるロボット補助下前立腺全摘除術が開始されます。今後、症例を重ねていけば、続いて腹腔鏡下腎摘除術、腎尿管全摘術、腎部分切除術、膀胱全摘術なども、ロボット手術へと移行していく予定であります。

内　科 26
循環器内 33
消化器内 34
呼吸器内 35
腫瘍内科 36
血管透析 38
腎臓内科 42
糖尿病 代謝内科 43
脳神経内 45
内分泌内 46
膠原リウ 48
小児科 50
放射診科 52
救急科 53
外　科 55
整形外科 57
脳神経外 60
心臓血管 心臓血セ 62
形成外科 美容外科 65
呼吸器外 67
小児外科 68
歯　科 歯科口腔 71
泌尿器科 73
眼　科 75
麻酔科 77
肝臓セン 79
皮膚科 83
婦人科 84
耳鼻咽喉 86
病理診断 88

24）眼科

眼科　滝　功一郎

1. 概要

現在３名の常勤医師、非常勤医師数名により外来診療および手術を行っております。午前診察は初診および予約診療を行っております。午後はレーザー等の処置や時間のかかる検査が必要な患者様の予約診療を主として行っております。

当院で行っている手術は、網膜硝子体手術、白内障手術、外眼部手術が中心です。

網膜硝子体手術は、硝子体手術用機械（コンステレーション　アルコン社製)、硝子体手術用広角観察システム（リサイト　カールツァイス社製）および眼科手術用顕微鏡（Lumera700　カールツァイス社製）を使用しており、小切開硝子体手術を行っております。本年度、疾患としては、硝子体出血、網膜剥離、黄斑円孔、黄斑上膜、水晶体・眼内レンズ脱臼などを行いました。

白内障手術は、日帰りもしくは入院で行っております。当院での白内障手術の特徴は褐色白内障、過熟白内障といった進行した白内障手術が多いことです。眼内レンズ強膜内固定術や眼内レンズ縫着術等の眼内レンズ関連手術も積極的に行っております。また、角膜乱視の矯正の為に、トーリック眼内レンズを使用した白内障手術も行っております。

外眼部手術に関しては、眼瞼下垂症、内反症などに対する眼形成手術や、翼状片手術、脂肪ヘルニアに対する手術、霰粒腫切開術、眼瞼皮膚腫瘍切除術などを行っております。

加齢黄斑変性症や網膜静脈閉塞症に合併した黄斑浮腫に対しては、抗 VEGF 薬の硝子体内注射を通院にて行っております。また、糖尿病網膜症に対する汎網膜光凝固術や急性緑内障発作に対するレーザー虹彩切開術、後発白内障に対する YAG レーザーなど、各種レーザー治療も行っております。

八尾市、柏原市、東大阪市、松原市、大阪市平野区の先生方に於かれましては、いつも貴重な患者様をご紹介頂きまして誠にありがとうございます。今後とも病診連携を通じて地域医療に貢献させていただければ幸いです。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

2. メンバー構成

（常勤医師）

滝　功一郎　（医員）　日本眼科学会専門医

茶木　俊光　（医員）

宮木　俊哉　（医員）

（非常勤医師）

佐藤　孝樹

森下　清太

布谷　健太郎

大学応援医師

3. 実績

≪外来患者数≫ 2021 年 1 月～ 2021 年 12 月

1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
1,325	1,264	1,266	1,185	1,127	1,123	1,208	1,080	1,179	1,194	1,051	1,182	14,184

≪手術件数≫　2021 年 1 月～ 2021 年 12 月

計 1,223 件（うち白内障手術 898 件　硝子体手術 62 件　硝子体注射 218 件）

4. 目標

地域の患者様からより一層頼りにされるような病院を目指し、地域医療に貢献して参ります。引き続きご支援を賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　42
糖尿病 代謝内科　43
脳神経内　45
内分泌内　46
膠原リウ　48
小児科　50
放射診科　52
救急科　53
外　科　55
整形外科　57
脳神経外　60
心臓血管 心臓血セ　62
形成外科 美容外科　65
呼吸器外　67
小児外科　68
歯　科 歯科口腔　71
泌尿器科　73
眼　科　75
麻酔科　77
肝臓セン　79
皮膚科　83
婦人科　84
耳鼻咽喉　86
病理診断　88

25）麻酔科

麻酔科部長　谷　仁介

1. 概要

当院麻酔科は日本麻酔科学会の認定病院に指定され、5 名の常勤麻酔科医師と複数名の非常勤麻酔科医師で運営しています。常勤麻酔科医師は、全員が厚生労働省認定の麻酔科標榜医資格を有し、2 名の部長は日本麻酔科学会認定の麻酔科指導医・専門医資格を取得し、日々の麻酔業務に取り組んでいます。当科の方針として、手術を受ける患者様の安全を第一に考え、本邦における標準的な全身麻酔を実践することを掲げています。2021 年に手術室が増室され、同時にハイブリッド手術室が稼働し、さらに 2022 年にはダビンチによるロボット手術が泌尿器科から開始され、今まで以上に患者様の要望に応えることが可能となりました。また、新型コロナウイルス感染症に対しては、手術室内できめ細かい感染対策をし、患者様が安心して手術、麻酔を受けていただけるようにしています。手術を受ける際には多大な不安があると思いますが、当院での麻酔に関しては我々にお任せ下さい。

2. メンバー構成

部長　谷　仁介　　（日本麻酔科学会指導医・専門医）
部長　池下　和敏　（日本麻酔科学会指導医・専門医、医学博士）
医員　仲村　光世　（日本麻酔科学会専門医）
医員　濱崎　亜弓　（日本麻酔科学会専門医）
医員　金沢　晋弥　（日本麻酔科学会専門医）

3. 実績

2021 年の麻酔科管理手術件数は 3,071 件でした。

《麻酔方法》

全身麻酔	TIVA	全身麻酔+硬､伝麻	脊髄くも膜下麻酔	鎮静
2,810 件	1 件	239 件	5 件	16 件

《手術部位別》

開頭・頸動脈	開胸	心臓・大血管	開胸＋開腹	胸腹壁
107 件	127 件	245 件	5 件	261 件

上腹部	下腹部	頭頸部	脊椎	股関節・四肢
462 件	535 件	458 件	181 件	690 件

《年齢別》

0 － 5 歳	6 － 18 歳	19 － 65 歳	66 － 85 歳	86 歳以上
71 件	138 件	1,106 件	1,494 件	262 件

4. 今後の目標

可能な限りの感染対策を取りつつ、24 時間 365 日、いつでも患者様を受け入れ、常に安全な手術麻酔を提供させていただきます。また、最先端の手術に柔軟に対応し、患者様がいつでも安心して手術を受けられる病院を目指します。

内　科 26
循環器内 33
消化器内 34
呼吸器内 35
腫瘍内科 36
血管透析 38
腎臓内科 42
糖尿病 代謝内科 43
脳神経内 45
内分泌内 46
膠原リウ 48
小児科 50
放射診科 52
救急科 53
外　科 55
整形外科 57
脳神経外 60
心臓血管 心臓血セ 62
形成外科 美容外科 65
呼吸器外 67
小児外科 68
歯　科 歯科口腔 71
泌尿器科 73
眼　科 75
麻酔科 77
肝臓セン 79
皮膚科 83
婦人科 84
耳鼻咽喉 86
病理診断 88

26）肝臓センター

肝臓センター長　松田　康雄
肝臓外科部長　木村　拓也

1. 概要

2021年は新型コロナウイルス感染症が継続し、収まる気配どころか、第5波、第6波の濁流にのまれ、新型コロナウイルス感染症で苦しんだ1年でした。ただし当院では早期より、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れ、院内のあらゆるところで、日常の診療に対する影響を考慮した対策を施してきました。その結果、肝胆膵領域の検査、治療、手術の受け入れも比較的スムーズにできたと思います。手術症例も例年と同等の症例で推移できました。

肝臓センターでは肝胆膵領域の悪性疾患を中心に、その他急性肝炎、慢性肝炎、ウィルス性肝炎、アルコール性肝炎、膵炎などを中心に治療を行っており、中河内地区に根差し、10年目の節目を迎えました。主には、近隣施設より閉塞性黄疸、急性肝炎、慢性肝炎、肝胆膵領域の悪性疾患を紹介され、積極的に治療を行っています。

診断には、積極的に最新技術を導入し、EUS、ERCP、造影エコーなど多数行っています。また治療は血管合併切除などの超拡大手術から腹腔鏡手術などの低侵襲治療を行っており、ガイドラインを参考に患者に優しい、患者の目線に立った治療を常に考慮しています。

現在5人体制で診療に従事しており、センターとして診断、治療内容に広がりを持たせることが可能となっています。また外科系診療科で一致団結し、当院は最初から新専門医制度に対応し、当院は外科の基幹施設として認定され、後期研修医の研修が開始となっています。

以下、肝臓センターとしての活動内容を中心に記載します。

肝臓センターの肝胆膵外科部門は、感染対策部門とリンクし、外科（肝胆膵外科、消化器外科、小児外科など）の感染対策、特に創部感染に対する対策を推進し、手術部位感染（SSI）は減少しています。また栄養状態不良患者は、手術に対するリスクとなるため、NSTと連携し、栄養管理を推進しながら外科治療を導入し、成績向上に寄与しています。

昨年、JCI（アメリカの病院評価機能）を取得したため、外科系すべての手術に関する同意書、説明書、術前術後管理の統一（クリニカルパスの導入率向上）を新たに一新し、導入できたので、多くの項目で標準化しております。

2. メンバー構成

・松田康雄：肝臓センター顧問

資　　格：日本外科学会専門医、指導医、消化器外科学会専門医、指導医、超音波学会専門医、指導医、医療安全委員長

・木村拓也（平成7年）：副院長／肝胆膵外科部長

資　　格：日本外科学会認定医、専門医、指導医、日本小児外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医、指導医、日本総合診療医学会認定医、日本臨床栄養代謝学会認定医、肝臓学会認定肝臓専門医、指導医、日本移植学会認定医、日本肝胆膵外科学会評議員、日本内視鏡外科学会評議員、日本病態栄養学会評議員、日本臨床栄養代謝学会評議員、近畿外科学会評議員、近畿小児外科学会評議員、感染制御医師（ICT）、外科系プログラム責任者、NST 委員長、TNT 講習、PEACE プロジェクト緩和ケア講習、臨床研修医指導者講習、臨床研修プログラム責任者講習

・井上雅文（平成11年）：医長

資　　格：日本外科学会認定医、専門医、指導医、日本消化器外科学会専門医、指導医、日本肝臓学会認定肝臓専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、指導医、近畿外科学会評議員、PEACE プロジェクト緩和ケア講習、臨床研修医指導者講習

・松岡伸英（平成15年）：医長

資　　格：日本外科学会専門医、PEACE プロジェクト緩和ケア講習、近畿外科学会評議員
臨床研修医指導者講習

3. 実績

1）肝臓外科

肝臓外科にて 2021 年に実施した手術は計 336 件で、コロナ禍の中、昨年と同程度の症例数を確保している。2012 年より導入した腹腔鏡下肝臓手術も安定し、在院期間も短く安全に施行できている。2018 年より、肝臓の葉切除、すなわち右葉切除や左葉切除に対しても、日本肝胆膵外科学会、日本内視鏡外科学会の前向き症例登録に参加し、倫理委員会を介して開始した。肝臓手術全体では 25 例と例年より少なく、C 型肝炎の内科治療普及により、今後肝細胞癌は減少していくと予想される。

肝細胞癌に対する焼灼療法は 35 例と横ばいで、ラジオ波より短時間で焼灼可能な、マイクロ波による焼灼療法が増加してきた。マイクロ波による焼灼療法は少し広めの焼灼が可能で、また短時間で終了するため、患者の負担も軽減可能である。

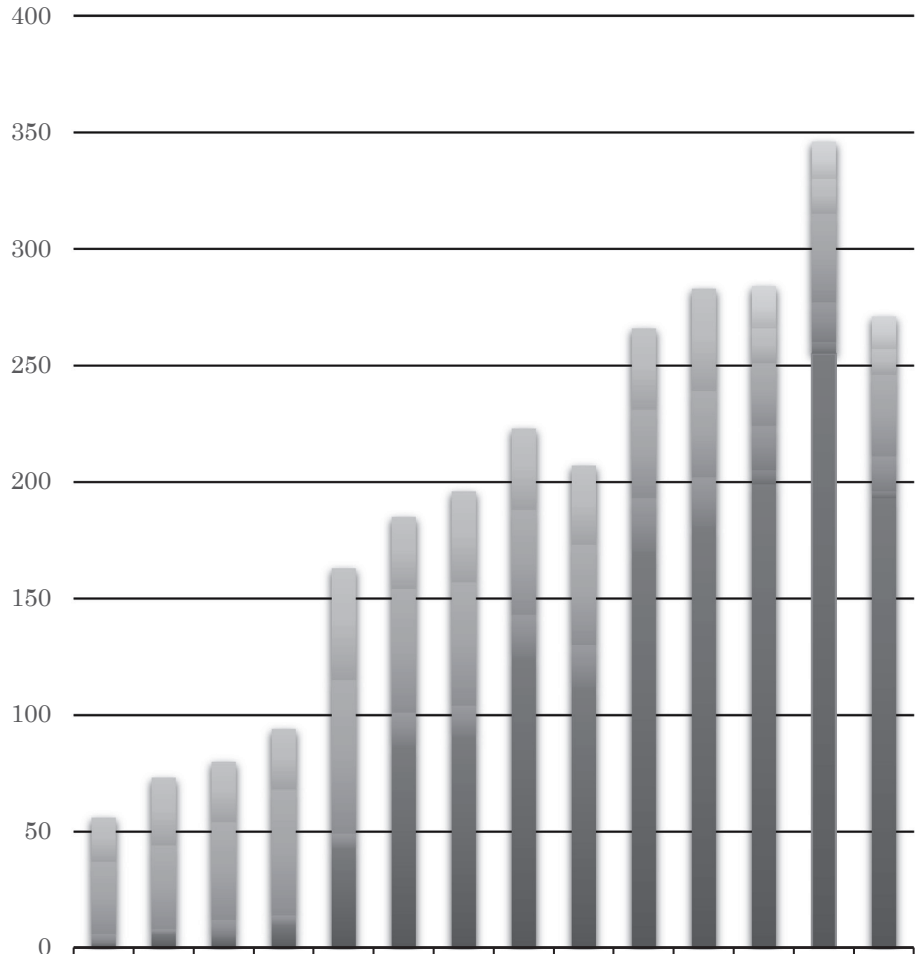
膵癌、中下部胆管癌に対する膵頭十二指腸切除例や膵体尾部切除は 15 件で、横ばいである。今年も血行再建を多数行っているが、血管系の合併症はなく安全に施行できている。また術前化学療法を導入し、中長期成績の改善が望まれる。

2013 年より腹腔鏡下膵体尾部切除を導入し、悪性疾患以外に適応し、安全に導入している。

図に過去の肝臓外科（肝胆道外科）手術実績の推移を示した。年々手術件数は増加しているが、2021 年も多数の手術を行った。

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　42
糖尿病 代謝内科　43
脳神経内　45
内分泌内　46
膠原リウ　48
小児科　50
放射診科　52
救急科　53
外　科　55
整形外科　57
脳神経外　60
心臓血管 心臓血セ　62
形成外科 美容外科　65
呼吸器外　67
小児外科　68
歯　科 歯科口腔　71
泌尿器科　73
眼　科　75
麻酔科　77
肝臓セン　79
皮膚科　83
婦人科　84
耳鼻咽喉　86
病理診断　88

手術症例の内訳



	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
■腹腔鏡下肝切除術												18	16	14
■肝切除術	19	29	26	26	48	31	39	35	34	35	44	15	15	11
■肝癌焼灼療法	31	36	42	54	66	53	53	45	43	38	37	27	38	35
■膵臓癌	4	2	7	4	6	14	13	18	18	23	21	19	17	15
■胆嚢癌												6	5	3
■その他	2	6	5	10	43	87	91	125	112	170	181	199	255	193

■その他 ■胆嚢癌 ■膵臓癌 ■肝癌焼灼療法 ■肝切除術 ■腹腔鏡下肝切除術

2）肝臓内科

・慢性肝炎

・慢性Ｂ型肝炎

抗ウイルス薬である核酸アナログ製剤（エンテカビル、テノホビル）による治療を行っている。その他、院内で抗がん剤投与前には、De novo 肝炎のモニタリングも行っている。

・慢性Ｃ型肝炎、代償性肝硬変　非代償性肝硬変

ゲノタイプ１型２型に対する IFN フリー内服治療（DAA：Direct Acting Antivirals）をパンジェノタイプの DAA 治療を継続しており、重篤な合併症もなく、全例ウイルス陰性化率を達成した。また徳洲会グループとして、Ｃ型肝炎サーベイランスを開始し、Ｃ型肝炎患者の拾い上げを行っている。

・肝細胞癌

治療の中心は、抗 PD―L1 抗体であるアテゾリマブと分子標的薬であるババシズマブが担っており、TACE による治療は激減している。１例著名な甲状腺機能低下症を認めたが、その他重篤な副作用は経験していない。その特性より、自己免疫疾患や、間質性肺炎など、副作用のモニタリングに中止しながら、さらに症例を増やす予定である。

・肝硬変

肝硬変の難治性腹水に対して新規利尿薬であるサムスカ使用を積極的に行い、腹水減少による症状改善症例を認めている。また耐用性がある症例では､外科とタイアップし､デンバーシャントも積極的に導入している。

肝性脳症の治療は合成二糖類、BCAA 製剤、カルニチンなどなどあるが難治性の脳症も散見される。腸内でのアンモニア産生菌に作用しアンモニア産生抑制する難吸収性リファマイシン系抗菌薬の治療を使用し肝性脳症発症は減少している。

4. 今後の目標

本年も昨年同様、手術症例を確保し、安全、安心の医療を提供していきます。

肝胆膵領域に腹腔鏡手術による低侵襲治療を導入し、安全にできています。今後は適応を広げたくさんの患者さんが安心して当院で治療を受けられる体制を維持し、医療ガイドラインに沿った治療を実践しながら、術後成績の向上ならびに、手術症例の増加を維持します。

また新専門医制度導入に伴う、施設認定の維持に努め、後期研修医の確保を目指していきます。

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　42
糖尿病 代謝内科　43
脳神経内　45
内分泌内　46
膠原リウ　48
小児科　50
放射診科　52
救急科　53
外　科　55
整形外科　57
脳神経外　60
心臓血管 心臓血セ　62
形成外科 美容外科　65
呼吸器外　67
小児外科　68
歯　科 歯科口腔　71
泌尿器科　73
眼　科　75
麻酔科　77
肝臓セン　79
皮膚科　83
婦人科　84
耳鼻咽喉　86
病理診断　88

27）皮膚科

皮膚科医長　梶本　敦子

1. 概要

当科では、薬疹、接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、その他の湿疹、尋常性乾癬、水疱症、掌蹠膿疱症、円形脱毛症などの各疾患、白癬症、ヘルペス感染症、尋常性疣贅、尋常性ざ瘡、蜂窩織炎、丹毒、感染性粉瘤、尖圭コンジローマ・梅毒（STD）などの皮膚感染症、および皮膚腫瘍、皮膚潰瘍、熱傷（保存的治療可能な、主にSDBまで）、男性型脱毛症（自費診療）などを診療しております。

検査としましては、金属パッチテスト、皮膚生検による病理検査、RAST測定によるアレルギー検査等を行っております。

日光角化症、基底細胞癌、表皮内有棘細胞癌に関しましては、ダーモスコピーによる視診のうえ疑わしいものは部分生検を行い、確定診断のついた場合は当院形成外科に手術をお願いしております。

一方で、浸潤癌および悪性黒色腫（メラノーマ）、乳房外パジェット病や、尋常性乾癬に対する生物学的製剤による治療を必要あるいはご希望される症例や患者様に対しましては大阪市立大学へ紹介しております。

※尋常性白斑、尋常性乾癬、いずれの疾患にも紫外線療法は施行しておりません。

※第3木曜日を除く平日は梶本、毎週土曜日は大阪市大医局員（非常勤医師）が診察をしております。

2. メンバー構成

常　勤　梶本敦子

非常勤　大阪市立大学からの派遣医師

3. 実績

《外来患者数》

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
362	373	516	417	385	487	445	407	448	499	453	448	5,240

4. 今後の目標

症例として､皮膚疾患は慢性的に経過するものが多い傾向にあります。また､良性疾患であっても完治には副作用のつよい治療しか無いケースもあるので、一方的に治療を勧めるのでは無く、各々の患者様のライフスタイルに合わせた治療をモットーにしております。したがいまして、初診には時間をかけてお話をお伺いし、満足のいくコミュニケーションを取った上での診察を心掛けております。又、病院の特性として、多様な診療科がありますので、連携して治療にあたることが可能です。今年も何卒よろしくお願いいたします。

28）婦人科

婦人科部長　田村　明彦

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　42
糖尿病代謝内科　43
脳神経内　45
内分泌内　46
膠原リウ　48
小児科　50
放射診科　52
救急科　53
外　科　55
整形外科　57
脳神経外　60
心臓血管心臓血セ　62
形成外科美容外科　65
呼吸器外　67
小児外科　68
歯　科歯科口腔　71
泌尿器科　73
眼　科　75
麻酔科　77
肝臓セン　79
皮膚科　83
婦人科　84
耳鼻咽喉　86
病理診断　88

1. 概要

一般的な産婦人科診療に加えて、悪性腫瘍に対して集学的治療を実施しています。

＜主な診療対象疾患＞

①婦人科悪性腫瘍

②婦人科良性腫瘍

③不妊・内分泌疾患

④女性の性器の形態異常

⑤女性の加齢に伴う疾患

⑥妊娠初期健診、妊婦健診および羊水染色体検査

等、婦人科全領域および分娩を除く一部の産科領域について診療を実施しています。

＊当院では分娩についての取扱いは行っておりませんが、妊娠初期検査から妊娠中（分娩前）の妊婦健診等の一部の周産期管理、ならびに流産手術･人工妊娠中絶手術を実施しています。

診療方針

特に、婦人科悪性腫瘍に対しては、手術を中心とした集学的治療を実施しています。

＊集学的治療とは手術療法・化学療法・放射線療法を併用して根治を目指す治療の事です。

（子宮頸癌）

子宮頸癌については、進行癌であれば病期によって手術もしくは放射線治療を行います。

子宮の摘出方法は単純子宮全摘術や広汎子宮全摘術で、両側付属器切除、骨盤リンパ節の郭清および傍大動脈リンパ節の生検を実施する場合があります。

病期により、術後補助化学療法や化学放射線同時療法が必要な場合もあります。

（子宮体癌）

子宮体癌に対しては、子宮摘出、両側付属器（卵巣・卵管）切除および骨盤リンパ節郭清等が一般術式ですが、病期、年齢や全身状態によって低侵襲の手術変更もあります。

また、術後補助化学療法を実施する場合は、それぞれの実施に３日間の短期入院が必要となります。

（卵巣癌）

卵巣癌の治療では、病期によって手術と抗癌剤による化学療法が必要となります。

手術は子宮体癌と同様で、さらに大網切除を実施します。

手術前に抗癌剤で治療を先行する場合や、腫瘍塊が大きい場合には腫瘍塊を出来るだけ小さくすることによって、その後の化学療法の効果を上げる目的の手術をする場合もあります。

抗癌剤による化学療法の実施には３日間の短期入院が必要となります。

また、婦人科の良性腫瘍疾患に対しては、患者さんの生活の質向上を十分に配慮し、求められている症状の改善程度を十分に考慮し、場合によって（悪性を否定するために）病理組織学的な精査が必要な場合に手術療法を実施しています。

手術方法についてはその目的を確実に遂行するために、患者さんの希望に沿って、年齢、病態や全身状態を考慮した上で開腹術・腹腔鏡下手術を実施しています。

2. メンバー構成

田村明彦（常勤）　日本産科婦人科専門医
松岡達也（非常勤）　日本産科婦人科専門医

3. 手術実績（2021 年 01 月～ 12 月）

開腹術）　47 症例
　悪性腫瘍）子宮頸癌：1 症例
　　子宮体癌：8 症例
　　卵巣癌　：8 症例
　良性腫瘍）子宮腫瘍：11 症例
　　卵巣・卵管：11 症例
腹腔鏡下手術）5 症例
　良性腫瘍）卵巣嚢胞性腫瘍：5 症例
経膣的）　63 症例
　　子宮頸部円錐切除：16 症例
　　子宮内膜部位別掻爬術：28 症例
　　子宮脱・膀胱下垂等：10 症例
　　その他の経膣手術：10 例
　　人工妊娠中絶術：3 症例

4. 今後の目標

診療対象疾患は上記記載どおりです。

＊不妊に対しては、一般的な検査等はすでに実施しています。
　体外受精・胚移植法等の生殖補助医療については実施設備等の基準・申請が必要であり、実施する準備が整い次第（体外受精・胚移植法等）生殖補助技術を実施する予定です。

＊周産期医療については初期から中期・後期にわたる妊婦健診を実施していますが分娩は実施しておりません。
　今後は特に高リスク妊娠・分娩・新生児対応が可能になるように考慮していきます。

以上、総合的な産婦人科医療に対して、高度で安心・安全な医療の実践を心がけております。

29）耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科部長　森　彰之

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　42
糖尿病代謝内科　43
脳神経内　45
内分泌内　46
膠原リウ　48
小児科　50
放射診科　52
救急科　53
外　科　55
整形外科　57
脳神経外　60
心臓血管心臓血セ　62
形成外科美容外科　65
呼吸器外　67
小児外科　68
歯　科歯科口腔　71
泌尿器科　73
眼　科　75
麻酔科　77
肝臓セン　79
皮膚科　83
婦人科　84
耳鼻咽喉　86
病理診断　88

1. 概要

2021 年も昨年同様に新型コロナウイルス感染症対策を念頭に、院内感染を起こさぬよう、安全な一般診療を心がけてまいりました。今年は新型コロナウイルスのオミクロン株による第 3 波で始まりました。前回のデルタ株とは違い、感染力は強いですが軽症者が多い状態です。特に初発の症状の主なものが鼻汁、くしゃみ、咽頭痛、頭痛、発熱と通常の感冒と同じ上気道症状が中心のため耳鼻咽喉科で疑い症例を診察する機会が増加しております。発熱のない鼻汁、くしゃみの症状では花粉症と紛らわしい場合もあります。当院では感冒症状の患者様は、まず新型コロナウイルス抗原検査をさせていただくことで、安心して診察にお越しいただけるよう対応・対策をしております。また入院や手術も適応・重症度を検討し治療にあたっています。

一般診療では以下の疾患を主に診察しております。

・鼻：鼻腔異物、アレルギー性鼻炎、急性副鼻腔炎、慢性副鼻腔炎、鼻出血など
・耳：耳垢栓塞、外耳炎、外耳道異物、急性中耳炎、慢性中耳炎、突発性難聴、老人性難聴、顔面神経麻痺、ハント症候群、メニエール病・前庭神経炎等の内耳性めまいなど
・のど：咽頭異物、急性扁桃炎、扁桃周囲膿瘍、急性咽頭炎、急性喉頭蓋炎、声帯ポリープなど

耳鳴りおよび補聴器についての特殊外来で対応しています。
成人のスギ、ダニに対する舌下免疫療法も開始いたしました。
外来、入院患者の嚥下機能検査およびリハビリテーションも対応しております。
甲状腺疾患は当科では診察を行っておらず、専門機関に紹介しております。

入院は急性炎症や突発性難聴・顔面神経麻痺などのステロイド治療、めまい症など。
手術は就学児童以上を対象としております。
副鼻腔炎に対する内視鏡下鼻内手術、鼻閉改善手術、扁桃摘出術、アデノイド切除術、声帯ポリープ切除術、鼓膜チュービング術などを症例の重症度を検討し行っております。
中耳、内耳手術や唾液腺手術、悪性腫瘍に関しては高次施設に紹介いたします。

2. メンバー構成

森　彰之（常勤）

3. 実績

《外来患者数》

1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計	平均
132	155	149	290	420	363	494	495	452	515	490	406	4,361	363.4

4. 今後の目標

耳鼻咽喉科医が常勤している施設は八尾市では八尾市立病院だけでしたが、今後は当院も入院・手術での対応を行っていき地域医療に貢献していきたいと思います。

30）病理診断科

病理診断科部長　中塚　伸一

1. 概要

2021 年 4 月に中塚が病理診断科部長として着任しました。12 月現在、医師 8 名（常勤 3 名、非常勤 5 名）、病理専任の臨床検査技師 7 名（うち細胞検査士 5 名）、事務員 1 名が業務に携わっています。

当科では、院内の組織診断、細胞診断、病理解剖を行うほか、徳洲会大阪病理診断研究センター（Tokushukai Osaka Pathology Center: TOP）として、生駒市立病院、松原徳洲会病院、高砂西部病院、神戸徳洲会病院、全南病院の病理診断を請け負ってきました。2 月に東大阪徳洲会病院、松原中央病院、東佐野病院、8 月に近江草津徳洲会病院からの病理診断の受託を新たに開始し、病理診断の総件数は組織診断 9,291 件、細胞診断 13,909 件に達しました。

また、6 月から神戸徳洲会病院との間で遠隔病理診断（テレパソロジー）による術中迅速診断を導入し、同病院の手術の質の担保に貢献しています。12 月末までの実績は 16 件です。

2021 年は 12 件の病理解剖を行い、8 回の臨床病理検討会（Clinico-Pathological Conference: CPC）を行いました。初期研修医は病理解剖に実際に立ち会い、CPC での発表を通して、全身の臓器の状態を把握し、病態を理解する訓練を積んでいます。

病理診断、病理解剖については大阪国際がんセンター病理･細胞診断科のご協力も得て、行っています。

2. メンバー構成

医師

中塚伸一	日本専門医機構病理専門医、日本病理学会分子病理専門医、日本臨床細胞学会細胞診専門医
久保勇記	日本専門医機構病理専門医、日本臨床細胞学会細胞診専門医
青笹克之（最高顧問）	日本専門医機構病理専門医
山下憲一（非常勤）	日本専門医機構病理専門医
寺田信行（非常勤）	日本専門医機構病理専門医、日本臨床細胞学会細胞診専門医
関川進　（非常勤）	日本専門医機構病理専門医
北村昌紀（非常勤）	日本専門医機構病理専門医、日本臨床細胞学会細胞診専門医
皆見勇人（非常勤）	日本専門医機構病理専門医

臨床検査技師

岩﨑由恵（細胞検査士）、永田麻水（細胞検査士）、西川裕子（細胞検査士）、
室木魁人（細胞検査士）、松尾優希（細胞検査士）、吉川つかさ、溝邉栞

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　42
糖尿病 代謝内科　43
脳神経内　45
内分泌内　46
膠原リウ　48
小児科　50
放射診科　52
救急科　53
外　科　55
整形外科　57
脳神経外　60
心臓血管 心臓血セ　62
形成外科 美容外科　65
呼吸器外　67
小児外科　68
歯　科 歯科口腔　71
泌尿器科　73
眼　科　75
麻酔科　77
肝臓セン　79
皮膚科　83
婦人科　84
耳鼻咽喉　86
病理診断　88

3. 実績

《組織診断、細胞診断件数》

	組織診断	術中迅速診断	細胞診
当院	4,501	166	10,327
生駒市立病院	1,423	0	1,734
松原徳洲会病院	1,759	25	0
高砂西部病院	568	0	0
神戸徳洲会病院	478	16 ＊	883
近江草津徳洲会病院	316	0	927
全南病院	23	0	0
東大阪徳洲会病院	46	0	0
東佐野病院	80	0	37
松原中央病院	53	0	1
一般医療施設	44	0	0
合計	9,291	207	13,909

＊遠隔病理診断（テレパソロジー）による

《剖検一覧》

剖検番号	剖検日	出所	年齢	性別	臨床診断
705	2021.02.01	腫瘍内科	69	女	悪性リンパ腫、敗血症
706	2021.03.05	腫瘍内科	79	男	肺癌、悪性リンパ腫
707	2021.03.19	腫瘍内科	79	男	精巣悪性リンパ腫
708	2021.06.23	内科	86	男	原発不明癌
709	2021.06.29	内科	82	女	肺癌
710	2021.09.02	腫瘍内科	67	女	ホジキンリンパ腫
711	2021.09.20	ICU	69	男	急性冠症候群、大動脈弁狭窄症
712	2021.09.22	内科	42	男	カルタゲナー症候群
713	2021.10.16	内科	72	男	膀胱癌術後、肺炎、敗血症性ショック
714	2021.12.08	内科	89	女	慢性腎不全
715	2021.12.30	内科	74	男	石綿肺、肺癌
716	2021.12.30	内科	72	男	消化管穿孔、腹膜炎

計 12 例

《担当カンファレンス》

消化器カンファレンス（水曜午前、毎週）
乳腺カンファレンス　（水曜午後、月に約 2 回）
呼吸器カンファレンス（木曜午後、月に約 2 回）

4. 今後の目標

引き続き、正確で迅速な病理診断に努めてまいります。当科の関与する領域は広範ですが、最新の知見の修得に努め、他科の診療の要求に応える病理診断をめざします。昨今、がん領域においては病理検体を用いたコンパニオン診断が一般的になりましたので、質の高い適正な病理検体を確保することも当科の重要な任務と考えています。標本作製から病理診断に至る作業過程についてもあらためて見直し、業務の効率化、安全な作業管理体制の構築を目標とします。

副　診　療　部

―― 2021年 ――

31）薬　剤　部　92
32）放 射 線 科　95
33）臨床検査科　97
34）リハビリテーション科　100
（理学療法・作業療法・言語聴覚療法・心臓リハビリテーション）
35）臨床心理科　106
36）臨床工学科　108
37）栄　養　科　117
38）治験センター　120
39）医療福祉相談室　122
（医療ソーシャルワーカー）
40）病診連携室　126
41）健診センター　136
42）情報システム管理室　138
43）保　育　室　140
44）がん相談支援センター　143
45）医療安全管理部　146
46）臨床腫瘍センター　150

31）薬剤部

薬剤部部長　大里　恭章

薬剤部 92
放射線科 95
臨床検査 97
リハビリ 100
臨床心理 106
臨床工学 108
栄養科 117
治験セン 120
医療福祉 122
病診連携 126
健診セン 136
情報シス 138
保育室 140
がん相談 143
医療安全 146
臨床腫瘍 150

1. 概要

2021 年は 2020 年から引き続き、病院の方針に基づき新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対する薬剤師としての責務に努めた一年でした。

特に 3 月から始まった新型コロナワクチンの接種事業については、接種業務を安全にかつ効率的に行うため､薬剤部のキャビネット内で薬剤師がワクチンの希釈と分注作業を行いました。これにより、ワクチン接種人数の増減による無駄が発生しないように努め、12 月末までに延べ 30,716 回（1 回目：15,175 回、2 回目：14,838 回、3 回目：703 回）の接種を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症に対する治療薬である「ベクルリー点滴静注用（レムデシビル)」が 2020 年に特例承認を受け使用が可能となり、2021 年にはカクテル療法である「ロナプリーブ点滴静注セット（カシリビマブ、イムデビマブ)」、モノクローナル抗体薬「ゼビュディ点滴静注液（ソトロビマブ)、さらには経口薬である「ラゲブリオカプセル（モルヌピラビル)」がそれぞれ特例承認を受け使用ができるようになり、新型コロナウイルス感染症の治療に患者様の状態に応じた選択肢ができました。これらの薬剤は特例承認で使用ができる薬剤であるため治療を受ける方の同意書等も必要であり、薬剤の管理、治療効果と副作用を含めスタッフ全員で対応してきました。特に感染症患者を受け入れた 8 階西病棟、ICU 病棟の病棟担当者は、医師をはじめとする他の医療職と協力のもと持参薬の鑑別から服薬指導の実施まで普段と変わりない業務を細心の注意を払いながら遂行してくれました。

このような状況ではありましたが、薬剤部の新たな取り組みとして医師の働き方改革を勧めるタスク・シフティングの一環として「プロトコールに基づく薬物治療管理（PBPM：Protocol-Based Pharmacotherapy Management)」を策定し、処方薬の代行入力、ワーファリン投与時の PT-INR の測定など 4 つのプロトコールを提案し診療部に了承を頂き運用をしてきました。今後も薬剤部として様々な薬物治療の場面で医師の働き方改革が進むよう協力を行っていきたいと思います。

2022 年も新たに 5 歳から 11 歳にあたる小児の新型コロナウイルス感染症に対するワクチンの接種事業が始まり、また新規の治療薬の特例承認なども予定されています。これまでと同様に薬剤師として臨床現場で何ができるのかを考え、責務を果たせるよう努めていきたいと思います。

2. メンバー構成

・薬剤師33名（非常勤１名）

助手　４名（非常勤１名）

・有資格者

日本医療薬学会	医療薬学指導薬剤師	大里恭章
	医療薬学専門薬剤師	大里恭章、草薙みか
	がん専門薬剤師	草薙みか、南野智志、山本倫数、
	薬物療法専門薬剤師	草薙みか
日本病院薬剤師会	感染制御認定薬剤師	横山法靖、里岡達哉
	認定指導薬剤師	大里恭章、草薙みか
日本化学療法学会	抗菌化学療法認定薬剤師	横山法靖、里岡達哉
日本緩和医療薬学会	緩和薬物療法認定薬剤師	里岡達哉
日本臨床栄養代謝学会	NST専門療法	大里恭章、草薙みか、南野智志、
		森田亜記、岩政かおり、山本倫数
日本糖尿病療法指導士認定機構	糖尿病指導療法士	坂野千賀、森田亜記、栗野大輔、
日本アンチドピング機構	スポーツファーマシスト	山本倫数
日本薬剤師研修センター	漢方薬・生薬認定薬剤師	草薙みか、山本倫数、門間智恵
	小児薬物療法認定薬剤師	坂野千賀
	認定実務実習指導薬剤師	大里恭章、草薙みか、坂野千賀、
		横山法靖、前田晃佑、青山瑛里子
日本麻酔科学会	手術期管理チーム薬剤師	大里恭章、前田晃佑
日本臨床救急医学会	救急認定薬剤師	山本浩二郎
日本臨床腫瘍薬学会	外来がん化学療法認定薬剤師	濱田達志

3. 実績

学生実習受け入れ【2021年度（2021年5月～2022年2月：11名）】

・2期　4名（近畿大学　2名、武庫川女子大学 2名）

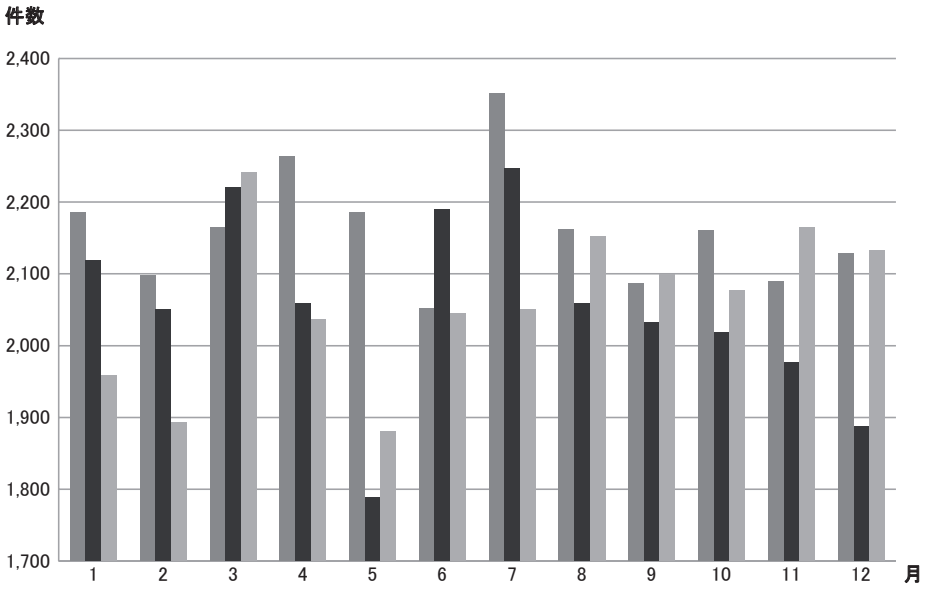
・3期　3名（京都薬科大学　2名、大阪大谷大学 1名）

・4期　4名（近畿大学　3名、摂南大学　1名）

《業務量》2021 年

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計	平均	前年比
処方箋枚数(外来)	1,592	1,506	1,772	1,674	1,609	1,521	1,631	1,840	1,597	1,576	1,582	1,700	19,600	1,633.3	99.3%
調剤数(外来)	3,594	3,526	4,168	3,919	3,576	3,486	3,427	4,081	3,534	3,511	3,572	3,806	44,200	3,683.3	99.1%
処方箋枚数(入院)	7,110	6,697	7,469	7,185	6,828	7,074	7,498	7,348	7,488	7,516	7,261	7,461	86,935	7,244.6	100.4%
調剤数(入院)	15,297	13,952	15,596	15,130	14,204	15,022	16,193	15,088	15,679	16,496	15,548	16,417	184,622	15,385.2	101.2%
注射本数	34,782	33,062	32,956	32,097	35,091	34,749	35,011	35,256	34,456	33,147	30,254	30,354	401,215	33,434.6	109.9%
無菌製剤処理2件数(入院)	148	163	132	139	113	189	188	226	165	120	123	98	1,804	150.3	114.2%
無菌製剤処理1件数(悪性腫瘍)	259	242	288	280	250	298	280	281	302	280	269	299	3,328	277.3	117.7%
化学療法加算1　加算A	203	199	253	246	224	270	239	245	255	240	229	258	2,861	238.4	121.0%
化学療法加算1　加算B	43	38	53	53	37	53	51	51	62	57	43	62	603	50.3	100.7%
薬剤情報提供件数	1,424	1,338	1,560	1,468	1,392	1,308	1,424	1,626	1,389	1,353	1,307	1,462	17,051	1,420.9	98.2%
退院時薬剤情報指導件数	450	368	516	532	389	497	507	493	504	505	456	554	5,771	480.9	108.7%
薬剤管理指導件数(Ⅰ)	1,178	1,172	1,332	1,268	1,191	1,246	1,245	1,269	1,258	1,260	1,291	1,250	14,960	1,246.7	100.0%
薬剤管理指導件数(Ⅱ)	780	721	909	768	689	799	806	883	841	817	874	882	9,769	814.1	100.9%
薬剤管理指導件数(合計)	1,958	1,893	2,241	2,036	1,880	2,045	2,051	2,152	2,099	2,077	2,165	2,132	24,729	2,060.8	100.3%

《薬剤管理指導件数の推移》



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
2019年	2,186	2,098	2,165	2,263	2,186	2,052	2,351	2,161	2,087	2,160	2,090	2,129
2020年	2,119	2,051	2,220	2,059	1,788	2,190	2,247	2,059	2,032	2,018	1,976	1,888
2021年	1,958	1,893	2,241	2,036	1,880	2,045	2,051	2,152	2,099	2,077	2,165	2,132

4. 今後の目標

①臨床業務活動のさらなる充実をめざす

②学会発表、論文発表を積極的に行い、リサーチマインドを追求する

③スタッフの育成ともに資格取得ができる環境の構築する

④医療制度改革に対応できるように組織の変革を常に継続する

薬剤部 92
放射線科 95
臨床検査 97
リハビリ 100
臨床心理 106
臨床工学 108
栄養科 117
治験セン 120
医療福祉 122
病診連携 126
健診セン 136
情報シス 138
保育室 140
がん相談 143
医療安全 146
臨床腫瘍 150

32）放射線科

放射線科技師長　平野　泰弘

1. 概要

2021 年は診療放射線技師 3 名の新入職があり、現在は診療放射線技師 31 名、事務員 1 名の体制となっております。今年度も放射線部会と緊密に連携し、徳洲会グループの超規模病院としての責務を全うして参ります。

検査実績としましては、昨年度と同様に近隣のクリニックや診療所より年間約 2900 件の検査依頼を頂きました。

2021 年 1 月には、CAG 装置、CT（320 列）装置、イメージ機器を更新し、CR 装置を 10 月末より DR 装置へ変更しました。他の既存の装置をフル活用する事で検査待ち日数を短縮し、緊急検査にもスムーズに対応できるよう努めました。また、昨年同様に循環器内科と脳神経外科の協力により、緊急カテーテルの件数も増加し、脳卒中の患者様に対しても緊急 CT・MRI 検査、緊急の血栓除去術や血管塞栓術の治療も行う等、救急の面においても貢献できたと考えております。

学術面では、今後も個人能力向上と放射線科全体のレベルアップを目指し、学会等への積極的な参加を続けていきます。

治療、検査体制の充実を図り、安全に配慮しながら迅速に対応できるよう、また、地域に信頼される病院になれるように努力して参ります。

2. メンバー構成

診療放射線技師 31 名、事務員 1 名

有資格取得者

第 1 種放射線取扱主任者	伊吹剛、井上竜太、齋藤里沙、久保省太
マンモグラフィ検診認定技師	村尾信義、近藤浩司、川野友也
	疋田直子、齋藤里沙、安川莉愛、金岡愛実、宮本夏実
胃がん検診認定技師	琉秀光、近藤浩司、上甲実
肺がん CT 認定技師	近藤浩司、伊吹剛
救急撮影認定技師	平野泰弘、小川宏明、有吉真志
Ai 認定技師	橋詰智
医療情報技師	村尾信義
X 線 CT 認定技師	伊吹剛、瀬川裕一
MRI 認定技師	久保省太

薬剤部 92
放射線科 95
臨床検査 97
リハビリ 100
臨床心理 106
臨床工学 108
栄養科 117
治験セン 120
医療福祉 122
病診連携 126
健診セン 136
情報シス 138
保育室 140
がん相談 143
医療安全 146
臨床腫瘍 150

3. 実績

《月別放射線科統計》

2021年	単純透視	CT	MR	RI	CAG	DSA	放射線治療	紹介件数	総件数
1月	6,752	2,647	813	66	97	57	239	152	10,823
2月	7,316	2,756	827	60	79	53	278	225	11,594
3月	7,678	3,048	1,003	80	136	57	286	300	12,588
4月	6,774	2,840	918	78	118	58	193	261	11,240
5月	7,432	2,678	838	81	101	46	188	206	11,570
6月	7,449	2,948	982	104	107	40	165	231	12,026
7月	7,707	2,846	926	105	122	62	289	228	12,285
8月	6,878	2,956	1,001	114	114	65	316	223	11,667
9月	6,548	2,956	985	135	129	66	444	247	11,510
10月	6,829	3,133	1,026	109	124	67	319	313	11,920
11月	6,811	2,988	999	106	106	54	286	263	11,613
12月	6,783	3,046	990	130	107	69	405	265	11,795
合計	84,957	34,842	11,308	1,168	1,340	694	3,408	2,914	140,631
平均	7,080	2,904	942	97	112	58	284	243	11,719

実習生受け入れ

清恵会第二医療専門学院　　4 名

4. 今後の目標

2022 年 2 月に 1.5TMR 装置バージョンアップし、2022 年度以降に 3TMR 装置バージョンアップで更新し、CT（64 列）、治療装置（治療計画 CT 装置）の更新予定。画像の質の向上や被曝量の低下等が見込まれますので、診断精度及び治療成績の向上に努め、引き続き予防医療や地域貢献を目指します。

また、個人能力の向上のため、勉強会への積極的な参加や資格の取得に努めて参ります。

33）臨床検査科

技師長　松田　治恵子

1. 概要

日本臨床検査技師会が 2020 年度内に共用基準範囲運用開始を求めていたこともあり、当院においても 2021 年 3 月 1 日共用基準範囲（LD・ALP に関しては IFCC に変更）の適応を開始しました。同時に TSH のハーモナイゼーションも実施しました。

新型コロナウイルス感染症に関しては抗原定量とリアルタイム PCR、LAMP 法を併用し、地域外来検査センターや発熱外来、入院時スクリーニングなど目的に合わせて検査を選択・対応してきました。リアルタイム PCR は随時至急測定可能な最大 4 件しか同時測定できない機器を使用しているため、9/21 にバッチ処理で同時に 96 件測定可能な QuantStudio5 を導入しました。これを機に LAMP 法を中止し、抗原定量とリアルタイム PCR の二本立てでの対応となりました。またワクチン接種が進むなかで有志によるコロナ IgGs 抗体の追跡も実施し、抗体価の変動に関しての情報を職員に提供しています。（2022 年も追跡続行中）

検査各部門として、検体検査は過去最高の件数・点数でありました。生理検査は昨年よりは全てにおいて業務量が増加しており、コロナで状況が変わる前の過去最高であった 2019 年と比較しても腹部エコー以外は伸び続けています。また老朽化していた超音波機器も更新され、ポータブルとして臨機応変な運用や、汎用機として多くの検査を実施できる環境が整いました。学術発表においては、全国学会に 5 演題の発表を行なうことができました。応援に関しては年始・9 月・10 月に各々 2 週間宮古島病院へ、全南病院へは 2 回の応援を実施しました。学生実習に関しては、大学 1 校（2 名）、専門学校 2 校（4 名）の受け入れを実施しました。

2. メンバー構成

・臨床検査技師　　42 名（＊他、採血コーナー常勤看護師 1 名）
・視能訓練士　　4 名　　合計：47 名

3. 実績

1）資格試験合格者
・二級臨床検査士　血液学　長尾技師

2）実習生受け入れ
・日本医療学院専門学校　2名（4ヶ月）
・大阪医療技術学園専門学校　2名（4ヵ月）
・関西医療大学　2名（3ヶ月）

3）機器更新・新設
・血液ガス分析装置1台（ICU）ABL800（ラジオメーター）
・卓上冷却遠心器（細菌検査）
・血液凝固半自動測定機（エクモバックアップ用）CA101（シスメックス）
・ホルマリン管理システム導入
・超低温フリーザー　MDF-DU300H-PJ
・ABI　VaSera VS-2500

薬剤部 92
放射線科 95
臨床検査 97
リハビリ 100
臨床心理 106
臨床工学 108
栄養科 117
治験セン 120
医療福祉 122
病診連携 126
健診セン 136
情報シス 138
保育室 140
がん相談 143
医療安全 146
臨床腫瘍 150

・リアルタイムPCR測定機器　QuantStudio5
・心電計2台　cardimax7
・便潜血自動分析装置　M-5K00
・血液保冷庫　MBR-305G-PJ
・超音波装置　Aplio a Verfia
・血糖自動分析装置　GA1172　1台、HbA1c8182　2台（血糖・HbA1c連結器2台）
・脳波計　Neurofax
・24時間心電図記録計（ホルター心電図）3台
・安全キャビネット　2台

4）2020 年　月別検査統計

（件数）

項目／月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計	平均
一般	43,006	39,827	45,153	43,689	40,681	45,227	46,373	45,291	44,852	45,707	43,728	48,713	532,247	44353.9
血液	74,977	77,402	72,146	78,523	79,886	81,191	83,998	86,318	83,873	83,902	81,702	83,260	967,178	80598.2
微生物	10,024	9,772	10,566	11,367	11,398	10,532	10,893	12,730	11,578	10,092	9,776	10,117	128,845	10737.1
免疫	21,273	19,576	22,790	20,937	18,871	21,196	21,628	21,540	21,111	22,242	21,861	22,780	255,805	21317.1
生化学	162,180	148,960	173,681	164,148	164,679	170,339	175,564	178,030	173,569	178,275	171,962	176,423	2,037,810	169817.5
病理	648	648	793	752	664	881	696	820	952	1,002	967	1,065	9,888	824.0
細胞診	1,728	1,741	2,024	1,816	1,622	2,223	1,956	2,397	2,368	2,706	2,487	2,882	25,950	2162.5
外注合計	4,649	4,356	5,291	5,158	4,533	4,660	5,129	4,985	4,692	5,368	5,235	5,032	59,088	4924.0
検体合計	352,072	326,086	376,846	360,494	352,734	369,334	380,088	387,056	376,799	383,862	371,073	385,443	4,421,887	368490.6
外注比率	1.3	1.3	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3	1.3	1.2	1.4	1.4	1.3	16	1.3
腹部エコー	764	720	920	723	693	881	792	751	867	890	891	870	9,762	813.5
心エコー	681	648	726	732	636	672	777	765	790	735	748	804	8,714	726.2
他エコー	768	788	836	811	718	878	904	920	931	960	925	936	10,375	864.6
生理合計	5,676	5,465	6,254	5,787	5,162	6,152	6,507	6,491	6,580	6,712	6,601	6,851	74,238	6186.5
月間検査合計	357,748	331,551	383,100	366,281	357,896	375,486	386,595	393,547	383,379	390,574	377,674	392,294	4,496,125	374677.1

（点数）

項目／月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計	平均
一般	277,050	277,348	296,737	274,317	283,952	301,110	312,315	304,855	296,128	318,529	294,947	323,516	3,560,804	296733.7
血液	1,105,255	1,019,181	1,134,514	1,095,753	1,086,084	1,122,324	1,138,724	1,214,065	1,189,945	1,133,470	1,111,156	1,114,782	13,465,253	1122104.4
微生物	3,755,167	3,006,593	3,844,928	5,555,336	5,651,677	3,982,847	4,261,770	6,009,973	5,056,954	3,923,571	3,744,020	3,803,246	52,596,082	4383006.8
免疫	1,145,469	1,013,367	1,259,477	1,152,114	750,412	1,059,534	1,086,037	1,096,699	1,044,314	1,154,340	1,110,518	1,193,918	13,066,199	1088849.9
生化学	2,176,684	2,028,681	2,294,849	2,177,117	2,195,841	2,268,788	2,303,951	2,357,086	2,333,975	2,308,604	2,247,030	2,349,967	27,042,573	2253547.8
病理	591,440	579,850	701,330	646,020	582,080	786,460	613,290	717,870	839,710	881,570	856,340	938,890	8,734,850	727904.2
細胞診	218,848	221,704	256,791	233,197	209,464	277,488	244,508	292,833	289,460	317,972	300,596	344,626	3,207,487	267290.6
外注合計	934,083	874,977	1,106,064	1,048,985	884,626	994,593	1,032,885	1,065,396	1,154,445	1,259,654	1,190,332	1,118,631	12,664,671	1055389.3
検体合計	11,253,286	9,985,641	11,988,420	13,303,759	12,638,496	11,835,924	12,089,820	14,205,057	13,291,721	12,419,929	11,922,449	12,308,256	147,242,758	12270229.8
外注比率	8.3	8.8	9.2	7.9	7.0	8.4	8.5	7.5	8.7	10.1	10.0	9.1	104	8.6
腹部エコー	419,400	395,540	501,990	397,530	376,670	484,190	437,160	409,600	479,240	484,250	486,010	479,300	5,350,880	445906.7
心エコー	607,960	575,820	646,320	656,560	567,740	598,800	692,440	683,120	708,840	656,100	665,060	714,960	7,773,720	647810.0
他エコー	446,500	443,300	468,700	465,150	403,200	491,100	516,600	518,700	524,250	543,000	519,350	531,200	5,871,050	489254.2
生理合計	2,043,180	1,957,110	2,234,210	2,123,485	1,881,850	2,224,020	2,309,730	2,305,830	2,418,510	2,401,400	2,333,275	2,457,345	26,689,945	2224162.1
院内検査合計	13,296,466	11,942,751	14,222,630	15,427,244	14,520,346	14,059,944	14,399,550	16,510,887	15,710,231	14,821,329	14,255,724	14,765,601	173,932,703	14494391.9





4. 今後の目標

1）検査技師の質の向上

①各専門技士育成

細胞検査士、輸血専従技師、微生物検査技師、生理検査技師（超音波・各種機能検査）

②各種資格試験の受験

細胞検査士、認定臨床微生物検査技師、感染制御認定臨床微生物検査技師、
認定輸血検査技師、認定血液検査技師

③各種学会発表・論文執筆の推進

2）業務改善・改革

①各部門人員配置の見直し・増員

②採血コーナーを検体検査・生理検査と連携させる

③自動分析装置での測定項目見直し（分析装置の変更・効率化）

34）リハビリテーション科（理学療法・作業療法・言語聴覚療法）

理学療法室室長　野村　日呂美

薬剤部　92
放射線科　95
臨床検査　97
リハビリ　100
臨床心理　106
臨床工学　108
栄養科　117
治験セン　120
医療福祉　122
病診連携　126
健診セン　136
情報シス　138
保育室　140
がん相談　143
医療安全　146
臨床腫瘍　150

1. 概要

2021 年は 1 月～ 3 月までの間に理学療法士 4 名の退職と 2 名の育児・産後休暇中のスタッフ等で 6 名不在の中、4 月に理学療法士 6 名、作業療法士 1 名、言語聴覚士 2 名の新人教育を行いつつ日々の業務を行った。しかも言語聴覚療法に至っては小児訓練・検査の処方数・残業量が増加している中、4 月に入職した新人 2 名共に 7 月までに退職となったため慢性的な業務量過多の状態が持続している。

そんな中、全南病院の転院促進には全南病院のリハビリテーションの充実が大切であるとのことで 5 月から応援態勢を 2 週に 1 回を毎週に変更した。

また、新型コロナウイルス感染症により実習中止となる学校も多い状況の中、急性期病院での臨床現場を伝えていく事と、新人獲得する事を目的に実習生を昨年より多い 26 名（理学 14 名、作業 7 名　言語 5 名）を受け入れた。

チーム・委員会に関しては、心肺・DM・整形・脳外・訪問・リウマチ・手の外科、NST、緩和ケア、創傷外来、JCI など、チーム内で療法士の専門性を活かした活動を継続し、その中で患者治療の成績分析を行い、各チーム・委員会内での発表を行った。近隣の病院との連携強化として理学療法士協会への活動を通して会議・交流会・勉強会等、地域の中核病院としての役割を果たす努力も継続して行っている。

2. メンバー構成（次項参照）

3. 実績（次項参照）

4. 今後の目標

2021 年度は他病院がコロナの感染でリハビリ業務ができない時期もあったことから、更なる感染対策として病棟担当制と、チーム体制の強化を図ることで教育体制を整えていく予定である。

【理学療法】

①メンバー構成

在籍人数

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
21	21	20	22	22	22	22	21	21	21	21	21

全南病院応援　2週に1回（午後）→5月から週に1回の午後に変更

発熱外来、ワクチン接種受付にてスタッフ応援

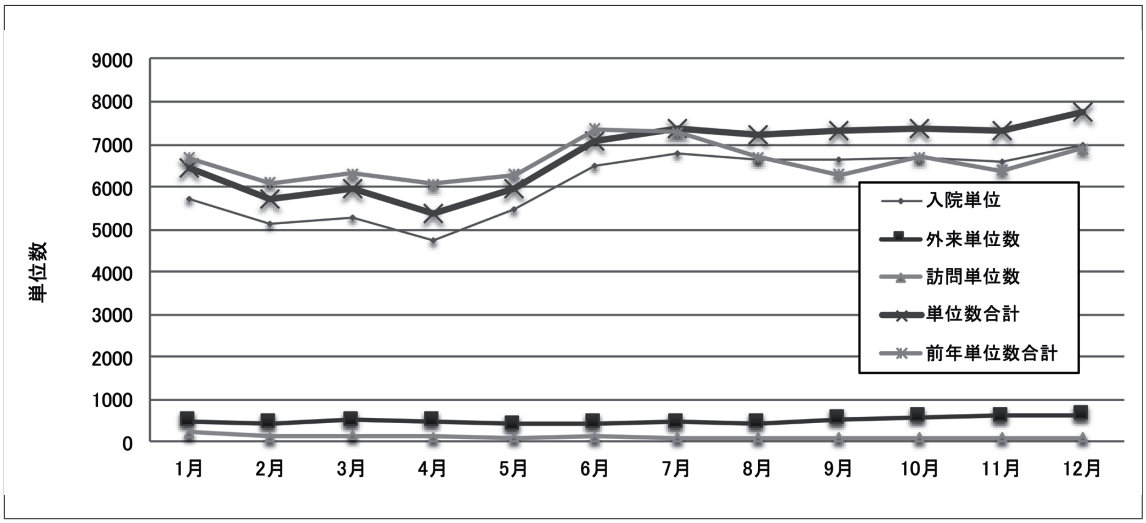
大阪医療福祉専門学校PT教員2名　1/W　AM指導応援7月より開始

1名　育児休暇中

2名　訪問在籍

②実績

2021年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計単位数	平均
入院単位	5,712	5,116	5,262	4,757	5,452	6,477	6,763	6,636	6,653	6,674	6,589	6,998	73,089	6,090.8
外来単位数	499	449	521	488	413	452	482	449	537	601	621	645	6,157	513.1
訪問単位数	218	139	160	133	118	128	110	116	115	119	116	120	1,592	132.7
単位数合計	6,429	5,704	5,943	5,378	5,983	7,057	7,355	7,201	7,305	7,394	7,326	7,763	80,838	6,736.5
スタッフ数（実働数）	19	19	18	15	22	22	22	21	21	21	21	21		20.1
前年単位数合計	6,682	6,088	6,304	6,070	6,295	7,364	7,285	6,699	6,293	6,712	6,377	6,884	79,053	6,587.8
前年スタッフ数	21	20	18	22	22	22	22	22	19	19	19	19		20.4
延べ入院件数	3,928	3,346	3,946	3,473	3,692	4,338	4,470	4,344	4,548	4,577	4,425	4,710	49,797	4,149.8
延べ外来件数	394	378	445	420	347	380	380	374	432	487	469	507	5,013	417.8
訪問患者数	110	70	81	67	60	65	55	59	58	60	59	61	805	67.1



薬剤部 92
放射線科 95
臨床検査 97
リハビリ 100
臨床心理 106
臨床工学 108
栄養科 117
治験セン 120
医療福祉 122
病診連携 126
健診セン 136
情報シス 138
保育室 140
がん相談 143
医療安全 146
臨床腫瘍 150

《実習生受け入れ》

	期間	学年	
＜見学実習＞			
大阪医療福祉専門学校	12/6 ～ 12/11	1年	4名
大阪府立大学	9/6 ～ 9/10	2年	2名
森ノ宮医療大学	8/2 ～ 8/6	2年	1名
＜検査測定実習＞			
大阪医専	10/25 ～ 11/20	3年	1名
関西福祉科学大学	2/1 ～ 2/12	3年	1名
大阪府立大学	2/15 ～ 3/5	3年	1名
＜臨床実習＞			
大阪医療福祉専門学校	6/21 ～ 6/24	3年	1名
奈良リハビリテーション専門学校	8/23 ～ 10/15	3年	1名
四條畷学園大学	8/9 ～ 9/29	4年	1名
大阪府立大学	9/21 ～ 11/2	4年	1名

《地域連携》

服部　玄徳	大阪府理学療法士協会　八尾柏原ブロック　学術部部員
服部　玄徳	理学療法診療ガイドライン作成委員会　脊髄障害SR班　班員
黒田　涼平	八尾リハビリテーション関連職連絡協議会
小阪　葵	大阪府理学療法士協会　八尾柏原ブロック　学術部部員

《学術発表・論文投稿》

服部　玄徳	第58回日本糖尿病学会近畿地方会（11月30日　京都）
	演題名：世界糖尿病デーにおける当院の啓発活動

【作業療法】

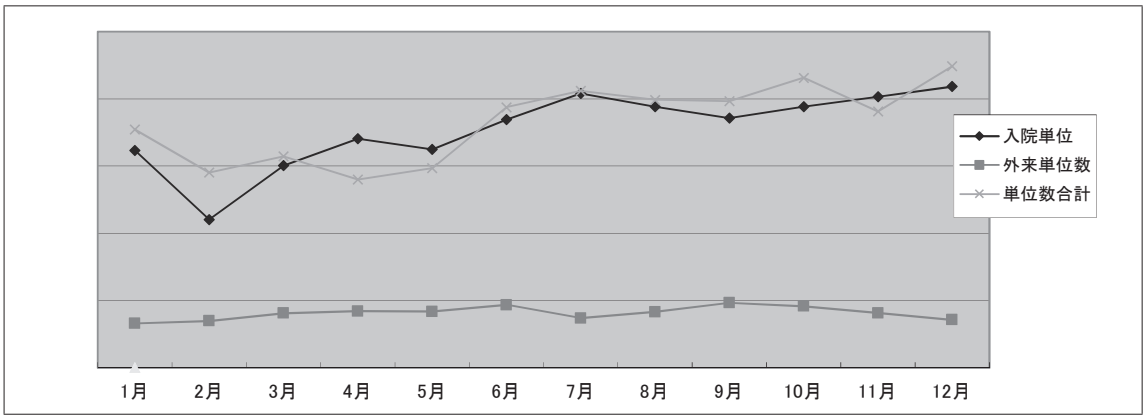
①メンバー構成

2021年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
スタッフ実働人数	6	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7

②実績

〈作業療法単位数〉

2021年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計単位数	平均
入院単位	1,618	1,103	1,504	1,705	1,625	1,846	2,041	1,943	1,858	1,942	2,016	2,092	21,293	1,774.4
外来単位数	331	350	407	422	419	468	370	416	484	458	408	357	4,890	407.5
単位数合計	1,949	1,453	1,911	2,127	2,044	2,314	2,411	2,359	2,342	2,400	2,424	2,449	26,183	2,181.9
スタッフ実働人数	6	5	5	7	7	7	7	7	7	7	7	7		
入院患者数	909	611	846	913	872	1,003	1,085	1,052	990	1,038	1,085	1,896	12,300	1,025.0
外来患者数	225	239	283	279	271	323	251	265	322	306	269	348	3,381	281.8
前年度単位合計	1,772	1,453	1,572	1,401	1,486	1,938	2,059	1,993	1,983	2,157	1,906	2,244	21,964	1,830.3
2020スタッフ人数	5	4	4	5	5	6	6	6	6	6	6	6		



《実習生受け入れ》　　期間　　学年

＜見学実習＞

＜検査測定、評価実習＞

四條畷学園大学	1/25 ～ 2/12	3年	1名
	8/30 ～ 9/3	3年	1名
大阪河崎リハビリテーション大学	2/1 ～ 2/20	2年	1名
	3/8 ～ 3/26	2年	1名

＜臨床実習＞

関西福祉科学大学	6/21 ～ 7/30	4年	1名
四條畷学園大学	8/9 ～ 10/1	4年	1名
大阪河崎リハビリテーション大学	10/4 ～ 12/4	3年	1名

薬剤部 92
放射線科 95
臨床検査 97
リハビリ 100
臨床心理 106
臨床工学 108
栄養科 117
治験セン 120
医療福祉 122
病診連携 126
健診セン 136
情報シス 138
保育室 140
がん相談 143
医療安全 146
臨床腫瘍 150

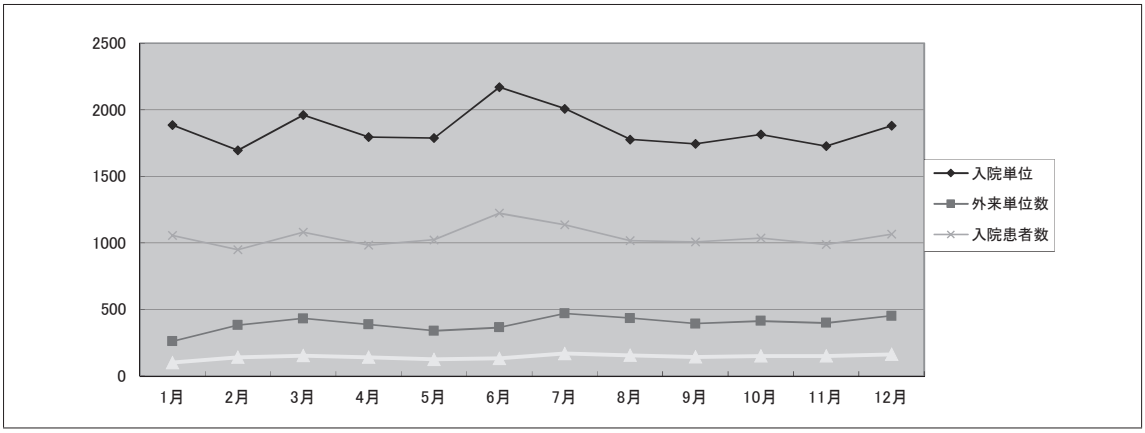
【言語療法】

①メンバー構成

2021年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
スタッフ実働人数	6	6	6	8	7.2	7	7	6	6	6	6	6

②実績

2021年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計単位数	平均
入院単位	1,886	1,696	1,961	1,795	1,788	2,170	2,008	1,777	1,744	1,814	1,727	1,881	22,247	1,853.9
外来単位数	262	383	432	387	340	366	470	435	393	414	399	452	4,733	394.4
入院患者数	1,056	949	1,080	983	1,023	1,223	1,137	1,017	1,008	1,037	988	1,065	12,566	1,047.2
外来患者数	101	141	153	142	126	133	169	156	144	151	152	163	1,731	144.3
スタッフ実働数	6	6	6	6	6.8	7.3	6.78	6	6	6	6	6		6.2



《実習受け入れ》

2021年1月25日～2月20日	大阪河﨑リハビリテーション大学	評価実習　1名
2021年6月21日～7月16日	大阪医療技術学園専門学校（昼間部）	臨床実習　1名
2021年9月6日～9月10日	神戸医療福祉専門学校　三田校	見学実習　1名
2021年9月13日～9月17日	神戸医療福祉専門学校　三田校	見学実習　1名
2021年10月4日～12月1日	大阪医療技術学園専門学校（昼夜間部）	臨床実習　1名

【心臓リハビリテーション】

①概要

入院患者件数は昨年と同程度の件数を維持することができた。特に、心臓血管外科の術後患者では、一日に複数回介入することで ADL の改善、早期退院促進の援助をすることができた。循環器内科からも緊急カテーテル術後や心不全コントロールの患者が多く、全体的に件数が多かった。外来に関しては、術後患者を積極的に外来へ移行することで、昨年に比べ大幅に件数が増加した。しかし、個別での患者フォローはできていないことが今後の課題である。

②メンバー構成

医師：　福田貢、内田直里、薦岡成年、小島三郎、松尾浩志

理学療法士：　片田理恵、長谷川静、阪口千尋

臨床検査技師：戸野川始、西岡徹、桐原恵利佳

③実績

入院	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
患者数	651	65	717	676	681	697	658	576	700	689	617	879	633.83
単位数	950	974	1,043	919	896	955	953	868	973	854	891	1,274	962.5

外来	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
患者数	0	6	16	20	17	14	19	25	23	34	46	31	20.92
単位数	0	6	17	21	17	14	19	26	25	38	64	32	23.25

入外合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均	合計
患者数	651	71	733	696	698	711	677	601	723	723	663	910	654.75	7,857
単位数	950	980	1,060	940	913	969	972	894	998	892	955	1,306	985.75	11,829

④今後の目標

・術後リハビリテーションの充実、外来運動療法の積極的な実施

・外来患者の個別面談の実施

・他院からの外来心臓リハビリ患者の積極的な受け入れ

35）臨床心理科

臨床心理士　八島　麻美子

薬剤部　92
放射線科　95
臨床検査　97
リハビリ　100
臨床心理　106
臨床工学　108
栄養科　117
治験セン　120
医療福祉　122
病診連携　126
健診セン　136
情報シス　138
保育室　140
がん相談　143
医療安全　146
臨床腫瘍　150

1. 概要

当院における心理士の役割は、治療に来られる患者様の心に寄り添い、支えることです。人が病気やけがを患うと不安や混乱、苦しみや痛みなどさまざまな感情・感覚が生じ、それらが治療の妨げになることも少なくありません。それらを少しでも軽減し、患者さんが心身ともに穏やかに過ごせるようサポートすることを私たちは目指しています。

昨年に引き続き、今年も新型コロナウイルス感染症の流行に伴ってさまざまな制限が課せられ、誰もが強いストレスを感じる１年となりました。これまで以上に、精神面で不安定になっている方が増えているという実感も得ています。事態が長期化することで、心の負担が身体化して病気につながったり、行動化してしまって思いがけない事件や事故につながったりする可能性もあるように思われます。このような状況下では、孤立を避けて互いにつながり、支え合うことがとても重要になるのではないでしょうか。私たちの関わりが少しでも皆様の心の支えになれればと思っています。

また４月からは精神科の片上医師が常勤医となり、今まで以上に幅広く、質の高いサポートを提供できるようになりました。精神的な不調を抱える方々に対し、早期から適切で専門的な介入が行なえるようになったことは非常に有用であり、今後も協力・協働しながら患者様のケアを行っていければと考えています。

2. メンバー構成

片上徹也　（精神保健指定医・臨床心理科部長）
八島麻美子（臨床心理士・公認心理師）
朴祐希　　（臨床心理士・公認心理師）
宮坂なつ花（臨床心理士・公認心理師）

3. 実績

【外来業務】

（1）心理外来（小児科・その他の診療科）

小児科領域ではおもに心身症や発達障害などの患者様を対象に、医師の指示のもと心理検査やカウンセリング、プレイセラピーなどの心理治療を行っています。ここ数年は他の診療科からの依頼も少しずつ増えており、がん患者様など心理的なサポートの必要な方に対応しています。

（2）糖尿病外来

糖尿病ケアチームのスタッフとともに患者様の療養生活を支えるための精神的なサポートを行っています。

【入院業務】

（1）入院患者様やその家族に対して、ベッドサイドでカウンセリングなどの心理的ケアを実施しています。

(2) 緩和ケアチーム・糖尿病ケアチーム・精神科リエゾンチームに所属し、医師や看護師をはじめとする他職種と連携･協力しながら、患者様をサポートするチーム医療を実践しています。

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
外来	小児科	113	116	123	113	97	95	108	103	104	120	117	109	1,318
	糖尿病外来	45	43	57	59	35	54	48	58	51	44	45	52	591
	その他	14	17	14	10	12	17	15	14	8	10	8	5	144
	合計	172	176	194	182	144	166	171	175	163	174	170	166	2,053
入院	内科系	7	11	0	1	6	25	13	24	22	32	13	17	171
	外科系	25	24	23	17	22	24	3	8	7	20	51	40	264
	糖尿病	9	12	5	5	0	3	5	4	7	16	9	8	83
	緩和ケア	18	7	16	12	18	12	9	9	1	14	28	4	148
	リエゾンフォロー	11	24	29	30	24	27	29	25	30	30	39	11	309
	その他	0	0	0	0	0	4	2	0	0	0	1	0	7
	合計	70	78	73	65	70	95	61	70	67	112	141	80	982

4. 今後の目標

私たちは、相談に来られる方１人１人と丁寧に向き合い、一緒に悩みながら前に進むことをとても大切にしています。今後は片上医師の協力のもと、より幅広い患者様を対象とすることが可能になると考えており、心理士それぞれが自己研鑽に励み、スキルアップしながら業務に取り組んでいきたいと思います。

36）臨床工学科

臨床工学科技士長　藤田　和睦

薬剤部　92
放射線科　95
臨床検査　97
リハビリ　100
臨床心理　106
臨床工学　108
栄養科　117
治験セン　120
医療福祉　122
病診連携　126
健診セン　136
情報シス　138
保育室　140
がん相談　143
医療安全　146
臨床腫瘍　150

1. 概要

〈人工透析〉

A）2020 年との件数比較

総透析件数は、13,200 件（i-HDF は 3338 件）と 789 件減少、病棟透析が 89 件増加。特殊血液浄化は、持続血液透析（CRRT）が 780 件（297 件増加）、エンドトキシン吸着が 5 件（2 件減少）であった。

腹水濃縮濾過が 15 件（7 件減少）となった。LDL 吸着は 26 件（14 件増加）であった。CRRT の件数から分かるように ICU 領域での急性血液浄化の必要性が高い患者数（ICU における covid-19 透析対応、HD 対応 28 件、CRRT 対応 279 件）が多いことが分かる。

B）2021 年の取り組み

透析装置の保守点検、透析室での配置を 4 ～ 5 名体制を維持し他カテゴリー（新型コロナウイルス感染症対応含む）への業務支援を行い、他業務の教育・指導、業務効率の充実を図った。

新たに多人数用透析監視装置（NCV-3）を 15 台購入し i-HDF の導入を行った。

INBODY を測定し筋肉量の測定を行った。透析液の水質管理（水道水を含む）を継続的に安定して行うことができた。

C）課題、目標について

i-HDF が始まり、更なる継続的な透析液（超純粋透析液）水質管理を行う事が重要。課題としては、DIACOM（透析支援システム）の導入、超純粋透析液使用の為、ET 測定器の購入が必要と考える。

設備面では老朽化により透析液供給装置の機器更新、エコーを用いてのシャント評価や穿刺（動脈表在化）が必要となってくる。

また、JCI を取得し継続的な環境整備を行う。

〈DSA〉

昨年に引き続き DSA 治療中心に業務を行っている。脳アンギオ治療 61 件、シャント PTA49 件対応した。今後の課題として、緊急症例も含め全件対応できるようにしていく。

〈人工心肺〉

A）2020 年との件数比較

・人工心肺使用症例（開胸）　111件（前年比+18件）
・人工心肺不使用症例（開胸）　1件（前年比-7件）
・人工血管置換術（開腹）　15件（前年比-5件）
・自己血回収　149件（前年比-4件）
・TEVAR　40件（前年比+7件）
・EVAR　44件（前年比+6件）
・TAVI　0件（前年比0件）

B）2021 年の取り組み

2021 年人工心肺症例は 111 件と増加し、さらなる体制強化および緊急手術にも対応した。なお、2021 年の緊急人工心肺症例は 22 件であった。

業務体制は 3 名常時就き、安全と教育に努めた。人工心肺業務に従事する臨床工学技士には、より専門的な知識を有した体外循環技術認定士も 1 名追加となり資格取得者は 3 名在籍している。

本年度より MICS 下での人工心肺操作を始め、小切開かつ低侵襲な重症心臓外科手術に対応している。

C）課題、目標について

2022 年は更なる心臓外科手術症例数の増加、緊急手術、重症症例の増加や低侵襲手術の導入など心臓血管外科手術の増加が予想される。それらに私たちは安全で安定した医療を提供できるよう強化を図りたい。

〈手術室〉

A）2020 年との件数比較

- 鏡視下手術　925件（前年比+121件）
- MEP　117件（前年比+38件）
- ナビゲーション　55件（前年比+38件）
- ダビンチ　0件（前年比0件）
- RFA　21件（前年比-17件）
- その他　224件（前年比+14件）

B）2021 年の取り組み

2021 年も継続して、手術室および救急、DSA に設置している麻酔器の日常点検、更に例年計画している保守点検も 11 月に実施することにより故障トラブルの早期発見に努めた。

電気手術メスを始めとする高周波エネルギーデバイスの保守点検も当科で実施した。

MEP 術中モニタリングおよびナビゲーション支援においては整形外科領域だけでなく脳神経外科領域においても取り組んでおり、症例数増加にも対応している。

C）課題、目標について

2022 年も更に件数増加や新しい医療機器が導入されることが予想される。特に内視鏡手術支援ロボット daVinci には積極的な取り組みをしていく。

また、医療機器の安全使用や装置異常やトラブル早期発見に対し、臨床工学技士として迅速な対応を図りたい。

薬剤部 92
放射線科 95
臨床検査 97
リハビリ 100
臨床心理 106
臨床工学 108
栄養科 117
治験セン 120
医療福祉 122
病診連携 126
健診セン 136
情報シス 138
保育室 140
がん相談 143
医療安全 146
臨床腫瘍 150

〈心臓カテーテル〉

A）2020 年との件数比較

・総カテ件数 1,702 件（昨年 1,594 件）

・PCI 件数 772 件（昨年 713 件）

・EVT 件数 292 件（昨年 277 件）

・ペースメーカー植え込み件数 56 件（昨年 32 件）

緊急カテ件数は、

昨年と比較して 146 件（昨年 113 件）と 33 件増。新型コロナウイルス感染症を考慮しての感染対策下での緊急対応にも慣れはじめ、検査や治療は増加傾向。

高度な手技を要される Rotablator 件数が 258 件（昨年 119 件）、Diamond Back が 28 件（昨年 60 件）と、Rotablator に関しては過去最高件数となっている。Rotablator 件数は全国で 2 位となった。

B）2021 年の取り組み

昨年度ペースメーカー外来 207 件、入院中の患者様へは 37 件のペースメーカーチェックを実施。

昨年度より力を入れ始めた遠隔モニタリング導入数が増加傾向。743 件（昨年 237 件）の実施となっている。

今年度よりペースメーカー植え込み患者様の MRI 撮像が増え始め、放射線科と協力しトラブルなく行うことができている。

昨年度より導入した補助循環デバイス、IMPELLA が緊急でも使用されるようになり、補助循環の選択肢も増えた。

C）課題、目標について

今年度、初の試みとなる院内でのライブ治療を実施。他施設より医師を招き、完全閉塞病変の治療を完遂した。今後、より高度な技術と知識が必要となってくる為、スタッフのスキルアップに取り組んでいく。

緊急での人員配置も以前より多く必要となってきている傾向。新人スタッフの教育に力を入れ、人数のベースアップを試みる。

〈呼吸器・機器管理〉

A）2020 年との件数比較

NPPV の件数は 2,587 件で、2020 年（2,384 件）より増加。（1 日 1 件としてカウント）ただ、例年どおり NPPV をレンタルすることが多かった。

ベンチレータの件数は 5,927 件で 2020 年（3,649 件）より大幅に増加。

ネーザルハイフローの件数は 2,731 件で 2020 年（2,008 件）より大幅に増加。

Para PAC（搬送用人工呼吸器）件数は 353 件で 2020 年（183 件）より大幅に増加。

B）2021 年の取り組み

ICU での COVID 患者に対し HAMILTON-C6　使用

呼吸ケアチーム（RST）への安定した業務参加（月～金）。

2021 年も継続して人工呼吸器に使用前点検ならび定期的な回路交換

人工呼吸器のオーバーホールを実施。

HAMILTON − C6 新規購入し ICU で運用

ネーザルハイフロー　新規購入（件数増加のため）

C）課題、目標について

COVID 対応において人工呼吸器の役割は重要であり、各自呼吸器に対して研鑽を積み理解を深めていく。

2022 年も新しい医療機器が導入されることに対して、それらの異常の早期発見およびトラブルに臨床工学科として取り組んでいきたい。

〈内視鏡〉

A）2020 年との件数比較

上部消化管検査は、昨年と比較し、362 件増加した。下部消化管検査は、111 件増加した。ERCP は 48 件減少した。治療件数は、ポリペクトミー・EMR が 18 件減少、ESD は、1 件の増加であった。

EUS の件数は、増減なし。FNA は、39 件の減少となった。

気管支鏡分野では、28 件増加した。

引き続いての新型コロナウイルス感染症発生による件数の影響はあったと思われるが、昨年よりは、検査治療件数は増加している傾向にある。

スタッフが感染対策をしっかり行ってくれた結果、感染者、濃厚接触者を出さないことでマンパワーによる影響がほぼ無かった事が非常に大きい。

件数については一覧参照。

B）2021 年の取り組み

a）内視鏡介助者の育成。

b）内視鏡機器の修理金額の削減。

c）内視鏡スコープ清浄度調査 ATP 測定

d）学会発表

e）動画教育資料の作成・運用

取り組み結果

a）介助者の育成は各個人のモチベーションを保つことが出来、効率的な成果が得られた。その一方で医師へのサポートがより多くなってきている。

b）先端保護チューブの導入により故障程度の軽減、修理金額の減少が出来た。顕著な質の向上が見られた。

c）内視鏡スコープ清浄度調査（ATP）を積極的に行った。教育にも取り組んだ為、根拠のある質の高い教育が出来た。当施設での測定方法・運用方法を元に関西大阪ブロックの内視鏡スコープ清浄度調査（ATP 測定）を行う事が出来た。部会内全国運用方法の大元となっている。

d）日本臨床工学技士学術大会に 2 演題、近畿臨床工学技士学術大会に 1 演題を発表した。臨床工学技士が内視鏡業務に携わることで修理費用の削減や内視鏡室の感染管理に深く関わっている事を外部に発信する事が出来た。

薬剤部 92
放射線科 95
臨床検査 97
リハビリ 100
臨床心理 106
臨床工学 108
栄養科 117
治験セン 120
医療福祉 122
病診連携 126
健診セン 136
情報シス 138
保育室 140
がん相談 143
医療安全 146
臨床腫瘍 150

e）動画資料の作成については､作成したものを部会内視鏡WGで活用することが出来た。
手技介助なども含め目に見える教育をテーマとして作成・運用していきたい。

C）課題、目標について

継続的な目標として新型コロナ対応含め、検査・治療件数の確保を行っていく。多種多様な手技に対応する技術の習得が引き続き必要不可欠となる。

当施設は臨床工学部会、内視鏡WG長が在籍する施設となる為、通常業務だけでは無く業務の標準化、手技の質向上を確立し内視鏡WGに提案、グループ内施設に発信を行う事が求められている。

すでに修理費用削減案件ではスコープ先端保護チューブのグループ内導入、コスト削減案件では光源装置に使用するランプの別製品使用で実績を上げている。

来年は、日本臨床工学技士会や日本消化器内視鏡技師会への活動を積極的に行い、学会発表やセミナー参加などを通じ、外部へと情報発信などを行っていきたい。

〈救急車〉

A）2020年との件数比較

2020年の救急車搬送（一般患者転院搬送）件数は5件で臨床工学技士が救急車に同乗する機会は5件であったのに対し、2021年の救急車搬送（一般患者転院搬送）件数は9件（人工呼吸器使用（スタンバイ含む）8件、その他1件）で、ドクターカー搬送件数は8件（人工呼吸器使用1件、IABP使用1件）で臨床工学技士が救急車に同乗する機会は合計14件であった。

B）2021年の取り組み

2021年はこれまで行ってきた救急車搬送（一般患者転院搬送）に加えて、ドクターカー対応として、ドクターカー搬送も行うようになった。

ドクターカー搬送を行うにあたり、八尾市救急隊より救急車勉強会を臨床工学技士向けに行っていただいた。

ドクターカー搬送とは当院の救急車で、医師、臨床工学技士（1～2人）、医事課（運転手）で当院からの搬送や搬送依頼のあった病院に向かい、当院に搬送することを目的としている。臨床工学技士は救急車が出発するまでに車内周辺機器の準備を行い、救急車走行中は助手席に座り、運転手のサポート（走行時安全確認、ナビゲート、サイレンの操作）を行う。また、一般患者転院搬送同様に人工呼吸器の操作・管理に加えて、補助循環装置の操作･管理も行う。搬送中の人工呼吸器管理は2021年よりモナール(搬送用人工呼吸器)が運用開始となり、簡便に行えるようになった。

臨床工学技士が同乗した、一般患者転院搬送の多くは人工呼吸器使用患者であり、モナールを装着しての搬送やモナールを車内に持ち込み、搬送を行った。ドクターカー搬送においては循環器部門での搬送であった。

また、2021年11月より救急車1台が増車となった。これにより、救急車2台の使用が可能となり、一般患者転院搬送中でも、ドクターカー搬送を行う事が可能になった。

その他、2021年のドクターカー搬送依頼内容内分けは（MI2件、IE1件、TAA破裂・疑い2件、LOC1件、AAD2件）であった。

C）課題、目標について

2021 年は 2020 年と比べて、多くの救急車搬送を経験できた。ドクターカー搬送に関しては、昨年運用を開始したばかりだが、体制を整えて柔軟かつ安全に努めて対応していきたい。

また、一般患者転院搬送については、呼吸器疾患患者搬送が昨年も多かったので、人工呼吸器を管理・操作できる臨床工学技士がしっかりサポートし、八尾徳洲会総合病院の安全な救急車搬送に尽力かつ貢献していきたい。

2. メンバー構成

・藤田技士長をはじめとして 25 名で構成。役職者構成は以下の通り
・藤田技士長
・中西副技士長
・藤村主任　杉本主任　杉山主任　石頭主任
・向井副主任　玉城副主任　長谷川副主任

3. 実績

2021年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
心臓カテーテル	CAG	41	22	50	46	36	35	51	55	53	45	44	53	531
	PCI	51	52	72	66	59	66	64	61	68	71	62	62	754
	ﾛｰﾀﾌﾞﾚｰﾀﾞｰ	8	12	25	19	20	25	17	17	32	35	25	22	257
	PTA	21	21	22	25	26	14	28	31	22	31	26	29	296
	T-PM	3	4	1	2	1	4	11	8	5	4	2	2	47
	P-PM	4	4	5	2	3	4	6	4	6	9	7	1	55
	PMチェック	30	28	22	12	10	17	11	18	44	19	17	26	254
	遠隔モニタリング	46	49	52	55	55	55	62	67	70	74	77	81	743
心臓血管外科	人工心肺使用症例(開胸)	7	6	7	13	12	8	9	9	13	10	8	10	112
	人工心肺不使用症例(開胸)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	人工血管置換手術(開腹等)	0	1	1	4	0	2	1	0	0	3	1	2	15
	自己血回収装置	10	9	14	19	15	11	10	11	14	13	10	13	149
	TEVER	2	6	5	4	0	4	3	1	1	3	6	5	40
	EVAR	4	4	5	2	1	4	5	3	6	6	1	3	44
手術室	MEP・SEP	11	8	9	12	7	18	10	11	6	7	9	9	117
	ナビゲーション	2	3	3	7	3	6	8	6	4	6	3	4	55
	鏡視下手術	67	70	76	74	74	82	73	81	82	93	73	81	926
	ラジオ波焼却術	2	2	2	3	0	2	2	1	1	1	4	1	21
DSA	脳アンギオ	7	4	3	11	5	4	4	6	4	12	5	15	80
	シャントPTA	6	5	3	4	1	5	1	8	10	7	2	3	55
人工透析	HD(外来)	780	722	814	726	695	693	731	724	698	713	724	768	8788
	HD(入院)	274	280	345	368	411	334	420	418	363	411	380	408	4412
	CRRT	52	34	39	73	77	97	53	108	117	26	55	49	780
	PMX	0	3	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	5
	腹水濃縮	0	1	2	2	1	2	1	4	0	0	1	1	15
	血漿交換・吸着	0	5	2	0	0	0	3	5	0	0	3	0	18
	LDL	0	0	0	0	9	7	8	0	0	0	2	0	26
内視鏡	GS	384	356	504	449	407	495	433	461	477	473	516	491	5446
	CS	146	207	280	236	196	222	197	207	218	210	235	255	2609
	内視鏡的止血術	12	19	11	10	11	18	9	18	6	9	6	11	140
	拡張術	2	0	3	2	4	1	2	2	2	0	1	0	19
	ポリペクトミー・EMR	30	42	66	68	44	58	41	40	48	58	54	52	601
	ESD	2	7	10	7	9	7	8	4	6	10	6	9	85
	上部・下部ステント、イレウス管挿入	8	4	7	1	3	5	3	4	7	6	1	4	53
	食道・胃静脈瘤硬化療法	1	3	5	2	1	5	1	2	0	0	3	1	24
	EUS(消化器・気管支鏡含)	14	10	18	16	19	11	16	13	17	20	13	6	173
	EUS－FNA(消化器・気管支鏡含)	0	1	1	1	3	2	2	3	3	2	4	2	24
	PEG	3	0	4	4	1	2	2	5	3	0	4	5	33
	ERCP	15	27	23	24	25	23	21	26	30	20	25	16	275
	EST	3	10	7	9	6	4	4	15	7	9	4	3	81
	胆膵ｽﾃﾝﾄ挿入	17	22	20	23	23	14	12	21	21	12	14	16	215
	BF(吸痰含)	13	13	12	6	7	13	7	11	27	31	22	9	171
呼吸管理	人工呼吸器	435	534	479	484	670	453	458	596	689	500	310	319	5927
	NPPV	174	192	168	296	274	204	238	253	197	133	230	228	2587
	NHF	200	166	178	231	173	222	251	250	271	245	237	307	2731
	搬送用呼吸器(ﾊﾟﾗﾊﾟｯｸ)	30	28	16	9	25	26	18	11	13	35	18	24	253
	RST	170	162	204	184	169	194	177	174	200	169	185	192	2180
補助循環	ECMO(PCPS)	13	15	2	49	70	10	10	54	37	0	4	10	274
	IABP	13	4	16	8	22	15	14	18	9	6	14	14	153
	IMPELLA	0	0	0	0	15	8	7	3	4	5	0	12	54
メンテナンス	輸液ポンプ	541	466	515	502	521	558	543	483	519	584	443	538	6213
	シリンジポンプ	272	285	244	272	264	343	237	281	316	300	201	315	3330
	除細動器	727	648	712	715	750	702	772	765	709	639	701	777	8617
	持続吸引器	58	64	61	54	62	74	78	52	74	102	61	62	802
	人工呼吸器	545	677	577	731	901	632	598	736	758	622	456	527	7760
	血液浄化装置	1384	1288	1529	1409	1491	1371	1484	1546	1449	1488	1392	1469	17300
	生態情報モニター	5200	4569	4894	5140	5314	5088	5458	5287	5048	5140	4960	4728	60826
	その他	1180	1160	1428	1425	1641	1529	1575	1548	1519	1568	1601	1728	17902
その他	救急車搬送同乗	1	0	1	2	1	3	1	1	1	1	2	1	15

4. 活動状況

認定士取得状況

・体外循環認定士　　藤田技士長　杉本主任　長谷川技士

・呼吸療法認定士　　藤田技士長　藤村主任　杉山副主任　長谷川技士

・血液浄化技術認定士　　藤田技士長　杉山副主任　長谷川技士　玉城技士

・消化器内視鏡技師　　中西副技士長　杉山副主任

薬剤部 92
放射線科 95
臨床検査 97
リハビリ 100
臨床心理 106
臨床工学 108
栄養科 117
治験セン 120
医療福祉 122
病診連携 126
健診セン 136
情報シス 138
保育室 140
がん相談 143
医療安全 146
臨床腫瘍 150

委員会活動

・医療安全委員会	藤田技士長	院内感染対策委員会	藤村主任
・医療安全カンファレンス	森本技士	透析機器管理委員会	藤村主任
・治験委員会	藤田技士長	医療ガス安全管理委員会	藤田技士長
・災害対策委員会	三原技士	院内感染対策チーム	藤村主任
・システム委員会	杉山副主任	SM会議	玉城副主任

技士会活動

・大阪府臨床工学技士会選挙管理委員	藤田技士長
・大阪府臨床工学技士会代議員	中西副技士長、杉本主任

部会関連（臨床工学部会）

ワーキンググループ（以下WG）

・内視鏡WG長	中西副技士長
・JCI施設WG ブロック担当者	藤田技士長
・関西大阪ブロック内視鏡WGリーダー	中西副技士長

部会活動関連出席

・全国責任者会議	9/4　中西副技士長
・ブロック長・WG長会議	1/9、2/8、3/1、4/12、5/10、6/7、8/16、10/4、12/6 中西副技士長（WG長）
・WG長会議	12/27　中西副技士長
・関西大阪責任者会議	1/13、2/10、3/10、4/14、5/12、6/9、7/17、8/11、9/8、10/13、11/9、12/8 中西副技士長
・JCI・設備WG会議	3/29、11/22　藤田技士長
・内視鏡WG会議	4/30、8/4、11/19　中西副技士長
・システムWG会議	3/26、4/9、4/30、8/27、10/29、12/24 野間技士
・手術WG会議	7/3、8/7、9/11、10/2　杉本主任
・関西大阪内視鏡WG会議	4/22、7/28、11/24　中西副技士長
・関西大阪ブロックCEセミナー	10/31　中西副技士長、玉城副主任、野間技士、今堀技士、藤田技士、前田技士、山谷技士、西川技士
・関西大阪ブロック新人セミナー	4/16　中西副技士長、野間技士、藤田技士、前田技士、山谷技士
・関西大阪ブロックCEセミナー会議	8/5、9/2、9/29、10/14、10/22　野間技士
・関西大阪ブロック医療機器WG会議	6/2、10/6、　杉本主任
・就職セミナー説明会	7/10　中西副技士長

学生実習・施設見学会

・学生実習

大阪ハイテクノロジー専門学校	(5/17 ～ 6/25) 2名
藍野大学	(6/7 ～ 7/21) 2名
	(9/27 ～ 10/14) 1名

5. 今後の目標

・スタッフの教育推進

・安全かつ質の高い医療機器の提供

・グループ内活動の積極的参加

・学会発表の積極的参加

薬剤部 92
放射線科 95
臨床検査 97
リハビリ 100
臨床心理 106
臨床工学 108
栄養科 117
治験セン 120
医療福祉 122
病診連携 126
健診セン 136
情報シス 138
保育室 140
がん相談 143
医療安全 146
臨床腫瘍 150

37）栄養科

栄養科室長　小山　洋史

1. 概要

2021 年も新型コロナウイルス感染症の勢いは収まらず院内でも昨年に引き続き厳格な感染対策が実施された。職員も病院入口にて検温業務や新型コロナワクチン接種の受付業務を引き続き行った。

前回の診療報酬の改定で新設された ICU での早期栄養介入加算の新設や外来療法患者の栄養指導、栄養情報管理加算などの体制の強化も行った。給食業務では徳洲会栄養部会の統一献立導入のために献立変更や栄養成分の調整等を行った。また年々厳しくなる食塩の制限に対応するために出汁の変更等を行い、薄味でも美味しく食べれるような献立作成、調理方法の変更に取り組んだ。

2. メンバー構成

2021 年 1 月 1 日～ 2021 年 12 月 31 日

管理栄養士　9 名（栄養サポートチーム専従内 1 名）

調理師　　13 名

調理補助　19 名

3. 実績

≪実習生受け入れ≫

・武庫川女子大学	2021年 6 月 7 日～ 6 月25日	4名
	2021年 9 月27日～10月 8 日	4名
・大阪松蔭女子大学	2021年 9 月 8 日～ 9 月 9 日	3名
	2021年 9 月10日～ 9 月11日	3名
	2021年 9 月14日～ 9 月15日	4名
	2021年 9 月16日～ 9 月17日	4名

≪食数≫　　2021 年 1 月 1 日～ 12 月 31 日

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
一般食	11,373	9,848	11,787	11,314	10,163	10,094	12,733	12,492	11,327	12,636	12,888	12,499	139,154	11,596
経管栄養	2,203	2,236	2,621	2,404	3,454	3,300	2,862	3,081	3,482	2,632	2,017	2,462	32,754	2,730
特別食	12,908	10,825	12,610	11,995	11,832	11,176	12,194	11,923	11,948	12,115	11,128	11,323	141,977	11,831
特別食非加算	2,332	1,660	1,496	2,290	2,404	1,637	1,144	1,482	1,537	1,169	1,221	1,653	20,025	1,669
職員食	6,465	6,180	7,139	7,498	6,330	7,398	7,268	7,219	6,856	7,377	6,981	7,328	84,039	7,003
保育所	729	700	690	558	486	413	593	740	534	550	487	608	7,088	591
病児後保育	13	31	84	58	61	104	48	30	44	41	48	55	617	51
付き添い食	9	46	42	17	20	20	41	60	15	41	37	20	368	31
合計	36,032	31,526	36,469	36,134	34,750	34,142	36,883	37,027	35,743	36,561	34,807	35,948	426,022	35,502

≪病院食内訳≫　　2021年1月1日～12月31日

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
常食	4,331	3,561	4,197	4,344	4,067	3,786	4,988	5,200	5,077	5,247	4,515	5,216	54,529	4,544
軟菜食	3,130	2,648	3,370	3,068	3,206	2,710	3,596	3,421	2,764	3,307	3,329	3,284	37,833	3,153
極軟菜食	1,326	997	938	1,090	1,105	1,154	1,196	1,336	1,059	1,458	1,551	1,292	14,502	1,209
ペースト食	724	847	1,059	710	491	996	1,433	1,243	889	895	905	1,037	11,229	936
流動食	276	343	259	236	263	251	361	232	375	424	391	170	3,581	298
学童食	54	50	81	77	62	95	155	168	114	93	140	99	1,188	99
幼児食	23	13	45	44	22	58	54	29	21	31	28	0	368	31
離乳食	3	2	0	6	0	0	0	20	3	6	3	3	46	4
糖尿食	3,117	2,857	3,062	3,219	2,487	3,039	3,077	2,817	3,042	2,859	2,785	2,470	34,831	2,903
心臓食	3,972	2,964	3,334	3,095	2,960	1,928	2,283	2,253	3,233	2,776	2,688	3,555	35,041	2,920
高血圧食	2,282	1,604	1,440	2,150	2,299	1,549	1,115	1,468	1,507	1,150	1,193	1,638	19,395	1,616
腎臓食	1,458	883	1,144	946	1,065	1,084	1,553	1,496	1,138	1,618	1,296	893	14,574	1,215
透析食	1,067	724	1,075	1,078	1,533	1,231	1,498	1,579	1,226	1,208	1,094	1,171	14,484	1,207
糖尿透析食	251	461	798	850	742	495	501	383	383	312	401	803	6,380	532
高脂血症食	170	196	287	187	180	264	369	382	164	169	95	103	2,566	214
低脂肪食	595	507	635	594	743	392	414	623	786	736	749	401	7,175	598
肝臓食	438	254	234	250	144	205	282	128	244	279	213	258	2,929	244
肝不全食	226	123	106	253	208	256	156	250	190	104	108	336	2,316	193
貧血食	32	7	5	19	85	57	0	56	20	10	0	0	291	24
低残渣食	783	1,011	1,117	769	949	1,389	1,045	943	668	1,023	942	849	11,488	957
潰瘍食	385	200	325	325	226	188	308	307	165	277	248	115	3,069	256
胃切後食	90	147	109	165	124	169	98	95	240	225	114	41	1,617	135
クローン病食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37	39	83	159	13
カテ食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0
ケモ食	196	247	80	63	18	62	35	113	117	66	105	70	1,172	98
COPD食	7	92	273	95	0	0	51	103	78	115	64	1	879	73
注腸検査食	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	3	0
顎間固定食	32	22	23	0	67	40	94	15	38	113	10	0	454	38
訓練食	216	179	247	234	213	224	235	196	195	205	191	71	2,406	201
濃厚流動食	2,239	2,583	2,414	2,421	3,327	3,019	3,374	2,915	3,165	2,959	1,994	2,428	32,838	2,737
その他(単品食等)	1,420	1,394	1,649	1,728	1,132	1,271	1,231	1,237	1,262	1,371	1,327	1,587	16,609	1,384
合計	28,843	24,916	28,306	28,016	27,720	25,912	29,502	29,008	28,163	29,073	26,521	27,974	333,954	27,830

薬剤部 92
放射線科 95
臨床検査 97
リハビリ 100
臨床心理 106
臨床工学 108
栄養科 117
治験セン 120
医療福祉 122
病診連携 126
健診セン 136
情報シス 138
保育室 140
がん相談 143
医療安全 146
臨床腫瘍 150

≪栄養指導件数≫　　2021年1月1日～12月31日

栄養指導件数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
入院初回	217件	217件	220件	225件	191件	246件	247件	247件	229件	202件	208件	227件	2,676件	223 件
入院2回目	55件	78件	61件	53件	71件	45件	56件	55件	51件	38件	49件	78件	690件	58 件
外来初回	21件	28件	34件	42件	17件	28件	20件	22件	22件	28件	64件	28件	354件	30 件
外来2回目	176件	188件	197件	179件	165件	185件	176件	151件	181件	164件	164件	201件	2,127件	177 件
集団	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	2件	0件	0件	0件	0件	2件	0 件
外来化学療法	14件	22件	26件	19件	20件	15件	12件	11件	12件	12件	18件	14件	195件	16 件
合計	483件	533件	538件	518件	464件	519件	511件	488件	495件	444件	503件	548件	6,044件	504件

≪その他の業務≫　　2021年1月1日～12月31日

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
早期栄養介入加算	148件	129件	124件	96件	127件	110件	78件	110件	100件	100件	114件	107件	1,343件	112 件
栄養情報提供加算	32件	36件	33件	20件	25件	30件	27件	22件	19件	14件	14件	11件	283件	24 件
栄養管理計画書	1,778枚	1,485枚	1,873枚	1,854枚	1,531枚	1,638枚	1,798枚	1,814枚	1,770枚	1,953枚	1,750枚	1,915枚	21,159枚	1,763枚

4. 今後の目標

2022年度の診療報酬の改定でも、高度急性期の病院に対し質の高い栄養管理が求められ、栄養指導の対象の見直しや、管理栄養士の係る加算の要件がより専門的になる事が予想されます。前年に引き続きになりますが、国、地域に求められる栄養管理が実施できる人材の育成を引き続き行う必要性があります。また各チーム医療に積極的に参画し、栄養面から病状の改善を促し在院日数の適正化に貢献します。また、ベッドサイドでの栄養評価及び栄養指導を充実させる体制づくりとともに、患者満足度が低下しないように継続した食事による患者サービスを行ってまいります。

38）治験センター

治験センター　大里　恭章

薬剤部 92
放射線科 95
臨床検査 97
リハビリ 100
臨床心理 106
臨床工学 108
栄養科 117
治験セン 120
医療福祉 122
病診連携 126
健診セン 136
情報シス 138
保育室 140
がん相談 143
医療安全 146
臨床腫瘍 150

1. 概要

2021 年も前年からの新型コロナウイルス感染症の流行拡大により、多くの製薬会社で全世界的に医薬品開発の進展が難しくなり、臨床試験の新規案件の件数も増加には至りませんでした。

このため治験センターとして新型コロナウイルス感染症の治療薬として特例承認を受けた『アビガン錠（ファビピラビル)』、『ベクルリー注射用（レムデシビル)』の外部機関（レジストリー研究）への参加、新型コロナウイルスのワクチンである『コミナティ筋注（コロナウイルス修飾ウリジン RNA ワクチン)』の製造後販売調査を行ってきました。

また昨年から職員の学会発表・論文投稿の状況を院内として一括に管理し、JCI の基準に基づいた発表をする職員に研究計画書の提出を義務づけ、それらのサポートも継続して行いました。

さらに、臨床検査技師、看護師の資格を活かし、発熱外来での検体採取業務にも参加し、院内の新型コロナウイルス感染症へのサポートに従事しました。

これらの経験を前向きに生かし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収まり次第、受託案件数を増やし、スタッフ個々の能力が十分に発揮でき、かつ、施設スタッフとの連携もより強化し、質の高い治験業務を進めていきます。

2. メンバー構成

治験センター長	大里　恭章（薬剤師：薬剤部長兼任）
治験副センター長	元田　健太郎（臨床検査技師）
専任CRC	加藤　美和（看護師）
	都志　百花（看護師）
治験事務局	長谷川　京子（臨床検査技師）

3. 実績

【治験】

①中等度から重度の慢性閉塞性肺疾患（サノフィ）
②慢性腎臓病（アストラゼネカ）
③高カリウム血症（ゼリア）
④動脈硬化性心血管疾患、慢性腎臓病、全身性炎症（ノボ ノルディスク）
⑤皮膚欠損創（三洋化成工業）

【コロナウイルス関連臨床研究等】

①ファビピラビル等の抗ウイルス等が投与された新型コロナウイルス感染症患者の背景因子と治療効果の検討（観察研究）：114 例
②新型コロナウイルス感染症に関するレジストリ研究（COVID － 19　Registry）　164 名登録
③ベクルリー製造販売後調査　30 例登録

④コミナティ製造販売後調査　100 例登録

【研修会・学会・参加】
① CRC 全国 web 会議（元田副センター長）
② CRC と臨床試験のあり方を考える会議

4. 今後の目標

臨床試験部会から推奨されている各種手順書の修正や作成をすすめ、全てのスタッフが CRC 業務に取り組みやすい体制を引き続き構築していきます。

また、CRC は、受託治験の早期組み入れ、契約数達成率アップ、契約数追加などが出来るように、積極的な活動を心掛けるとともに、GCP に基づいた品質の高い実施内容が実践できるよう努力を重ねていきます。

39）医療福祉相談室（医療ソーシャルワーカー）

認定医療ソーシャルワーカー　三谷　勇一

薬剤部　92
放射線科　95
臨床検査　97
リハビリ　100
臨床心理　106
臨床工学　108
栄養科　117
治験セン　120
医療福祉　122
病診連携　126
健診セン　136
情報シス　138
保育室　140
がん相談　143
医療安全　146
臨床腫瘍　150

1. 概要

医療ソーシャルワーカーは、社会福祉士という国家資格を所持しており、多くの分野で活躍することができます。背景となる知識としては、医学、心理学、社会学、哲学に加え、多分野にまたがる学際的な（幅広い分野）知識が求められます。その舞台は、施設というよりは、地域での活躍が対象となります。地域で生活する「福祉サービス利用者（クライエント）」は、近年の複雑な時代背景もあり、多問題を抱えていることも少なくありません。身元保証のない方（身寄りがない方）、アルコールや薬物に対する依存症がある方、片付けられない状態で生活されている方、ひきこもり、虐待、軽度認知障害、サービス拒否など、支援困難事例が多数存在します。その取り組みは、「チーム医療」での連携を大切としているとともに、科学的根拠に基づく介入が求められております。

2021 年は、JCI 認証の過程において、退院支援計画書の算定件数を可視化し、算定件数の増加を試みましたが、現状維持が続いています。また、個々人の力量の向上を目指す過程で、介入力評価表を作成し、個々人のテクニカルスキルを評価していましたが、継続的な評価に割く時間の確保に苦戦しました。一方､WI（Wide Indicator）においては､継続的なデータ収集をし、インパクト分析として解析を続けていますが、顕著な結果は出ていません。本年度は、停滞の年となりました。それらの取り組みは、学会発表等 8 演題（うち、国際学会への発表を含む）、論文等 1 本の成果となりました。

2. メンバー構成

病棟専任社会福祉士 11 名、（算定加算：入退院支援加算 1）
三谷勇一（ICU・HCU）、古山有希（4 東）、中納浩子（4 東）、蔵元裕恵（5 西）、
木村千恵（5 東）、井本裕美（6 西）、伊藤貴代（6 東）、門田翔太（7 西）、五十嵐健太（7 東）、
岩尾涼（8 西）、影山雄紀（8 東）

退院支援専従看護師　　：加藤和代
退院支援専任社会福祉士　：伊藤貴代
入院時支援専任看護師　　：上田あゆみ、辻井千穂（算定加算：入院時支援加算 1）
救急認定ソーシャルワーカー：三谷勇一

人事
4 月 1 日　1 名　再入職　古山

委員会活動等

患者ケア委員会	三谷	患者アセスメント委員会	三谷	業務改善委員会	門田
QI会議	三谷	運営会議･広報委員会	門田	放射線治療委員会	三谷
QI会議	門田	がん緩和支援委員会	三谷	オンコロジー委員会	三谷
病床管理委員会	影山	地域医療担当者会議	伊藤	未収金委員会	蔵元

認定資格等

認定社会福祉士（医療分野）	三谷	ファイナンシャルプランナー	三谷・門田
認定医療ソーシャルワーカー	三谷	入院時重症患者対応メディエーター	三谷
認定がん専門相談員	三谷	救急認定ソーシャルワーカー	三谷
公認心理師	三谷・門田	認定スーパーバイザー	三谷
精神保健福祉士	蔵元・伊藤	職場適応援助者	三谷
相談援助実習指導者	三谷・門田	障害者職業生活相談員	三谷
地域緩和ケア連携調整員	三谷・門田	介護福祉士	井本
認知症サポーター	三谷・門田	ストレスチェック実施者	三谷
初任者研修	木村・井本	福祉住環境コーディネーター	井本

3. 実績

1）退院支援実績

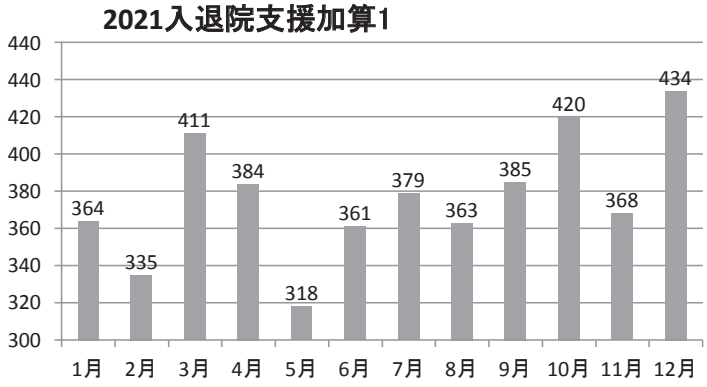
2021 年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
1. 他施設へ		155	137	160	169	129	170	172	180	173	204	171	204	2,024
内、グループ内施設へ		15	10	15	23	16	11	18	19	11	26	16	21	201
内訳	① 医療機関	103	84	97	103	78	119	106	119	112	125	107	132	1,285
	内、グループ内施設へ	9	4	8	12	8	7	10	11	5	10	8	8	100
	② 老健施設	9	12	13	18	9	15	10	16	11	22	15	17	167
	内、グループ内施設へ	6	6	6	10	8	4	7	8	5	10	8	12	90
	③ 老人ホーム等	41	40	49	48	42	35	55	44	50	57	45	51	557
	内、グループ内施設へ	0	0	1	1	0	0	1	0	1	6	0	1	11
	④ その他	2	1	1	0	0	1	1	1	0	0	4	4	15
	内、グループ内施設へ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 在宅診療へ		43	32	38	30	29	25	37	39	45	52	51	54	475
内訳	グループ内事業所	12	7	8	7	8	9	2	3	6	12	8	5	87
	（再掲）内、新規登録	8	9	2	6	4	6	6	4	6	12	5	3	71
	グループ外事業所	31	25	30	23	21	16	35	36	39	40	43	49	388
3. 死亡		53	53	48	50	42	50	43	47	44	47	59	55	591
4. その他（軽快退院を含む）		610	542	678	689	567	600	651	634	635	704	617	727	7,654
1、2、3、4 の合計		861	764	924	938	767	845	903	900	897	1,007	898	1,040	10,744

2）入退院支援加算 1（退院支援計画書）算定実績

昨年の 4,443 件より微増ですが、4,522 件となりました。入院時支援加算は、昨年の 187 件から大幅に増加し、年間 429 件でした。

薬剤部 92
放射線科 95
臨床検査 97
リハビリ 100
臨床心理 106
臨床工学 108
栄養科 117
治験セン 120
医療福祉 122
病診連携 126
健診セン 136
情報シス 138
保育室 140
がん相談 143
医療安全 146
臨床腫瘍 150

図 1



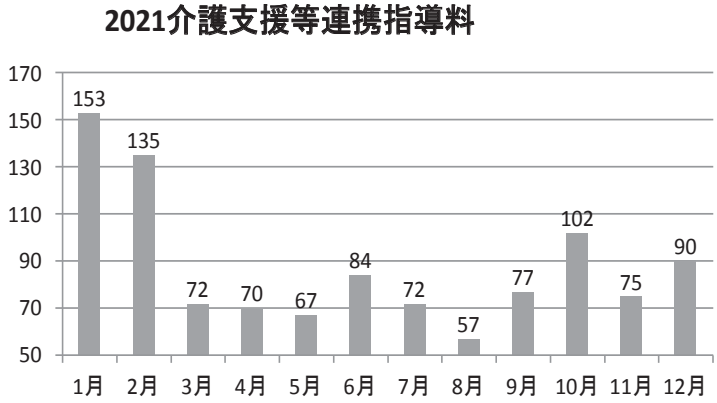
3）介護指導連携指導料

施設基準として年間 63 件以上の算定が必要となります。

2021 年は 1,054 件で有意に条件を満たしましたが、2020 年の 1,570 件を下回っています。

また、退院時共同指導料 221 件、地域連携診療計画加算 221 件でした。

図 2



4）相談援助実習（指導者：三谷、門田）合計 8 名

大阪国際福祉専門学校（4 名）

期間：2021 年 3 月 8 日～ 4 月 16 日

期間：2021 年 5 月 10 日～ 6 月 17 日

期間：2021 年 11 月 3 日～ 12 月 7 日

期間：2021 年 11 月 3 日～ 12 月 11 日

中部学院大学（1 名）

期間：2021 年 6 月 28 日～ 7 月 30 日

神戸学院大学（1 名）

期間：2021 年 8 月 23 日～ 10 月 9 日

関西福祉科学大学（2 名）

期間：2021 年 8 月 10 日～ 9 月 9 日

期間：2021 年 8 月 16 日～ 9 月 15 日

5）研修・部会参加

3/21　　コロナ禍におけるソーシャルワーク実践（WEB）

6/5 ～ 6　日本医療ソーシャルワーカー協会、日本医療社会事業学会（WEB）

8/21　　アドバンス研修～子ども虐待へのコミットメント（WEB）

4. 今後の課題と目標

新型コロナウイルス感染症の影響もあってか、介入力に多くの課題を残しました。エビデンスにのっとった介入の結果としての加算算定については､伸び悩みました｡医療ソーシャルワーカーの役割として、患者さまが急性期病院より円滑に退院できるよう、社会資源を活用することが求められます。近年は、病院や施設の機能が分化しており、患者さまの状況に応じて、円滑に適切な退院先を確保できるとは限りません。自己決定を支えるために、地域との連携を強化し、地域の中の病院としての役割を果たせるよう努力してまいりたいと思います。

単なる知識習得の学習ではなく、ソーシャルワーク実践経験から学びを深めることが求められます。そのためには、経験学習理論をもとにしたプログラムの開発において、組織としての取り組みが求められます。来年度は、MSW 部会としての活動が活発化される予定です。円滑な介入ができるためのプログラムの作成に着手してまいります。

40）病診連携室

病診連携室　係長　中道　睦代

薬剤部　92
放射線科　95
臨床検査　97
リハビリ　100
臨床心理　106
臨床工学　108
栄養科　117
治験セン　120
医療福祉　122
病診連携　126
健診セン　136
情報シス　138
保育室　140
がん相談　143
医療安全　146
臨床腫瘍　150

1. 概要

患者様が安心して安全に医療を受けられるよう中河内地区の急性期医療の中核施設として、また大阪府のがん拠点病院として、その役割を果たすべく、地域の医療機関と紹介・逆紹介の連携を活発且つ密接におこなっております。

本年も昨年同様、新型コロナウィルス肺炎感染症の流行を鑑み、発熱外来の開設、新型コロナウィルス感染症専用病棟を設置し、同症例の紹介を積極的に受け入れしてまいりました。

また当院へ積極的に紹介いただけるよう常に迅速且つ正確に対応させていただくことを心がけております。

地域の皆様にも幅広く医療をご理解していただき、積極的に予防医療へも関心を持っていただけるよう定期的にオンライン医療講座を開講し、またがん教育の一環として、八尾市および中河内医療圏の小中学校で児童・生徒さん向けの医療講演もおこない、がんに対する知識の普及にも取り組んでいます。

2. メンバー構成

病診連携室長：木村拓也　部長・肝臓センター長（肝臓外科・小児外科）

事務：中道睦代・石井陽子・大西直哉・上間やよい・山中隆史

3. 実績

・「中河内医療連携の会」（病診連携の会）

地域の連携医、連携施設との勉強会・情報交換会を定期的に開催

2021 年 2 月 20 日（土）「中河内医療連携の会」の予定でしたが、
新型コロナ肺炎感染症の流行を鑑み、中止と致しました。

《主な公開医療講座》

職種	講　師	演　題	開催日	開催場所
医師	腎臓内科　医長　森　ちさこ	腎機能が悪いと言われたら・・・	1月25日	オンライン講座
	医学博士　小児科部長　石垣　早知子	花粉症のお話	1月25日	オンライン講座
	医学博士　小児科部長　石垣　早知子	花粉症のお話	2月22日	オンライン講座
	腎臓内科　医長　森　ちさこ	腎機能が悪いと言われたら・・・	3月29日	オンライン講座
	医学博士　小児科部長　石垣　早知子	花粉症とスキンケアについて	3月30日	オンライン講座
	医学博士　小児科部長　石垣　早知子	花粉症と黄砂とその対策	4月13日	オンライン講座
	医学博士　小児科部長　石垣　早知子	スキンケアについて ～日焼けをメインに～	5月28日	オンライン講座
	腎臓内科　医長　森　ちさこ	腎機能が悪いと言われたら・・・	5月31日	オンライン講座
	医学博士　小児科部長　石垣　早知子	暑さに備える ～アレルギーについても～	6月28日	オンライン講座
	腎臓内科　医長　森　ちさこ	腎機能が悪いと言われたら・・・	6月29日	オンライン講座
	医学博士　小児科部長　石垣　早知子	暑さに備える ～カビ、アレルギーについても～	7月26日	オンライン講座
	腎臓内科　医長　森　ちさこ	透析治療について	7月27日	オンライン講座
	腎臓内科　医長　森　ちさこ	腎機能が悪いと言われたら・・・	8月27日	オンライン講座
	医学博士　小児科部長　石垣　早知子	夏の末から秋・冬にかけて起こるアレルギーについて	8月31日	オンライン講座
	腎臓内科　医長　森　ちさこ	透析治療について	9月24日	オンライン講座
	医学博士　小児科部長　石垣　早知子	秋・冬にかけて起こるアレルギー	9月27日	オンライン講座
	腎臓内科　医長　森　ちさこ	腎機能が悪いと言われたら・・・	10月22日	オンライン講座
	医学博士　小児科部長　石垣　早知子	これからの小児の感染症について	11月29日	オンライン講座
	腎臓内科　医長　森　ちさこ	腎機能が悪いと言われたら・・・	11月30日	オンライン講座
	医学博士　小児科部長　石垣　早知子	これからの小児の感染症について	12月13日	オンライン講座
	腎臓内科　医長　森　ちさこ	腎機能が悪いと言われたら・・・	12月16日	オンライン講座
保健師	保健師　大谷　康仁	いちから学ぼう血圧編 ～あなたの血圧は正常ですか？～	2月9日	オンライン講座
	保健師　由留木　千恵	動脈硬化を知ろう	3月18日	オンライン講座
	保健師　藤井　安希子	フレイルってなに？	4月30日	オンライン講座

職種	講　師	演　題	開催日	開催場所
保健師	保健師　大谷　康仁	心不全を予防しよう ～心筋梗塞・弁膜症の治療後の日常生活～	5月24日	オンライン講座
	保健師　藤井　安希子	口の健康を考える	6月25日	オンライン講座
	保健師　主任　酒井　菜穂子	コロナ禍のおうち時間の過ごし方	7月19日	オンライン講座
	保健師　大谷　康仁	脂質異常症　－基礎編－	8月25日	オンライン講座
	保健師　由留木　千恵	今日からはじめる高血圧予防	10月20日	オンライン講座
	保健師　藤井　安希子	骨粗鬆症の話	11月22日	オンライン講座
	保健師　大谷　康仁	心不全を予防しよう ～心筋梗塞・弁膜症の治療後の日常生活～	12月15日	オンライン講座
看護師	がん性疼痛看護認定看護師 師長　松本　静香	セカンドオピニオンについて	1月13日	オンライン講座
	救急看護認定看護師 主任　鴨木　沙織	冬場に要注意！脳卒中と心筋梗塞	1月20日	オンライン講座
	化学療法認定看護師 苗代 啓子	今、がん患者さんが気をつけることは? ～コロナの今注意したいこと～	1月22日	オンライン講座
	がん性疼痛看護認定看護師 師長　松本　静香	がん終末期における看取り支援 ～自宅にかえりたい～	1月26日	オンライン講座
	がん性疼痛看護認定看護師 師長　松本　静香	がん治療中の緩和ケアについて	2月9日	オンライン講座
	摂食・嚥下障害看護認定看護師 川原　毅得	低栄養になるとどうなるの？ フレイルとサルコペニアのお話し	2月24日	オンライン講座
	救急看護認定看護師 主任　鹿山　美穂	脳卒中ってどんな病気？	2月25日	オンライン講座
	摂食・嚥下障害看護認定看護師 川原　毅得	最近よくむせているって言われませんか？ ～誤嚥性肺炎の前兆かもしれません～	3月15日	オンライン講座
	がん性疼痛看護認定看護師 師長　松本　静香	がんの痛みについて	3月17日	オンライン講座
	救急看護認定看護師 主任　鹿山　美穂	心筋梗塞について	3月22日	オンライン講座
	化学療法認定看護師 苗代 啓子	今、がん患者さんが気をつけることは? ～コロナの今注意したいこと～	3月25日	オンライン講座
	がん性疼痛看護認定看護師 師長　松本　静香	セカンドオピニオンについて	4月12日	オンライン講座
	摂食・嚥下障害看護認定看護師 川原　毅得	低栄養になるとどうなるの？ フレイルとサルコペニアのお話し	4月27日	オンライン講座
	化学療法認定看護師 苗代 啓子	がんと免疫は関係あるの？	4月30日	オンライン講座
	摂食・嚥下障害看護認定看護師 川原　毅得	最近よくむせているって言われませんか? ～誤嚥性肺炎の前兆かもしれません～	5月13日	オンライン講座
	がん性疼痛看護認定看護師 師長　松本　静香	人生会議をしよう	5月17日	オンライン講座
	化学療法認定看護師 苗代 啓子	今、がん患者さんが気をつけることは? ～コロナの今注意したいこと～	5月20日	オンライン講座

薬剤部　92
放射線科　95
臨床検査　97
リハビリ　100
臨床心理　106
臨床工学　108
栄養科　117
治験セン　120
医療福祉　122
病診連携　126
健診セン　136
情報シス　138
保育室　140
がん相談　143
医療安全　146
臨床腫瘍　150

職種	講　師	演　題	開催日	開催場所
看護師	がん性疼痛看護認定看護師 師長　松本　静香	人生会議をしよう	6月17日	オンライン講座
	化学療法認定看護師 苗代 啓子	がんと免疫は関係あるの？	6月24日	オンライン講座
	摂食・嚥下障害看護認定看護師 川原　毅得	低栄養になるとどうなるの？ フレイルとサルコペニアのお話し	7月15日	オンライン講座
	化学療法認定看護師 苗代 啓子	今、がん患者さんが気をつけることは? ～コロナの今注意したいこと～	7月15日	オンライン講座
	がん性疼痛看護認定看護師 師長　松本　静香	がんの痛みには 医療用麻薬を上手に使おう	7月21日	オンライン講座
	がん性疼痛看護認定看護師 師長　松本　静香	セカンドオピニオンについて	8月19日	オンライン講座
	摂食・嚥下障害看護認定看護師 川原　毅得	最近よくむせているって言われませんか? ～誤嚥性肺炎の前兆かもしれません～	8月24日	オンライン講座
	化学療法認定看護師 苗代 啓子	がんと免疫は関係あるの？	8月30日	オンライン講座
	摂食・嚥下障害看護認定看護師 川原　毅得	最近よくむせているって言われませんか? ～誤嚥性肺炎の前兆かもしれません～	9月16日	オンライン講座
	がん性疼痛看護認定看護師 師長　松本　静香	人生会議をしよう	9月24日	オンライン講座
	化学療法認定看護師　苗代 啓子	今、がん患者さんが気をつけることは? ～コロナの今注意したいこと～	9月30日	オンライン講座
	がん性疼痛看護認定看護師　師長 松本　静香	コロナ禍での緩和ケア	10月14日	オンライン講座
	摂食・嚥下障害看護認定看護師 川原　毅得	低栄養になるとどうなるの？ フレイルとサルコペニアのお話し	10月21日	オンライン講座
	化学療法認定看護師 苗代 啓子	がんと免疫は関係あるの？	10月28日	オンライン講座
	皮膚・排泄ケア認定看護師 河畑　美香	正しいスキンケアでバリア機能アップ	11月17日	オンライン講座
	摂食・嚥下障害看護認定看護師 川原　毅得	最近よくむせているって言われませんか? ～誤嚥性肺炎の前兆かもしれません～	11月18日	オンライン講座
	がん性疼痛看護認定看護師 師長　松本　静香	セカンドオピニオンについて	11月24日	オンライン講座
	がん性疼痛看護認定看護師 師長　松本　静香	人生会議をしよう ～病気になった時のために準備をしていますか～	12月15日	オンライン講座
	副看護部長　感染対策室室長 渋谷　豊克	実践！！正しい手洗いとマスクの付け方 ～第６波に備えて～	12月24日	八尾徳洲会総合病院 ３階第２会議室
	化学療法認定看護師 苗代 啓子	がんと免疫は関係あるの？	12月29日	オンライン講座
	摂食・嚥下障害看護認定看護師 川原　毅得	低栄養になるとどうなるの？ フレイルとサルコペニアのお話し	12月30日	オンライン講座
臨床検査技師	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	良い睡眠、悪い睡眠 ～睡眠障害にならないために～	1月14日	オンライン講座
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	耳鳴り ～鼻すすりは耳に悪いって知っていますか?～	1月28日	オンライン講座
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	いびきと隠れ脳梗塞 ～前触れサインを見逃すな～	2月18日	オンライン講座

職種	講　師	演　題	開催日	開催場所
臨床検査技師	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	夜間頻尿	2月25日	オンライン講座
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	耳鳴り ～鼻すすりは耳に悪いって知っていますか?～	3月18日	オンライン講座
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	良い睡眠、悪い睡眠 ～睡眠障害にならないために～	3月25日	オンライン講座
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	いびきと隠れ脳梗塞 ～前触れサインを見逃すな～	4月15日	オンライン講座
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	夜間頻尿	4月26日	オンライン講座
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	睡眠障害 ～お薬は最終手段～	5月13日	オンライン講座
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	耳鳴り ～鼻すすりは耳に悪いって知っていますか?～	5月27日	オンライン講座
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	良い睡眠、悪い睡眠 ～睡眠障害にならないために～	6月14日	オンライン講座
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	夜間頻尿	6月24日	オンライン講座
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	水・・飲みすぎてませんか? 心不全予防～日常生活のポイント～	7月13日	オンライン講座
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	いびきと隠れ脳梗塞 ～前触れサインを見逃すな～	7月29日	オンライン講座
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	夜間頻尿	8月19日	オンライン講座
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	水・・飲みすぎてませんか？ 心不全予防～日常生活のポイント～	8月26日	オンライン講座
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	良い睡眠、悪い睡眠 ～睡眠障害にならないために～	9月16日	オンライン講座
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	耳鳴り ～鼻すすりは耳に悪いって知っていますか?～	9月30日	オンライン講座
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	耳鳴り ～鼻すすりは耳に悪いって知っていますか?～	10月14日	オンライン講座
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	夜間頻尿	10月28日	オンライン講座
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	いびきと隠れ脳梗塞 ～前触れサインを見逃すな～	11月18日	オンライン講座
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	水・・飲みすぎてませんか？ 心不全予防～日常生活のポイント～	11月25日	オンライン講座
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	いびきと隠れ脳梗塞 ～前触れサインを見逃すな～	12月10日	オンライン講座
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	夜間頻尿	12月25日	オンライン講座
理学療法士	理学療法士　服部　玄徳	今日から実践!! 腰痛予防体操	1月27日	オンライン講座
	理学療法士　服部　玄徳	今日から実践!! 腰痛予防体操	3月23日	オンライン講座
	理学療法士　服部　玄徳	今日から実践!! 腰痛予防体操	4月13日	オンライン講座

薬剤部　92
放射線科　95
臨床検査　97
リハビリ　100
臨床心理　106
臨床工学　108
栄養科　117
治験セン　120
医療福祉　122
病診連携　126
健診セン　136
情報シス　138
保育室　140
がん相談　143
医療安全　146
臨床腫瘍　150

職種	講　師	演　題	開催日	開催場所
理学療法士	理学療法士　服部　玄徳	骨折予防 ～家で転倒しないコツ！～	5月18日	オンライン講座
	理学療法士　服部　玄徳	今日から実践！！ 腰痛予防体操	6月15日	オンライン講座
	理学療法士　服部　玄徳	骨折予防 ～家で転倒しないコツ！～	7月27日	オンライン講座
	理学療法士　服部　玄徳	今日から実践！！ 腰痛予防体操	8月31日	オンライン講座
	理学療法士　服部　玄徳	骨折予防 ～家で転倒しないコツ！～	9月21日	オンライン講座
	理学療法士　服部　玄徳	今日から実践！！ 腰痛予防体操	10月21日	オンライン講座
	理学療法士　服部　玄徳	骨折予防 ～家で転倒しないコツ！～	11月25日	オンライン講座
	理学療法士　服部　玄徳	今日から実践！！ 腰痛予防体操	12月28日	オンライン講座
臨床心理士	臨床心理士　八島　麻美子	心のメンテナンス ～感染流行期編～	1月15日	オンライン講座
	臨床心理士　朴　祐希	こころと体のつながり ～心の免疫力を高めよう～	2月8日	オンライン講座
	臨床心理士　宮坂　なつ花	ストレスと人生	3月22日	オンライン講座
	臨床心理士　八島　麻美子	コロナうつを防ぐ！	4月26日	オンライン講座
	臨床心理士　朴　祐希	こころと体のつながり ～心の免疫力を高めよう～	5月24日	オンライン講座
	臨床心理士　宮坂　なつ花	人生におけるストレス	6月16日	オンライン講座
	臨床心理士　八島　麻美子	コロナうつを防ぐ！	7月30日	オンライン講座
	臨床心理士　朴　祐希	こころと体のつながり ～心の免疫力を高めよう～	8月30日	オンライン講座
	臨床心理士　宮坂　なつ花	自分で出来る！ ストレスマネジメント	9月15日	オンライン講座
	臨床心理士　八島　麻美子	コロナうつを防ぐ！	11月26日	オンライン講座
	臨床心理士　朴　祐希	こころと体のつながり	12月28日	オンライン講座
医療ソーシャルワーカー	医療ソーシャルワーカー 三谷　勇一	がんについて知りたい！！ やお徳サロンってなんですか？	11月24日	オンライン講座
	医療ソーシャルワーカー 三谷　勇一	認知症と共に生きる： バリデーションによるコミュニケーション技法	12月13日	オンライン講座

薬剤部 92
放射線科 95
臨床検査 97
リハビリ 100
臨床心理 106
臨床工学 108
栄養科 117
治験センター 120
医療福祉 122
病診連携 126
健診センター 136
情報システム 138
保育室 140
がん相談 143
医療安全 146
臨床腫瘍 150

《糖尿病教室にて開催の医療講座》

職種	講師	演題	開催日	開催場所
医師	歯科口腔外科 部長　占部　一彦	糖尿病と歯周病	1月12日	オンライン講座
	内科　高原　良典	糖尿病と感染症	2月19日	オンライン講座
	糖尿病代謝内科 部長　石橋　里江子	インスリン発見100周年	4月16日	オンライン講座
	糖尿病内科　植田　秀樹	糖尿病の大血管障害	7月16日	オンライン講座
	内科　高原　良典	災害への備え	11月19日	オンライン講座
保健師	保健師　由留木　千恵	季節ごとの足のお手入れ	6月18日	オンライン講座
	保健師　主任　酒井　菜穂子	糖尿病療養Q&A ～患者さんとの会話から～	10月15日	オンライン講座
薬剤師	薬剤部　坂野　千賀	血糖値　測ってみよう、考えてみよう	1月12日	オンライン講座
	薬剤師　栗野　大輔	糖尿病の薬について ～内服編～	5月21日	オンライン講座
	薬剤師　森田　亜記	糖尿病の薬について ～注射編～	10月15日	オンライン講座
管理栄養士	管理栄養士　八木楓子	糖尿病の食事療法 ～基礎編～	4月16日	オンライン講座
	管理栄養士　岸本　真悠	糖尿病の食事療法 ～実践・応用編～	9月17日	オンライン講座
臨床検査技師	臨床検査技師　東　奈実	当院の糖尿病合併症検査について	3月19日	オンライン講座
	臨床検査技師　水本　俊	検査値について ～糖尿病連携手帳に沿って～	6月18日	オンライン講座
	臨床検査技師　東　奈実	当院の糖尿病合併症検査について	11月19日	オンライン講座
理学療法士	理学療法士　服部　玄徳	糖尿病の運動療法　導入編 ～有酸素運動とレジスタンス運動について～	5月21日	オンライン講座
	理学療法士　奥村　葵	糖尿病の運動療法　実践編 ～有酸素運動について～	9月17日	オンライン講座
	理学療法士　服部　玄徳	糖尿病の運動療法　実践編 ～レジスタンス運動について～	12月17日	オンライン講座
臨床心理士	臨床心理士　副主任　八島　麻美子	糖尿病と認知症	2月19日	オンライン講座
	臨床心理士　宮坂　なつ花	糖尿病とうつ	7月16日	オンライン講座
	臨床心理士　副主任　八島　麻美子	糖尿病と認知症	12月17日	オンライン講座
医療ソーシャルワーカー	医療ソーシャルワーカー 三谷　勇一	糖尿病と社会資源の活用法	3月19日	オンライン講座

《各種団体からの依頼による医療講座》

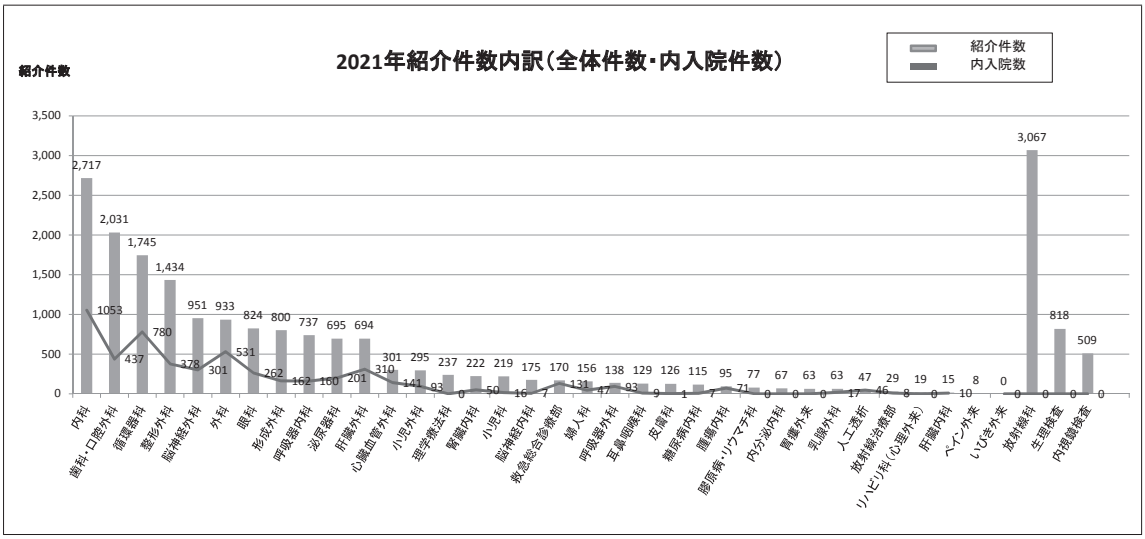
職種	講師	演題	開催日	開催場所
臨床心理士	臨床心理士　副主任　八島　麻美子	認知症にならない元気な生き方	10月31日	上之島小学校

《各科紹介件数（内入院数）》

紹介件数(上段) 内入院数(下段)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
内科	216	184	246	238	212	255	229	281	212	189	223	232	2,717
	79	72	93	81	73	93	103	85	76	97	107	94	1,053
歯科・口腔外科	113	146	174	165	159	183	169	169	188	202	187	176	2,031
	24	25	29	37	34	34	37	44	46	48	42	37	437
循環器科	133	145	177	130	134	125	112	142	142	164	169	172	1,745
	60	57	64	59	69	52	59	68	71	84	70	67	780
外科	80	53	74	72	63	82	68	82	79	94	94	92	933
	48	33	40	46	36	46	43	49	44	55	46	45	531
呼吸器内科	85	69	70	62	38	65	56	31	64	63	66	68	737
	18	18	11	16	5	11	11	6	18	14	9	23	160
整形外科	102	110	128	104	103	113	137	125	126	115	140	131	1,434
	25	31	35	28	27	27	34	37	32	30	33	39	378
眼科	49	58	90	67	56	42	74	64	74	88	79	83	824
	16	12	31	28	21	8	20	21	22	26	25	32	262
脳神経外科	57	50	89	90	62	86	72	92	101	97	69	86	951
	23	15	22	29	21	26	17	36	32	34	19	27	301
形成外科	49	55	63	72	34	77	68	85	58	71	86	69	787
	11	9	19	21	7	14	8	19	15	11	16	12	162
創傷治療センター		1			1	2	1	2	1	1	2	2	13
													0
泌尿器科	49	48	63	48	47	49	53	51	65	84	70	68	695
	12	13	19	18	16	15	14	12	17	20	20	25	201
肝臓外科	42	44	70	59	58	51	68	68	52	58	63	61	694
	17	20	31	30	27	31	33	19	29	21	29	23	310
小児外科	26	23	28	25	17	29	25	25	27	22	24	24	295
	9	7	7	8	7	4	10	10	9	7	7	8	93
小児科	15	11	20	30	23	26	18	22	17	15	14	8	219
		1	1	1	2	3	1	1		1	4	1	16
皮膚科	7	6	17	12	10	8	13	10	11	14	10	8	126
		1									0		1
心臓血管外科	11	18	31	24	16	27	32	26	30	32	27	27	301
	6	8	12	9	9	14	18	14	13	14	8	16	141
耳鼻咽喉科	11	8	8	17	9	11	17	5	11	18	5	9	129
	1	2		1	1	1		2		0	0	1	9
婦人科	9	10	11	10	11	14	14	20	19	8	15	15	156
	5	3	2	3	4	7	5	4	6	1	5	2	47
肝臓内科	3	6	1	1		2			2				15
	3	5							2				10
糖尿病内科	7	5	14	11	5	9	11	11	9	11	9	13	115
	1						1	2		1	1	1	7
腎臓内科	13	12	18	17	18	24	28	15	16	16	24	21	222
	3		5	2	2	7	7	3	4	2	8	7	50
脳神経内科	11	15	17	14	5	20	13	13	13	18	18	18	175
								3			3	1	7
理学診療科	15	13	40	14	16	24	33	14	30	12	11	15	237
													0
内分泌内科	6	9	5	3	6	3	6	4	11	6	5	3	67
													0
呼吸器外科	5	6	11	10	14	15	14	9	17	13	12	12	138
	4	5	7	5	6	12	11	7	10	9	8	9	93
膠原病ﾘｳﾏﾁ外来	1	3	9	5	7	9	3	7	6	7	9	11	77
													0
乳腺外科	9	7	5	4	4	2	5	2	6	8	3	8	63
	2	3		1	1	1	1		1	2	2	3	17
いびき外来													0
													0
人工透析	4	5	4	3	1	1	7	7	5	5	5	0	47
	3	5	4	3	1	1	7	7	5	5	5		46
腫瘍内科	8	4	3	9	3	6	8	17	8	4	12	13	95
	8	3	2	7	1	5	8	11	7	3	7	9	71
放射線治療部	2	1	1	1		4	3	4	4	3	2	4	29
								2	2	1	2	1	8
胃瘻外来	9	4	7	3	4	4	8	3	5	6	6	4	63
													0
リハビリ科(心理外来)	3	3		2	1	1	1	1		4	3	0	19
													0
救急総合診療部	17	13	12	11	12	21	20	12	18	12	9	13	170
	13	11	9	8	6	16	13	11	15	10	7	12	131
ペイン外来						1	4			2	1		8
													0
放射線科	173	225	320	286	207	258	228	237	267	309	273	284	3,067
内視鏡検査	39	40	57	49	24	33	37	33	47	51	44	55	509
生理検査	59	65	85	111	56	67	43	54	102	74	74	28	818
その他													0
紹介件数合計	1,438	1,475	1,968	1,779	1,436	1,749	1,698	1,743	1,843	1,896	1,863	1,833	20,721
内入院数合計	391	359	443	441	376	428	461	473	476	496	483	495	5,322

薬剤部 92
放射線科 95
臨床検査 97
リハビリ 100
臨床心理 106
臨床工学 108
栄養科 117
治験センター 120
医療福祉 122
病診連携 126
健診センター 136
情報システム 138
保育室 140
がん相談 143
医療安全 146
臨床腫瘍 150

《各診療科紹介件数内訳（全体件数・内入院数）》



科 / 項目	内科	歯科･口腔外科	循環器科	整形外科	脳神経外科	外科	眼科	形成外科	呼吸器内科	泌尿器科	肝臓外科	心臓血管外科	小児外科	理学療法科	腎臓内科	小児科	脳神経内科	救急総合診療部	婦人科	呼吸器外科
紹介件数	2,717	2,031	1,745	1,434	951	933	824	800	737	695	694	301	295	237	222	219	175	170	156	138
内入院数	1,053	437	780	378	301	531	262	162	160	201	310	141	93	0	50	16	7	131	47	93

科 / 項目	耳鼻咽喉科	皮膚科	糖尿病内科	腫瘍内科	膠原病･リウマチ科	内分泌内科	胃瘻外来	乳腺外科	人工透析	放射線治療部	心理療法	肝臓内科	ペイン外来	いびき外来	放射線科	内視鏡検査	生理検査	その他	合計
紹介件数	129	126	115	95	77	67	63	63	47	29	19	15	8	0	3,067	509	818	0	20,721
内入院数	9	1	7	71	0	0	0	17	46	8	0	10	0	0	0	0	0	0	5,322

※創傷治療センターは形成外科に、いびき外来の検査入院は内科に含まれます。

《検査紹介件数》

	放射線科	内視鏡	生理検査	合計
1月	173	39	59	271
2月	225	40	65	330
3月	320	57	85	462
4月	286	49	111	446
5月	207	24	56	287
6月	258	33	67	358
7月	228	37	43	308
8月	237	33	54	324
9月	267	47	102	416
10月	309	51	74	434
11月	273	44	74	391
12月	284	55	28	367
合計	3,067	509	818	4,394

主な検査項目

・放射線科

MRI	CT	DSA
RI	インプラントCT	CT（冠動脈）
単純撮影	マンモグラフィー	骨密度

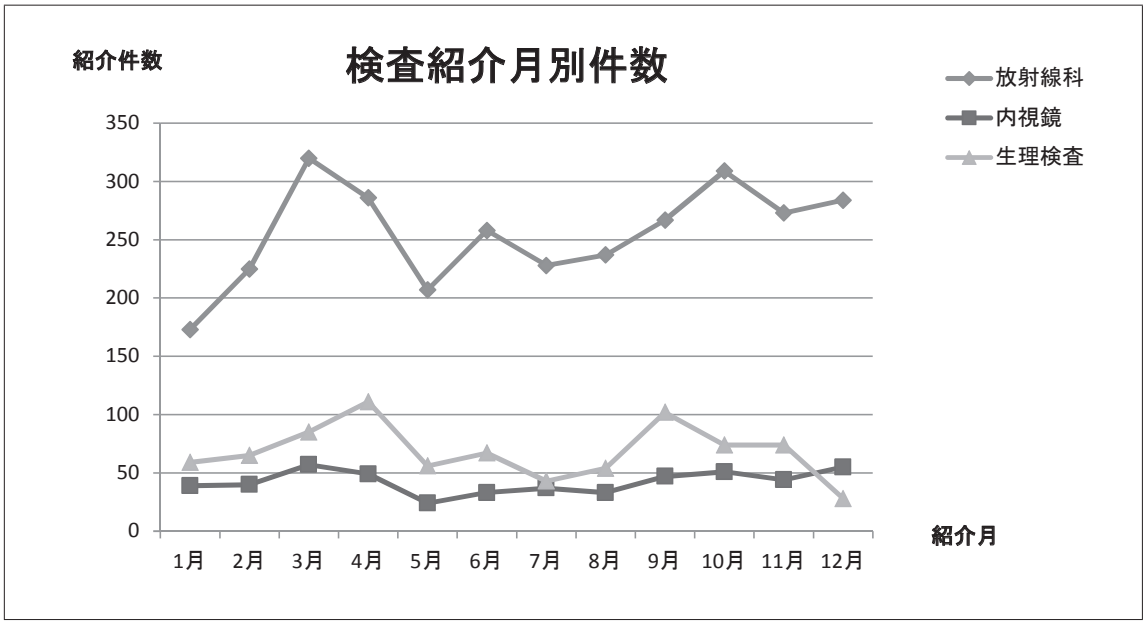
・内視鏡

GIF	CF

・生理検査

腹部エコー	心エコー	末梢血管エコー
甲状腺エコー	頚動脈エコー	乳腺エコー
トレッドミル	心電図	ホルター心電図
呼吸機能	脳波	肺機能
COVID-19 検査		

《検査紹介月別件数》



4. 今後の目標

中河内地区の医療を担うべく、地域の登録医の先生方をはじめ広域の医療機関まで広範囲にわたり、検査・外来・救急・入院に至るまで、あらゆる医療ニーズに迅速かつ円滑に対応し、患者様が安全かつ安心で継続性のある適切な医療を受けられるよう信頼される医療機関として努力してまいります。

新型コロナウィルス肺炎感染症についても、ワクチン接種の促進、陽性患者様の積極的な受け入れをおこない、終息に向け、職員一同努力をしてまいります。

さらに地域の皆様へ様々な情報の発信をおこない、公開医療講座や地域の団体や自治会等からの依頼講演も積極的に開催し、幅広く医療を理解いただき、予防医療の啓蒙活動もすすめてまいります。

また地域医療支援病院の認定をめざし、連携医の先生方の開放病床の積極的な共同利用を促進し、定期的に医療連携の会を開催し、勉強会や情報交換会を通じて連携の強化を図ってまいります。

41）健診センター

健診センター長　上野　靖

薬剤部 92
放射線科 95
臨床検査 97
リハビリ 100
臨床心理 106
臨床工学 108
栄養科 117
治験セン 120
医療福祉 122
病診連携 126
健診セン 136
情報シス 138
保育室 140
がん相談 143
医療安全 146
臨床腫瘍 150

1. 概要

昨年2020年4月9日から5月31日まで非常事態宣言発出により健診業務を停止しましたが、2021年は業務を停止する事なく行う事ができました。上半期においては受診者数がやや少ない傾向でしたが下半期は多くの方に受診して頂いています。

受診者様には来院時間を細かく設定させて頂き、出来るだけ密を避けるためのご協力や検温や問診、内視鏡検査のためのコロナ抗原検査にもご協力頂き感染防止に努めて参りました。まだまだこのような状態が続きますが、ご協力をお願いしたいと思います。

当院健診センターは、八尾市では唯一胸部X線と胃透視の住民健診を施行できる認定施設となり、大腸がん、子宮がん、乳がんと合わせて八尾市が推奨している全てのがん検診を行えるようになっております。

健診センター内での腹部超音波検査や女性技師による乳腺超音波検査も行えるようになり、時間短縮と快適さを提供できる環境が少しずつ整備されました。今後は検査枠の拡充をめざしていきます。

腹部超音波検査で要精密検査と判定された受診者様のための専門医師によるドック精査外来や総合病院に併設されている健診センターの強みを生かした疾患の早期発見・早期治療のバックアップ体制にも力を入れて参ります。

予約業務に関しては、例年と同様に、毎年受診して頂いている企業様への事前予約を行い、個人受診者様にもスムーズにご予約頂けるように試みています。しかしながら、人間ドックコースで胃内視鏡検査を希望される受診者様の予約枠が、予約開始から数ヶ月後には埋まり、受診者様には大変ご迷惑をおかけしてしまいました。検査枠を増やして参りましたが、まだまだ受診者様のご希望に添えるようではありませんので、更なる業務改善をしていきたいと思います。

2. メンバー構成

常勤医師1名、常勤看護師4名、常勤放射線技師1名、常勤事務員7名、非常勤医師2名、
非常勤看護師3名、非常勤検査技師1名

3. 実績

2021 年	ドック	企業	バス健診	産業医	合計
1 月	503	916		6	1,425
2 月	488	1,605		6	2,099
3 月	505	1,228		6	1,739
4 月	451	777		6	1,234
5 月	464	1,426	1,130	5	3,026
6 月	643	858		5	1,507
7 月	534	1,270	61	5	1,870
8 月	478	1,647	61	5	2,191
9 月	556	1,049	59	5	1,669
10 月	729	849	72	5	1,655
11 月	614	1,845	154	5	2,618
12 月	624	1,106		4	1,734
合計	6,589	14,576	1,537	65	22,767
平均	549	1,215	128	5	1,897

4. 今後の目標

コロナ禍でも引き続き受診者様の負担を減らし、安心安全な健診センターを目指します。また、健診センター内で多くの検査ができるように医療機器の整備やスタッフの教育、検査体制の構築を行っていきます。出来るだけ早くすべての検査を終え、迅速な検査結果の返却に努めて参ります。

次年度は受診者様のニーズに応えられるような検査枠の拡充やオプションを充実させていきたいと思います。

また、総合病院の利点を生かして呼吸器疾患や消化器疾患、婦人科疾患など、専門医師と連携し、速やかに精密検査できる体制を作り、早期治療に努めます。

42）情報システム管理室

システム管理室　野口　翼

薬剤部　92
放射線科　95
臨床検査　97
リハビリ　100
臨床心理　106
臨床工学　108
栄養科　117
治験セン　120
医療福祉　122
病診連携　126
健診セン　136
情報シス　138
保育室　140
がん相談　143
医療安全　146
臨床腫瘍　150

1. 概要

A）人員について

4月に前任者が退職し、中途として1名入職、10月にはまた1名の転勤が決定し、システム管理室としては2名体制で運用することとなったが、グループ内外からの応援を受け、各種案件の対応、各種要望に対応することができたと思われる。

B）院内電子カルテ端末の経年劣化による故障の頻発

電子カルテ端末で利用している端末の中でも特に古いものについては10年以上経過しており、端末自体のスペックの低さから電子カルテ利用時に遅延等が散見された。また経年劣化に伴う故障が頻発し端末の修理、入れ替えを行った。

2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
138台	70台	28台	82台

C）データ・マニュアルの不足

これまでのシステム管理室の情報はデータやマニュアル等で整備されておらず、トラブル発生時には1から対応する必要があることが多かったため、対応改善に時間を要す場面が発生した。現在はトラブル発生時のマニュアル作成やデータの保存先を明確にし、同様の事象に対しては即応出来るよう、常に改善を重ねている。

D）課題について

情報システム管理室としての業務は電子カルテ保守・運用やベンダーコントロール、院内のPC操作に対してのヘルプデスク業務などが含まれるが、情報発信や電子カルテシステムの改善なども重要な業務であると感じている。日々の業務に追われ自ら発信することが出来ていないため、更に各科との連携を高め、利便性を高めたシステムの運用を目指していきたい。

2. メンバー構成

システム管理者：久保　準人・野口　翼
システム委員　：20名（医局、看護部、臨床工学科、栄養科、放射線科、薬剤部、理学療法室、検査室、総務部、医事課、医局秘書）

3. 実績

・案件数（システム作業依頼件数）

1 月分	2 月分	3 月分	4 月分	5 月分	6 月分
109 件	118 件	93 件	87 件	82 件	127 件
7 月分	8 月分	9 月分	10 月分	11 月分	12 月分
90 件	82 件	68 件	99 件	105 件	101 件
年間合計					1,161 件

・主な内訳

・電子カルテクライアント機器メンテナンス対応（PC、プリンター、ネットワーク）

・電子カルテサーバー保守・運用 （メンテナンス対応）

・病院関連システムメンテナンス（データ更新、保守作業、修理対応）

・ベンダーコントロール業務（各部門システムベンダーとの折衝業務）

・PC 関連　院内ヘルプデスク対応

・電子カルテ操作教育

・部門検査機器導入　関連システム接続対応

・ホームページ関連

4. 今後の目標

院内の電子カルテ端末並びに機器の保守を行うだけでなく、様々なシステムを誰もが気軽に簡単に利用できるよう情報発信を行い、日々変わっていく最新のシステムを院内で認知されるように努めることを目標とする。院内イントラの整備などによって、現在各科での情報共有手段が不足している状況を改善し、各科での利便性を高めることについても取り組んでいく。

また、セキュリティに関してもウィルス感染や個人情報の流出を防ぐため対策を講じ、安心して利用できる環境の構築を目指していく。

43）保育室

保育室係長　中村　朱美

薬剤部 92
放射線科 95
臨床検査 97
リハビリ 100
臨床心理 106
臨床工学 108
栄養科 117
治験セン 120
医療福祉 122
病診連携 126
健診セン 136
情報シス 138
保育室 140
がん相談 143
医療安全 146
臨床腫瘍 150

1. 概要

2021 年は、近隣保育施設より新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、明日は我が身と緊張しながら感染対策に努めた。受け入れ時の体調確認、保育中及び降室前による検温等、保護者の協力を得て感染予防に努めたが、3 月にノロウイルスによる感染が拡大、集団発生を招いてしまいお別れ会の中止を余儀なくされた。修了していく園児達には悲しい思いをさせてしまった事は不徳の致すところであった。その後、ノロウイルスを除去できると言うオゾン水での玩具消毒を導入。昨年は自粛要請が入り実施できなかった最大イベントのクリスマス会、お楽しみ会については、人数制限はあったものの保護者にも参加して頂け楽しい一時を過ごせた。秋の遠足については園児が戸外で伸び伸びと遊ぶ姿が見られ保育士一同感慨深いものがあった。

モコモコ保育室（病児保育）では、小児科外来と連携し、一週間以内に体温 37.5 度以上の熱が発生した場合、発熱外来にて検査が必須条件となった。その後、陰性者のみ小児科の受診を経て許可が下りた時点での受け入れとなり、利用者より「待ち時間が長い」とクレームが出た事もあったが、直ぐにご理解頂き、皆様の協力を経てエンジェル保育室の園児・保育士ともに新型コロナウイルスに感染する事なく一年を過ごすことができた事は喜ばしい出来事であった。

5 月には保育士 1 名が産休より非常勤として復帰し、新人保育士 2 名が入職。しかし直ぐさま常勤保育士 1 名が体調不良により長期休暇となったが、全職員で協力し不足分を補った。数ヶ月後元気に復帰され、保育士の団結心も更に高まりチームワークが強化出来た一年であったと痛感した。

2. メンバー構成

エンジェル保育室	《キリン組》	河野	中西	永田	中村
	《リス組》	長谷川	竹田	田中	
	《ヒヨコ組》	曽我	木下	吉原	大岩
	《フリー》	小川			
モコモコ保育室		荻	今岡	小林	

3. 実績

《エンジェル保育室年齢別登室園児数》

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
登室数	0歳児	331	363	297	21	33	46	104	105	93	141	138	201	1,873
	1·2歳児	294	277	268	376	352	331	418	358	376	343	278	323	3,994
	3歳児	162	161	180	112	83	64	82	69	65	77	67	73	1,195
	4歳児	54	58	58	204	197	214	222	202	204	212	184	216	2,025
	5歳児	79	77	83	57	66	63	71	66	66	80	71	71	850
	学童保育	21	10	9	6	10	10	9	25	7	5	8	9	129
	合計	941	946	895	776	741	728	906	825	811	858	746	893	10,066
	一時預かり保育	0	0	0	4	1	0	1	0	0	3	0	1	10
	半日預かり保育	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

《病児・病後児保育室運営状況》

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
開室日数	11	15	21	21	18	21	18	15	18	17	19	18	212
利用者数	13	31	84	58	61	104	48	30	44	41	48	55	617
一日平均利用者	1.2	2.1	4	2.8	3.4	5	2.7	2	2.4	2.4	2.5	3.1	2.9
保育士数	12	24	47	48	42	62	38	26	36	35	41	43	454
一日平均保育士数	1.1	1.6	2.2	2.3	2.3	3	2.1	1.7	2	2.1	2.2	2.4	2.1
診察結果待ち数	0	0	9	0	0	5	0	0	0	0	4	2	20
意見書利用数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

《研　修》

3ヵ月に1回　保育士研修（勉強会）をエンジェル保育室にて実施

《行　事》

2月 2日　節分（豆まき）
3月 3日　ひなまつり
13日　お別れ会
4月30日　子どもの日
6月10日　時の記念日
25日　じゃが芋掘り（園庭横畑にて10月にはさつま芋掘りを実施）
7月 4日　お楽しみ会（キリン・リス組のみ参加）
7日　七夕
9月 6～11日　個人懇談
10月18日　秋の遠足（深北緑地公園）
11月 2・16日　健康診断・インフルエンザワクチンの予防接種（30日予備日も実施）
11月 5日　QI大会

12月19日　クリスマス会（保育室にて）

☆毎月身体測定・避難訓練・誕生会・月2回幼児教育（英語ECC）を実施

毎月1回　保育士による感染対策指導を実施

4. 今後の目標

・保育士の研修参加を強化する

・保育士の働き方改革

薬剤部　92
放射線科　95
臨床検査　97
リハビリ　100
臨床心理　106
臨床工学　108
栄養科　117
治験セン　120
医療福祉　122
病診連携　126
健診セン　136
情報シス　138
保育室　140
がん相談　143
医療安全　146
臨床腫瘍　150

44）がん相談支援センター

認定がん専門相談員　三谷　勇一

1. 概要

2021 年は、新型コロナウイルス感染症の影響が長引き、がん患者サロンや患者家族会の病院単体での取り組みは中止となりました。しかし、2 次医療圏単位の取り組みとして、サロンにまつわる合同冊子を作成し、がん診療ネットワーク協議会における予算をかけた印刷を行いました。また、コロナ禍であっても、ネットを活用した合同サロンを開催しました。2021 年 11 月 11 日には、オンライン講演会として、ACP（アドバンストケアプランニング）に関するサロンを開催しました。

学会等から頂戴した研究奨励賞ならびに研究資金の助成金の活用に付随する、大阪府に存在する 65 か所のがん診療(連携)拠点病院のがんサロン参加者を対象とした大規模調査について、多変量解析を用い、国際学会で発表しました。オンラインで開催された第 14 回アジア太平洋ホスピス緩和ケア学会において発表し、研究助成金を拝受しました。重ねて、徳洲新聞の 2 度目の取材を受けました。

2. メンバー構成

委員長：医師　　村上　修（外科部長）
委員：　社会福祉士　三谷　勇一（両立支援コーディネーター）
（認定がん専門相談員：国立がん研究センター）

3. 実績

（1）研修参加・部会活動

2/13　日本がんチーム医療研究会（WEB開催）
2/19　第1回中河内がん相談支援センター部会（WEB開催）
3/6　がんゲノム医療の相談支援（Ⅲ群研修）
3/14　日本医療ソーシャルワーク学会（WEB開催）
5/26　第2回中河内がん相談支援センター部会（WEB開催）
6/18～19　第26回日本緩和医療学会（WEB開催）
6/26　大阪府がん診療連携協議会相談支援センター部会（WEB開催）
7/16　第3回中河内がん相談支援センター部会（WEB開催）
11/11　第3回中河内地区がん相談支援センター合同サロン（WEB開催）
11/13～14　14th Asia Pacific Hospice Palliative Care Conference（WEB開催）

（2）がん患者サロン（やお徳サロン）の開催

開催計画：6 回程度／年　時：第 2 火曜日 14:00-15:00.　場所：当院会議室にて
病院単体での取り組みは、新型コロナウイルス感染症の影響で中止しました。

薬剤部 92
放射線科 95
臨床検査 97
リハビリ 100
臨床心理 106
臨床工学 108
栄養科 117
治験セン 120
医療福祉 122
病診連携 126
健診セン 136
情報シス 138
保育室 140
がん相談 143
医療安全 146
臨床腫瘍 150

（3）患者家族会（Mon ami）の開催

開催計画：3 回程度／年　時：第 2 火曜日 14:00-15:00.　場所：当院会議室にて

新型コロナウイルス感染症の影響で中止しました。

（4）がん相談支援センター相談延べ件数の表

2021年相談内容	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総数
治療	4	5	3	5	2	3	4	2	3	2	2	4	39
←手術	0	3	1	2	0	0	4	2	1	1	1	2	17
←放射線	1	0	2	0	0	0	1	1	0	1	2	0	8
←薬物	2	1	1	5	0	3	2	1	0	2	1	3	21
←免疫	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3
←ゲノム	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
←その他	1	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	5
検査	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3
症状	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	3
←妊生殖	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
←アピアランス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
←晩期合併	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
←長期フォロ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
←その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
セカンドオピニオン（一般）	0	0	1	0	0	2	2	1	2	0	1	2	11
セカンドオピニオン（受入）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
セカンドオピニオン（紹介）	0	0	0	0	0	0	2	1	2	0	0	0	5
治療実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臨床試験	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
受診・入院	1	4	3	3	1	1	0	0	0	0	1	0	14
転院	0	2	4	2	2	2	0	1	0	0	0	0	13
医療機関紹介	4	6	4	3	2	2	1	1	1	0	2	2	28
予防・検診	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3
在宅医療	2	9	6	3	1	2	6	1	0	1	2	5	38
緩和・ホスピス	3	9	3	5	0	3	2	2	1	0	1	5	34
ADL・服薬	3	7	4	4	1	2	5	0	1	3	1	4	35
介護、看護、養育	6	11	4	3	2	1	8	2	1	4	2	4	48
←介護	6	10	2	3	1	1	4	2	1	4	2	4	40
←看護	3	8	4	2	1	1	7	0	0	1	1	3	31
←養育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会	2	4	2	0	0	0	0	1	0	1	1	0	11
←就労	1	4	2	0	0	0	0	1	0	1	1	0	10
←仕事と両立	1	4	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	8
←就学	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
←学業	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
費用	4	4	3	3	1	0	2	1	1	2	2	1	24
←介護保険	1	0	0	3	1	0	0	1	1	2	0	1	10
←傷病手当	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4
←その他	2	4	2	0	0	0	2	1	0	0	1	1	13
補完	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生きがい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
苦痛	1	2	0	3	0	1	0	0	1	1	1	1	11
告知	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	3
医療者とのコミュニケーション	3	4	3	1	0	3	1	1	1	2	1	2	22
患者･家族間のコミュニケーション	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	3
友人･知人･職場のコミュニケーション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
患者会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
グリーフケア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	4

4. 今後の目標

地域貢献としては、2022 年に開催される中河内圏域がん診療ネットワーク協議会シンポジウムにて、シンポジストとして登壇予定です。そのテーマは、「市民公開講座：知っておきたいがんの知識」です。

また、受賞ならびに助成金拝受に関連する報告書、論文等が完成し、来年度に印刷され、書籍化される予定です。がんサロンならびに患者家族会の開催においては、新型コロナウイルス感染症の動向に注視しながら、活動の再開を検討します。また、立ち上げたばかりの患者家族会の継続開催とともに、継続的ながんサロンの運営にも工夫を凝らしてまいります。

45）医療安全管理部

医療安全管理者　糸永　美千代

薬剤部 92
放射線科 95
臨床検査 97
リハビリ 100
臨床心理 106
臨床工学 108
栄養科 117
治験セン 120
医療福祉 122
病診連携 126
健診セン 136
情報シス 138
保育室 140
がん相談 143
医療安全 146
臨床腫瘍 150

1. 概要

セーフティーマネージャーがインシデント・アクシデントを振り返り、再発防止が出来るよう医療安全対策カンファレンスで検討しています。更に患者影響度の高い事例に関しては、根本原因を見つけ出し具体的な対策を立案し､実行出来るように根本原因分析（RCA 分析）を行っています。

2. メンバー構成

医療安全管理部長　兼任医師	1名
医療安全管理者　専従看護師	1名
患者支援・相談窓口担当看護師	1名
総務課出向事務職員	1名
総務課所属　相談役（主業務：警察事案対応）	1名

3. 実績

①医療安全管理活動

（1）インシデント・アクシデント報告システム

報告総数はわずかですが例年増加しております。エラー発生率を事例別に見ると（表 .1）例年同様薬剤、ドレーン・チューブ抜去、自己転倒が多くあげられていました。次に事例件数を月別に比較してみると（表 2）7.0 ～ 9.8％であり有意差はありませんでした。最後に事故レベル別に見てみると（表 3）治療や処置を必要としなかった Lv2 以下が 92％を占めていました。レベル 0 ～ 2 の報告が毎年少しずつですが増加しております。

Lv3a 以上は 8％と前年の 7.1％より増加していました。Lv3b 以上は根本原因分析を行っていること、再発防止のためにまず報告をあげることを意識する職員が増えてきている結果だと思っております。今後は、対策や評価を共有することで、患者影響度を下げていきたいと思っております。

表 1　事例内容 事例実件数：2,427　対象期間：2021.1.1 ～ 12.31

薬剤	ドレーン・チューブ	自己転倒	検査	療養上の世話	ベッド転落	治療・処置	医療機器等	輸血	その他	合計
615	439	393	252	167	121	113	72	28	227	2,427
25.3%	18.1%	16.2%	10.4%	6.9%	5.0%	4.7%	3.0%	1.2%	9.4%	

表 2　月別件数 事例実件数：2,427　対象期間：2021.1.1 ～ 12.31

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
195	197	239	171	209	211	231	179	192	207	194	202	2,427
8.0%	8.1%	9.8%	7.0%	8.6%	8.7%	9.5%	7.4%	7.9%	8.5%	8.0%	8.3%	

表 3　事故レベル 事例実件数：2,427　対象期間：2021.1.1 ～ 12.31

Lv0	Lv1	Lv2	Lv3a	Lv3b	Lv4a	Lv4b	Lv5	合計
230	1084	918	150	43	1	1	0	2,427
9.5%	44.7%	37.8%	6.2%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	

(2) 医療安全管理委員会

毎月　第 4 月曜日に開催（1 月～ 12 月、延 12 回）

各部署責任者同席のもと医療事故に対する原因分析を行い、再発防止策を講じることを目的として、開催しております。

(3) セーフティーマネージャー会議

医療安全管理委員会に先行して、毎月 1 回開催（1 月～ 12 月、延 12 回）

医療安全管理委員会の下部組織として患者様の安全、安心に貢献することを目的とし、医療事故の防止、医療の質管理を組織横断的に行うため、院内ラウンドや医療安全対策カンファレンスを実施しております。RCA 分析した情報の共有や半年後の評価を始めました。

(4) 医療安全全体研修

医療安全管理部主催で年間 2 回開催しております

1 月は医療安全の基本を知るということをテーマとして E ラーニングで開催し延べ 801 名の聴講で参加率は 87%でした。

7 月は人数を制限して集合研修を行い、追加研修は E ラーニングとしました。

7 月 30 日（水）17：15 ～ 17：45

テーマ：患者への正しい謝り方～患者に対する謝罪と医療訴訟～

当院の顧問弁護士に講義していただき、740 名の参加と聴講で参加率は 86%でした。

(5) 医療安全部会参加

医療安全管理部会

医療安全管理部会　全国担当者研修会

薬剤部 92
放射線科 95
臨床検査 97
リハビリ 100
臨床心理 106
臨床工学 108
栄養科 117
治験セン 120
医療福祉 122
病診連携 126
健診セン 136
情報シス 138
保育室 140
がん相談 143
医療安全 146
臨床腫瘍 150

(6) 医療安全関連活動への参画

日本医療機能評価機構認定病院　（会員）
医療事故紛争対応研究会　（会員）
日本医療リスクマネジメント学会　（会員）
大阪府看護協会府東支部　医療安全管理者交流会

②患者相談窓口活動と相談支援業務

(1) 患者相談窓口活動

患者相談窓口は医療に関する患者様やその家族様などの苦情や心配に迅速に対応し、医療の情報提供、指導などを通して、患者様との信頼関係を築いていく窓口として設置され、体制は担当看護師の他に医事課職員が担当しています。

その業務内容は主に案内･相談･介助･その他に分類でき、詳細は下記に示す通りです。

2021年八尾パルス(相談等)業務実績(期間1／4～12／30)

案内												相談		介助				
予約診(再来機)	入院患者	再診	紹介受付	バス乗場	駐車券	職員面会	文書受付	初回	健診センター	会計(返戻等)	その他の院内施設	医療相談	苦情相談	車椅子	視・聾・聴	その他	その他	総合計
10,537	1,095	2,581	1,890	1,119	1,142	569	338	301	753	281	2,877	2,394	213	1,519			868	28,477
82.5%												9.2%		5.3%			3.0%	100%

案内業務は全体の 82.5％を占め､最も多かったのは予約診（再来機）の取り扱いです。再来機は画面上の手順や説明文がわかりにくい、車いすに座ったままでは画面が見えにくく操作不可能、操作手順が複雑、また、高齢者にとっては操作自体になじめない方が多く、新型コロナウイルス感染症予防対策の一環として導入された検温外来の設置により八尾パルス職員が再来機対応をすることが多くなりました。また、再来受付機の故障や診察券の不具合が多く、受付時点で長蛇の列となり、患者様をお待たせすることが目立ちました。

相談業務は全体の 9.2％であり、その内容は受診科に関すること、自身の疾患や検査方法、検査データの説明、治療費に関すること、転院先の相談、セカンドオピニオンなど多岐にわたっており、その都度関係部署と連絡を取りながら対応してきました。

介助業務は全体の 5.3％です。車いすの患者様の受付窓口までの移送や、筆談援助、電話をかける、タクシー呼び出しなどの介助を行いました。

(2) 皆様の声

「皆様の声」は 165 枚で、それらに対する回答を 1 ヶ月毎に掲示しています。施設等の要望が 46.7％と最も多く、外来部門では再来機の故障が多すぎる、診察券の不具合のため、再来機で受付が出来ず、人の窓口の長蛇の列に並ばなければならない、インフルエンザ予防注射の窓口を別に設けてほしいなど混雑緩和への要望が目立ちました。

また、検査部門では、採血に要する時間がかかりすぎる、採血室の待合場所が混雑しており、廊下で待っていると名前を呼ばれても聞こえない、検査室での密の解消をして欲しい、と言った意見がみられました。

さらに院内での飲食の場所がなく、ローソン前のテーブルや椅子をふやしてほしいとの意見が散見されましたが、コロナ禍における病院の感染予防対策に伴うものであり、感染状況が緩和され、以前のような運用が再開できるようになるまでお待ちいただくことが必要になります。その他、車椅子の補充と整備の要求、ワクチン接種予約時の電話が通じない、インターネットが繋がらないなど混雑時の要望が多くありました。

病棟部門ではコロナ禍における面会制限の緩和を希望する意見が多くあり、入院患者様とそのご家族様の方々には寂しい思いをおかけすることになりました。

次いで接遇に関する苦情が 22.4％と昨年よりは 4.6％減少しています。外来部門の受付事務への意見が多く、一部の人による態度が病院全体の印象を損ねていることも事実です。接遇教育を充実させることはもとより、職員ひとり一人が自覚と責任をもって対応することの必要性が示唆されています。

また、感謝のお言葉も 4.6％減っています。今後も事例を職員間で共有することが大切であり、これからも、皆様の声に真摯に耳を傾け、皆様方のご要望に応えるよう努力し、皆様に愛される病院を目指したいと思います。

皆様の声分類 2021 年 1 月～ 12 月

	ご意見内容（2021 年 1 月～ 12 月）				
部署名	感謝	接遇	要望等	内容不詳	合計
医局	1	2	1	4	8
看護部	30	14	29	1	74
医事課	1	16	14		31
総務課			11		11
資材課			10		10
放射線科		1		2	3
検査科		2	7		9
薬剤部	1			1	2
リハビリ	1	1			2
臨床工学科			1		1
眼科			1		1
栄養科	1				1
感染管理室			2		2
コンビニ			1		1
清掃業者		1			1
宛先不明	2			6	8
合計	37	37	77	14	165
	22.4%	22.4%	46.7%	8.5%	100.0%

4. 今後の目標

今後も皆様からいただいたご意見・お言葉を病院に届ける橋渡しとして取り組んでいきたいと思います。

46）臨床腫瘍センター

臨床腫瘍センター副センター長　薬剤部　南野　智志

薬剤部 92
放射線科 95
臨床検査 97
リハビリ 100
臨床心理 106
臨床工学 108
栄養科 117
治験セン 120
医療福祉 122
病診連携 126
健診セン 136
情報シス 138
保育室 140
がん相談 143
医療安全 146
臨床腫瘍 150

1. 概要

臨床腫瘍センターには、がん薬物療法に関わる専門資格、認定資格を取得したスタッフが在籍しており、その専門性を活かしてチーム医療を展開し、がん化学療法に携わる各科臨床医、看護師、管理栄養士、理学療法士らと協力のもと、安全かつ質の高いがん化学療法を提供できるよう努めています。

臨床腫瘍センターで施行する治療レジメンについては、オンコロジー委員会で厳格に審査を行ったレジメンのみを採用とし、施行時には電子カルテ上で薬剤師・看護師による十分なチェック機能が働くシステムをとっています。

さらに外来で化学療法を受ける患者様に対して、がん専門薬剤師、外来がん薬物療法認定薬剤師による診察前面談を実施し、自宅での副作用モニタリングや処方提案を行い、QOL 改善や医療安全の向上に努めています。当センターでは院内全体のがん化学療法を安全かつ適切に行えるよう、各診療科・多職種のメンバー全員で積極的に取り組んでいきたいと考えています。

2. メンバー構成

センター長：瓜生　恭章（呼吸器内科・腫瘍内科：日本臨床腫瘍学会認定がん薬物療法専門医）
副センター長：金丸　知寛（泌尿器科）、南野　智志（薬剤部：日本医療薬学会がん専門薬剤師）
腫瘍内科：洪　鉉寿（日本臨床腫瘍学会認定がん薬物療法専門医）
外　　科：垣本　佳士
薬　剤　部：草薙　みか、南野　智志、山本　倫数（日本医療薬学会　がん専門薬剤師）
　　濱田　達志（日本臨床腫瘍薬学会　外来がん化学療法認定薬剤師）
看　護　部：髙橋　章恵、苗代　啓子（がん化学療法看護認定看護師）
栄　養　科：佐藤　友亮
医　事　課：山下　あすか、原田　高輔

3. 実績

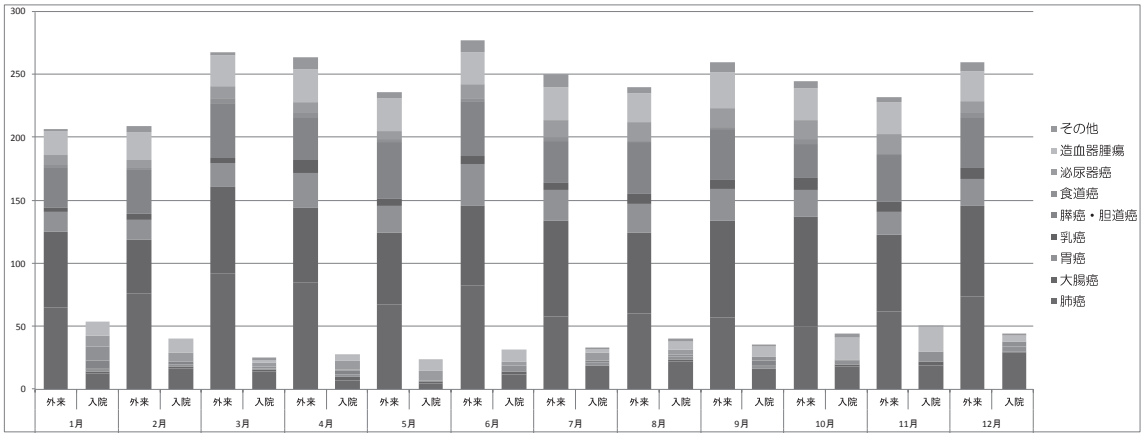
2021 年のがん化学療法施行件数は 2020 年から新型コロナウイルス感染症の感染拡大によるコロナ病床の確保の影響で入院での施行件数が低下しました。しかし外来での施行件数は増加し、最終的には年間 3,514 件（外来：2,988 件、入院：526 件）で、始めて 3,500 件を超え前年の 114.3% の実績でした。癌種別では肺癌の化学療法が昨年同様 3 割強を占め、大腸癌・胃癌の消化器系の癌が続きます。また、肝・胆道系癌、婦人科さらには造血器腫瘍での化学療法件数も増加傾向となっています。

《がん化学療法・生物学的製剤 施行件数（2021 年 1 月～ 12 月）》

2021年		1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		）月		9月		10月		11月		12月		合 計	
患者数（患者数×レジメン数）																								219		219	
		外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院
がん化学療法施行件数（癌種別）	肺癌	65	13	76	17	92	14	85	7	67	5	82	12	58	19	60	22	57	17	50	18	62	19	74	29	828	192
	大腸癌	60	1	43	1	69	2	59	3	57	1	64	2	76	0	64	2	77	0	87	2	61	3	72	1	789	18
	胃癌	16	2	16	2	19	1	28	2	22	0	33	5	24	2	23	2	25	1	21	3	18	0	21	4	266	24
	乳癌	3	1	4	0	4	0	10	0	5	0	6	0	6	0	）	0	7	1	10	0	）	0	9	0	80	2
	膵癌9 胆道癌	32	6	35	2	43	0	34	3	45	1	44	0	33	2	41	0	41	4	27	1	37	0	40	0	452	19
	食道癌	2	11	2	0	4	1	4	1	3	0	2	0	3	0	1	2	1	3	4	0	1	）	4	4	31	30
	泌尿器癌	）	9	6	7	10	3	）	7	6	）	11	3	14	6	15	4	15	0	15	0	16	0	9	0	133	47
	造血器腫瘍	19	11	22	11	24	2	26	4	26	）	26	10	26	3	23	6	29	）	25	17	25	20	24	5	295	105
	婦人科癌	3	）	2	4	0	5	0	4	1	3	2	5	3	4	7	6	5	11	3	）	4	9	10	7	40	74
	その他	2	0	5	0	3	2	10	1	5	1	9	0	10	1	5	2	）	2	6	3	4	1	7	1	74	14
	合 計	210	62	211	44	268	30	264	32	237	27	279	37	253	37	247	46	265	47	248	52	236	60	270	51	2988	525
	2020年 合計	182	53	164	58	190	51	178	59	154	51	196	61	209	52	225	69	240	65	248	45	232	42	204	45	2422	651

（診療科別）	内科	7	0	4	3	18	3	18	1	14	0	14	0	）	0	10	1	12	3	7	0	9	0	9	7	130	18
	腫瘍内科	94	30	115	28	135	16	127	14	104	13	120	23	102	23	101	29	99	26	96	35	93	43	117	31	1303	311
	外科	64	11	54	1	72	1	71	4	66	1	80	5	86	2	72	6	89	4	90	4	69	）	85	）	898	55
	乳腺外科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	6	1
	肝臓外科	33	4	28	2	33	1	40	3	47	2	54	1	41	1	43	1	45	3	37	3	39	0	43	0	483	21
	泌尿器科	7	）	5	6	7	3	）	6	6	）	11	3	）	6	15	4	14	0	15	0	16	0	9	0	121	44
	脳神経外科	2	0	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	）	3
	婦人科	3	）	3	3	0	5	0	3	0	3	0	5	3	4	6	5	6	11	3	）	6	9	7	4	37	68
	その他	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	4
	合 計	210	62	211	44	268	30	264	32	237	27	279	37	253	37	247	46	265	47	248	52	236	60	270	51	2988	525

生物学的製剤	膠原病9 リウマチ	33	0	29	0	42	0	47	0	30	0	48	0	41	1	49	0	49	0	46	0	33	0	54	5	501	6
	炎症性腸疾患	6	0	9	0	9	0	5	0	）	0	9	0	12	0	2	0	12	0	7	0	6	0	5	0	90	0
	合計	39	0	38	0	51	0	52	0	38	0	57	0	53	1	51	0	61	0	53	0	39	0	59	5	591	6



4. 今後の目標

診療科・職種の枠組みを超えて連携したチーム医療を実践し、患者様に確実・安全・効果的ながん化学療法を受けていただけるよう努めていきます。

看　護　部

―― 2021年 ――

47） 4階東　5階西　154
5階東　6階西　155
6階東　7階西　7階東　156
8階西　8階東　ＩＣＵ　157
ＨＣＵ　外来・ＥＲ　158
手術室　透析室　159
退院調整チーム　入退院支援　160
保健指導　161

47）看護部

看護部長　小原　真栄美

4階東 154
5階西 154
5階東 155
6階西 155
6階東 156
7階西 156
7階東 156
8階西 157
8階東 157
ICU 158
HCU 158
外来･ER 158
手術室 159
透析室 159
退院調整 160
入退支援 160
保健指導 161

1. 概要

2021 年も新型コロナウイルス感染症の対応に追われた 1 年でした。地域の医療機関の方々にご理解とご協力をいただき医療、看護を継続することができ深く感謝しています。

看護部では、「心にとどく看護」を実践するために、職員一人ひとりが深く考え、行動するとともに、新型コロナウイルスへの対応の中で、多職種が互いに尊重し、支援・協力し合う体制が強化されたと感じています。

2022 年も地域から信頼される病院を目指し、急性期病院としての役割を果たすべく安全・安心の看護サービスの提供、医療や看護に必要な知識と技術の向上に努めてまいります。

4 階東病棟　脳神経外科／脳神経内科／眼科

当病棟は 44 床で、脳神経外科、脳神経内科、眼科を主とした病棟となっている。脳神経外科は ICU・HCU を経て転床してくる患者様が半数を占め、リハビリや NST、褥瘡チーム、リエゾン、MSW など他職種と協働しながら、患者様の ADL の回復、社会復帰を目指している。昨年に引き続き、コロナ禍の影響を受け、面会の規制は、患者様や、その家族様の精神的不安にもつながった。特に看取りとなった患者様のご家族には、その気持ちに添うように、最大限の対策を行いながら、希望されるご家族には付き添いをして頂いた。今年度は、退院支援に力を入れ、12 月には、退院目標の 113 名 / 月を達成する事ができた。平均在院日数が、昨年の 19 日から、18.5 日に短縮ができた。

1 年間の入院患者数 667 名、転入 706 名、退院 1,053 名、平均在院日数 18.5 日、平均病床稼働率 98.9％であった。脳血管造影の検査は 233 件となり、病棟からの検査出しも多くあった。

当病棟には、高次脳機能障害や、認知症、せん妄などの症状を呈する患者様や、経管栄養のための鼻腔チューブを挿入している患者様が多くいる。転倒転落、鼻腔チューブ抜去に至らないよう、ミトンや、抑制帯を用いての身体抑制を行うケースも少なくはない。毎日のカンファレンスで、身体抑制の確認を行い、不要となった患者様は速やかに中止し、継続の必要性があるのかどうかを検討している。今後はセンサー類も充実させ、患者様の安全につとめていきたい。

5 階西病棟　一般内科／婦人科／眼科／小児領域全ての診療科

当病棟は、一般内科、眼科（女性のみ）、婦人科、15 歳以下の小児領域の全診療科の患児を受け入れる 40 床の混合病棟である。平均在院日数は 10 日～ 11 日前後を推移している。対象疾患は、一般内科では誤嚥性肺炎や尿路感染症、慢性心不全などの高齢の患者様が半数以上を占める。内科疾患の患者様の平均年齢は 70 歳以上で入院中の ADL 低下などにより退院困難となるケースが多い。治療終了後の療養先の選択や人生最期の時間を過ごす場所の選択などを、患者様やそのご家族様に寄り添いながら退院支援を行っている。今年はこのコロナ渦で面会制限が長く行われる中、入院中の患者様とそのご家族様が疎遠とならないよう、また不安を最小限に出来るよう感染対策を徹底した制限面会に取り組んだ。婦人科は、悪性腫瘍の外科的治療

や化学療法の他に、良性腫瘍の外科的治療目的患者様の受け入れを行っており、手術件数は増加傾向である。眼科は主に、白内障の手術目的患者様の入院を受け入れている。15 歳以下の小児領域に相当する患児の受け入れは診療科問わず当病棟で行っている。急性肺炎や腸炎、喘息などの急性期疾患とインフルエンザや RS ウィルス、ノロウィルスやロタウィルスなどの感染性疾患、外科領域の手術目的患児の受け入れを行い、小児領域の患児の安全な入院環境の確保に尽力している。

診療科区域での選別ではなく女性や小児という性別や年齢で受け入れを選別する、他病棟とは違う特徴を持っているため広い視野で看護を行うことが求められる。優しさと温かさを第一に患者様とそのご家族様、患者様を取り巻く環境にも目が行き届く看護を目指している。

5 階東病棟　循環器／心臓血管外科

当病棟は、循環器科・心臓血管外科病棟である。心筋梗塞、狭心症、冠状動脈硬化症、心不全、下肢閉塞性動脈硬化症、重症虚血肢に対するカテーテル検査治療や心臓血管外科周術期の患者様を多く受け入れている急性期病棟である。

平均入院患者数：152.6 名／月、平均退院患者数：165.6 名／月、平均在院日数：8.1 日、月平均入院患者数は約 10 名増加し、退院患者数は約 10 名増加。それに伴い、平均在院日数は 0.5 日短縮することができた。心臓リハビリテーションや呼吸リハビリテーション、MSW などの多職種と連携をとり、早期離床･早期退院を目指して取り組んでいる。社会の超高齢化に伴い、手術を受ける患者様や入退院を繰り返す慢性循環器疾患の患者様の年齢層の上昇、高齢者の独居、認知症の患者様も増加している。循環器疾患は日常生活における自己管理を要することが多い。病状の悪化を予防し､その人らしく生活していけるよう､MSW を介して地域とも連携し、退院支援を継続して行っていく必要がある。今後も多職種で協働し、患者様とそのご家族様が安心・安全な療養環境が提供できるよう努めていきたい。

6 階西病棟　整形外科／耳鼻咽喉科

当病棟は、整形外科、耳鼻咽喉科疾患を主に受け入れている急性期病棟である。疾患の特性として、転倒を契機とした骨折した患者様の緊急入院が殆どを占め、指先からつま先までの全ての骨折整復手術、人工関節手術、脊椎手術を中心に行っている。2021 年は入院患者数 978 人 / 年、退院患者数 1,000 人 / 年、手術件数 940 件 / 年と全てにおいて前年を上回り、コロナ禍のなか徹底した感染対策のもと周手術期医療・看護を提供してきた。安全安心な専門的医療の提供、かつ地域や社会への早期復帰を目指して、医師・看護師・リハビリテーション・医療ソーシャルワーカーなど各職種が連携し、入院から退院まで継続した介入を行い平均在院日数短縮にも繋げることができた。整形外科病棟は高齢の患者様が多く、喪失した機能の回復には一定の期間が必要になる。急性期治療後も、患者様とそのご家族様が安心して療養を継続でき社会生活を過ごせるために、病院・療養施設・地域が途切れることなく介入できるよう連携をさらに強化していく必要がある。今後も、職種それぞれが専門性を発揮して途切れることのない介入と支援により、患者様とそのご家族様が安心や満足感の得られる急性期医療を提供していきたいと考える。

4階東 154
5階西 154
5階東 155
6階西 155
6階東 156
7階西 156
7階東 156
8階西 157
8階東 157
ICU 158
HCU 158
外来・ER 158
手術室 159
透析室 159
退院調整 160
入退支援 160
保健指導 161

6階東病棟　形成外科／泌尿器科／歯科・口腔外科／眼科

当病棟は形成外科・泌尿器科・口腔外科・眼科の混合外科病棟である。手術を目的とした患者様がほとんどであるが、手術以外にも、泌尿器科では化学療法や放射線治療、形成外科では陰圧閉鎖療法などさまざまな治療を行っている。形成外科では、既往に糖尿病や腎不全などの慢性疾患をもつ患者様も多く、幅広い知識が必要となるため、看護師の知識・技術の向上を心がけている。前年は新型コロナウィルス感染症の影響で、一時的に入院・手術の制限があり、また他科の受け入れや、転院先の確保が困難となり、入退院数・手術件数の減少、平均在院日数も延長した。2021年は、手術件数1,030件／年、入院1,692人／年、退院1,598人／年であり、いずれも前年を上回った。平均在院日数も9.26日で、前年より約1.0日短縮できている。今後も感染対策を徹底し、より安全な周手術期医療を提供できるよう取り組んでいきたい。

7階西病棟　消化器内科

当病棟は消化器内科を中心に受け入れている44床の内科病棟である。消化管出血・ポリープの内視鏡的治療をはじめ、胆嚢炎・総胆管結石のERCP、ステント留置を行う患者様、感染性胃腸炎など感染性疾患の患者様、胃癌・肝臓癌・膵臓癌・大腸癌などの早期癌治療であるESDやEMRなどの患者様を受け入れている。また癌末期でBSC患者様の緩和ケアも受け入れ、陰圧個室があるので、結核疑いの患者様が確定診断されるまでの受け入れも行っている。2021年、平均在院日数16.89日、平均病床稼動率105.62％。内視鏡治療の進歩により、早期癌のESDなどで早期退院が可能となっている一方で、超高齢化が進み、コロナ禍で面会禁止も影響があり、認知症やせん妄を発症され治療が長引く傾向となった。またコロナ禍の影響で、呼吸器系内科の患者様の受け入れも増加し、平均在院日数が2020年より3日延長となり、転倒転落リスクも依然高い状況にある。2022年は、転倒転落リスクの情報共有を行えるようにカンファレンス内容を見直し、安心・安全な療養環境が提供できるように取り組んでいく。また他職種、特にMSWと連携を密にとり、患者様とそのご家族様が望む療養生活が提供できるように引き続き協働していく。

7階東病棟　外科／肝臓外科

当病棟は消化器外科・肝臓外科・呼吸器外科の周手術期の患者様を中心とした44床の病棟である。入院から短い期間で術前の準備や不安の緩和が出来るよう、入院前支援部門との連携や病状説明への看護師同席を可能な限り行い、意思決定支援へのサポートが出来るように努めている。また、術後は早期から元の生活を想定し、MSWと連携を行っており、高齢の患者様でも患者様が望む生活に戻れるようなサポートに努めている。2021年は在院日数の短縮を中心目標とし、入院時に患者様とそのご家族様への退院支援に関する意向調査を9月より開始した。その結果、平均在院日数は10.74日と大きな短縮にはつながらなかったが、病棟内でも退院支援に対する意識は徐々に上昇しており、入院時から退院支援の介入が必要な方への情報提供が早期に出来るようになっている。また、クリニカルパスの見直しと利用率向上に努め、治療・ケアの標準化と在院日数の短縮をめざしている。今後の課題として、悪性疾患の患者様は手術後、抗がん剤治療・放射線治療など様々な治療経過をたどるため、幅広い知識の習得が出来るように部署内での取り組みを強化していきたい。

8階西病棟　呼吸器外科・内科

当病棟は、呼吸器内科・呼吸器外科病棟である。しかし、2020年2月からの 新型コロナウイルス感染症の受け入れ開始以降は、新型コロナウィルス感染症の患者様が少ない時には呼吸器・総合内科＋新型コロナウィルス感染症の混合病棟として、新型コロナウィルス感染症患者様の増加時は新型コロナウィルス感染症専用病棟として、地域のニードやフェーズに応じた病床運用を行っている。2021年の新型コロナウィルス感染症第4波では、ICU重症病床が満床のため、新型コロナウィルス感染症患者様の人工呼吸管理を一度に6台管理し、人工呼吸下の気管切開術も当病棟の病室内で行うことがあった。第5波では、それに加えてCHDやCHDFなどの持続透析も当病棟の病室内で行う時期があり、医師の協力を受けながら重症新型コロナウィルス感染症患者様の看護を行った。また、9月には当病棟での抗体カクテル療法が始まるなど、その時々で目まぐるしく変化する病床運用や治療へ適応する必要があった。我々は、患者様の意思決定を支援し、家族構成・年齢・生活の質等を考慮した様々なデバイスの酸素療法や人工呼吸など最適な呼吸サポートを心掛けている。高齢の患者様や長期間安静が必要になった患者様では、ADL低下が起こりやすく、特に新型コロナウィルス感染症の陽性患者様は理学療法士によるリハビリテーションを受けることが難しいため、ADLの維持やリハビリテーションについても課題になった。新型コロナウィルス感染症に限らず、患者様自身で実践できる運動プログラムを提案しながら、体位変換や清拭の中など看護師の日常ケアの中でリハビリテーション要素を含めたケアを実践し、日常生活への復帰支援を強化する。そして、近い未来に来るであろうアフターコロナにおける病棟運営にも柔軟に対応したい。

8階東病棟　呼吸器疾患／腎臓内科／糖尿病教育／腫瘍内科

当病棟は、混合病棟である。主に腫瘍内科、呼吸器内科、腎臓内科、糖尿病教育入院を受け入れている39床の病棟であり、放射線治療や化学療法を受ける患者様の受け入れ、疼痛緩和など幅広い看護の提供を行っている。新型コロナウィルス感染症の影響により面会禁止が長期化し、よりいっそう、患者様やそのご家族様の身体的･心理社会的状況を理解することが、我々看護師に求められている。2021年度8階東病棟の平均在院日数は22.9日（前年比＋2.1日）であった。在院日数の短縮に向け、入院当初からプライマリー看護師が中心となり、患者様やそのご家族様が希望する療養先について情報を得て意向をくみ取り、MSWや主治医と情報連携を行っている。当病棟は高齢の患者様が半数以上を占めており、安全に治療を受けるためにやむを得ず抑制を必要とする場面がある。不必要な抑制は中止し、せん妄リスクを低減させるため、毎日抑制解除カンファレンスを行い、抑制以外のもので代替できないか、抑制を一時的なものにできないかなど話し合いを行い、その人らしく過ごせるようにしている。また、看護師間でカンファレンスを通し､日々の看護を振り返る場を作り､よりよい看護の提供のため日々研鑽している。引き続き、患者様が安全に治療を受けることができ、1日でも早く患者様やそのご家族様が望む療養先で過ごすことができるように、常にコミュニケーションをとり、思いやりのある心に届く看護を目指し、日々努力していきたい。

ICU

ICUは重篤な急性臓器機能不全状態にある患者様を対象とし、多職種連携のもとに高度か

つ専門的なチーム医療を提供する部署である。（定床：8床） 重症な内科救急患者様、侵襲度の高い術後患者様を24時間体制で受け入れている。より質の高い集中治療の提供のため、特殊循環モニタリング装置ヘモスフィアや体温管理装置サーモガード、経肺圧測定など、新規機器の導入を毎年積極的に行っている。また、1日1回多職種カンファレンスを継続しており、多職種協働を図っている。これまでよりも病床稼働率は増加傾向にあり、病床稼働率は約80％、看護必要度90％前後を維持している。心臓血管外科・脳神経外科の予定術後に加え、緊急手術患者様も増加している。また、周辺地域や大阪府の要請による重症新型コロナウィルス感染症患者様の入院にも対応しており、多くの患者様を受け入れ、ECMO管理も実施した。今後は、より質の高い医療・看護の提供を行い、患者様の早期回復支援につなげられるようにしてきたいと考えている。集中治療を安全で効果的に提供するために必要な安全文化と診療ガイドライン等に基づいた医療提供体制の構築に向けた取り組みを引き続き行っていきたい。

HCU

HCU（High Care Unit; 高度治療室）は、患者様の重症度と看護師の配置基準が、ICUと一般病棟の間に位置づけられる治療室である。20床を有する当ユニットの役割としては、①重症度が一般病棟より重い患者様や状態変化が予測される緊急患者様の受け入れ、②全身麻酔手術後の患者様の受け入れ、③ICUの後方ベッドである。2021年の緊急入院は981件、転入767件であり、そのうち術後・CAG後等の侵襲的処置後の入室は802件、人工呼吸器使用患者数は延べ1,655件であった。入室患者様の診療科は、内科、脳神経外科、循環器内科、肝臓外科、外科、呼吸器内科、整形外科など多岐にわたる。新型コロナウイルス感染症重症患者数増加時は、ICU同等の重症度の高い患者様の受け入れを行い、前年度までICUで管理していたTVAR（胸部大動脈瘤ステントグラフト内挿術）や頸椎術後などの術後管理もHCUで行うようになった。重症度も上がり、看護師スタッフのスキルアップも求められるが、クリティカルケア認定看護師が3人在籍しており、スタッフの指導、教育に力を入れ、スタッフ1人ひとりがスキルアップできるように取り組んでいる。次年度は、スタッフそれぞれの特性や将来に向けたビジョンを見据えながら、HCU看護の質向上を目指す。また、専門知識・技術の向上だけではなく、患者様とそのご家族様の思いに寄り添った『心に届く看護』が常に実践できるよう、接遇の教育、認知症看護やせん妄患者様への看護を強化する。そして、働きやすい環境作り、スムーズな患者様受け入れのために、業務改善を行っていきたい。

外来・ER

当院外来は『診療部門』、『救急部門』、『検査・治療部門』、『予防医療部門』の4つの部門に分かれている。

『診療部門』

診療部門と検査治療部門との連携強化を図った。診療部門スタッフが、検査治療部門での内視鏡室やテレビ室などにローテーション勤務を実施し、業務の習得を行った。結果、緊急内視鏡などが発生したとき、スムーズに検査対応が出来るようになった。また、検査治療部門への応援体制も構築できた。

4階東 154
5階西 154
5階東 155
6階西 155
6階東 156
7階西 156
7階東 156
8階西 157
8階東 157
ICU 158
HCU 158
外来･ER 158
手術室 159
透析室 159
退院調整 160
入退支援 160
保健指導 161

『救急部門』

地域医療への貢献を担うために、救急受け入れ体制の充実を図った。ベッドサイド心電図モニターを2台増やし、ER初療室のベッドコントロールが円滑に出来るように調整を行った。結果、お断り理由に初療室満床のための理由は減少、病床満床のためと救急が重なった為が多い状態であり、今後も継続して、救急受け入れ体制の充実を図っていく。2020年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の患者様（発熱のある患者）を積極的に受け入れており、今後も継続していく。

『検査・治療部門』

内視鏡件数、平均704/月件　前年度より100件増であった。

入院患者様対象のESD・ERCP・気管支鏡検査などの治療を対象に申し送り用ワードパレットを作成し、治療の時間や薬剤投与量治療中の状況を引き継ぎ、継続看護へ繋げた。今後も外来患者様に対し、限られた少ない時間で必要な情報を見極めて、個別看護の充実に努め、不安を最小限に、且つ安全に検査を受けて頂くように配慮していく。

『予防医療部門』は「保健指導」として別に記載

昨年に引き続き、新型コロナウィルス感染症の外来・ERの役割は重要となる。「断らない医療」の病院理念を基本に地域医療に貢献できるように努めていく。

手術室

2021年より手術室が1室増加し、8室で稼働している。また、手術室の1室をハイブリッド手術室へ改装した。2021年の手術件数は5,938件（内、緊急手術1,052 件）で、前年対比＋674件。コロナ禍であるが、殆どの診療科で手術件数は順調に増加した。昨年より多職種と協働して入院前支援外来を実施し、入院前から総合的にかつ継続的に患者様とそのご家族様に介入・支援を行っている。社会の超高齢化に伴い、手術を受ける患者様の高齢化も進んでいる。安心して手術に臨み、患者様の背景を踏まえた介入を早期に行い、早期退院に繋げていけるよう、情報提供・情報共有に努めていく必要がある。2022年2月よりダヴィンチ手術が開始となる。泌尿器科より使用開始し、徐々に対象手術を拡大していく予定であり、対応できる看護師の育成を行っている。今後も、患者様の安全･安心を常に考え対応できる看護師育成および、安全な手術環境を提供できるよう、継続して取り組んでいく。

透析室

透析室は一般フロア39床と個室1床があり、外来通院透析患者様と近隣透析施設より当院での治療を受ける患者様を午前と午後の2クール体制で受け入れている。2021年、登録患者数（月平均）は100名と大きな変動はない。透析導入になった患者様は55名で前年より16名も増加した。80歳を超えての透析導入も増加傾向である。入院患者様はのべ553名で前年より39名増加した。心臓カテーテル検査を受ける患者様の入院も継続的にみられている。転入出の数も転入112名、転出109名と前年より、非常に増加し、さらに、HCUの患者様の透析も多く、重症度が高く、入れ替わりの激しい透析室となった。外来透析では、当院通院患者様

4階東 154
5階西 154
5階東 155
6階西 155
6階東 156
7階西 156
7階東 156
8階西 157
8階東 157
ICU 158
HCU 158
外来･ER 158
手術室 159
透析室 159
退院調整 160
入退支援 160
保健指導 161

の高齢化が進み、2021 年も通院が困難という理由で他施設に行かれた患者様がいた。その他では、がんの終末期を迎えた患者様について、がん看護認定看護師、心理療法士らとカンファレンスを開き、残された日々を透析センターとしてできることはないか皆で話し合いをしたことは非常に有意義であった。腹膜透析では、登録患者数は 9 名と登録数の伸び悩みがある。喜ばしいことは、2 名の透析患者様が家族からの腎臓の提供による腎移植手術を受け透析離脱を果たされた。当院は 20 歳代､30 歳代の透析患者様もいる。今後の腎移植に期待したい。スタッフでは、病棟より異動の看護師 3 名を迎えた。3 名は病棟経験を日々の透析看護に活かすことができている。様々な合併症を持つ患者様も多く、高齢化、重症化に対応できる急性期病院の透析看護師の役割を果たすことと、安全意識の高い透析室をつくることを目標に取り組んでいきたい。

《透析患者数動き》 2021.1.1 ～ 2021.12.31

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計	平均
外来患者平均	27	25	26	26	22	23	25	25	25	22	23	24	293	24
入院患者平均	10	11	12	14	15	12	15	16	14	13	12	12	156	13
登録患者数平均	100	96	102	110	109	110	102	94	98	95	96	93	1,205	100
導入患者合計	4	4	5	6	3	2	6	2	2	6	7	8	55	5
死亡患者合計	5	2	2	2	1	5	3	7	3	4	7	2	43	4
転入患者合計	35	41	48	50	34	35	51	52	45	54	55	53	553	46
転出患者合計	32	32	47	44	41	39	45	41	46	45	38	39	489	41

退院調整チーム

入退院支援部門の退院支援チームは後方支援を担い、入院前支援スタッフと入院前から患者様が安心して入院生活を送り退院後の生活を支援するため病棟看護師や家族、地域の医療介護連携を行っています。入院時支援介入は 659 件でした。介護保険を有する患者様は平均 37.8% 高齢や独居、経済的理由など介護保険を予定や申請無いケースもあり退院支援は病棟看護師と MSW や他職種と協働し支援調整をしています。退院支援カンファレンスは 5,181 件。退院支援リンクナース会にて病棟看護師の支援にアセスメント力や自己決定支援、看護サマリーの見直し、早期作成の着手に協力を依頼。がん終末期や医療依存度が高い患者様の退院前カンファレンス 37 件でその内、医師同席 17 件、訪問看護師と情報連携 306 件。2020 年と比較し医療機関（+148）老健（+38）老人ホームなど（−53）障がい福祉施設など（+4）在宅診療（+35）軽快（+32）の結果となり医療や介護看護の強い療養環境や在宅が増えた。

新型コロナウィルス感染症感染対策に面会禁止制限が続く中、患者様とそのご家族様の不安もさることながら高齢者の認知機能低下や ADL 低下が危惧され早期リハビリや介護保険申請など必要な患者様への支援を他職種連携強化し速やかな退院支援の実施に努めたい。

入退院支援

入退院支援部門の入院時支援では、病気になり入院しても、住み慣れた地域で継続して生活できることを目指して介入している。術前で全身麻酔の予定患者様を対象に、入院前支援外来を週 2 回、入院時支援を行い、入院前支援外来では、医事課事務員が入院予約の案内及び手続きを行うところから連携が始まり、入院前支援外来日には、入退院支援看護師･手術室看護師･薬剤師により、患者様とそのご家族様へ安心・安全な入院療養生活を送れるよう支援し、患者

様満足度の向上を目指している。また､患者様の個々に対応できるように､体制を確保しメディカルソーシャルワーカー、栄養科などの多職種協働により、退院支援・退院調整が早期に介入できるよう連携している。

2021 年 10 月より、人生会議（ACP）の普及啓発活動として、入院時支援で患者様とそのご家族様への普及啓発をするとともに、意思決定の支援を開始。大阪府の人生会議のパンフレットを用いて、229 部配布。人生会議を知っている・人生会議を行っている対象は 9 名であった。今後の課題として、医療従事者含め、一般市民向けに更に、普及活動を推進していきたい。

保健指導

健診センターではメタボリックシンドローム該当者に対する特定保健指導を、外来では糖尿病を中心とした慢性疾患患者様の療養支援や禁煙支援、小児の予防接種支援を、病棟では糖尿病教育入院や心臓リハビリテーション後の心疾患患者様に対する療養支援を、疾病の発症予防から合併症の再発予防まで幅広い分野で患者様支援に携わっている。また、医療講演や依頼講演では、疾病予防、疾病管理に関する正しい健康情報を地域に向けて積極的に発信している。今年度の保健指導件数は、3,697 件 / 年で、領域では糖尿病外来が最も多く、健診利用者への保健指導､禁煙指導と続く｡糖尿病外来における介入件数が2,167 件／年と全体の 58.6％を占め、診療やチーム内のコーディネート、療養指導、フットケア、合併症パスにおける神経学的検査や硬結チェックなど、幅広い患者様支援を継続的に行っている。続いて、健診・人間ドック受診者に対する保健指導と特定保健指導を合わせ、健診利用者への保健指導が 964 件／年と全体の 26％を占める。特定保健指導件数は昨年と比較すると減少傾向にあるが、3 ヶ月に渡って支援することによってよりメタボリックシンドロームの改善効果が得られることから、初回面談実施率だけでなく継続率の向上が今後の課題である。今後もチームで協同しながら、患者様や健診利用者の良好な健康行動や療養行動の自立に向けて支援を行っていく。

《保健指導の領域件数》

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
外来保健指導	8	4	5	9	5	7	5	4	9	6	6	4	72
外来禁煙指導	12	33	28	21	19	14	19	10	15	31	22	8	232
心臓リハビリ	4	3	3	2	2	4	5	2	3	2	1	5	36
小児科外来	15	20	6	2	6	6	8	20	10	15	9	31	148
糖尿病外来	165	150	175	173	136	190	198	218	214	206	167	175	2,167
病棟	6	9	5	5	0	6	5	9	8	9	5	5	72
院外	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
健康相談	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	4
健診・人間ドック	29	54	35	41	31	48	38	38	47	56	50	41	508
特定保健指導	31	47	50	41	31	25	48	32	40	35	35	41	456
合計	270	320	307	295	230	300	326	334	348	361	296	310	3,697

4階東 154
5階西 154
5階東 155
6階西 155
6階東 156
7階西 156
7階東 156
8階西 157
8階東 157
ICU 158
HCU 158
外来･ER 158
手術室 159
透析室 159
退院調整 160
入退支援 160
保健指導 161

2. メンバー構成

看護部副看護部長：髙橋章恵
5 階西病棟看護師長：山本真紀
6 階西病棟看護師長：中島麻由美
7 階西病棟看護師長：井本ユミ
8 階西病棟看護師長：竹内裕子
ICU 看護師長：村中烈子
外来・ER 看護師長：宮本千代美
透析室看護師長：栗田美貴
退院調整看護師長：加藤和代
4 階東病棟看護師長：吉田暁美
5 階東病棟看護師長：柴山智賀子
6 階東病棟看護主任：秋田裕香里
7 階東病棟看護主任：坂田レミ
8 階東病棟看護副主任：中嶋美也子
HCU 看護主任：乾恵美
手術室看護師長：柴山智賀子
保健師主任：酒井菜穂子

3. 教育実績

実習受入れ一覧

学校名	科目	期間	学生数	実習場所
小阪病院看護専門学校	成人看護学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	5月10日～5月28日	10名	
	成人看護学Ⅱ、Ⅲ	5月31日～6月17日	9名	
	成人看護学Ⅱ、Ⅲ	6月21日～7月8日	6名	
	基礎看護学Ⅲ	7月12日～7月26日	11名	
	基礎看護学Ⅰ	8月31日～9月1日	6名	
	成人看護学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	9月27日～10月14日	6名	
	小児看護学	9月27日～10月29日	12名	
	成人看護学Ⅱ、Ⅲ	10月18日～11月5日	6名	
	統合	11月22日～12月9日	12名	
	基礎看護学Ⅱ	12月14日～12月17日	11名	
	成人看護学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	1月11日～1月27日	7名	
	成人看護学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	1月11日～1月24日	2名	再実習
	成人看護学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	1月26日～2月8日	1名	再実習
	成人看護学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	1月31日～1月27日	8名	
大阪府医師会看護専門学校	老年看護学実習Ⅱ、成人看護学実習ⅠⅡ	6月14日～7月2日	7名	
	小児看護学	7月5日～7月9日	3名	
	成人看護学Ⅰ、Ⅲ	7月5日～7月16日	4名	
	成人看護学Ⅰ、Ⅲ	8月23日～8月27日	4名	
	成人看護学Ⅱ、Ⅲ	8月30日～9月17日	5名	

学校名	科目	期間	学生数	実習場所
大阪府医師会看護専門学校	小児看護学	8月30日～9月3日	2名	
	成人看護学Ⅱ、 老年看護学Ⅱ	9月27日～10月15日	5名	
	小児看護学	10月4日～10月8日	2名	
	成人看護学Ⅰ、Ⅲ、 老年看護学Ⅱ	10月18日～11月5日	6名	
	看護の統合と実践実習	11月8日～11月26日	6名	
アナン学園高等学校	小児看護学	8月16日～8月19日	2名	
	小児看護学	8月2日～8月5日	3名	
	統合実習	10月1日～10月6日	6名	
	成人看護学Ⅰ	10月11日～10月15日	3名	
	基礎看護学Ⅱ	1月11日～1月21日	7名	
錦秀会看護専門学校	小児看護学	4月16日～4月22日	3名	
	小児看護学	4月26日～4月30日	2名	
	小児看護学	5月10日～5月14日	3名	
	小児看護学	5月17日～5月21日	2名	
	小児看護学	5月24日～5月28日	3名	
	小児看護学	5月31日～6月4日	3名	
	小児看護学	6月7日～6月11日	3名	
	小児看護学	6月14日～6月18日	3名	
	小児看護学	6月21日～6月25日	3名	
	小児看護学	6月28日～7月2日	3名	
	小児看護学	7月5日～7月9日	3名	
	小児看護学	7月12日～7月16日	3名	
	小児看護学	8月30日～9月3日	3名	
	小児看護学	9月6日～9月10日	2名	

院内研修

《レベルⅠ》

研修日	研修名
5月	急変時対応研修 (既卒新人)
	メンタルヘルスケア (新人)
6月	看護記録　正しい記録の書き方･看護過程
7月	一次救命の処置ができる
8月	物品管理とコスト意識
9月	卒後6ヶ月研修「リフレクション」
10月	多重課題（リフレクション）
11月	倫理研修「日常の看護ケアで考える倫理」
12月	看護を語る　ナラティブ
1月	看護技術「フィジカルアセスメント」
2月	振り返りレポート発表会

《レベルⅡ》

研修日	研修名
2月	チューターになる準備

《レベルⅢ》

研修日	研修名
7月	リーダーシップ
8月	チューター研修　現状の問題
11月	チューター研修「リフレクション」

《レベルⅡ・Ⅲ》

研修日	研修名
7月	医療安全 インシデントレポートの書き方･記録
8月	メンバーシップ
9月	看護記録
	災害看護
10月	ＲＣＡ研修Ⅱ
1月	倫理研修

《レベルⅣ・Ⅴ》

研修日	研修名
7月	RCA研修Ⅰ
9月	災害看護
	災害看護
10月	医療安全 「医療事故発生時の対応」
11月	看護記録
12月	ＲＣＡ研修Ⅱ　自部署の事例発表

《レベルⅤ》

研修日	研修名
1月	教育担当者研修

《看護研究》

研修日	研修名
10月	看護研究の基本･進め方
	研究論文の書き方
11月	統計について
1月	査読方法

《管理者》

研修日	研修名
6月	DiNQL
8月	ロジカルシンキングⅠ
11月	ロジカルシンキングⅡ
12月	RCA追加研修

《トピックス》

研修日	研修名
6月	認知症高齢者看護の基礎①
7月	接遇Ⅰ 前期
8月	化学療法（薬剤・管理・副作用）
	接遇Ⅰ 後期
12月	認知症高齢者看護の基礎②せん妄教育
	接遇Ⅱ 前期
	摂食嚥下（摂食）
1月	接遇Ⅱ 後期
2月	二次救命処置研修

《スキルアップ》

研修日	研修名
6月	疼痛緩和
	呼吸不全の病態
7月	ACP（アドバンスドケアプランニング）
	がん看護-化学療法-
	摂食嚥下（誤嚥）
	心電図
	入・退院支援の実際
8月	酸素療法（HFT含む）
	ELC（エンド・オブ・ライフ・ケア） コミュニケーション
	入退院支援研修「地域との連携Ⅰ」
9月	症状緩和
	人工呼吸（IPPV）
	循環器のフィジカルアセスメント
10月	入退院支援研修「地域との連携Ⅱ」
	人工呼吸（TPPV）
	人工呼吸（NPPV）
	摂食嚥下（誤嚥評価）
	心不全の看護
	二次救命処置研修
	臨床倫理
12月	メンタルヘルスケア・ラインケア研修
	化学療法
	入退院支援研修（老健・特養研修）
1月	もしバナゲーム
	虚血性心疾患の看護
	人工呼吸（NPPV）体験編
3月	摂食嚥下（摂食）

《看護補助者》

研修日	研修名
5月	看護補助者研修 ラダーレベルⅢ
	看護補助者研修 ラダーレベルⅠ
6月	看護補助者研修 ラダーレベルⅡ

《看護協会　短期研修》

研修日	研修コース名
5月	レポート（小論文）の書き方①
	危険予知トレーニング①
	コーチング・コミュニケーション
6月	診て聴いて触って実践に活かすフィジカルアセスメント②（講義・演習）
	災害、その時あなたはどう動く！①
	今日から実践できる褥瘡ケア①
	病院・入院施設から地域医療へつなぐ退院支援・退院調整看護
	臨地実習指導者①
	施設内の教育体制と部署で教育を任された人の教育活動
	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修①
	COVID19感染症に関する看護管理者研修
	ACP支援専門人材育成研修管理者研修②
7月	診て聴いて触って実践に活かすフィジカルアセスメント④（講義・演習）
	災害看護における初期医療支援活動①
	やってみよう家族アセスメント！ ～明日から変わる！？家族のとらえ方～
	ストーマ・瘻孔のスキンケア
	摂食・嚥下障害のある患者の看護基礎と実際を学ぶ
	高齢者の特性を踏まえたエンド・オブ・ライフ・ケア
	臨地実習指導者②
	看護補助者のための医療安全①
	オンライン研修「COVID19感染症対策の基礎を学び，看護実践に活かす」
	セカンドレベル公開講座「人事労務管理・労働災害とその対策」
	SNS等も含む個人情報の適切な取り扱い
	ACP支援専門人材育生事業専門人材育成研修
8月	一時救命処置を学ぼう②
	一般病病棟における急変を防ぐ観察と看護のポイント①
	救急・集中治療領域におけるクリティカルケア
	糖尿病重症化予防フットケア研修①
	がん化学療法を受ける患者の支援
	組織で取り組む感染管理①
	認知症高齢者の看護実践に必要な知識①
9月	災害看護における初期医療支援活動②
	みんなで考える看護倫理：基礎編
	実践に活かす静脈注射・輸液管理の基礎知識 ～デバイスの特徴と使用頻度が高い薬剤～
	実践に活かす小児救急
	認知症患者のケア ～認知症患者が安心して医療を受けられるケアを考える～
	がん患者の症状緩和をはかる看護
	チームで取り組む医療安全～やってみよう！ TeamSTEPPS～
	看護職のための教育学～リフレクションを活用して～
	多職種協働とコンフリクトマネジメント ～組織内の円滑なコミュニケーションに向けて～
	みんなで取り組む業務カイゼン
	SWOT分析で病棟の課題を見つけよう
	認知症高齢者の看護実践に必要な知識②
	医療・看護場面で使う英会話（基礎編）
	2021年度e-ラーニング活用型医療安全管理者養成コース

研修日	研修コース名
10月	看護チームにおけるリーダーシップ研修①
	看護管理者のリフレクション
	頑張る主任・副看護師長のストレス対処法 ～アンガーマネジメントでストレス軽減～
	認知症高齢者の看護実践に必要な知識③
	【ファーストレベル公開講座】経営資源と管理の基礎
	みんなで考える看護倫理：アドバンス
	よりよい意思決定に向けたナッジの活用 ～看護現場をよりよくする仕掛け～
	これでいいの？今考えるキャリアデザイン
	今すぐ使えるフレイル予防①
	高齢者の「食」を考える ～肺炎を予防するための知識と実際～
11月	みんなで考えるスピリチュアルケアの本質
	良い睡眠へのケア
	ファシリテーションの基本を学ぼう
	糖尿病療養指導の実践的知識
	今すぐ使えるフレイル予防②
	精神疾患の既往を持つ患者の対応
	感染管理の基礎知識
	医療安全の基本と医療事故防止行動
	認知症高齢者の看護実践に必要な知識④
12月	人工呼吸器装着患者の看護①
	人工呼吸器装着患者の看護②
	災害、その時あなたはどう動く！②
	慢性心不全患者の療養支援
	がん放射線療法を受ける患者の看護
	組織で取り組む感染管理②
	実地指導者研修
	認知症高齢者の看護実践に必要な知識⑤
	セカンドレベル公開講座「保健福祉サービスの現状と課題」
	セカンドレベル公開講座「看護サービスの質保証/ クオリティマネジメント」
	ICT導入に関する基礎から応用までのワークショップ ～目指せ！ICTで多職種連携！！
	2021年度　第4回ファーストレベル
1月	看護記録のあり方を学ぶ
	看護研究の基礎
	今日から実践できる褥瘡ケア③
	現場で活かす医療メディエーション
	概念化スキル（コンセプチュアルスキル）で問題解決・人材育成
	コロナ禍の新人教育を考える～第2弾～
2月	レポート（小論文）の書き方②
	大人の発達障害
	看護チームにおけるリーダーシップ研修②
	組織の現状分析から各編につなげる看護管理
	セカンドレベル・サードレベルフォローアップ
	大阪府看護職員認知症対応力向上研修②
3月	退院支援強化研修　第2回目

《看護協会　長期研修》

研修日	研修コース名
5月	第1回大阪府保健師助産師看護師実習指導者講習会

《徳洲会グループ》

研修月	開催主催	研修コース名
6月	徳洲会グループ	第 11 回～ 13 回「徳洲会グループ医療安全管理者養成研修」
12月	徳洲会グループ	医療メディエーター養成研修（基礎編）

《その他》

研修月	開催主催	研修コース名
11月	NPO法人日本ACLS協会	PEARS 研修

2）研究発表業績

1）院外発表

年月日	学会名	病棟名	発表者名	テ　ー　マ
2021/5/20～ 2021/6/12	第64回日本糖尿病学会年次学術集会	外来・ ER	酒井　菜穂子	チームカンファレンスが糖尿病患者の療養行動に及ぼす効果の検証
2021/10/2	第13回日本摂食嚥下障害看護研究会	7東	川原　毅得	ターミナル期に食支援を行うことで疼痛緩和した事例を振り返る ～トータルペインの軽減に繋がった要因を検討する～
2021/7/15～ 2021/7/30	第23回日本医療マネジメント学会 学術総会	7東	今道　里香	ストーマ看護パスによるパウチ選定の標準化と平均在院日数の短縮への取り組み
2021/8/19～ 2021/8/22	第29回合同学術大会 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 および第2回世界嚥下サミット	7東	川原　毅得	脳卒中患者に対して看護師が嚥下障害の観察を行うと誤嚥性肺炎の発生と嚥下機能の改善に関係するか

(2) 雑誌投稿・著書発刊

著者名	表題	雑誌名／出版社名	発行年月
柴山智賀子 村野尚久	「手術看護エキスパート２０２１」 患者の移送や移乗に伴うトラブル	日総研	2021 年 3 月

委　員　会

―― 2021年 ――

48）呼吸ケアチーム（RST）　170
49）院内感染対策委員会（ICT）　171
50）褥瘡対策委員会　175
51）研修管理委員会　176
52）栄養サポートチーム（NST）　179
53）緩和ケアチーム　181
54）がん緩和支援委員会　182

48）呼吸ケアチーム（RST）

リハビリテーション科　片田　理恵

呼吸ケア 170
院内感染 171
褥瘡対策 175
研修管理 176
栄養サポ 179
緩和ケア 181
がん暖和 182

1. 概要

ICU 専従 PT を配置した全症例への介入により、入院 24 時間以内での早期介入と早期離床を継続。昨年同様、新型コロナウィルス感染症患者への介入件数は増え、特に重症患者の隔離解除後の介入では長期間のリハビリテーションが必要な場合が多かった。

全体的に実施件数は多くなかったが、例年と同様に看護師や臨床工学技士と連携を図り安全面に配慮しながら早期離床を実践。周術期の呼吸理学療法や慢性呼吸不全に対する在宅酸素療法の調整・導入も昨年同様に実施しており急性期から在宅までの一貫した呼吸リハビリテーションを提供している。

2. メンバー構成

医　　師：　原田博雅、石原英樹、緒方嘉隆、濱口眞成
看　護　師：　村中烈子、鴨木沙織
臨床工学技士：　藤田和睦、藤村篤志、杉山真一、向井砂帆、長谷川弘将、岡本誠人、野間康平、三原寿之、玉城賞、吉村有梨奈、本間敦久、皮智炫、西村宥哉
理学療法士：　片田理恵、長谷川静、阪口千尋

3. 実績

呼吸リハチーム対象

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	平均
患者数	881	951	1,144	1,035	933	1,069	1,072	944	1,138	1,064	994	1,107	1,027
単位数	1,140	1,275	1,423	1,202	1,150	1,253	1,365	1,211	1,344	1,287	1,214	1,415	1,273

ICU 早期離床加算

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
患者数	83	83	83	75	77	79	76	77	73	90	109	103	1,008

4. 今後の目標

・呼吸リハスタッフの増員
・ICU での早期離床、365 日介入の充実

49）院内感染対策委員会（ICT）

感染対策室室長　渋谷　豊克

1. 概要

【八尾徳洲会総合病院　感染管理指針】

第１　医療従事者全員が、感染症に対する正しい認識を持ち、倫理的配慮に考慮した感染防止対策を実施します。感染対策を充実させることで、患者様が安心して医療を受けられる病院を目指します。

第２　病院長を中心に、積極的な感染対策を実施するとともに、技術的事項等を常に検討し、院内各部門への情報共有を図ります。全ての職員に対し、組織的対応の指示や、教育を行い、感染対策マニュアルに基づいて、手洗いの徹底など根拠のある感染防止対策に努めます。

第３　感染が疑われる事例が発生した場合には、速やかに対策を講じ、介入を図ります。また、重大な感染事例や集団発生の場合には、発生の原因を究明し改善策を立案します。これを実施するために、全職員への周知徹底を図ります。必要な場合には、行政などへ協力を依頼し、迅速な対応を図ります。

第４　近隣の医療・介護・福祉機関や行政と共に、地域完結型医療の一環として地域の感染制御を支援していきます。また感染における安全な在宅医療を提供していきます。

2. メンバー構成

・院内感染対策委員会

病院長、看護部長、事務部長、薬局長、検査技師長、その他

職種：医師、看護師、事務員、臨床検査技師、薬剤師、管理栄養士、臨床工学技師、理学療法士、放射線技師、保育士

・感染対策室

専従配置：看護師１名（感染管理認定看護師、第一種衛生管理士）

専任配置：医師２名（ICD）、薬剤師３名（感染制御認定薬剤師）、臨床検査技師２名、看護師３名

・ICT（感染対策推進チーム）

職種：医師、看護師、臨床検査技師、薬剤師、栄養士、臨床工学技師、理学療法士、放射線技師

・AST（抗菌薬適正使用支援チーム）

職種：医師、看護師、臨床検査技師、薬剤師

呼吸ケア 170
院内感染 171
褥瘡対策 175
研修管理 176
栄養サポ 179
緩和ケア 181
がん暖和 182

3. 実績

項目	内容
感染管理システム 地域連携	①河内地域感染管理ネットワークによる毎月の例会開催 ②中河内感染防止対策協議会への参画 感染防止対策 1－2 連携：東朋八尾病院　松原・東大阪徳洲会 地域連携（1－1 連携）：八尾市立病院　医真会八尾病院　野崎・吹田徳洲会 ③徳洲会グループ　感染管理部会　72 施設連携 ④帰国者・接触者外来の運営 ⑤地域外来検査センターの運営 ⑥検温・問診（発熱）外来の運営 ⑦新型コロナウイルス感染症 入院時スクリーニング　入院後 5 日目スクリーニング　転院時スクリーニング
感染管理教育	①院内感染対策講習会開催：年 2 回 不参加者への伝達講習会、e-ラーニング ②新人研修開催 ③徳洲会グループ　関西・大阪ブロック感染管理セミナー開催：1 回
サーベイランス	①河内地域・徳洲会グループ：耐性菌サーベイランス ②厚生労働省サーベイランス（JANIS）：検査、手術部位、ICU、全入院 ③日本環境感染学会サーベイランス（JHAIS）：SSI 部門 ④日本看護協会　DiNQL 事業参加 ⑤プロセスサーベイランス：手指衛生、ケアバンドル ⑥デバイス（CABSI、CAUTI、VAP）サーベイランス ⑦院内保育園でのノロウイルス・ロタウイルス監視
感染防止技術	①徳洲会グループ　手指衛生キャンペーン開催 ②防護具着脱訓練 ③ N95 マスクフィットテスト
職業感染対策	①入職時健診：HBV、HCV、麻疹、風しん、水痘、ムンプス、T-SPOT ②ワクチン接種：HBV、麻疹、風しん、水痘、ムンプス、インフルエンザ、 新型コロナウイルス感染症 ③労働安全衛生委員会との連携
ファシィリティ・マネジメント	①栄養科職員のノロウイルス検査の実施 ②空調清掃、水道蛇口清掃 ③ゾーニングの見直し、工事 ④陰圧室の差圧モニタリング ⑤全病棟にウォーターサーバーを導入

【リスクアセスメント】

項目	発生リスク	患者・訪問者・職員に対するリスク	組織的対策の必要性	準備状況	スコア
VAP	2	2	2	2	8
CAUTI	3	2	2	2	9
CABSI	3	2	2	2	9
ASP	2	2	3	2	9
SSI	2	3	2	2	9
MRSA	4	3	3	2	12
CD トキシン	4	2	2	2	10
B.cereus	2	2	2	1	7
インフルエンザ	2	2	2	1	7
新型コロナウイルス感染症	4	4	4	3	15
手指衛生	4	4	4	2	14

点数表

発生リスク	患者・訪問者・職員に対するリスク	組織的対策の必要性	準備状況	スコア
1. なし 2. 低い 3. 中等度 4. 高い	1. なし 2. 一時的 3. 多大・永久的 4. 致命的	1. なし 2. 低い 3. 中等度 4. 高い	1. 良好 2. 中等度 3. 不十分	最大値　15 点 最小値　4 点

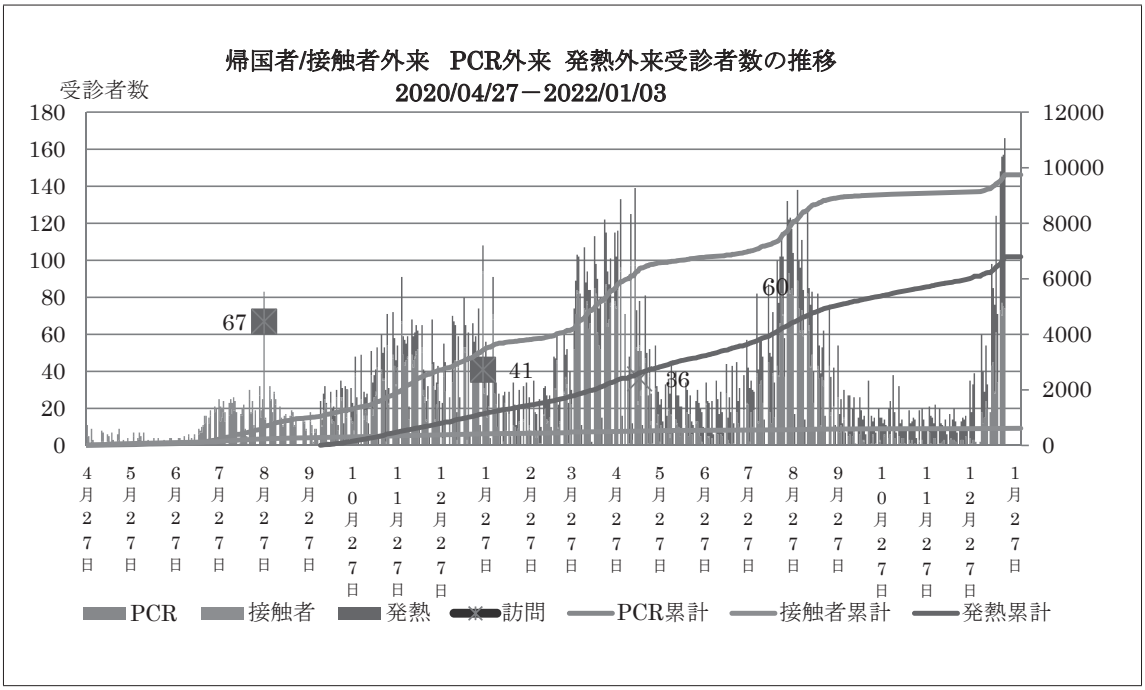
【成果指標】

・2021 年度に特定した課題と優先順位

順位	課題	指標	平均値	目標値	対策
1	新型コロナウイルス感染症	クラスター発生件数	1期1件(5月)	0件	入院患者スクリーニング
					職員スクリーニング
			2期0件		就業前の体調確認・検温
			3期0件		e-ラーニングによる教育
2	耐性菌（MRSA）	発生密度率	1期：0.48‰	0.4‰	手洗いキャンペーン
			2期：0.72‰		標準・接触予防策
			3期：0.44‰		監視培養(ICU/HCU)
					環境培養
					感染制御支援システム POT法
3	手指衛生	手指衛生実施率	1期平均 78.3%	平均値80%	遵守率調査の実施
			2期平均 76%		各部署にて評価、プログラムの実施
			3期平均 81%		eラーニングによる教育
					環境、手指培養の実施
4	CABSI	発生密度率	1.26→1.65‰	0.6‰	院内感染対策マニュアル10章遵守
	CAUTI		0.44→1.83‰	1.25‰	院内感染対策マニュアル13章遵守 標準・接触予防対策

呼吸ケア 170
院内感染 171
褥瘡対策 175
研修管理 176
栄養サポ 179
緩和ケア 181
がん暖和 182

《新型コロナウイルス感染症に関連した外来実績》



4. 今後の目標

上記概要記載の感染管理指針に準拠したうえで、行政機関などから発表される情報も含め、情報を収集し、状況に応じた対応を行ってまいります。新型コロナウイルス感染症における院内クラスター発生については、最小限に食い止められるよう努め、患者様が安心して医療を受けられるよう万全を期したいと考えております。

50）褥瘡対策委員会

形成外科部長　綾部　忍

1. 概要

当院は 2002 年より褥瘡対策委員会を発足しています。医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士・資材課・医事課で構成され、毎週 1 回の回診を行い、それぞれの専門的な知識や技術を出し合って効果的・効率的な褥瘡予防・治療を目指しています。

さらにきめ細かいケアを行うため、看護部各部署にリンクナースを配備しています。

2. メンバー構成

医　　師	綾部忍、渡辺瑛介、入潮実季、曽和幹、中桐由貴
看 護 師	柴山智賀子、坂田レミ、河畑美香、山﨑知美
管理栄養士	齋藤朝美、篠田歩美
薬 剤 師	山田直輝
理学療法士	野村日呂美
資 材 課	柏山文成
医 事 課	宮本奈実

3. 実績

2021 年 1 月～ 12 月の実質褥瘡発生率平均	1.67%
年間褥瘡発生件数	251 件
年間持ち込み褥瘡件数	225 件

4. 今後の目標

院内勉強会や高機能エアマットレスの整備を行い、褥瘡予防に努めるとともに褥瘡治療に対して、創傷被覆材や NPWT（陰圧閉鎖療法）などを駆使した保存療法・皮弁手術を行っています。

2021 年は、褥瘡院内発生件数の 1.59% が D3 以上の深さを呈する重症褥瘡であったため、今後の課題として各部署の褥瘡リンクナースへの継続教育・褥瘡ラウンドおよび褥瘡回診カンファレンスの充実化を図り、早期発見・早期治癒に向けて取り組んでいきたいと考えています。

呼吸ケア 170
院内感染 171
褥瘡対策 175
研修管理 176
栄養サポ 179
緩和ケア 181
がん暖和 182

51）研修管理委員会

研修管理委員長　原田　博雅（院長）
プログラム責任者　髙原　良典（内科医長）

1. 概要

当院は厚生労働省指定の基幹型臨床研修病院及び協力型臨床研修病院として初期臨床研修医の育成を行っています。プライマリ・ケアと救急医療を中心に、数多くの症例を経験することで総合的な臨床能力をもった医師の育成を目指しており、集中治療から在宅医療まで幅広く経験できる環境です。研修環境について討議できる場として月１回研修医会議を行っており、指導医・研修医双方が研修環境の改善に取り組めるような雰囲気作りを心がけています。

本年は研修医の「医師の働き方改革」の取り組みを本格的に始めました。まずは出退勤打刻徹底の指導から、時間外勤務申請を導入、当直体制の見直しや当直明けは速やかに帰宅させるように声がけを行いました。診療科によって当直明けの体制に差があるなど、まだ課題がありますので、引き続き研修医の働き方改革を進めていきます。

本年の目標の一つとして掲げていた「研修医の学会発表を増やす」につきましては、指導医の協力もあり、今年度は研修医全員が１回以上の学会発表をすることができました。

また、日本医療教育プログラム推進機構（JAMEP） 基本的臨床能力評価試験に参加し始めました。今後は研修医年次ごとの臨床能力を客観的に把握し、総合力を高めるために積極的に活用していきたいと考えています。

専門研修プログラムに関しては、現在基幹施設として内科、外科、総合診療科が認定を受けています。さらに、2021 年度は整形外科をⅡ型プログラムの基幹施設として新たに申請しました。

脳神経外科、形成外科、麻酔科、救急科、泌尿器科、放射線科、眼科、病理診断科領域については、引き続き大学病院や徳洲会グループの各施設と連携を取りつつ当院の特色を生かし、初期研修から専門研修へとシームレスな移行が出来るよう企画・運営を行っていきます。

2. メンバー構成

研修管理委員長：原田博雅（院長）　　プログラム責任者：髙原良典（内科医長）
事務責任者：井上雅章（事務部長）
外部委員：2 名（菊池内科　菊池 博院長、医療法人幸晴会　常務理事　玉田 浩氏）
委員：52 名（内訳　院内医師 12 名、看護部・コメディカル 11 名、協力施設医師 29 名）

3. 実績

1）研修医数

《 初期臨床研修 》

１年次：4 名　　２年次：4 名

《 専攻医 》

（連携施設として受入れ）

大阪市立大学脳神経外科専門研修プログラム（1 名）、大阪市立大学形成外科専門研修プロ

グラム（3名）、大阪医科大学眼科専門研修プログラム（2名）、岸和田徳洲会病院内科専門研修プログラム（1名）

2）勉強会・カンファレンス等

《医局発表》 Grand Round

毎週金曜日 AM8:10 から学会形式の医局発表を行っています。

初期研修医の発表練習の場として開催しています。 （※は初期研修医による発表）

発表内容	開催日
研修医紹介(※)	4月16日
小児科って	4月23日
精神医学概論　精神科医は何をみているか	5月7日
小腸癌の1例	6月11日
COVID-19感染の1ヶ月後にギランバレー症候群を発症した1例(※)	6月18日
難治性足潰瘍について	6月25日
EBウイルスによる伝染病単核球症の1例(※)	7月9日
神経根障害による胸腹部圧迫感で発症した神経サルコイドーシスの1例(※)	7月16日
虫垂悪性腫瘍に関する検討(※)	8月6日
転落外傷による頚部損傷の2例(※)	8月13日
病理検体から得られる情報	8月27日
胆嚢炎を契機に第3脳室底開窓術を行いジャント離脱に至った水頭症の1例	9月10日
診断が困難であった腹痛、大量腹水を認めた1例(※)	9月17日
健常児の食道裂孔ヘルニアに対し腹腔鏡下噴門形成術を施行した1例	10月1日
内服薬が問題をおこした3例(※)	10月8日
非対称漏斗胸に対するNuss法アレンジの1例	10月29日
術後数年を経て発症したダンピング症候群の4例	11月12日
診療看護師NP	11月19日
審査腹腔鏡が診断に有用であった腹腔内巨大嚢胞の1例(※)	11月26日
gradeⅢaの肝損傷に対し緊急DSAを行った1例(※)	12月3日
呼吸不全の病態	12月17日
SVC症候群を合併した小細胞肺癌	12月24日

《臨床病理検討会》

（※は初期研修医による発表）

演　題	開催日
激しい局所浸潤　癌性腹膜炎を認めた膵癌の1例(※)	1月22日
入院経過中に食道気管瘻を認めた1例（※）	3月26日
間質性肺炎、気管支喘息、そして石綿肺	4月30日
KRAS遺伝子変異を認めた肺腺癌（※）	5月28日
来院後7日で死亡した原因不明のDICの1例（※）	8月27日
急激な経過をたどったALCLの1例（※）	9月24日
精巣原発DLBCLに対し、R-CHOP療法開始後肺胞出血をきたした1例（※）	11月26日
血尿が持続した膀胱全摘回腸導管造設後の1例（※）	12月24日

呼吸ケア 170
院内感染 171
褥瘡対策 175
研修管理 176
栄養サポ 179
緩和ケア 181
がん暖和 182

3）各種講習会への参加支援

ICLS、ACLS、BLS、緩和ケア研修会をはじめ、JATEC、PALS や TNT 研修会など、各種講習会への参加を奨励し費用の負担などを行っています。

4）研修医の主な卒業大学

大阪市立大学、奈良県立医科大学、大阪大学、弘前大学、福井大学、関西医科大学、徳島大学、高知大学、鳥取大学、香川大学、島根大学、兵庫医科大学、名古屋市立大学、琉球大学、金沢大学、金沢医科大学、大阪医科大学、近畿大学、秋田大学、富山大学、京都大学など、研修医の出身大学も多岐にわたっています。学閥にとらわれない開かれた医局が特徴です。

4. 今後の目標

・初期臨床研修医の募集定員増員に向けて取り組む、および専攻医採用に力を注ぐ
・研修医のスキルアップを図るため、院内勉強会を再考・計画的に実施する
・研修医のインシデント・アクシデント報告意識を高め、医療安全体制を確立する
・引き続き働き方改革について臨床研修医労働時間短縮計画の取り組みを行う

52）栄養サポートチーム（NST）

NST 委員長　木村　拓也

1. 概要

栄養サポートチーム（以下、NST）は特別な栄養管理を必要とする入院患者様を対象に、通常の食事だけでなく静脈栄養、経腸栄養を含む全ての栄養療法における適切な栄養管理・評価・提案を行い、一日でも早く良好な栄養状態に改善できるように活動している。

2021 年は、入院時栄養評価の遵守率と再評価の遵守率について調査を行った。入院時栄養評価はほぼ 100％実施できているのに対し、再評価の遵守率は低値を示したため、再評価のタイミングについて検討を行った。

2020 年は新型コロナウイルス感染症の影響で NST 教育認定施設としての研修生受け入れを行うことができなかったが、2021 年度は研修生の受け入れを再開。計 13 名の受け入れを実施した。

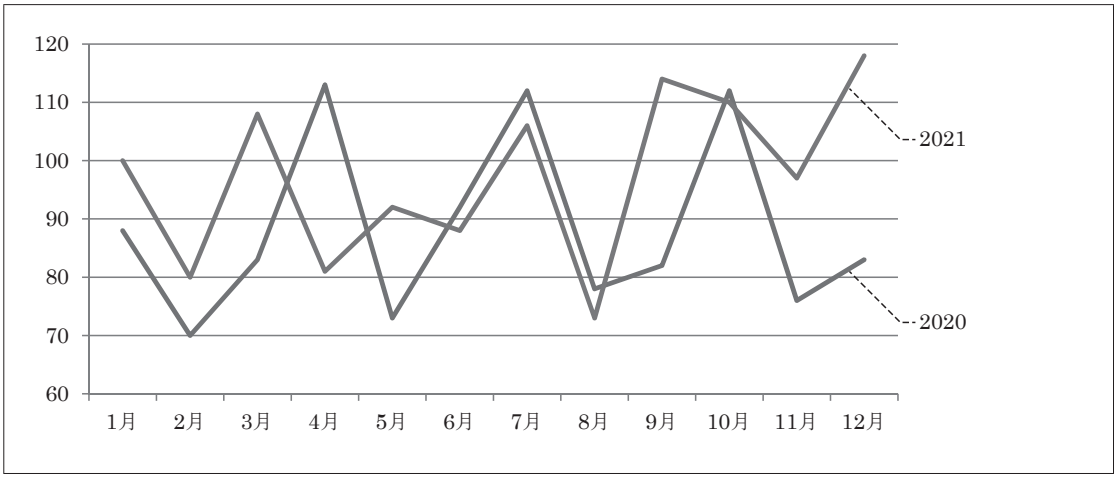
2021 年も院内勉強会等の研修は開催できなかったが、栄養補助食品や経腸栄養剤の種類や用途を理解し、患者様に適した選択ができるよう、NST ポケットブックの改定を実施した。

2. メンバー構成

医師	3名	臨床検査技師	2名
看護師	14名（リンクナース含む）	言語聴覚士	2名
薬剤師	4名		
管理栄養士	3名		

3. 実績

≪ NST 加算件数≫



	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計	平均
2020	88	70	83	113	73	92	112	78	82	112	76	83	1,062	88.5
2021	100	80	108	81	92	88	106	73	114	110	97	118	1,167	97.3

昨年と比較し、総件数は +105 件、月平均 +8.8 件の増加となっている。

4. 今後の目標

・教育、研修

2021 年度実施出来なかった勉強会を開催し、栄養療法に関する知識を習得できるようにする。

感染対策を行なった上で、2022 年度も研修生の受け入れを積極的に行う。

・研究、発表

定期的な症例検討会の実施、日本臨床栄養代謝学会や日本病態栄養学会など地方・全国学術集会へ参加し、培った知識や技術を患者様に還元できるよう日々研鑽に努める。

呼吸ケア 170
院内感染 171
褥瘡対策 175
研修管理 176
栄養サポ 179
緩和ケア 181
がん暖和 182

53）緩和ケアチーム

看護師長 / 緩和ケア特定認定看護師　松本　静香

1. 概要

大阪府がん診療拠点病院に緩和ケアチームの設置が義務づけされています。当院の緩和ケアチームは、診療科医師（外科・内科・麻酔科・心療内科）、緩和ケア特定認定看護師、薬剤師、作業療法士、公認心理師、管理栄養士の多職種で患者様の苦痛を少しでも緩和できるようサポートしています。対象は入院患者様とし、予後予測ツールを用いて、残された時間を大切に過ごして頂くための支援も行っています。治療が困難になった終末期の患者様だけでなく、がんと診断された早期の段階から患者様とそのご家族様の身体的、精神的苦痛を和らげる事ができるよう活動しています。

2. メンバー構成

医師：垣本佳士、髙原良典、池下和敏、杉本貴美子
看護師：松本静香（がん性疼痛看護認定看護師）、苗代啓子（がん化学療法看護認定看護師）
薬剤師：里岡達哉、山田直輝、青山瑛里子
公認心理師：朴祐希、宮坂なつ花
作業療法士：黒川湧哉、梅崎大貴
管理栄養士：小山洋史、佐藤友亮

3. 実績

《緩和ケアチーム介入件数》

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総数	平均
14	10	20	13	19	22	8	6	4	20	30	4	170	14.2

《がん種別件数》

肺	胃	大腸	膵	肝	胆管（胆嚢含）	乳	前立腺	その他
1	7	8	9	0	1	0	2	7

《院内緩和ケア研修会》　＊コロナにより制限あり

開催日	講演 1	講演 2	参加者
3月4日	がん患者と管理栄養士の関わり	緩和ケア領域のちょっとした話題	34名
6月3日	がんリハにおける ADL に困難を生じた方へのアプローチ	緩和ケアに化学療法って関係あるんですか	47名
10月14日	緩和ケアにおける心理士の関わり	地域医療のお話	28名
12月2日	緩和ケアチームとしての管理栄養士の関わり	ACP と人生会議	27名

4. 今後の目標

急性期病院治療を継続するがん患者様の支援を行い、より良い人生の最終段階に向けた時間を過ごせるよう支援を行っていきます。

呼吸ケア 170
院内感染 171
褥瘡対策 175
研修管理 176
栄養サポ 179
緩和ケア 181
がん暖和 182

54）がん緩和支援委員会

看護師長 / 緩和ケア特定認定看護師　松本　静香

1. 概要

がん診療に関し診療密度の高い医療を提供し、大阪府がん診療拠点病院として指定要件を満たすことを目的とする。がん患者と家族の QOL を向上させるために、がんの全ての病期、治療過程において出現する身体的、心理的、社会的、スピリチュアルな問題に対し、積極的、継続的かつ総合的な緩和ケアを提供するための体制づくりを目的として、がん緩和支援委員会（以下「委員会」という）を設置している。

2. メンバー構成

委 員 長：	外科医師	垣本佳士（緩和ケア研修指導者）
事務局長：	看護部	松本静香（緩和ケア特定認定看護師）
書　　記：	作業療法士	黒川湧哉、梅崎大貴
委　　員：	麻酔科医師	池下和敏（緩和ケア研修指導者）
	内科医師	高原良典（緩和ケア研修指導者）
	心療内科医師	杉本貴美子
	看護部	苗代啓子（がん化学療法看護認定看護師）
	薬剤部	里岡達哉
	公認心理師	朴祐希、宮坂なつ花
	医事課	西田美帆
	管理栄養士	小山洋史、佐藤友亮
	MSW	三谷勇一

3. 実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総数	平均
がん指導管理料イ	5	2	8	3	11	7	6	9	10	6	6	3	76	6.3
がん指導管理料ロ	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	3	0.25
がん指導管理料ハ	45	40	48	46	32	51	34	45	43	30	47	47	508	42.3
ケモ食	196	247	80	175	6	62	35	113	117	66	105	70	1,272	106

《スクリーニング件数》

	総数	Dr/Ns	MSW	サービス	なし
化学療法	10	1	0	2	7
外来	123	34	20	23	64
放射線治療	135	45	17	20	76
合計	266	80	37	45	147

《がん地域連携パス件数》

	胃がんF	胃がんケモ	大腸がんF	大腸がんケモ	乳がん	肺がん	緩和パス
適応件数	27	0	44	0	0	7	0
実施件数	21	0	31	0	0	7	0

4. 今後の目標

コロナ禍の影響により、病院へ行くことを控えているため早期がんの発見が遅れている可能性がある。がん治療が滞ることなく行われるよう各部署が連携して支援を行っていく必要がある。また、終末期がん患者が最期まで自分らしく生きられるよう支援していく。

関　連　施　設

―― 2021年 ――

55）八尾徳洲会介護センター　186
56）よろこび訪問看護介護センター　190
57）よろこび訪問看護ステーション　191
58）介護老人保健施設 八尾徳洲苑　194
59）八尾徳洲苑介護センター　202
60）特別養護老人ホーム久宝寺愛の郷　204

55）八尾徳洲会介護センター

管理者　矢竹　千津栄

介護セン 186
よろこび 訪問看護介護 190
よろこび 訪問看護ステ 191
徳洲苑 194
徳洲苑 介護セン 202
特養久宝寺 愛の郷 204

1. 概要

2022年2月より介護職員のさらなる処遇改善が図られることが決定しています。その中には看護職員・保育士も含まれ、介護支援専門員は対象から除外されました。今まで複数回にわたり処遇改善が実施されてきた介護職員の離職者は以前より減ってきましたが、未だ改善が図られていない介護支援専門員は感染症や災害への備えなど業務が拡大している中で、業務量と待遇の不均衡から人材確保は深刻な状況となっています。当事業所も2名体制のまま、新規採用は絶望的な状況です。打開策として八尾徳洲会総合病院併設の八尾徳洲会介護センターと八尾徳洲苑併設の八尾徳洲苑介護センターは2022年4月に統合し、八尾徳洲会介護センターとなる予定です。また2年以内にはサービス付き高齢者向け住宅（サ高住）を開設する予定で、そこに向けた介護支援専門員と介護職員の確保は喫緊の課題です。統合後は対外的な評価・実力を落とさないよう、迎合でもあきらめでもなく、英知と努力の集結により、一人ひとりの利用者の望む生活の実現に向け、邁進していきたいと思います。

2. メンバー構成

管理者・主任介護支援専門員：矢竹　千津栄
主任介護支援専門員：井澤　瞳

3. 実績

1）業務実績

《介護度別請求人数》

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
要介護1	9	9	10	11	12	11	12	13	14	14	14	14	143
要介護2	17	17	16	17	17	17	16	15	17	16	16	13	194
要介護3	18	18	16	17	17	15	16	16	14	14	14	15	190
要介護4	14	14	15	14	11	15	15	12	12	15	16	14	167
要介護5	7	7	8	5	5	3	3	4	4	6	9	10	71
利用者合計	65	65	65	64	62	61	62	60	61	65	69	66	765

《加算》

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
初回加算	2	0	4	2	1	2	3	2	2	5	5	1	29
入院時情報連携加算(I)	3	4	5	5	2	3	4	4	1	3	5	4	43
入院時情報連携加算(II)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退院･退所加算(I1)	1	2	1	2	1	2	2	0	2	2	1	1	17
退院･退所加算(II1)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3
退院･退所加算(I2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
退院･退所加算(II2)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
退院･退所加算(III)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通院時情報連携加算	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
加算合計	6	7	11	10	4	7	9	6	5	12	12	7	96

《業務量》

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
モニタリング訪問	66	65	67	65	63	62	62	60	64	69	69	65	777
サービス担当者会議	11	12	8	9	8	9	17	8	9	22	16	13	142
新規	3	3	3	3	0	3	4	2	2	5	3	3	34
終了	3	2	5	1	6	0	4	1	4	1	6	6	39

2）研修

・法定研修

7/19、7/29、10/11、11/8、11/24、12/21　主任介護支援専門員更新研修／矢竹

・大阪府各市町村主催の研修・連絡会

3/11　八尾市介護給付適正化研修　2020 年度 「居宅介護支援事業者向け研修」
～課題分析の理解及び居宅サービス計画作成の留意点～　Web 研修／矢竹、井澤

3/15　八尾市地域福祉部高齢介護課　2020 年度　多職種連携研修会
「在宅医療における薬剤師と多職種連携」 Web 研修／矢竹、井澤

6/25　2021 年度　八尾市介護給付適正化研修　介護報酬の改定について　Web 研修／矢竹、井澤

8/12　八尾市健康福祉部高齢介護課 「認知症対応力向上研修」 Web 研修／矢竹、井澤

・八尾市介護保険事業者連絡協議会

3/4、5　2020年度　八尾市介護保険事業者連絡協議会　居宅介護支援事業者部会　定例会
大阪介護支援専門員協会　八尾支部　研修会　合同研修
「当事者理解を深める事例検討会」 Web 研修／矢竹、井澤

11/11　2021年度　居宅介護支援事業者部会　新人研修会「ケアマネジメントのプロセスを理解する」 Web研修／矢竹、井澤

介護セン 186
よろこび 訪問看護介護 190
よろこび 訪問看護ステ 191
徳洲苑 194
徳洲苑 介護セン 202
特養久宝寺 愛の郷 204

・大阪介護支援専門員協会

2/22　大阪介護支援専門員協会　旭区支部 「2021年介護報酬改定最新情報」 Web研修／矢竹、井澤

4/14　大阪介護支援専門員協会　八尾支部　研修会「2021年度　介護報酬改定について」 Web研修／矢竹

4/27　一般社団法人　日本介護支援専門員協会　2021年度　介護報酬改定説明会　Web研修／矢竹、井澤

7/2　大阪介護支援専門員協会　旭区支部　総会記念講演「自立支援・重度化防止のためのLIFE運用から見えるケアマネジャーの役割」 Web研修／矢竹、井澤

・法人内

2/27　GCP研修　個人情報保護法改正　e-Learning ／矢竹、井澤

3/17　2021年度　介護報酬改定　ブロック研修会　Web研修／矢竹、井澤

6/3　緩和ケア講習会
ADL・IADL障害に対する対応、緩和ケアに化学療法って関係あるんですか? ／井澤

8/28　2021年度　個人情報保護研修 「医療現場における個人情報の取扱い」 e-Learning ／矢竹、井澤

8/28　医療安全全体研修
患者への“正しい”謝り方　～患者に対する謝罪と医療訴訟～　e-Learning ／矢竹、井澤

・事業所内

［疾患別研修］1/28、2/18、3/11、4/8、5/13、6/10、7/8、8/12、9/9、10/14、11/11、12/9

［認知症研修］4/15、8/19

［事 例 研 究］3/18、7/15、9/16

［症例検討･報告･情報提供･伝達研修］2/18､4/1､4/15､5/6､5/20､5/21､7/1､7/28､11/25､12/2

・その他

1/7　厚生労働省老健局　高齢者支援課　認知症施策・地域介護推進課　老人保健課　介護保険サービス従事者向けの感染対策に関する研修　Web研修／矢竹、井澤

3/17　2021年度　介護保険法改正&介護報酬改定　直前セミナー　Web研修／矢竹

3/30、4/3、5、7　令和2年度　厚生労働省老健局　業務継続計画（BCP）作成支援指導者養成研修　Web研修／矢竹、井澤

9/2　厚生労働省老健局　認知症施策・地域介護推進課
「適切なケアマネジメント手法の策定、普及推進に向けた調査研究事業」の「手引き」等の解説　Web研修／矢竹、井澤

9/22	八尾在宅医療多職種連携会議　主催　田中のりクリニック 「コロナ禍における在宅診療所の役割、発熱患者の診察対応」 Web研修／矢竹、井澤
10/13	BCP策定の解説と第三者評価に関するオンラインセミナー　Web研修／矢竹、井澤
10/22	2021 年度　難病患者在宅医療・介護体制強化事業研修会 「炎症性腸疾患について」 大阪府難病診療連携拠点病院　市立東大阪医療センター　Web 研修／矢竹、井澤
10/27	八尾在宅医療多職種連携会議　主催　田中のりクリニック 「コロナウイルスの最新治療」 Web研修／矢竹、井澤
10/27、11/16、19	LINE　WORKS　オンライン教室 BCP対策と向き合う　2024年義務化となるBCP策定のポイント解説 Web研修／矢竹、井澤

4. 今後の目標

八尾徳洲会介護センターとしての特定事業所加算Ⅰの再取得を目指す。

56）よろこび訪問看護介護センター

管理者　宮崎　美子

介護セン 186
よろこび 訪問看護介護 190
よろこび 訪問看護ステ 191
徳洲苑 194
徳洲苑 介護セン 202
特養久宝寺 愛の郷 204

1. 概要

2021 年はコロナ禍での訪問介護サービスが、介護職員にとって精神的ストレスであり疲弊する時がありました。各利用者様もコロナ禍で家族とも会えず、他人と交流が出来ない事で、ストレスが溜まり、心身弱っておられる方もいました。

そんな中で、訪問介護職員がいかにしてモチベーションを維持し続けるかが課題だと感じています。利用者の入所、死去で件数が減少しましたが、現在認知症利用者（家族虐待疑い）など今までとは違った内容の訪問があり、今後増えるであろう認知症の関わり方を職員で勉強中です。

また、利用者の心身状態の異常に早く気づき適切なケアに繋げる事が出来るよう、他職種との連携を図れるよう努めたいです。

2. メンバー構成

管理者　　：宮崎　美子（介護福祉士、認知症実践者研修修了者）
サービス責任者：三島　麻美（介護福祉士）

訪問介護職員

常　勤：宮崎　美子（兼務）、 三島　麻美（兼務）
非常勤：徳永　秀美、 星川　順華、 中西　順子

その他

常　勤：中橋　照子

3. 実績

《研修及び行事》

11 月　ヘルパーの為の認知症講座（初期症状の見つけ方とケアマネへの伝え方）
12 月「安心するな COVID-19」
　　病院と地域に出来る事を医療介護従事者と一緒に考えよう

4. 今後の目標

・職員の質の向上に向けた研修に積極的に参加します。
・より良い介護サービスを実施します。

57）よろこび訪問看護ステーション

管理者　森　浩子

1. 概要

介護保険法が制定されて 20 年が経過しました。4 月介護報酬改定により基本報酬はわずかに増額となったものの、医療ニーズのある要介護者の在宅療養を支えるための看護体制強化加算や、サービスの質向上や職員のキャリアアップを推進するためのサービス提供体制加算は条件が細分化され、元々算定出来ていた単位数を下回るものが生じました。また、訪問リハビリの提供回数や評価の見直しにて基本報酬が下げられ、結果的に前年度より 1 件あたりの単価が下がり、減収となる厳しい年でした。

反面、新型コロナウイルス感染症に対応するための特別評価が医療保険、介護保険共に 9 月まで実施され、訪問継続の為の我々の防護策の費用は賄われました。

今年は本所、支所が交わって訪問するように計画していたが、新型コロナウイルス感染症がまたいつ拡大するかもしれないという懸念や、それぞれの看護アプローチの違いを生かしていくという方向性の変化により､利用者スタッフ共に別々に活動継続する事にしました｡定例ミーティングは合同で行い情報交換に努めましたが、全員顔を合せることが容易でなく、十分な意見交換の時間にならなかった面があったので、来年はより充実したものにしたいと考えています。

2. メンバー構成

管理者：森　浩子

看護師〈常勤〉：森　浩子（兼務）・須賀　明美・長谷川　由紀子・佐藤　晶代・
吉田　宝・吉村　理恵・見崎　加奈（2月育休より復帰）・
廣瀬　賀洋子（7月産休、10月より育休）・安部　純奈（7月入職）・
中澤　陽子（1月末退職）

看護師〈非常勤〉：辻本　由加里

理学療法士〈常勤〉：松本　龍也

3. 実績

《訪問看護》

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
利用者	145	142	146	144	143	152	143	140	147	143	143	135	1,723	143.6
訪問件数	962	920	984	906	787	880	835	834	830	813	805	834	10,390	865.8
新規導入者	11	8	17	14	7	18	10	10	17	10	14	8	144	12.0
終了者(その他)	6	11	13	15	8	9	18	15	10	13	14	15	147	12.3

介護セン 186
よろこび 訪問看護介護 190
よろこび 訪問看護ステ 191
徳洲苑 194
徳洲苑 介護セン 202
特養久宝寺 愛の郷 204

《研修及び行事》

1月15日	令和2年度第7回訪問看護師支援委員会（森）
1月26日	令和2年度第7回大阪府ステーション協会中河内ブロック管理者会（須賀）
2月16～18日	精神科基本療養費算定WEB研修（須賀）
2月18日	徳洲会グループ訪問看護ステーション所長WEB会議（森）
2月19日	令和2年度第8回訪問看護支援委員会（森）
3月17日	徳洲会介護報酬改定WEB研修（須賀）
3月19日	令和2年度第9回訪問看護支援委員会（森）
3月23日	令和2年度第8回大阪府ステーション協会中河内ブロック管理者会（森）
3月26日	八尾市看看連携会議（森）
4月16日	令和3年度第1回訪問看護支援委員会（森）
4月27日	令和3年度第1回大阪府ステーション協会中河内ブロック管理者会（森）
5月13日	徳洲会グループ訪問看護ステーション管理者研修（森／須賀）
5月18日	徳洲会グループ訪問看護ステーション初任者研修（吉村）
5月20・26日	太成学院大学オンライン授業（森）
6月 3・16日	太成学院大学オンライン授業（森）
6月 9日	徳洲会グループ訪問看護ステーション初任者研修（吉村）
6月10日	令和3年度第2回訪問看護支援委員会（森）
6月15日	八尾市介護保険事業者連絡協議会　訪問看護グループ幹事会（森）
6月22日	令和3年度第2回大阪府ステーション協会中河内ブロック管理者会（森）
6月23日	徳洲会グループ訪問看護ステーション初任者研修（吉村）
7月 7日	徳洲会グループ訪問看護ステーション初任者研修（吉村）
7月17～18日	理学療法士協会管理者WEB研修（松本）
7月21日	徳洲会グループ訪問看護ステーション初任者研修（吉村）
7月27日	令和3年度第3回大阪府ステーション協会中河内ブロック管理者会（森）
	ACP支援専門員育成事業　専門人材育成研修（須賀）
8月 6日	八尾市看看連携会議／研修会（森）
8月18日	徳洲会グループ訪問看護ステーション初任者研修（吉村）
8月24日	令和3年度第4回大阪府ステーション協会中河内ブロック管理者会（森）
9月 4日	大阪府訪問看護ステーション協会　管理者研修（須賀）
9月 9日	令和3年度第3回訪問看護支援委員会（森）
9月15日	徳洲会グループ訪問看護ステーション初任者研修（吉村）
9月28日	令和3年度第5回大阪府ステーション協会中河内ブロック管理者会（森）
10月11日	令和3年度第4回訪問看護支援委員会（森）
10月15日	徳洲会グループ看護部部長／所長研修（森／須賀）
10月26日	令和3年度第6回大阪府ステーション協会中河内ブロック管理者会（森）
	徳洲会グループ訪問看護ステーション初任者研修　野崎ST（吉村）
11月 1日	よろこび訪問看護ステーション25周年
11月 4日	徳洲会グループ訪問看護ステーション初任者研修

11月 9日　　八尾市介護保険事業者連絡協議会　訪問看護グループ研修（森／長谷川）
11月11日　　令和3年度第5回訪問看護支援委員会（森）
11月12日　　八尾市看看連携会議（森）
11月25日　　令和3年度第7回大阪府ステーション協会中河内ブロック管理者会（森）
12月17日　　八尾市介護保険事業者連絡協議会　訪問看護グループ幹事会（森）

《実習受け入れ》

大阪府医師会看護専門学校　計11名
5/10～14（2名）、5/17～21（1名）、5/31～6/4（2名）、9/6～10（1名）、
9/13～17（2名）、11/29～12/3（2名）、12/16～21（1名）
太成学院大学　計25名
2020年度生：1/25～28（3名）、2/8～12（3名）、3/1～4（2名）、3/8～11（3名）
2021年度生：9/27～30（2名）、10/18～21（3名）、11/8～11（3名）、11/15～18（3名）
12/6～9（3名）
日本医療学園付属東亜看護学院　計2名
9/9～10（2名）

8月16日より週2回11月まで　吹田病院石黒看護師　訪問看護研修
8月20・24日　吹田病院黒松看護師　訪問看護看護研修
11月4日　徳洲会グループ訪問看護ステーション初任者研修　野崎ST窪田看護師

4.今後の目標

本所、支所が連携し、誰もがよろこんでいただける看護サービスをおこなうと共に、在宅における感染対策、災害対策にとりくみ、在宅看護の質の向上に努めます。

58）介護老人保健施設　八尾徳洲苑

施設長　岩井　敦志

介護セン 186
よろこび 訪問看護介護 190
よろこび 訪問看護ステ 191
徳洲苑 194
徳洲苑 介護セン 202
特養久宝寺 愛の郷 204

1. 概要

引き続き新型コロナウイルス感染症の対応に追われるなか、年度途中で施設長が交替することとなった1年でしたが、2021年の業務報告をいたします。

先ず経営面では、通所約20～21名/日・入所約95～98名/日と比較的安定しており、対前年診療報酬総合計も増加しておりました。在宅復帰・在宅療養支援機能指標も超強化型を維持することができる水準を達成することができました。

新型コロナウイルス感染症対策として、職員・入所者の新型コロナウイルスワクチン接種を極一部の例外を除いて2回接種しました。合わせてインフルエンザワクチンの接種も施行しました。

面会禁止は継続中で、Skypeによる面会のみとしていましたが、オミクロン株による急速な感染拡大直前の12月末に4日間計30名の対面面会を行うことができました。入所者やご家族には多大な精神的負担をおかけすることになってしまいましたが、幸いなことに苑内での新型コロナウイルス感染症の発症はなく経過することができました。

今後も、精神科の往診を受けつつ、書道･生け花･手芸などのクラブ活動や体操･リクリエーションなどにより入所者の精神的負担の軽減を図り、歯科医師・歯科衛生士の往診による口腔内ケアやリハビリによる身体機能の維持向上に努め、精神・身体両面からの支援を継続して行いたいと思います。

今後もなお一層のご協力を賜りますようお願い致します。

2. 実績

《利用者数実績》

1）入所療養介護（長期入所）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均	前年比
利用者数	90	96	102	108	106	104	106	105	103	104	107	106	1237	103	110.3%
延べ人数	2,634	2,476	2,860	2,876	3,006	2,912	2,916	2,995	2,915	2,977	2,835	2,835	34,237	2,853	108.3%

2）短期入所療養介護（ショートステイ）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均	前年比
利用者数	6	4	3	5	3	4	4	6	4	5	7	5	56	4.6	－30%
延べ人数	24	22	8	13	18	10	9	16	8	20	37	15	200	16.6	－46.9%

3）通所リハビリテーション（デイケア）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均	前年比
利用者数	73	67	69	71	69	66	69	65	65	65	67	66	812	67.6	107.2%
延べ人数	580	554	624	622	592	624	629	609	613	627	633	615	7,322	610	102%

《入所経路と在宅復帰》（長期入所）

1）入所前場所

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年比
自宅	0	1	2	3	0	0	3	1	1	1	0	4	16	123%
八尾徳洲会	5	7	6	9	8	3	6	7	5	10	8	12	86	126%
他病院	1	4	3	1	1	2	3	2	0	0	4	4	25	113.6%
介護施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	－87.5%
他施設	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	－%
合計人数	6	12	12	13	9	5	12	10	6	11	13	20	129	116%

2）退所先

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年比
自宅	1	1	1	4	3	3	5	3	5	3	3	2	34	106%
八尾徳洲会	2	2	2	4	2	3	2	2	2	1	5	7	34	135%
他病院	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	5	166%
特養	2	1	1	0	0	0	1	1	1	1	3	3	14	145%
老健	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	－%
死亡(看取り)	0	1	1	1	1	2	1	0	1	1	1	1	11	－%
その他施設	1	1	2	2	2	0	2	0	1	3	6	3	23	115%
合計人数	7	6	7	11	8	8	13	6	10	9	19	17	121	107%
在宅復帰率	28.5%	40%	50%	60%	71.4%	50.0%	58.3%	50%	66.7%	75.0%	50%	31.3%	51.8%	－%

一年間の在宅復帰率は、64.3%（前年55%）である。

《医療依存度》

1）重症度症例数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
平均要介護度	3.5	3.4	3.4	3.4	3.4	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	-	3.35
経管栄養	96	82	96	90	92	90	93	96	93	96	90	84	1,098	91.5
インシュリン	39	28	31	15	13	3	0	10	29	31	60	61	320	26.6
褥瘡処置	43	80	79	38	61	53	16	44	74	31	54	30	603	50.2
酸素吸引	62	56	62	54	31	30	31	31	30	31	45	48	511	42.5
頻回吸引	214	209	188	196	210	235	221	220	226	215	184	204	2,522	210
点滴注射	101	81	51	69	75	72	45	63	104	74	66	121	922	76.8

介護セン 186
よろこび 訪問看護介護 190
よろこび 訪問看護ステ 191
徳洲苑 194
徳洲苑 介護セン 202
特養久宝寺 愛の郷 204

稼働床に対する割合

2）看取り件数（過去 13 年）

2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	合計	平均	前年比
15件	9件	7件	10件	12件	2件	5件	3件	5件	3件	4件	1件	11件	87件	7.25件	10.1%

3）重症者搬送件数

八尾徳洲会総合病院	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均	前年比
	0	0	3	3	2	1	1	0	2	1	3	3	19	1.58	111.7%

【機能訓練室】　　理学療法士副室長　水島　知絵

1. 概要

今年も新型コロナウイルス感染拡大予防策を遵守し、利用者様への個別リハビリテーションの提供や各種活動に取り組みました。例年通り在宅復帰予定者へは、退所前後訪問にて生活環境調整や介護指導等を実施し、超強化型老健の指標維持に協力しました。また、令和３年度介護報酬改定で新設された、老健におけるリハビリテーションマネジメント計画書情報加算の算定手順を定め、算定を開始しました。

PT1 名が認知症介護指導者と介護老人保健施設リスクマネジャーの資格を活かし、権利擁護やリスクマネジメントに関する講演依頼に対応しました。外部研修へはオンライン形式であったため参加が叶い、各分野の知識・技術・態度の向上に努めることができました。

2. メンバー構成

理学療法士　５名
作業療法士　１名
言語聴覚士　１名（非常勤）

3. 実績

1）通所・入所　個別リハビリテーション実施件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
実施延べ数	1,303	1,391	1,559	1,509	1,412	1,464	1,455	1,394	1,427	1,386	1,364	1,333	17,001	1,417
内、加算算定数	307	365	449	435	434	437	318	288	285	314	345	330	4,307	359

2）講演活動

ＰＴ水島：・大阪府認知症介護実践研修（実践者・実践リーダー）
・施設内研修「施設内におけるプライバシー保護について」

ＰＴ土井：・大阪府認知症介護実践研修（実践者・実践リーダー）
・大阪介護福祉士会ファンデーション研修「身体拘束・権利擁護」
・奈良リハビリテーション専門学校「脳疾患患者に対する理学療法」
・野田福祉会「BCPと認知症ケア」
・キャリア開発センター「認知症との共生と予防の最新動向」

3）研修参加
・徳洲会グループ介護事業所安全対策研修（PT土井）
・八尾市介護保険事業者連絡協議会認知症研修（PT範・PT川村・OT谷合）

4. 今後の目標
感染拡大予防策を継続し、個別リハや講演活動を行います。また、リハビリテーションマネジメント計画書情報加算の算定要件でもある、厚生労働省からのフィードバックデータをリハビリテーションの適切かつ有効な実施のためにどう活かすか、が課題です。さらに、科学的介護推進加算や通所のリハビリテーションマネジメント加算算定に向け、関係部署と連携していきます。

【栄養科】　管理栄養士主任　樋口　晶代

1. 概要
栄養科では、嚥下困難である方への嚥下食（キザミ食・ペースト食）について、食べやすい形状と美味しさを目標に取り組んできました。また利用者様が楽しみとされる食事イベントは、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策により制限されましたが、提供方法や内容を変えて楽しめる食事の工夫に取り組みました。特に通所利用者様には「バイキング」形式の食事イベントが喜ばれるため、新たなバイキングメニューも増やしました。
栄養管理においては、介護報酬改定に伴い栄養管理がより重視され、新たに「栄養マネジメント強化加算」が導入されました。残念ながら強化加算としては配置基準が満たず算定できませんでしたが、基準サービスである「栄養マネジメント」においては、多職種との連携をより深め、個々に応じた栄養確保の検討や経口維持に対する食事形態の検討・定期的なモニタリング･評価を行っていきました。当施設の栄養リスク判定は、月平均すると低栄養（Alb3.5 未満）の割合が 77%（低栄養状態：中リスク者 59%、高リスク者 18%）となります。また嚥下調整食が必要な方は約 30%であり、このうち 90%以上が低栄養に該当することからも、多職種との連携を通した栄養管理の重要性が高くなっています。

2. メンバー構成
管理栄養士　樋口　晶代

介護セン 186
よろこび 訪問看護介護 190
よろこび 訪問看護ステ 191
徳洲苑 194
徳洲苑 介護セン 202
特養久宝寺 愛の郷 204

3. 実績

1）療養食加算（長期入所） 食数

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均	月平均件数
1,486	1,388	1,487	1,429	1,396	1,339	1,242	1,504	1,524	1,520	1,532	1,334	17,181	1,432	477

2）経口維持加算（Ⅰ）（Ⅱ） 件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
（Ⅰ）	14	13	13	15	15	14	11	13	15	15	16	15	169	14
（Ⅱ）	5	5	5	7	6	8	8	7	9	9	9	10	88	7

3）行事食・イベント食

1月　1～3日：正月おせち料理、新年会 松花堂弁当、（通所）焼きたて餃子
2月　節分 巻き寿司、（通所）サンドイッチ・パンバイキング
3月　握り寿司バイキング
4月　春の花見弁当、（通所）揚げたて天ぷら
5月　端午の節句　弁当、（通所）おでんバイキング
6月　お楽しみ寿司ランチ、（通所）中華バイキング
7月　七夕　ちらし寿司と七夕そうめん、（通所）サンドイッチ・パンバイキング
8月　（通所）揚げたて天ぷら
9月　敬老の日　祝い弁当、（通所）おでんバイキング
10月　ハロウィン、（通所）焼きたて餃子
11月　秋の行楽弁当、（通所）揚げたて天ぷら
12月　お楽しみ中華ランチ、（通所）中華バイキング

4）実習生受け入れ

・関西福祉科学大学健康福祉部福祉栄養学科　臨床栄養臨地実習　実習生2名
・武庫川女子大学生活環境学部食物栄養学科　臨地実習Ⅰ（給食管理学実習）　実習生2名

4. 今後の目標

今後とも多職種との連携を行いながら、利用者様の状態に見合った栄養管理と安全で美味しい食事の提供を行えるように努めていきます。

【支援相談員】　支援相談員副主任　北出　眞和

1. 概要

基本的には長期入所・短期入所・通所リハビリテーションを希望される方の窓口となり、ご利用にあたっての相談対応支援を中心に活動を行っています。

入所は100床あるベッドを運用し、入退所調整を行っています。100床中1床を短期入所用として活用しています。新型コロナウイルス感染症の影響は引き続き続いており、短期入所の

利用を希望される方は年々減少傾向にあります。当施設内でも感染対策に関しては各部署と連携をとり安心した利用の提供と、長期入所者への対応も検討しベットの利用を考えていきたいと思います。

入所サービスは基本的に要介護認定を受けられ、介護を必要とする高齢者の自立を支援し、在宅への復帰を目指すために、各職種との協働の下、リハビリテーション・栄養管理・食事・入浴などの日常サービスまで併せて提供するサービスとして、相談対応させていただいております。在宅復帰が困難な方にも長期間入所できる施設等の情報提供は実施しており、安心して生活できる環境の提供を心がけ対応しています。

通所リハビリテーションに関しても感染対策に留意し、対応を行いました。利用者数の増加はみられませんでしたが、広報誌等の作成も実施し、見学対応が困難な状況でも情報発信をしていきたいと思います。

老健施設基準でもある「在宅復帰超強化型」は維持できていますが、入所者数の継続した維持が難しい年になりました。支援相談員が3名体制にもなり今まで以上にできる事を実践していきたいと考えています。

今後も新たな取り組みを検討・構築し、各医療機関や地域でお困りの方に対して積極的に情報発信していき、医療機関の後方支援先・地域の相談窓口としての協力体制を整えていきたいと考えています。

2. メンバー構成

北出　眞和　　小茂田　加奈　　今野　あきの

3. 実績

121名の方が退所されました。内在宅復帰34名（28%）病院搬送39名（32%）特養入所者14名（11%）有料老人ホーム入所者（有料･サービス付き高齢者向け住宅など含む）23名（19%）となっております。昨年に比べ在宅復帰を希望される方もおられ、在宅復帰者と住宅系施設入所者で退所者数の約半数となります。

本年の年間在宅復帰率は52.6%。在宅復帰率が50%を上回りました。

4. 今後の目標

長期入所に関しては在宅復帰超強化型を維持し、安定した入所者数の確保目標にしていきたいと思います。

初めて3名体制となり、相談から対応までのスピードを今まで以上に迅速にしていきたいと思います。医療機関や地域からの相談に対して、地域の窓口として開けた対応を実践していくと共に、施設運営の向上に繋がる支援体制を今後も構築していけるように努力していきたいと思います。

介護セン 186
よろこび 訪問看護介護 190
よろこび 訪問看護ステ 191
徳洲苑 194
徳洲苑 介護セン 202
特養久宝寺 愛の郷 204

【介護・看護部】　　総看護師長　武田　郁子

1. 概要

新型コロナウイルス感染症の影響は今年度も大きく、利用者様、家族様にはご不便をおかけしています。感染防止対策は「持ち込まない、拡げない」を基本的な考えとし取り組んできました。利用者様の体調管理はもとより、職員自身の体調管理とその家族の健康観察を行い施設内での感染を防御してきました。幸いにもクラスターを起こすことなく経過しています。そんな中、利用者様が楽しく充実した時間を過ごせるようにと職員が工夫して季節ごとの催しやレクリエーションに尽力しました。

《年間行事》

施設全体での行事開催はせず、フロアごとの行事を行った。

2. 実績

1）看護介護目標と成果

目　　標	成　　果
デイケア： 看護　利用者の状態把握に努める、職員間の情報共有ができる、受診日の内服薬の把握 介護　利用者の気持ちを思いやる、利用者の状態把握をして介助できる、自身の体調管理	・毎朝のミーティングにより利用者の状態把握と職員間での共有できた ・個々の利用者の気持ちを聞き取り柔軟に対応したが苦情となることもあった ・職員の自身の体調管理に努めた
1階：業務改善に取り組み質の向上を目指す	・定期的にフロア会議を実施し業務の見直しをしてきたがすべての業務まではできなかった
2階：「相手のことを考える」をテーマに取り組む	・事前の声かけし相手の意思を確認する努力はしてきた ・利用者に尊敬の気持ちを持って対応した

2）教育人材育成

・実務者研修受講　2名
・介護福祉士受験　4名

3）身体拘束委員会　　身体拘束ゼロの継続が実行出来ている、委員会でセンサーマット利用の評価分析を実施

4）事故防止委員会　　毎月の事故報告書を分析し、重要事例などは臨時の会議を行い検討している

5）感染対策委員会　　新型コロナウイルス感染対策を徹底し、施設での感染発生を防止している

6）内部研修

今年度も集合型の研修は取りやめ、資料配付とレポート提出形式にした。

2月　記録とケアプラン
3月　消防訓練
5月　介護職の医行為について
　　介護保険サービスと倫理及び法令遵守
6月　身体拘束高齢者虐待について
　　褥瘡予防について
7月　接遇について、急変時対応
8月　摂食嚥下
9月　感染対策、看取り
10月　プライバシー保護、嘔吐対応
11月　防災訓練
12月　BLS研修

7）実習受け入れ

・大阪府医師会看護専門学校　　看護師実習生19名　　在宅看護論（6/21～12/2）
・大精協看護専門学校　　准看護師実習生68名　　老年看護（7/28～11/19）

3. 今後の目標

今後も利用者様が笑顔で過ごせるように施設全体で努力していきたいと思います。

59）八尾徳洲苑介護センター

管理者　日髙　陽子

介護セン 186
よろこび 訪問看護介護 190
よろこび 訪問看護ステ 191
徳洲苑 194
徳洲苑 介護セン 202
特養久宝寺 愛の郷 204

1. 概要

当センターは併設の八尾徳洲苑を含む同法人、他法人や各種機関との連携を図っています。特定事業所加算Ⅱを算定していますが、2021 年の介護保険報酬改定では新たに『介護保険以外のサービスを取り入れた居宅サービス計画書の作成』という項目が算定要件に加わりました。これまでも積極的に導入してきましたが、地域の力を活用し地域包括ケアシステムの構築への意識が高まっています。これまで同様 24 時間の連絡体制、定期的な勉強会や会議開催等、引き続き質の高いケアマネジメントを提供できるよう資質向上に努めています。

昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症に不安を覚えながらも、感染対策への理解を深め、ただ不安な状態から一歩前進できたと感じています。ワクチン接種の予約が取りづらい状況下で、利用者様、家族様への情報提供ができるよう情報収集に努めました。感染された方や濃厚接触者となられた方への対応などイレギュラーなこともあり悩むこともありましたが、事業所内、関係各所との連携や協力により乗り越えられました。

事業としては、1 年を通して相談件数も多くあり、緊急事態宣言が明けた以後は対応困難な件数の相談を頂きました。スタッフ一同できる限りの相談をお受けし、前年度を上回る収益に繋がりました。

今後もスタッフ一同、地域に信頼される事業所であり続けられるように邁進致します。

2. メンバー構成

管理者・主任介護支援専門員：日髙　陽子
主任介護支援専門員　　：山﨑　美保、野宗　かおり
介護支援専門員　　：橘　早苗

3. 実績

1）業務実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均	前年度
介護利用者	97	97	102	112	99	99	99	107	108	110	117	121	1268	105.7	94.4
予防利用者	39	42	46	47	43	44	42	40	41	41	38	37	500	41.7	34.8
居宅支援Ⅰ1	57	56	60	64	58	60	61	66	67	67	71	71	758	63.2	56.7
居宅支援Ⅰ2	40	41	42	48	41	39	38	41	41	43	46	51	511	42.6	37.8
相談件数	10	6	10	4	1	10	3	6	5	9	9	2	75	6.3	5.2
新規開始者	3	3	8	6	1	1	3	7	4	3	2	3	44	3.7	3.8
終了者	5	2	2	2	4	4	4	1	4	3	1	2	34	2.8	2.2
認定調査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.3
担当者会議	20	16	14	18	5	14	19	17	15	12	23	19	192	16	15.7

2）研修

【外部研修】

八尾市高齢介護課「アセスメントやケアプラン作成、モニタリング実施方法」Web研修　：3/11（山﨑・橘）
八尾市高齢介護課「在宅医療における薬剤師と他職種連携」Web研修　：3/26（日髙・山﨑・橘）
八尾市高齢介護課「認知症啓発講演会」Web研修　：3/31（日髙）
大阪介護支援専門員協会八尾支部「介護報酬改定について」Web研修　：4/14（日髙・山﨑）
訪問看護ステーション彩「介護報酬改定を踏まえた訪問リハと訪問看護リハの使い方」Web研修　：4/21（野宗・橘）
日本介護支援専門員協会第Ⅲブロック「介護報酬改定説明会」Web研修　：4/24（山﨑・橘）
八尾市高齢介護課「介護給付適正化研修会」Web研修　：6/25（日髙・野宗）
大阪介護支援専門員協会八尾支部「コロナ禍における災害支援」Web研修　：7/19（日髙・山﨑）
大阪府「第1回DWAT合同要請研修」Web研修　：7/27（日髙）
八尾市事業者連絡協議会「認知症対応向上研修」Web研修　：8月（日髙・山﨑・野宗・橘）
大阪介護支援専門員協会八尾支部「事例検討会」Web研修　：8/23（山﨑）
八尾市健康福祉部福祉指導監督課「介護保険制度における指定居宅サービス事業者等集団指導」：11/23（日髙）
八尾市事業者連絡協議会「居宅介護支援事業所部会定例会」Web研修　：12/25（山﨑）

【内部研修】

・疾患別勉強会（所内）
　資料：看取りガイドライン使用／月１回
・事例研究会（徳洲会介護センター合同）：3/18　7/15　9/16
・認知症勉強会（徳洲会介護センター合同）：4/15　8/19
・施設内研修（講義形式は避け資料を読み報告書記載）
　ケアプランと記録・苦情対応・非常災害対策・介護職員の医療行為・プライバシー保護・急変時対応
　倫理及び法令遵守・高齢者虐待・感染対策・摂食嚥下
　実践：スタットコール全員参加

3）介護支援専門員実務研修　見学・観察実習　２名受入れ

4. 今後の目標

・法人の掲げる理念の実践に努め、併設施設、関連施設への協力、連携を図る
・利用者様の意思および人格を尊重し自立支援に努める
・事業目標を達成し、単独事業所として健全経営を目指す
・日々の活動や福祉講演などを通して、地域から信頼される事業所を目指す
・業務内容の統一をし、スリム化による業務時間の短縮を目指す

60）特別養護老人ホーム久宝寺愛の郷

理事長　酒井　　敬
理事　木口　良章

介護セン 186
よろこび 訪問看護介護 190
よろこび 訪問看護ステ 191
徳洲苑 194
徳洲苑 介護セン 202
特養久宝寺 愛の郷 204

1. 概要

昨年と同様新型コロナウイルス感染に振り回された１年であった。職員のみならず、利用者の方の体調管理に万全を期すと共に、何か体調変化があれば病院で検査するという体制が出来上がり、一人の感染者もでないよう、感染対策に力点をおいた施設運営を実施した。2020 年に掲げた大きな目標、利用者の方には「施設でのありふれた日常を大切に」、職員に対しては「エンゲージメント思考の定着」についてはこれを継続した。しかし､昨年と同様利用者の方は、面会制限のため家族に会えない日々が続き、ありふれた日常は戻らなかった。職員のエンゲージメント思考の定着については、活動を通して職員と組織の絆を深め、少しずつではあるが定着していることを実感できた。地域支援活動は、八尾市地域包括支援センターを通して、高齢者や社会的弱者といわれる方々に対し、地域資源を活用しながら丁寧に対応してきた。

運営面では、４月に３年に１回の介護保険の改正が実施され、科学的介護（LIFE）という考えが導入された。これは医療における EBM と同じで、介護分野もエビデンスに基づいた実効性のある介護が求められる。収益は、ほぼ計画通りに推移した。

2. 職員の状況

今年度は、常勤で２名の育休取得者と定年、腰痛による退職の２名が重なり、11 月に初めて外国人を採用した。今後、介護士や看護師の雇用が難しいことを考えると、多チャンネルで求人することを考えていきたい。

部門	職種	常勤	非常勤		人数計	換算計
			人数	換算		
管理部	管理者	3			3	3.0
特養	事務	2			2	2.0
	生活相談員	1			1	1.0
	介護支援専門員	1			1	1.0
	医師		2	0.2	2	0.2
	看護部	3	1	0.4	4	3.4
	栄養部	5	4	1.5	9	6.5
	介護職	22	12	7.8	34	29.8
ショート	生活相談員				0	0.0
	介護職員	5	2	1.8	7	6.8
デイ	生活相談員	1			1	1.0
	看護部		2	1.9	2	1.9
	機能訓練	1			1	1
	介護職員	2	5	4.7	7	6.7
	運転手		2	1.4	2	1.4
地域包括	ケアマネ・保健師	2			2	2.0
合計		48	30	19.7	78	67.7

3. 実績

・特別養護老人ホーム（50 床）

常に満床の状況であり、申込をしていただいている方も約 100 名になっている。1 ヶ月に一度入居選考委員会を開催し、必要度の高い方から入居いただいている。昨年の稼働率は平均99.2%、要介護度は平均4.5であった。9名の方がお亡くなりになったが、その内6名が看取りだった。昨年から実施していたオンライン面会は継続しながら、第 5 波がおさまった 11 月からは、感染対策をしながら直接面会を実施した。外出行事はほとんどできなかったが、4 月のお花見はユニット単位で実施。桜が一番きれいな時期にお連れすることができた。他に、1 か月に 1 回開催の「喫茶とまり木」は継続できた。フロア単位で敬老祝賀会やレクリエーションなど、工夫を凝らして実施、その模様は「愛の郷新聞」（月 1 回発行）で紹介できた。

・短期入所（10 床）

在宅介護をサポートするという重要な役割を担っている。利用者数が一時 31 名までに減ったが、12 月には 44 名までに回復した。利用者の平均要介護度は 3.1 で、認知症の方や動かれる方も多く、転倒・転落などのリスク要因を抱えているため、介護士を厚く配置している。各種変動要因がある中、稼働率は平均 96.6%でほぼ満床という状況。要因はデイサービスとの連携を密にしたことが大きい。

・通所介護（定員 32 名）

昨年と同様コロナの影響を受けて一番苦戦をした事業となった。平均の利用率は 76.6%で 80%以上の目標は達成できなかった。個別機能訓練に力点を置きながら、レクなどに工夫を凝らした。営業活動を強化するため、施設紹介の動画をユーチューブにアップ、ケアプランセンターの担当者との密なコミュニケーションに注力した結果、11 月、12 月で目標は達成できた。課題は日々のキャンセル対策と新型コロナの感染症対策である。

	特養（50 床）			短期入所（10 床）			通所介護（定員：32）		
	入所数	入所率	退所数	利用者数	延利用者数	利用率	利用者数	延利用者数	利用率
1 月	49.4	98.8%	0	36	288	92.9%	70	557	72.5%
2 月	50.0	100.0%	0	33	284	101.4%	68	546	71.1%
3 月	50.0	100.0%	0	31	297	95.8%	73	608	70.4%
4 月	50.0	100.0%	0	35	288	96.0%	77	614	73.8%
5 月	50.0	100.0%	0	31	256	82.6%	73	623	74.9%
6 月	48.8	97.6%	0	37	282	94.0%	78	623	74.9%
7 月	49.4	98.8%	2	42	303	97.7%	79	675	78.1%
8 月	48.2	96.3%	2	39	289	93.2%	80	647	77.8%
9 月	49.8	99.6%	2	44	295	98.3%	78	647	77.8%
10 月	49.6	99.2%	1	41	313	100.3%	83	664	79.8%
11 月	50.0	100.0%	1	40	310	103.3%	89	706	84.9%
12 月	49.7	99.5%	1	44	321	103.5%	89	720	83.3%
平均	49.6	99.2%	0.8	37.8	293.8	96.6%	78	636	76.6%

介護セン 186
よろこび 訪問看護介護 190
よろこび 訪問看護ステ 191
徳洲苑 194
徳洲苑 介護セン 202
特養久宝寺 愛の郷 204

・八尾市地域包括支援センター（公益事業）

地域包括支援センターを八尾市から委託されて4年が経過した。高齢者の身近な相談機関として地域（中学校区）の方々にも、その存在と役割が浸透してきた。昨年新型コロナ感染症の関係で開催できなかった介護予防教室や家族介護教室も開催できた。相談件数は昨年と比較し少し減ったが、社会福祉協議会や地域の福祉委員会とも連携をとりながら、地域高齢者のために仕事ができたと感じている。職員が3人のため継続課題としている土、日の相談体制が構築できていない。

内容	年月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	前年比較
相談受付	2020年	369	320	365	311	380	383	375	363	348	350	308	324	4,196	
	2021年	322	282	359	282	273	283	336	269	258	372	323	351	3,710	－486
介護予防支援費 マネジメント費	2020年	279	270	264	251	269	265	257	246	251	250	249	250	3,101	
	2021年	244	243	250	251	246	256	256	248	250	257	255	256	3,012	－89
介護予防教室 家族介護教室	2020年	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	6	
	2021年	1	0	2	2	0	0	1	0	2	2	2	1	13	7
地域行事	2020年	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	15	
	2021年	0	0	2	2	0	1	0	1	2	3	4	4	19	4
実態把握	2020年	28	14	28	15	18	19	20	18	22	28	22	19	251	
	2021年	25	27	13	17	18	21	36	19	18	26	26	16	262	11

4. 今後の目標

社会福祉法人として、求められる役割をしっかりと認識すると共に利用者の方の日常に寄り添いながら、少しでも穏やかに過ごしていただける環境を整備する。そのためには職員の質を向上させると共に、施設全体でのチーム介護が出来るようにする必要があるが十分達成できていない。継続目標とする。

経営的には、来年は中期経営計画の見直しをする年であり、計画を達成できなかった事項について、積極的な対策をとっていきたい。職員の生産性向上は避けて通れないため、将来を見据えた積極的な投資も必要と考えている。12月中旬に八尾市指導監査課の指導監査があった。おおむね良好という言葉は頂いたが、開設時の課題が放置さていたこと、良いと思って実施してきたことが指摘された。この指摘事項はできるだけ早く解決することも、2022年の目標としたい。

新型コロナウイルス感染症は2021年を振り返っている今、オミクロン株の感染急拡大で第6波に突入している。利用者のみならず職員の健康管理に細心の注意を払いながらクラスターが発生しないよう運営する。また、地域への公益的な取り組みを実施する責務を持ちながら、その実施が2年間ほぼできていない状況を改善しなければならない。

学　術　業　績

―― 2021年 ――

61）学会発表　210
62）学術論文　214

61）学会発表

【糖尿病・代謝内科】

・2021.5.20～22　第64回日本糖尿病学会年次学術集会（金沢市　WEB開催）　酒井菜穂子、坂野千賀、佐藤友亮、服部玄徳、高津美乃里、八島麻美子、太田垣恵美、髙原良典、植田秀樹、石橋里江子　チームカンファレンスが糖尿病患者の療養行動に及ぼす効果の検証

・2021.5.20～22　第64回日本糖尿病学会年次学術集会（金沢市　WEB開催）　高津美乃里、松田千恵子、大前裕也、小林正弥、東奈実、服部玄徳、髙原良典、植田秀樹、石橋里江子　糖尿病合併症パスによる骨粗鬆症のスクリーニングと背景因子の検討

・2021.10.30　第58回日本糖尿病学会近畿地方会（国立京都国際会館）　服部玄徳、小阪葵、佐藤友亮、高津美乃里、八島麻美子、栗野大輔、坂野千賀、酒井菜穂子、髙原良典、植田秀樹、石橋里江子　世界糖尿病デーにおける当院の啓発活動

【脳神経外科】

・2021.6.4　第36回日本脊髄外科学会（京都）　吉村政樹、石本幸太郎、宇田裕史、中西勇太、高見俊宏、西村泰彦　腰椎分離すべり症に対する経椎間孔全内視鏡下除圧術の初期経験

・2021.7.10　第11回低侵襲・内視鏡脊髄神経外科学会（浜松）　吉村政樹、石本幸太郎、宇田裕史、中西勇太、高見俊宏、西村泰彦　vacuun discを伴う腰椎分離すべり症に対するELIF(endoscopic lateral interbody fusion)

・2021.9.4　第28回JPSTSS（京都）　吉村政樹、石本幸太郎、宇田裕史、中西勇太、高見俊宏、西村泰彦　Corpectomy and fusion for kyphotic deformity after ACDF

・2021.10.29　第80回日本脳神経外科学会総会（横浜）　吉村政樹、石本幸太郎、宇田裕史、中西勇太、高見俊宏、西村泰彦　全内視鏡下脊椎手術（FESS）導入初期の留意点～合併症ゼロを目指して～

・2021.3.11　第46回日本脳卒中学会学術集会（福岡）　中西勇太、宇田裕史、神崎智行、池田祥平、吉村政樹、鶴野卓史、川上太一郎　誘導性を最重要視した当院の血栓回収術の治療成績

・2021.8.22　第21回Bay-Lake IVR workshop（Web）　中西勇太、宇田裕史、石本幸太郎、吉村政樹、川上太一郎　破裂内頸動脈分岐部大型動脈瘤の一例

・2021.10.27　第80回日本脳神経外科学会学術総会（横浜）　中西勇太、宇田裕史、下本地航、神崎智行、池田祥平、石本幸太郎、吉村政樹、川上太一郎　優れた誘導性が期待される新規吸引カテーテルを用いた血栓回収術の治療成績

・2021.11.25　第37回日本脳神経血管内治療学会学術総会（福岡）　中西勇太、宇田裕史、下本地航、神崎智行、池田祥平、石本幸太郎、石野昇、吉村政樹、川上太一郎　優れた誘導性が期待される新規吸引カテーテルを用いた血栓回収術の治療成績

・2021.11.25　第37回日本脳神経血管内治療学会学術総会（福岡）　中西勇太、宇田裕史、石本幸太郎、石野昇、吉村政樹、川上太一郎　Slender distal access catheterを使用した破裂脳動脈瘤コイル塞栓術の治療成績

・2021.6.11～13　13th Asian &Oceanian Epilepsy Congress（Web）　Hiroshi Uda, TakehiroUda, NoritsuguKunihiro, KosukeNakajo,RyokoUmaba, Toshiyuki Kawashima, Takeo Goto　Two different routes to disconnect splenium of corpus callosum and fornix in hemispherotomy

・2021/10/29　社団法人日本脳神経外科学会第80回学術総会（横浜）　宇田裕史、宇田武弘、木下学、貴島晴彦、田上雄大、長濱篤文、川嶋俊幸、大畑裕紀、中条公輔、森迫拓貴、後藤剛夫　Voxel based lesion mappingを用いた頭蓋底髄膜

腫の手術摘出範囲の可視化

・2021.9.10　第26回日本脳腫瘍の外科学会（東京）　宇田裕史、宇田武弘、木下学、貴島　晴彦、田上雄大、長濱篤文、川嶋俊幸、大畑裕紀、中条公輔、森迫拓貴、後藤剛夫　Voxel based lesion mappingを用いた頭蓋底髄膜腫の手術摘出範囲の可視化

・2021.3.11～13　Stroke2021（福岡）　宇田裕史、辰己新水、岩崎聖、神崎智行、中西勇太、吉村政樹、鶴野卓史　脳卒中後てんかんによるてんかん重責状態に治療効果判定としてArterial spin labelingが有用であった2例

・2021.1.21～22　第44回日本てんかん外科学会（Web）　宇田裕史、宇田武弘、中条公輔、國廣誉世、下本地航、坂本竜司、佐々木強、高沙野、田上雄大、長濱篤文、川嶋俊幸、西嶋脩悟、大畑裕紀、馬場良子、後藤剛夫　単一施設での選択的海馬扁桃体摘出術における経皮質到達法と経シルビウス裂到達法の比較

・2021.10.27～30　第80回日本脳神経外科学会総会（横浜）　石本幸太郎、中西勇太、下本地航、宇田裕史、吉村政樹　心原性塞栓による頸動脈分岐部浮動性塞栓子に対して血栓回収術を行った一例

・2021.11.25～27　第37回日本脳神経血管内治療学会学術集会（福岡）　石本幸太郎、中西勇太、下本地航、宇田裕史、吉村政樹　心原性塞栓による頸動脈分岐部浮動性塞栓子に対して血栓回収術を行った一例

・2021.10.16　第83回近畿脊髄外科研究会（大阪）　石本幸太郎、吉村政樹、宇田裕史、中西勇太、内藤堅太郎、高見俊宏　外傷を契機に発症したSandwich fusion（C1後頭骨化+C2-3癒合椎）の一例

【心臓血管外科】

・2021.4.10　第15回KCJL　web開催　座長：内田直里　難症例の討論

・2021.5.19～21　第49回日本血管外科学会（名古屋）web開催　一般演題　座長：内田直里　TAA（弓部大動脈瘤）

・2021.10.15-18　36th annual meeting in European Association Cardio-Thoracic Surgery（EACTS）, Barcelona, Spain. M. Komooka, S. Higashiue, S. Kuroyanagi, O. Furuya, N. Hiramatsu, M. Matsuura, S. Kojima, N. Uchida. The procedures of complete aortic remodeling after PETTICOAT technique for aortic dissection.

・2021.10.31～11.3　第74回日本胸部外科学会定期学術集会　Techno Academy　薦岡成年　EVT for chronic aortic dissection : For complete false lumen thrombosis

【形成外科】

・2021.2.28　第127回関西形成外科学会学術集会（城崎）　福村崇　シャルコー足の当院における治療経験

・2021.2.28　第127回関西形成外科学会学術集会（城崎）　谷畑充梓　大胸筋内に発生した筋内粘液腫（intramuscular myxoma）の一例

・2021.4.14-16　第64回日本形成外科学会総会・学術集会（東京）　綾部忍　血行再建と創傷治癒をどう繋げるか

・2021.4.24　第21回形成外科集学医療技術研究会（大阪）　入潮実季　当院におけるシャルコー足変形に対する治療経験

・2021.4.24　第21回形成外科集学医療技術研究会（大阪）　渡辺瑛介　非免疫抑制患者に発症した大胸筋下膿瘍の一例

・2021.10.1～2　ANGIO PICTURE 2021（Sochi, Russia）　綾部忍　Awareness of Arteriopathy, Bacterial Infection and Foot Deformity in Diabetic Foot Ulcers: insight from AID Classification Study

・2021.11.6　第3回日本フットケア・足病医学会関西地方会学術集会（大阪）　綾部忍　糖尿病足の

ミカタ！～AID conceptに基づく治療～
・2021.11.28　第35回神戸形成外科集談会（神戸）　綾部忍　創傷治療のスペシャルティーとオープンソース
・2021.12.1～4　The 5th Congress of Asian Pacific Federation of Societies for Reconstructive Microsurgery（筑波）　綾部忍　Distal Bypass Surgery and Free Flaps in the Treatment of CLI
・2021.12.10～11　第2回日本フットケア・足病医学会年次学術集会（横浜）　綾部忍　下肢病変に対する予防的治療のアップデート
・2021.12.10～11　第2回日本フットケア・足病医学会年次学術集会（横浜）　綾部忍　Bypassと Guillotine切断（癥痕治癒）

【病理診断科】
・2021.11.4～5、12.11～12.31　第67回　日本病理学会秋期特別総会（岡山、ハイブリッド開催）　久保勇記、飯盛宏記、洪鉉寿、中塚伸一　尿管原発節外性辺縁帯リンパ腫（MALTリンパ腫）の1例.
・2021.11.4～5、12.11～12.31　第67回　日本病理学会秋期特別総会（岡山、ハイブリッド開催）　中塚伸一、安原裕美子、中田潤、杉原文徳、爲政萌子、松原愛、田中文、柴野賢　JAK2阻害剤投与の経過中に皮膚ランゲルハンス組織球症を示した骨髄増殖性腫瘍の一例.
・2021.11.21～22　第8回　徳洲会病理部会学術集会（米子）　中塚伸一　免疫不全、免疫異常に関連したリンパ腫.

【膠原病リウマチ内科】
・2021.10.28　The 40th Annual Scientific Meeting of Korean Endocrine Society (SICEM 2021) (Busan)　Kazuyuki Yoshizaki　Challenging research on Castleman disease develops remarkable new knowledges and therapies
・2021.8.13-10.31　(On-demand Sessions), 2021.9.16-17 (Live discussions)　The 1st International Symposium on Castleman Disease (ISCD2021) (ONLINE)　Kazuyuki Yoshizaki
Tocilizumab therapy for multicentric Castleman Disease

【臨床検査科】
・2021.5.15～6.14　第70回日本医学検査学会Web開催（オンデマンド配信）　長尾知奈美　形質細胞増加を伴う血管免疫芽球性T細胞リンパ腫
・2021.6.5　第62回日本臨床細胞学会春季大会
幕張メッセ　室木魁　ThinPrep法によるPapnicolou染色の検討
・2021.6.5　第62回日本臨床細胞学会春季大会　幕張メッセ　西川裕子　診断に苦慮したALK陽性未分化大細胞性リンパ腫の一例
・2021.6.5　第62回日本臨床細胞学会春季大会　幕張メッセ　松尾優希　当院におけるLBC検体を用いた免疫染色時核染色性の改善
・2021.11.20　第60回日本臨床細胞学会秋季大会
米子コンベンションセンター　西川裕子腹膜播種やリンパ節腫脹を伴わない肺腺癌の胆管転移の一例

【臨床工学科】
・2021.5.22～23　第31回日本臨床工学技士学会
中西孝次　長谷川弘将　野間康平　森本柾允　内視鏡スコープ修理費削減への取組と有用性の検討
・2021.5.22～23　第31回日本臨床工学技士学会　中西孝次　故障分析フォーマットによる教育を試みて
・2021.9.25～26　第27回近畿臨床工学会　藤田和睦　コロナ禍における臨床工学技士に求められる呼吸療法の知恵と技～重症度分類別施設におけるCEの役割～
・2021.9.25～26　第27回近畿臨床工学会　中西孝次　海外評価機構受審に伴う内視鏡室改修前後の比較・検討報告

【MSW】

・2021.2.13　第27回日本がんチーム研究会（大阪）　三谷勇一、門田翔太　JCI認証過程における病院全体指標の分析：がん患者の特性から考える病床機能再編の在り方

・2021.2.13　第27回日本がんチーム研究会（大阪）　門田翔太、三谷勇一　2次救急病院へ搬送される腫瘍内科に入院する患者の特性：ロジスティック回帰分析によるMSWの介入の際の留意点

・2021.2.13.　第27回日本がんチーム研究会（大阪）　岩尾涼、三谷勇一　中皮腫患者への石綿健康被害救済制度活用の工夫：労働者災害補償制度との比較表の作成

・2021.3.14　第11回日本医療ソーシャルワーク学会（WEB）三谷勇一　大阪府におけるがん患者サロンの参加者の特性と、サロンへの貢献意欲に関連する要因：サロンの均てん化の促進を目指したPDCAサイクルの構築のための基礎調査（研究奨励賞事業助成　日本医療ソーシャルワーク学会）

・2021.6.4～6 第68回日本医療社会福祉協会（第40回日本医療社会事業学会）（千葉）　三谷勇一　急性期病院における国際的医療施設評価機関（JCI）認証に向けたシステムの構築：科学的根拠に基づく入退院支援におけるMSWの介入の可視化

・2021. 6.4～6　第68回日本医療社会福祉協会（第40回日本医療社会事業学会）（千葉）　門田翔太、三谷勇一　2次救急病院の呼吸器病棟に搬送される入院患者の特性：ロジスティック回帰分析による入院前の居住地に焦点を当てた整理

・2021.9.23　関西福祉科学大学福祉実習室（大阪）　三谷勇一　コロナ禍における相談援助実習の在り方：キャリアコンサルティング論（招聘講演）

・2021. 11.10～13. 14th Asia Pacific Hospice Palliative Care Conference (WEB) Yuichi Mitani. Characteristics of the Salon Leader Candidates in Osaka Prefecture: From the results of a quantitative survey at 65 cancer hospitals in the tertiary medical area.

【ICC（院内感染対策委員会）】

・2021.9.19～20　第36階日本環境感染学会　宮本幸子、澁谷豊克、前野舞、鬼束美紗絵　増加したBacillus cereus菌血症に対する活動報告

・2021.9.19～20　第36回　日本環境感染学会　里岡達哉、横山靖法、森田幸男、大里恭章　澁谷豊克、前野舞、鬼束美紗絵　長期ステロイド使用患者に発症した播種性Mycobacterium abscessus感染症の1症例

62）学術論文

【内分泌内科】

・Toshihide Yamamoto. Influence of dental treatment on outcome of Graves' disease treated with anti-thyroid drug. International Journal of Endocrinology and Metabolic Diseases. 2021; 7: 1-4 (online)

【心臓血管外科】

・Surgical treatment for primary mycotic aneurysms using endovascular therapy, focusing on patient selection: single-center experience. Masato Furui, Shoji Sakaguchi, Naomichi Uchida. Sugical Infections. 2021:Vol22, Number 7, 713-719
・Comparative study of Japanese frozen elephant trunk device for open artic arch repair. Hitoshi Ogino, Yutaka Okita, Naomichi Uchida, Masaaki kato, Shinji Miyamoto, Hitoshi Masuda, MichikazaNakai. J Thorac Cardiovascular Surgery. 2021;Apri 1,Vol 21;1-12
・遺残坐骨動脈閉塞症の急性増悪に対する薬物・運動療法の1例。平田昌敬、薦岡成年、内田直里。日本血管外科学会誌　2021;30:279-82.
・EVAR時の経皮的止血デバイスによる大腿動脈損傷に対してXenoSureを用いて血管修復した1例。薦岡成年、内田直里。LeMaitre Case Report 2021;Vol 12.1-4.

【膠原病リウマチ内科】

・Validated international definition of the thrombocytopenia, anasarca, fever, reticulin fibrosis, renal insufficiency, and organomegaly clinical subtype (TAFRO) of idiopathic multicentric Castleman disease.
・Yoshito Nishimura, David C. Fajgenbaum, Noriko Iwaki, Mitsuhiro Kwano, Naoya Nakamura, Koji Izutsu, Kengo Takeuchi, Midori Filiz Nishimura, Fumio Otsuka, Kazuyuki Yoshizaki, Frits van Rhee, Yasuharu Sato.Am J Hematol　2021 Oct 1;96(10):1241-1252. doi: 10.1002/ajh.26292. Epub 2021 Jul 28
・Prompt reduction in CRP, IL-6, IFN-γ, IP-10, and MCP-1 and a relatively low basal ratio of ferritin/CRP is possibly associated with the efficacy of tocilizumab monotherapy in severely to critically ill patients with COVID-19.
・Shoji Hashimoto, Kazuyuki Yoshizaki, Kazuko Uno, Heita Kitajima, Tsuyoshi Arai, Yoshitaka Tamura, Hiroshi Morishita, Hiroto Matsuoka, Yuki Han, Seijiro Minamoto, Tomonori Hirashima, Tomoki Yamada, Yozo Kashiwa, Makoto Kameda, Seiji Yamaguchi, YasunariTsuchihasi, Mitsuhiro Iwahashi, Emi Nakayama, Tatsuo Shioda, Takayuki Nagai, Toshio Tanaka.Frontiers in Medicine　23 September 2021.doi: https://doi.org/10.3389/fmed.2021.734838

・慢性リンパ節腫大疾患―その鑑別と病態考察―
吉藤元、吉崎和幸　日本内科学会雑誌　第110巻、第10号、2278-2285. 2021.10.
・キャッスルマン病の診断と治療のガイドライン
川端浩、藤本信乃、吉藤元、黒瀬望、山田壮亮、矢野真吾、川上純、吉崎和幸、正木康史　血液内科　2021, 82(3):394-401

【歯科・口腔外科】

・CT画像で偶然みつかった下顎骨類骨骨腫の１例
占部一彦、原田計真、中川記世子、小林夏子、藤多健　大阪大学歯学雑誌　65巻2号　P67-69

【MSW】

・大阪府におけるがん患者サロンの参加者の特性と，サロンへの貢献意欲に関連する要因～サロ

ンの均てん化の促進を目指したPDCAサイクルの構築のための基礎調査報告書第2版：三谷勇一、2018年年度研究奨励賞事業助成　日本医療ソーシャルワーク学会　基礎調査報告書（中河内がん相談支援センター部会）p1-14. 3月／2021.

八尾徳洲会総合病院年報

発行日：令和四年五月

発　行：八尾徳洲会総合病院　病院長　原田　博雅
〒581-0011 大阪府八尾市若草町1番17号
ＴＥＬ（072）９９３－８５０１（代）
ＦＡＸ（072）９９３－８５６７
http://www.yao.tokushukai.or.jp/

印　刷：寝屋川市高宮栄町２２番１８号
イセン印刷㈱
ＴＥＬ（072）８２４－０８０５
ＦＡＸ（072）８２５－０６５４

医療法人
徳洲会八尾徳洲会総合病院

〒581-0011 大阪府八尾市若草町1番17号
TEL（072）993-8501（代）
FAX（072）993-8567
http://www.yao.tokushukai.or.jp/